鉄 平 遺 跡

平成14年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

鉄 平 遺 跡

平成14年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

東駿河湾環状道路は沼津・三島市街地の慢性的な交通渋滞を緩和し、伊豆地方へのアクセスの迅速化を目的として建設が予定されている。一方で当遺跡が立地する駿東郡長泉町は古くより遺跡が集中する地域として知られている。当研究所は、平成2年よりこの東駿河湾環状道路関連の緊急調査を実施しており、当遺跡もその一環として平成11年より調査が開始された。

今回の調査では、旧石器時代から縄文時代後期まで、数々の遺構・遺物が出土している。旧石器時代の成果としては、第Ⅲ黒色帯において土坑が7基検出された。この土坑群は箱根西麓において検出されていたものと同様のものである。従来から、箱根西麓の地域性と考えられていたが、今回当遺跡での発見をもって、愛鷹山山麓に広がる可能性が示唆された。これは当時の文化圏や生業を考える上で、大変貴重なものである。また、縄文時代草創期に先駆けて、槍先形尖頭器の文化層が検出された。これは、箱根畑宿産の黒耀石を用いた中・小型の槍製作跡であり、保持してきた石器の修繕と入れ替えの場であったと考えられる。

縄文時代の遺構としては、早期末~前期初頭の木島式期の集落が検出されている。3~4基の住居の単位が2ヵ所で検出されており、それぞれ土器型式において若干の時期差がある。これらと同期の集落は北側に隣接する池田B遺跡において検出されているが、関東系の下吉井式土器を中心としたものである。異系統の土器を持つ集団が同一尾根上に集落を構えていたことになる。厳密な同時期性は証明できないが、この地域の早期集落のあり方について学的に興味深い資料を提示できた。

東駿河湾環状道路関連遺跡は、当遺跡を含めて旧石器時代、縄文時代の貴重な発見を提示してきた。 これらの遺跡資料が、以後、有用に活用されることを願う次第である。

現地調査、及び本書の作成にあたっては、国土交通省沼津工事事務所並びに静岡県教育委員会、長泉町教育委員会をはじめとする関係機関各位の御理解と御協力に厚くお礼を申し上げたい。また、猛暑や寒風吹きすさぶ中、作業にあたられた現地作業員、細かな作業を根気良く続けた整理作業員の方々に、この場をお借りして深く感謝する次第である。

2003年3月

例 言

- 1 本書は駿東郡長泉町下長窪に所在する鉄平遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 現地調査は東駿河湾環状道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務として、国土交通省中部地方 整備局沼津工事事務所の委託を受け、静岡県教育委員会文化課の指導のもと、財団法人静岡県埋蔵 文化財調査研究所が以下のとおり実施した。

<1区> 1 次調査 平成10年 8 月 \sim 9 月 2 次調査 平成10年10月 \sim 12月 <2区> 1 次調査 平成12年 2 月 \sim 3 月 2 次調査 平成12年 4 月 \sim 10月

- 3 資料整理は平成14年4月より平成14年10月まで実施した。
- 4 調査体制は以下のとおりである。

平成10年度 現地調査

所長 斎藤 忠、常務理事兼総務部長 伊藤友雄、総務課長 杉木敏雄、 会計係長 杉田 智、調査研究部長 石垣英夫、調査研究一課長 佐野五十三、 調査研究員 殿岡崇浩 笹原千賀子

平成11年度 現地調査

所長 斎藤 忠、副所長 山下 晃、常務理事兼総務部長 伊藤友雄、総務課長 杉木敏雄、会計係長 大石真二、調査研究部長 佐藤達雄、調査研究二課長 遠藤喜和、調査研究員 笹原千賀子

平成12年度 現地調査

所長 斎藤 忠、副所長 山下 晃、常務理事兼総務部長 伊藤友雄、 総務課長 杉木敏雄、会計係長 大橋 薫、調査研究部長 佐藤達雄、 調査研究二課長 篠原修二、調査研究員 白鳥直樹 (4~8月) 佐野暢彦 (9~10月) 笹原千賀子

平成14年度 資料整理

所長 斎藤 忠、副所長 飯田英夫、常務理事兼総務部長 粂田徳幸、 総務課長 本杉昭一、会計係長 大橋 薫、調査研究部長 山本昇平、 調査研究部次長兼資料課長 栗野克已、調査研究部次長兼調査研究二課長 佐野五十三、 調査研究員 笹原千賀子

- 5 本書の執筆は第Ⅱ章を技術員吉村たまみ、その他を笹原千賀子が担当した。
- 6 黒耀石の原産地分析は、国立沼津工業高等専門学校教授望月昭彦氏に依頼した。
- 7 作業の迅速化を図るため、石鏃実測の一部を㈱シン技術コンサルに委託した。
- 8 遺物写真は当研究所三島整理事務所において撮影した。
- 9 出土遺物の石材鑑定・個体別資料分類は技術員森嶋富士夫がおこなった。
- 10 本書の編集は財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所がおこなった。
- 11 発掘調査にかかわる記録資料については、静岡県教育委員会文化課が保管する。

凡 例

本書の記載については、以下の基準に従い統一を図った。

- 1 本書で用いた遺物・遺構等の位置を表す座標値は、すべて日本測地系(ベッセル)による。
- 3 出土遺物は、土器・石器=S、礫=Rとしそれぞれに4桁の遺物番号を付して取り上げた。
- 4 土器挿図中のNo.は同一個体の場合数字の枝番としてアルファベットを用いた。
- 5 石器の実測は原則として第三角投影図法に拠った。
- 6 本文中に用いる色彩に関する用語・記号は、新版『標準土色帖』(農林水産技術会議事務局監修 1992) を使用した。
- 7 遺構番号は、文化層ごとに通し番号を付した。
- 8 本文中の遺構・遺物に関する標語・略語は以下のとおりである。

		層	í	Ż	
Ku	栗色土層	BB0	休場層直下黒色帯	SC II	第Ⅱスコリア層
FB	富士黒土層	SC I	第Ⅰスコリア層	ВВШ	第Ⅲ黒色帯
Zn	漸移層	BB I	第Ⅰ黒色帯	SCⅢs1	第Ⅲスコリア帯スコリア1
YLU	休場層上位	NLa	ニセローム層 a	SCIII b 1	第Ⅲスコリア帯黒色帯1
YLM	休場層中位	NL b	ニセローム層 b	SCⅢ s4	第Ⅲスコリア帯スコリア4
YLL	休場層下位	ВВ ∏	第Ⅱ黒色帯		
			遺構		
住	竪穴式住居	集	集 石	竪	竪穴状遺構
土	土 坑	焼	焼 土		
			遺物		
 	 - タタキ面	þ · · · · · · ·	・ 研ぎ面	रक्षक्षकार ।	③ タタキの範囲
<u> </u>	── スリ面		使用痕		3 スリの範囲

略 語	産 地 名	略語	産 地 名	略 語	産 地 名
WDTY	和田 鷹山群	SWHD	諏訪 星ヶ台群	HNKI	箱根 黒岩橋群
WDKB	和田 小深沢群	TSTY	蓼科 冷山群	AGKT	天城 柏峠群
·WDTN	和田 土屋橋西群	HNH J	箱根 畑宿群	KZOB	神津島 恩馳島群

岩石和名	岩石英名	略語	岩石和名	岩石英名	略語
ガラス質黒色安山岩	Glassy black andesite	GAn	砂岩(細粒)	Fine sandstone	FSS
黒耀石	Obsidian	Ob	砂岩(中粒)	Medium sandstone	MSS
ホルンフェルス	Hornfels	Hor	砂岩(粗粒)	Corse sandstone	CSS
頁岩	Shaie	Sh	粘板岩	Slate	Sl
緑色凝灰岩	Green tuff	GT	珪質粘板岩	Siliceous slate	SSI
硬質凝灰岩	Hard tuff	HT	流紋岩	Rhyolite	Rhy
硬質細粒凝灰岩	Hard fine tuff	HFT	滑石	Talc	Ta
紃粒安山岩	Fine andesite	FAn	輝石安山岩	Pyroxene-andesite	An (Py)
多孔質安山岩	Vesicular andesite	VAn	角閃石片岩	Amphibole-schist	Amp
玄武岩	Basalt	Ba	アプライト	Aplite	AP
多孔質玄武岩	Vesicular basalt	VBa	デイサイト	Dacite	Da
無斑晶質安山岩	Aphyric andesite	AAn	チャート	Chert	Ch

目 次

例	言
П	Æil

第Ⅰ章	調査の杮	既要
	第1節	調査に至る経緯
	第2節	調査の方法
	第3節	調査の経過
第Ⅱ章	遺跡の棚	既要
	第1節	地理的・歴史的環境
	第2節	基本土層と遺跡の土層堆積
第Ⅲ章	旧石器時	寺代の遺構と遺物
	第1節	第Ⅲ黒色帯(第Ⅰ文化層)の遺構 ·······11
	第2節	第Ⅱ黒色帯(第Ⅱ文化層)の遺構と遺物
	第3節	第Ⅰ黒色帯(第Ⅲ文化層)の遺構と遺物
	第4節	休場層下位(第N文化層)の遺構と遺物 23
	第5節	休場層上位(第V文化層)の遺構と遺物 31
	第6節	富士黒土層(第VI文化層)の遺物 ······ 43
第Ⅳ章	縄文時代	t草創期の遺構と遺物
第Ⅴ章	縄文時代	この遺構と遺物
	第1節	遺構
	第2節	遺構外出土の遺物 76
第VI章	その他の	D時代の遺構
第Ⅷ章	調査の成	这果 ······ 132
	附表 1	旧石器時代の遺物一覧表
	2	旧石器時代の礫一覧表
	3	縄文時代の石器計測表
	4	個体別分類一覧表
	附編1	黒曜石原産地分析
	附編2	鉄平遺跡の陥穴に関する自然科学調査 153

挿図目次

第1図	グリッドと調査範囲 1	第39図	尖頭器・有舌尖頭器	. 4
第2図	周辺の遺跡6	第40図	有舌尖頭器	. 46
第3図	遺跡と周辺の地形7	第41図	土坑平面・断面図	. 47
第4図	土層堆積状況8	第42図	縄文時代の遺構配置図	- 50
第5図	土層柱状図9	第43図	1 号住居跡遺物出土状況	51
第6図	BBⅢ層遺構全体図 12	第44図	1 号住居跡完掘状況	- 52
第7図	土坑平面・断面図(1)13	第45図	1 号住居跡出土遺物	- 53
第8図	土坑平面・断面図(2)14	第46図	2 ・ 4 号住居跡	54
第9図	BBⅡ層遺物分布15	第47図	2・4号住居跡遺物出土状況	55
第10図	BBⅡ層出土遺物16	第48図	2・4号住居跡出土遺物	55
第11図	BBI層遺物分布17	第49図	3 号住居跡	56
第12図	BBI層1号ブロック器種別分布 … 18	第50図	9 号住居跡	56
第13図	BBI層1号ブロック石材別分布 … 18	第51図	3 ・ 9 号住居跡遺物出土状況	57
第14図	BBI層2号ブロック器種別分布 … 19	第52図	3号住居跡出土遺物(1)	57
第15図	BBI層2号ブロック石材別分布 … 19	第53図	3号住居跡出土遺物(2)	58
第16図	BBI層3号ブロック器種別分布 … 20	第54図	9 号住居跡出土遺物	58
第17図	BBI層3号ブロック石材別分布 … 20	第55図	5 号住居跡	60
第18図	BBI層出土遺物(1) · · · · · 21	第56図	5号住居跡出土遺物	60
第19図	BBI層出土遺物(2) · · · · · 22	第57図	6 号住居跡	61
第20図	Y L 下位全体図 ····· 24	第58図	6 号住居跡出土遺物	61
第21図	YL下位礫群平面・垂直分布(1) 25	第59図	6 号住居跡遺物出土状況	62
第22図	YL下位礫群平面・垂直分布(2) 26	第60図	6 号住居跡出土遺物	62
第23図	YL下位礫群平面・垂直分布(3) 27	第61図	7 号住居跡	63
第24図	Y L 下位出土遺物(1) · · · · · 28	第62図	7号住居跡遺物出土状況	63
第25図	Y L 下位出土遺物(2) · · · · · 29	第63図	7号住居跡出土遺物	64
第26図	Y L 下位出土遺物(3) ····· 30	第64図	8 号住居跡	65
第27図	Y L 上位全体図 ····· 32	第65図	10号住居跡	66
第28図	YL上位石器ブロック器種別分布 … 33	第66図	10号住居跡遺物出土状況	66
第29図	YL上位石器ブロック個体別分布 … 34	第67図	8 号住居跡出土遺物	67
第30図	Y L 上位石器ブロック石材別分布 … 35	第68図	10号住居跡出土遺物	67
第31図	YL上位礫群平面・垂直分布(1) 36	第69図	集石(1)	69
第32図	YL上位礫群平面・垂直分布(2) 37	第70図	集石(2)	70
第33図	Y L 上位出土遺物(1) · · · · · 39	第71図	集石内出土遺物	70
第34図	Y L 上位出土遺物(2) · · · · · 40	第72図	土坑平面・断面図	71
第35図	Y L 上位出土遺物(3) · · · · · 41	第73図	焼土跡平面・断面図	72
第36図	Y L 上位出土遺物(4) · · · · · 42	第74図	土坑・焼土内出土遺物	73
第37図	細石刃核・細石刃 43	第75図	竪穴状遺構跡	
第38図	縄文時代草創期全体図 … 44	第76図	1 号土坑	74

第78図	図 I 群土器分布図 ····· 80	第104図	IV群 d 類土器(4) · · · · · · 100
第79図	☑ I群a類土器(1) ······81	第105図	V ・ VI ・ VII群土器分布図 10′
第80図	図 I群a類土器(2) · · · · · · 82	第106図	V群土器 108
第81図	☑ I 群 a 類土器(3) · · · · · · 83	第107図	V · VI群土器 · · · · · · · 109
第82図	☑ I群a類土器⑷ ······ 84	第108図	VI・VI群土器 110
第83図	☑ I群a類土器(5) ······85	第109図	縄文時代石器分布図11
第84図	☑ I群a類土器(6) ······86	第110図	石鏃(1)
第85図	☑ Ⅰ群a・b類土器87	第111図	石鏃(2)
第86図	☑ I群b類土器(1) ······88	第112図	石鏃(3)
第87図	I 群 b 類土器(2) · · · · · · 89	第113図	石七117
第88図	Ⅱ I群b類土器(3) ····· 90	第114図	石斧(1) 118
第89図	☑ Ⅱ群土器分布図91	第115図	石斧(2) 119
第90図	〗 Ⅱ群a類土器92	第116図	石斧・装飾品 120
第91図		第117図	石錘・敲石 121
第92図	□ Ⅱ 群 b ・ c 類土器94	第118図	敲石 122
第93区	□ Ⅲ群土器分布図95	第119図	磨石・敲石(1) 123
第94図		第120図	磨石・敲石(2) 124
第95区	〗 Ⅲ群 a 類土器(2) · · · · · · 97	第121図	磨石・敲石(3) 125
第96区		第122図	磨石・敲石・凹石 126
第97区		第123図	磨石・敲石・凹石・石皿 127
第98区		第124図	磨石・敲石・石皿 128
第99区		第125図	中・近世遺構分布図129
第100[第126図	溝状遺構平面・断面図130
第101[第127図	中・近世土坑平面・断面図 131
第102[図 IV群 d 類土器(2) · · · · · · 104		
	1L.		
	挿 表	目次	
表 1	作業工程 3	表8 細	石刃核·細石刃黒耀石原産地一覧表 ···· 48
表 2	東駿河湾環状道路関連遺跡一覧表 4		坑計測表 48
表 3	土坑計測表		創期石器一覧表48
表 4	BBⅡ層石材別遺物一覧表 15		石計測表
表 5	B B I 層石材別遺物一覧表 22		坑計測表 71
表 6	YL下位石材別遺物一覧表 ·········· 27		土跡計測表 73
表 7	YL上位石材別遺物一覧表 ·········· 37		・近世土坑計測表 130
- 、 ・			

第77図 石斧集積遺構 · · · · · · · · 75 第103図 IV群 d 類土器(3) · · · · · · · · 105

写真図版

図版 1	BBⅢ層土坑検出状況		5号集石
	7号土坑検出状況		4号集石
	7号土坑土層断面		8号集石
	6 号土坑土層断面		8号集石
図版 2	第Ⅱ文化層遺物出土状況1	図版14	9号集石
	第Ⅱ文化層遺物出土状況2		9号集石完掘
図版 3	第Ⅲ文化層2・3号石器ブロック		10号集石
	第Ⅲ文化層1号石器ブロック		10号集石完掘
図版 4	第Ⅳ文化層1号礫群		10号燒土跡完掘
	第Ⅳ文化層2号礫群		29号土坑完掘
	第Ⅳ文化層3号礫群	図版15	14号土坑完掘
図版 5	第IV文化層 4 号礫群		中近世土坑
	第V文化層1号礫群		近世溝
	第V文化層2号礫群		近世溝土層断面
	第V文化層 3 号礫群	図版16	第Ⅱ・第Ⅲ文化層出土石器
	YLU層6号土坑		第Ⅱ文化層石核
図版 6	2~5号住居検出状況		第V文化層石核
	2号住居跡	図版17	第N文化層の石器 (YLM~YLL層)
図版 7	3 号住居跡	図版18	第V文化層の石器(YLU層)
	4号住居跡	図版19	細石刃
図版 8	8 号住居跡		細石刃石核
	5 号住居跡		縄文時代草創期槍先形尖頭器
図版 9	6・7号住居跡	図版20	有舌尖頭器
	6 号住居跡石皿出土状況	図版21	1号住居跡埋甕
	9 号住居跡土器出土状況		1号住居跡出土土器
図版10	10号住居跡	図版22	3・9号住居跡出土土器
	9 号住居跡		3号住居跡出土土器
図版11	1 号住居跡遺物出土状況		7号住居跡出土土器
	1 号住居跡柱穴と壁溝	図版23	2・4号住居跡出土土器
	1号住居跡石囲い炉		5号住居跡出土土器
	1号住居跡敷石と埋甕		6 号住居跡出土土器
図版12	ペンダント出土状況		10号住居跡出土土器
	石斧出土状況		7号焼土跡出土土器
	11号燒土跡出土土器	図版24	11号焼土跡出土土器
	1号集石		I群a類土器1
	1号集石完掘	図版25	I群a類土器2
図版13	2号集石	図版26	I群b類土器
	6号集石	図版27	II 群 a 類土器

Ⅱ群b類土器

図版28 Ⅲ群土器

図版29 IV群 a 類土器

IV群a・b類土器

図版30 IV群c類土器

図版31 V群a類土器

V群b類土器

図版32 Ⅵ群土器

図版33 VI群土器

石製装飾品

石錘

敲石

図版34 石鏃

石七・磨製石斧

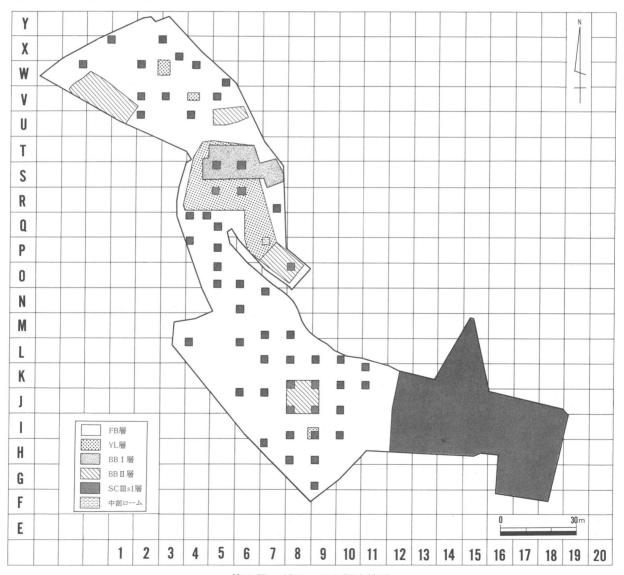
図版35 打製石斧

第 I 章 調査の概要

第1節 調査に至る経緯

東駿河湾環状道路は、沼津市岡宮の第一東名インターチェンジから第二東名長泉ジャンクション、国道246号バイパスを結び、三島市塚原において国道1号線を経由して、熱海函南線に至る全長15kmの高規格幹線道路である。これは伊豆縦貫自動車道の一部として平成元年に基本計画区間が策定され、平成2年に路線予定地域の遺跡確認踏査がおこなわれた。その結果、周知の遺跡を含む42ヵ所が埋蔵文化財包蔵地として報告された。この報告を受け、平成2年より指導機関として静岡県教育委員会文化課、調査機関として静岡県埋蔵文化財調査研究所が記録保存を目的とした発掘調査を開始した。調査を開始して12年目を迎えるに際して、当遺跡を含めて31ヶ所が調査を終了しており、現地調査・資料整理は現在も進行中である。

このような状況の中、鉄平遺跡は平成10年より1次調査を開始し、断続的に現地調査をおこない、平成12年10月に終了した。



第1図 グリッドと調査範囲

第2節 調査の方法

遺跡全体を把握するために、国家座標(X,Y)= (-94400.0、35850.0) 上を (A、1) の原点とし、X軸方向(南一北)をアルファベット、Y軸方向(西一東)に数字を付し遺跡全体に10mの方眼を設定して便宜的なグリッドとした。しかし東駿河湾環状道路内の遺跡を同一座標で管理する必要性から、全ての遺物、遺構に関しては、国家座標(日本測地形 平面直角座標第四系)のX・Y座標と水準値を付して調査をおこなった。本遺跡の報告では、特に旧石器時代の遺物の出土地点についてこの座標値を用いている。

記録作業は、遺構平面図と遺物出土地点図等を光波測距器によって座標データーを観測することによっておこなった。図化作業は㈱シン技術コンサルの遺跡管理システムを用い、これらは座標データーとして保管されている。また、遺物出土状況図や土層図については、グリッド法を用いた手実測によって1/20~1/10の図面を作成した。

写真記録は35mmと6×7版中型カメラを併用し、フィルムはカラーネガ、白黒、リバーサルを用いた。

第3節 調査の経過

1区の1次調査は平成10年の8~9月に池田B遺跡の1次調査とともにおこなった。20m四方のグリッドに対して、 3×3 mのテストピットを2ヶ所設定して調査したところ、第 \square スコリア層において直径約1mの円形土坑を検出した。これを受けて同年10月から池田B遺跡の2次調査と並行して、この土坑の調査を開始した。その結果箱根西麓で発見されているものと同じように列をなして掘られている可能性が強くなり、その列の先端が未買収地に延びていたため、平成10年度の調査はここで終了し、地形測量をおこなって作業を終了した。

2区の1次調査は、平成12年2~3月におこなった。尾根の頂部に立地する池田 B遺跡と当遺跡の間は緩やかに傾斜しており、表土採集によって縄文時代中期の土器を拾うことができたが、テストピットによって調査したところ、畑の攪乱によって中期の包含層は破壊され、平坦地に早期の包含層を確認した。また、遺跡の西側には深い谷が入るが後世の改変によって垂直に切り取られ遺物を検出することはできなかった。

この結果を受け、平成12年4月より2区の2次調査を開始した。当初廃土処理の必要性から調査区の中央に走る舗装道を境に東側(2-A区)の調査から開始した。4月中旬、重機による表土除去をおこなったところ、富士黒土層に掘りこまれた埋甕を発見、周辺の精査によって縄文時代中期後半の敷石住居を検出した。機械による耕作によって敷石の大半は失われていたが、柱穴と住居のプランを確認した。丘陵の平坦地では、早期末から前期初頭の住居跡や遺物が多数検出された。このため当初残す予定だった私道の下の調査もおこなった。この結果、尾根の頂部に1列に並ぶ住居が9基検出された。この2-A区

の調査と並行し、工事用道路整備の関連で1区南側の調査を開始した。一部縄文時代の包含層が残っており、集石11基と石斧の埋納遺構を検出した。縄文時代の調査終了後下層の調査をテストピットによっておこなったが、遺物の検出は見なかった。BBⅢ層の土坑検出のため、引き続いて重機による中間層除去を5月下旬よりおこなった。精査の結果土坑が3基検出された。平成10年の調査結果とあわせると7基になり、尾根を横断するように配置していたため地形測量を実施して調査を終了した。

2-B区の調査は9月より着手した。尾根頂部に早期末の遺構が検出されたが、大半は早期前半の撚糸 文系の土器群となり、遺構も集石が中心となった。旧石器時代の調査は遺物の検出されたテストピット の周辺を重機で掘り下げる方法をとった。この結果休場層、第 I 黒色帯、第 II 黒色帯で石器ブロックを 検出した。10月下旬、全ての掘削作業を終了して現地の埋め戻しをおこなった。

表 1 作業工程

		平成10年 平成11年				平成12年						平成14年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
1区	1次記	周査	2次	調査												
2区							1次	調査			22	欠調了	Ž.			
資料 整理		基础	整理	CONTRACTOR OF THE PARTY.				基	礎整	理		• • • • •				









作業風景

表 2 東駿河湾環状道路関連遺跡一覧表

整理番号	市町村 整理番号	遺跡名	内容	報告書			
沼津	市						
1	4	上松沢平	縄文早期前半集落	資料整理中			
2	3	虎杖原1号墳	終末期古墳	資料整理中			
3	2	寺林	旧石器時代(YL層)石器群	資料整理中			
4	1	丸尾北	調査予定(縄文草創期~中期後半)				
長泉	T)						
6	54	桜畑上	調査予定(旧石器~縄文時代)				
9	37	池田B	縄文早期末~前期初頭集落	2000「池田B遺跡」			
10	38	鉄平	縄文早期末~前期初頭集落、BBⅢ層土抗群	2002「鉄平遺跡」			
		大平 (1期)	中世土抗墓•集石墓	1998「大平遺跡」			
11	48	(2期)	中世土抗墓·集石墓、弥生前期末住居跡	2001「大平遺跡Ⅱ」			
		(3期)	調査予定				
三島市	ħ		A				
14	2	北ノ入A	縄文中期前半集落	1999「北ノ入A遺跡」			
16	4	長兵衛平	縄文	1998「長兵衛平遺跡」			
17	5	.1. Stda	縄文早期後半包含層、中期前半集落	1998「小池遺跡」			
18	6	小池	超义平别传十己古唐、中别们十来俗	TOO GIENERAL			
19	7	徳倉B	縄文早期後半~中期前半	1998「徳倉B遺跡」			
20	8	上ノ池	旧石器(YL,BB0,BBI,BBII,BBIII層)石器群	1998「上ノ池遺跡」			
22	10	八田原	押型文系土器、BBⅢ層土抗群	1997「八田原遺跡」			
23	11	加茂ノ洞B	BBⅢ層土抗群	1996「加茂ノ洞B遺跡」			
27	15	焼場	鎌倉古道、縄文早期後半(東海系)~前期	1994「焼場遺跡(A地点)」、1996「焼場遺跡(B地点)・五百司遺跡」			
28	16	res		1995「下原遺跡 I」、1996「下原遺跡			
29	17	下原	旧石器(YL層)石器群、 BBⅢ層土抗群	Ⅱ」、1998「下原遺跡Ⅲ」			
30	18	押出シ	縄文中期後半集落	1999「押シ出遺跡(遺構編)」、 2000「押シ出遺跡(遺物編)」			
31	19	生茨沢	後期古墳、BBIV~VII層石器群	1999「生茨沢遺跡」			
32	20	中峰	旧石器時代	1998「中峰遺跡」			
33	21	桧林A	縄文草創期石槍・有舌尖頭器	1998「桧林A遺跡」			
38	26	田頭山	調査中 古墳群				
39	27	大明神洞	調査予定				
40	28	長命洞B	調査予定				
41	29	大場向山B	調査予定				

第Ⅱ章 遺跡の概要

第1節 地理的·歷史的環境

鉄平遺跡は愛鷹山南東麓の静岡県駿東郡長泉町、池田B遺跡の南東部に位置する。隣接する西側の尾根には、上野E遺跡や茶木畑遺跡などがある。

長泉町は東を三島市、西を沼津市、南北を駿東郡清水町・裾野市に接しており、南東に細長い町である。また河川が多い町で、桃沢川は位牌岳中腹の渓流から南東方向へ、梅ノ木沢川は愛鷹山池の平東方の標高700m付近に源をもち裾野市との境界を流れる。両川とも黄瀬川に合流し愛鷹山の裾部を横切るように流れ狩野川に至る。そして三島市との境界を境川が流れている。これらの川によって作られた扇状地と愛鷹山裾部の丘陵地とで町は形成されている。

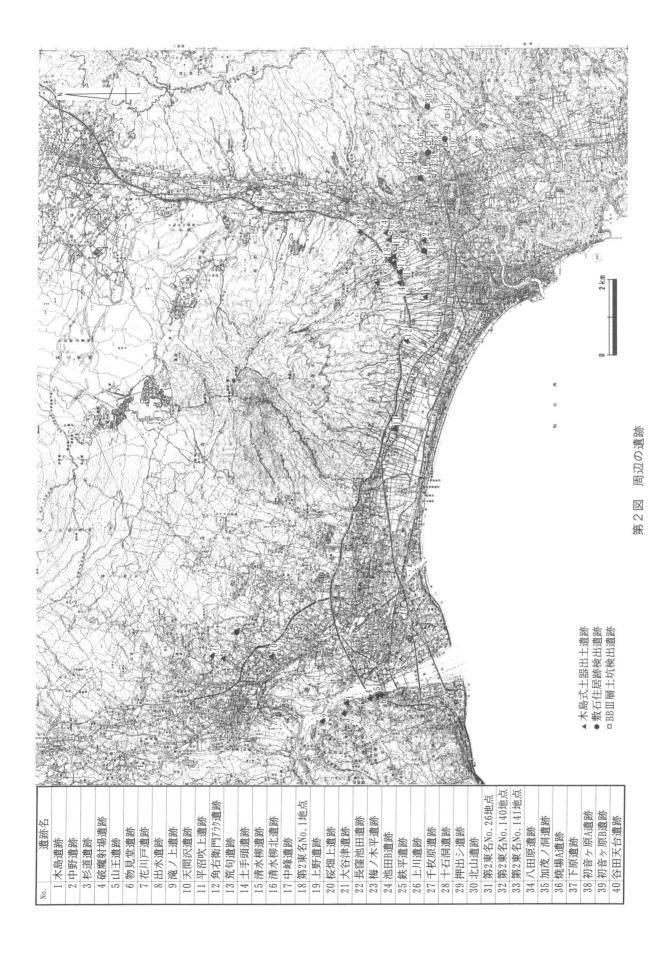
愛鷹山は、小御岳、箱根山とともに数十万年前に噴火を開始し、その後約10万年前にその活動を停止した。そして約8万年前には小御岳を覆うように出現した古富士火山が噴火を始め、溶岩や泥流を大量に噴出した。古富士時代からの多量の火山灰は偏西風にのり神奈川・東京・千葉方面にまで飛散し、厚い所では10m程のローム層を形成した。愛鷹ローム層は、上部・中部・下部ローム層に分かれている。このローム層が堆積した愛鷹山麓の裾部は、比較的平坦で西は富士川、東は裾野市まで広がっており昔から人々の生活条件に適していた為、上部ローム層を主として旧石器時代〜縄文時代の数多くの遺跡が存在している。

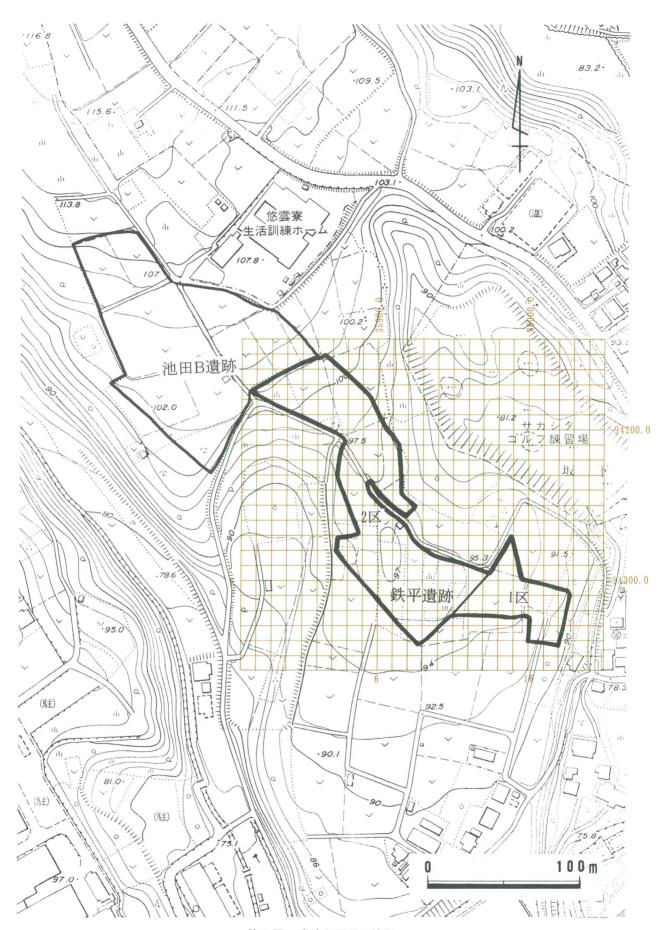
鉄平遺跡の遺跡範囲は緩やかな傾斜をもつ幅広い下長窪字鉄平の尾根に位置しているが、今回調査対象となった範囲は幅約50m、北西から南東へ約200m、標高100m程の細長い調査区である。調査区の北端部はやや急な斜面地だが、南に向かうほど緩やかな傾斜となる。尾根の頂部では、縄文時代早期末~前期初頭の木島式土器を伴う住居跡が9基と、調査区北側の斜面地で縄文時代中期後半の敷石住居跡が1基検出された。

縄文時代早期末~前期初頭、木島式期の遺構が検出された遺跡は、木島式土器標式遺跡の富士川町木島遺跡をはじめ、沼津市清水柳北遺跡・平沼吹上遺跡、長泉町梅ノ木平遺跡、裾野市上川遺跡などがある。これらの遺跡から木島式土器と共伴した隆帯文系土器は、下吉井式土器・神之木台式土器である。また資料整理中の第2東名長泉工区No.1地点でも住居跡の覆土から木島式土器が出土している。その他、包含層から木島式土器が出土した遺跡は、富士川町物見堂遺跡・山王遺跡、富士市天間沢遺跡・花川戸遺跡、富士宮市出水遺跡、沼津市土手頭遺跡・荒句遺跡、長泉町中峰遺跡・上野E遺跡・桜畑遺跡などがある。これらの遺跡からも神之木台式・下吉井式土器が木島式土器と共に検出されている。なお、鉄平遺跡の北西に隣接する池田B遺跡では11基中10基の住居跡が下吉井式期のものであるが、東海系の土器は包含層から木島式土器が数点出土したのみであった。

また同時期の石器組成の特徴として石錘の出土数は石鏃・磨石などに比べ少ないのだが、平沼吹上遺跡と土手頭遺跡(詳細不明)では、石器全体の約50%を占めるほどの出土が報告されている。特に平沼吹上遺跡では木島式期の遺構数から考えても石錘の出土数は突出しており、1軒の住居跡からは35点もの石錘が出土している。しかし、その他の周辺遺跡からはこのような報告はなく、鉄平遺跡でも石錘は3点のみの出土となり同時期の石器組成と同様な結果となった。なお、池田B遺跡では鉄平遺跡の出土数を上回る約40点の石錘が住居跡などの遺構が多く分布する調査区南側を中心に出土している。

縄文時代中期後半の敷石住居跡が検出された遺跡は、富士宮市滝ノ上遺跡、沼津市大谷津遺跡、三島市北山遺跡・千枚原遺跡・十石洞遺跡・押出シ遺跡などがある。





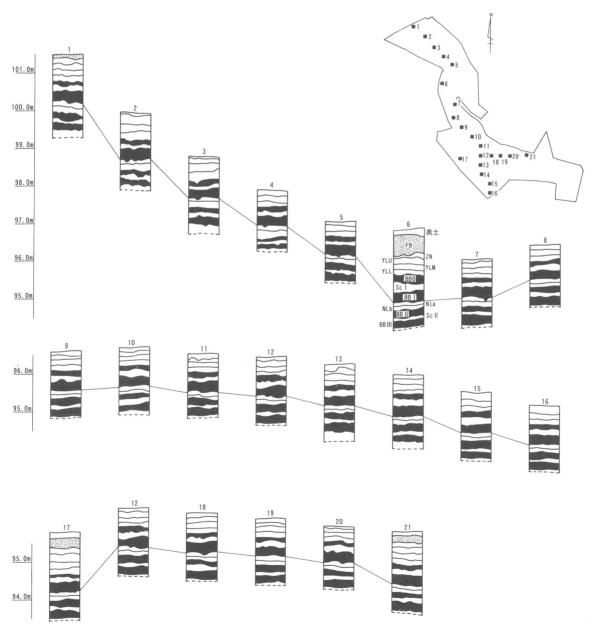
第3図 遺跡と周辺の地形

第2節 基本土層と遺跡の土層堆積

1. 概観

愛鷹山麓のローム層は、堆積順に下部ローム層・中部ローム層・上部ローム層に分けられる。上部ローム層は関東ローム層の立川ロームに相当し、火山砕屑物が堆積したスコリア層と火山噴火の休止期に植物が繁殖・腐食などの影響により黒色化が進んだ黒色帯との互層から成っている。

今調査範囲は北西から南東に細長い調査区で、その中央部を尾根の頂部が南北に走っている。第4図で示したように、北端部から調査区中心部まではやや急傾斜で、中心部から南端部は緩傾斜地である。 発掘調査以前は畑作が行われており、所々にその影響を受けており北半分の残りは悪かったが、その他の土層堆積状況は良好だった。



第4図 土層堆積状況

	<柱状図>		<層	名)	>			<色 調>
<u>0</u> m	V V V	1	表土					
		2	新規スコリア		新規SC			5YR4/3
		3	暗褐色土		Ku層相当			5YR4/4
		4	富士黒土層		FB		• 🗆	5YR4/2
1	and the Manney of the Control of	5	漸移層		Zn			7.5YR4/4
		6	休場層上位		YLU		A	7.5YR6/6
		7	休場層中位		YLM	}	<u>.</u>	7.5YR6/8
		8	休場層下位 休場層直下黒色帯		YLL BB0	J		7.5YR5/6 7.5YR5/8
		10	第Iスコリア層		SC I			7.5YR4/6
		11	第I黒色帯		BB I		A	7.5YR3/2
		12	ニセロームa		NLa			5YR5/8
		13	ニセロームb		NLb			7.5YR5/6
		14	第Ⅱ黒色帯		BB II		A :	7.5YR5/8
		15	第Ⅱスコリア層		SC II		0 :	5YR3/4
		16	第Ⅲ黒色帯		BBⅢ		:	5YR3/2
		17	第Ⅲスコリア帯スコリア1		SC∭s1		:	5YR4/4
		18	第Ⅲスコリア帯黒色帯1		SC∭b1		:	5YR4/6
		19	第Ⅲスコリア帯(スコリフ	7)			:	5YR4/4
3		20	第Ⅲスコリア帯 (黒色帯)				:	7.5YR4/4
_		21	第Ⅲスコリア帯スコリア4		SCⅢs4		:	5YR4/4
		22	スコリア質土		DDW DDW	1 TH //	:	7.5YR4/4
		23	スコリア質土		BBIV~BBVII層	相当		7.5YR4/6
		24	ローム質土				:	7.5YR4/6
4		25	ローム質土		● 住居跡 □ 集石 ▲ 石器ブロ ○ 土坑	ュック		7.5YR4/6
							:	

第5図 土層柱状図 (1/20)

2. 基本土層と遺構・遺物

1層は耕作土である。2層は新規スコリア層で白色パミス・オレンジスコリアを含む。遺物は確認されなかったが、新規スコリア層を切るように中近世の土坑・溝が検出された。3層は暗褐色土であるが栗色土層相当であると考えられる。オレンジスコリア・上半部に白色パミスを含む。

4層は富士黒土層である。直径3~5mmのオレンジスコリアを含み、粘性は下半部に向かい強くなる。暗褐色土が落ち込んだ状態で、縄文時代中期後半の住居跡が検出された。また縄文時代早期末~前期初頭の遺物包含層となる。5層は漸移層で漸移的に4層から変化している。ロームのパッチを含み層境は波状を呈する。富士黒土層が落ち込み縄文時代早期末~前期初頭にかけての遺構が検出された。

 $6\sim8$ 層は休場層で、上位からYLU・YLM・YLL層に分層できる。YLU層は粘性が強く、やや退色した感じである。YLM層は、直径 $3\sim5$ mmのオレンジ・茶色スコリアを含む。YLL層は、直径 $3\sim5$ mmの赤色・オレンジスコリアを多く含む。この休場層からは、旧石器時代の礫群・石器ブロックを検出した。

9層は休場層直下黒色帯で、直径5~8mmの赤色・オレンジスコリアを含み黒色の発色が大変弱い。 10層は第Iスコリア層で、黄・黒・赤色スコリアのブロックを含む。11層は第I黒色帯で、上半部に赤色スコリアが集中する。発色は大変良く、遠目からでも確認できる。石器ブロックを検出した。

 $12\sim13$ 層はニセローム層で上位から $a\cdot b$ 層に分層できる。NL a 層は、直径 $1\sim5$ mmの黒色スコリア・直径 1 mmの赤色スコリアの集積層である。NL b 層は、a 層に比べてスコリアの含有量が減りローム質になる。 $a\cdot b$ 層の層境には、姶良丹沢火山灰がパッチ状に含まれている。

14層は第II 黒色帯で、NL b 層から漸移的に変化する。15層は、第II スコリア層で、直径 8~15mmの赤色スコリアをブロック状に含む。14・15層の発色は、大変弱い。石器ブロックを検出した。

16層は第Ⅲ黒色帯で、直径8~20mmの赤色スコリアを含みクラックが入りやすい。また発色は大変良く、第Ⅰ黒色帯と共にはっきりと確認できる。

 $17\sim21$ 層までは、第 \square スコリア帯で s 1 層は、直径 $2\sim3$ mmの赤色スコリアを多量に含み、直径 $5\sim8$ mmの黒色スコリアを含む。 b 1 層は s 1 層と類似するが、スコリアの含有量が減り青白色岩片を含む。 s 4 層は、非常に固い赤・黒色スコリア塊である。 s 1 層上面で第 \square 黒色帯の土坑が確認される。

22・23層はスコリア質土で、22層はSCⅢ b 1層に類似している。23層は22層と類似しているが、所々にスコリア塊を含み土色はやや明るい。

 $24 \cdot 25$ 層はローム質土で、24層は直径 $8 \sim 18$ mmの茶・黒色スコリアを少量含み、直径 $5 \sim 10$ mmのオレンジスコリアを含む。25層は直径 $2 \sim 3$ mmの赤色スコリアを含み、24層より粘性が強くなる。第III 黒色帯の土坑は、25層よりも下部のペアスコリア付近まで掘りこまれている。

また、第Ⅲスコリア帯下に愛鷹南麓では第Ⅳ黒色帯~第Ⅷ黒色帯が確認されるのが通常だが、当遺跡では黒色帯の発色が悪く、層厚も薄いため分層が不可能であった。

引用・参考文献

県史編さん室 1990 「静岡県史 資料編1 考古」静岡県教育委員会

長泉郷土誌編集委員会 1965 「長泉町郷土誌」長泉町教育委員会

渋谷昌彦他 1981 「木島」 富士川町教育委員会

池谷信之他 1985 「平沼吹上遺跡発掘調査報告書」 沼津市文化財調査報告書 第36集

池谷信之他 1997 「土手上遺跡 (d·e 区-1) 発掘調査報告書」 沼津市文化財調査報告書 第63集

関野哲夫他 1989 「清水柳北遺跡発掘調査報告書 その1」 沼津市文化財調査報告書 第47集

青木玲二他 1996 「富士山 自然から文化史まで」

第Ⅲ章 旧石器時代の遺構と遺物

概要

旧石器時代の遺構は、第Ⅲ黒色帯、第Ⅱ黒色帯、第Ⅰ黒色帯、休場層で検出されている。第Ⅲ黒色帯 (第Ⅰ文化層)では土坑が7基検出された。第Ⅱ黒色帯(第Ⅱ文化層)では、2基の石器ブロック、第 Ⅰ黒色帯(第Ⅲ文化層)では3基の石器ブロックが検出されている。また休場層からはYLL層を中心 としてナイフ形石器を中心とした文化層(第Ⅳ文化層)、槍先形尖頭器を中心とした文化層(第Ⅴ文化層) が検出された。富士黒土層からは細石刃も出土している(第Ⅵ文化層)。

これらの6文化層から出土した遺物は、黒耀石については蛍光X線による産地同定をおこない、遺物数が多い、第III、IV、V文化層については個体別分類作業をおこなった。ホルンフェルスについては風化が著しいために個体別分類はおこなっていない。

個体別分類は肉眼、あるいは20倍の実体顕微鏡下で、色調や含有物、光沢などの項目にそって分類した。詳細は附表4に表記した。

第1節 第Ⅲ黒色帯 (第1文化層) の遺構

第Ⅲ黒色帯では、土坑が7基検出されている。検出面は第Ⅲスコリア帯内であるが、他遺跡の調査例や、土坑内堆積土の最上部に第Ⅱスコリア層が自然堆積として観察できることから、掘り込み面は第Ⅲ 黒色帯内にあるものと考えられる。調査は、テストピットによって上層の遺物が存在しないことを確認したのち、重機で第Ⅲスコリア帯スコリア1まで掘り下げて遺構の検出をおこなった。なお、調査区外の道路建設予定地については、対象面積に対して約10%の確認調査をおこない、遺構の有無を確認している。

これらの土坑は、開口部の直径が約1mの円形を呈し、底部に向かってやや狭くなる断面ラッパ形で、深さ約1.5mを測る。ただし上半部径が下半より大きくなるのは、開口時の壁の崩落によるものが多いと考えられ、掘削直後はやや上半が広がる円柱形を呈していたと予想できる。各土坑の法量と特記事項については表3で示す。

土坑内の覆土は、自然堆積の状況を示しており、土坑壁の崩落と第皿黒色帯相当層の流入土の混土と考えられる。標準堆積層とともに截ち割りを行った $3\cdot 6\cdot 7$ 号土坑の土層観察では、第皿スコリア帯下ローム層の土坑壁に縦方向のクラックが多数観察された。長期間、開口状態にあったため自然環境の影響で土坑壁にクラックが入ったと考えられる。また7 基全ての土坑の底部は2 枚目のペアスコリア層で止まっており、 $7\cdot 8$ 号土坑の底部には、粒子の細かなスコリアや粘性土の堆積が確認された。これは、第皿スコリア帯以下のローム層(当遺跡では以下の黒色帯、スコリア層は検出されていない)の排水作用が悪いため一定の期間滞水状態にあったことを示す。

検出された7基の土坑は、個体差が少なく、規模や形態が類似する。また、尾根の端部に列をなして作られている。これらの特徴は、他の遺跡においても指摘されている。現在までに、この土坑が初めて調査された初音ヶ原遺跡を筆頭に、焼場遺跡、下原遺跡、加茂ノ洞B遺跡、八田原遺跡など箱根西麓を中心として同期の土坑の事例が報告され、箱根山麓特有の遺構として注意されてきた。しかし、当遺跡や資料整理途中ではあるが第2東名関連遺跡(沼津市、長泉町)で新しい調査例が増え、土坑が愛鷹山麓にも広がっていることが確実になってきた。いずれも単体ではなく、複数あるいは列をなして作られているのが特徴で、数は全遺跡を通して100基を超える。中でも初音ヶ原遺跡では56基が検出され、調査

者は尾根を横断する4本の列を想定している。

各遺跡の土坑は深さや平面形の直径に若干の違いはあるものの、その差異は遺跡ごとの特徴としてとらえられることはなく、全ての土坑が初音ヶ原遺跡の偏差の中に吸収される。また、初音ヶ原遺跡や加茂ノ洞B遺跡のように個々の土坑が近接して作られている遺跡の中でも、遺構同士の切り合い関係や人為的な埋め戻しの例は認められない。そして前後する時期や、神奈川などの周辺地域に同様の遺構が検出されないことは、非常に規格性の高いものが、短期間にこの愛鷹・箱根山麓に集中して作られたことを示している。

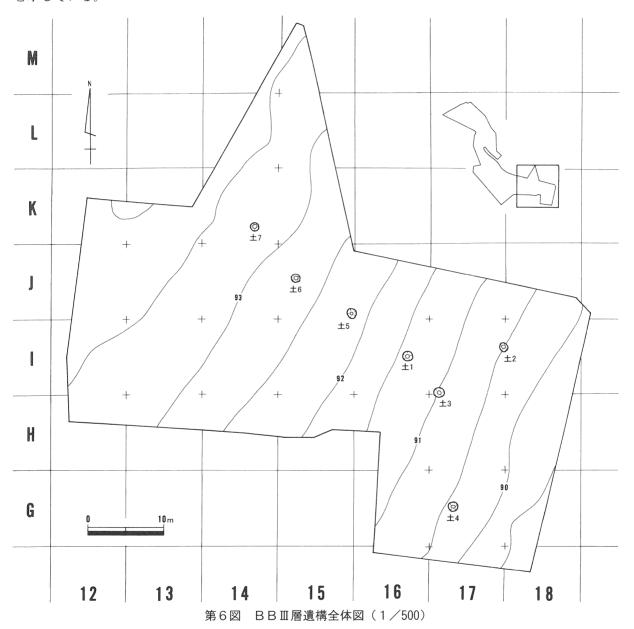
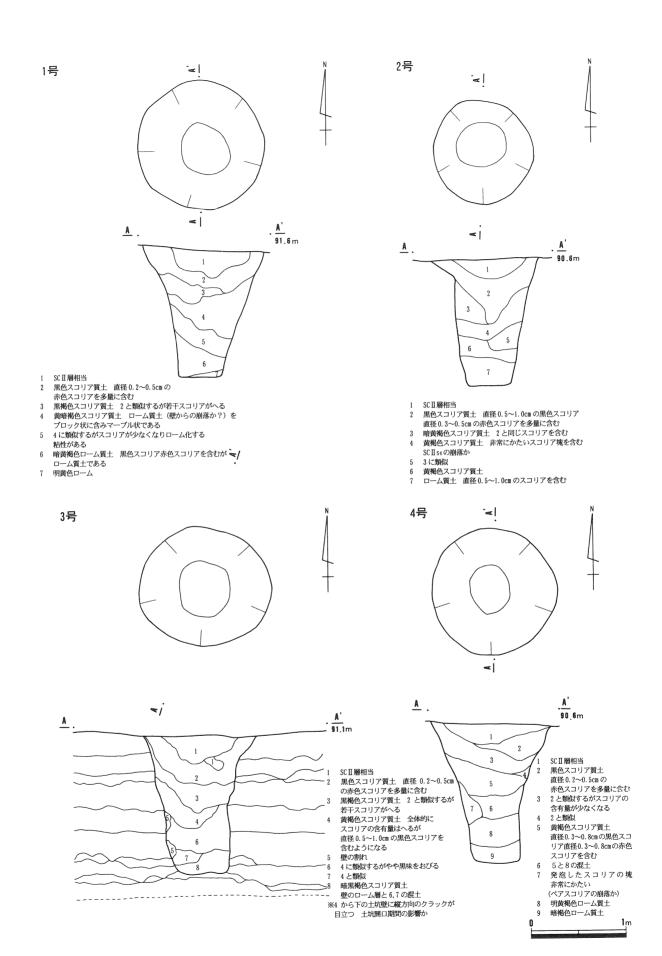
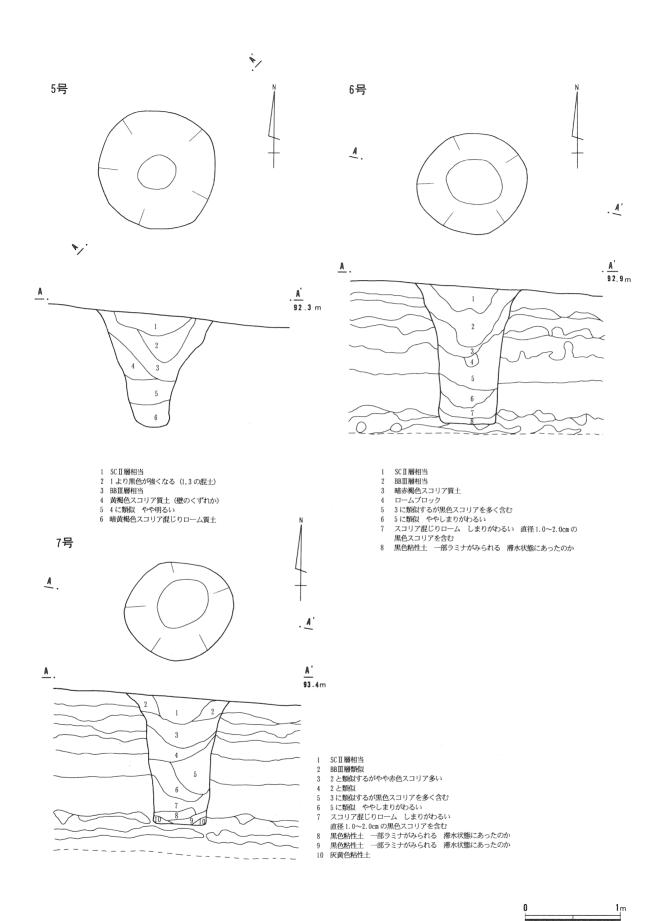


表 3 土坑計測表

土坑番号	最大径(m)	最大深(m)	備考
1 号	1. 36	1. 34	
2 号	1.08	1. 32	
3 号	1.39	1. 51	下半部土坑壁にクラック多
4 号	1.34	1.46	
5 号	1. 28	1. 19	
6 号	1.16	1. 53	底部に粘性土堆積
7 号	1. 14	1. 35	底部に粘性土堆積



第7図 土坑平面・断面図(1)



第8図 土坑平面・断面図(2)

第2節 第Ⅱ黒色帯 (第Ⅱ文化層) の遺構と遺物

第Ⅱ黒色帯上面、〇8グリッドを中心として石器ブロックを1基検出した。使用痕のある剥片2点を含んだ剥片・砕片7点からなり、約10m四方に散漫な分布を示す。石材はホルンフェルスとガラス質黒色安山岩、柏峠産の黒耀石で接合関係はない。この外にガラス質黒色安山岩の石核1点が出土したため、周囲を拡張して調査したが、この外に遺物は検出されなかった。

1と2は使用痕のある不定形な縦長剥片である。剥片の長軸方向の縁辺部に微細な剥離痕が観察される。3はガラス質黒色安山岩の角礫を用いた石核である。素材の平坦面に剥離を加えて打面とし、不定形な剥片を削出したもので、90度の打面転移をおこなっている。

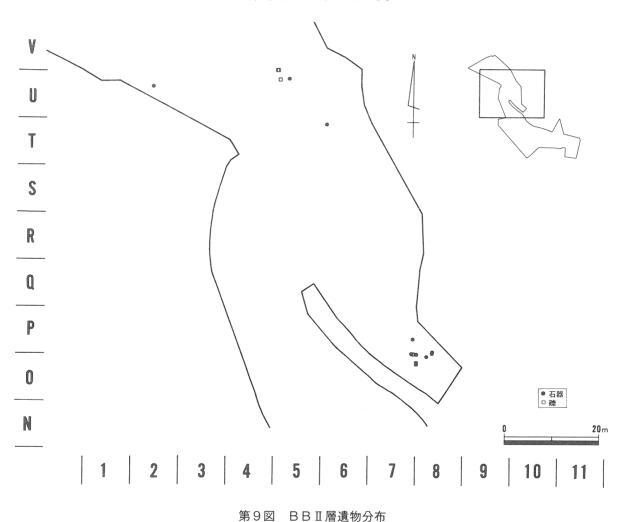
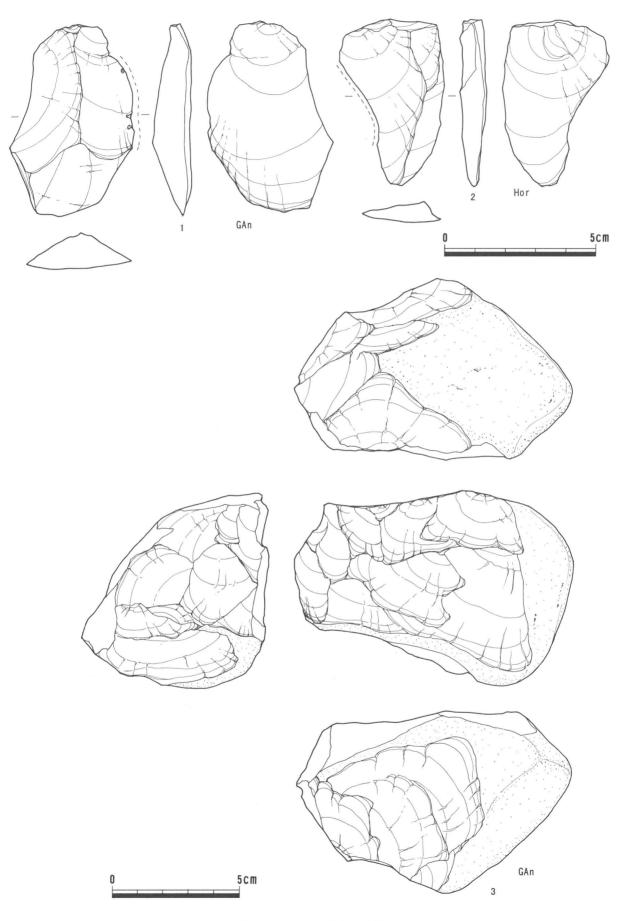


表4 BBⅡ層石材別遺物一覧表

	黒耀石 AGKT	ガラス質安山岩	ホルンフェルス	合計
石核		1		1
フレイク	1	2	3	6
チップ	1		2	3
合計	2	3	5	10



第10図 BBⅡ層出土遺物

第3節 第Ⅰ黒色帯 (第Ⅲ文化層) の遺構と遺物

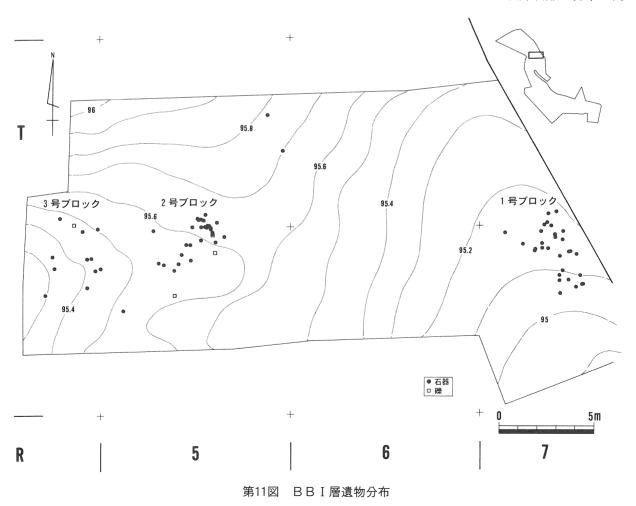
調査区中央部で3基の石器ブロックが検出された。現地は斜面から平坦地へ移る地形の変換点にあたり、尾根幅が最短になる。層位的には第 I 黒色帯下部からニセローム上面にかけての出土である。調査はテストピットを設定し、遺物が検出された範囲を拡張調査する方法をとった。

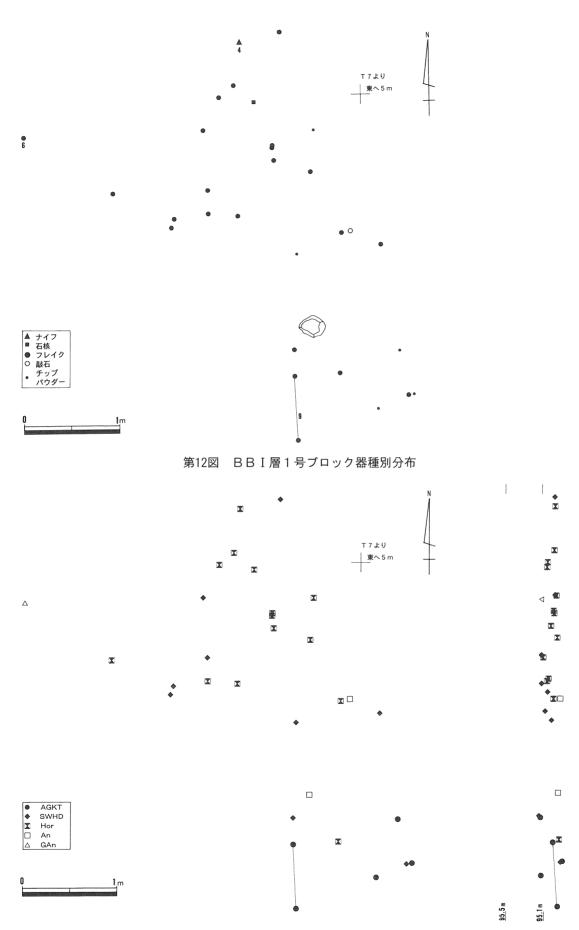
< 1号石器ブロック>

30点の石器からなる。ホルンフェルスの剥片を中心にした石器ブロックで、安山岩の磨石と敲石を中心に分布する。比較的大型の剥片が分布しており、石核も検出されていることから、剥片剥離作業をおこなったものと考えられる。ただし風化が著しく、剥離面や使用痕の観察が不可能なため個々の石器に対する詳細な記述は不可能である。この他に黒耀石製(5)とホルンフェルス製(4)のナイフ形石器各1点が出土した。5は蓼科産の黒耀石を用いており、打点側を先端部に配して二側縁にブランティングを施したものである。先端部が欠損している。4も同じく打点側を先端部に配した二側縁加工のもので、基本的に素材剥片の用い方や調整方法は類似している。この他に拳大の礫を素材としたホルンフェルス製の石核が出土したが、風化が著しく図化していない。原礫面を打面として剥片を剥離していると考えられる。

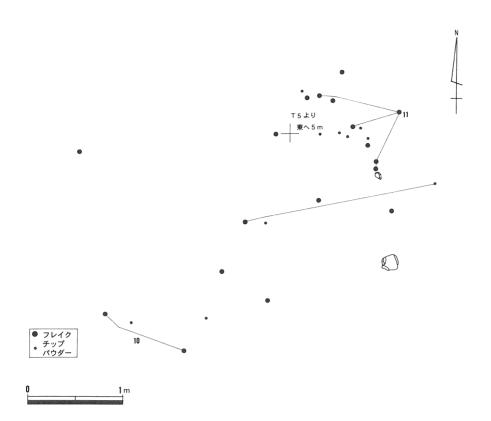
<2号石器ブロック>

29点の石器からなる。天城柏峠産の黒耀石の剥片・砕片とホルンフェルスの剥片が中心で、ブロックの南側に台石が検出された。黒耀石の接合資料として9~11を図示した。9、10は剥片剥離の打撃の衝

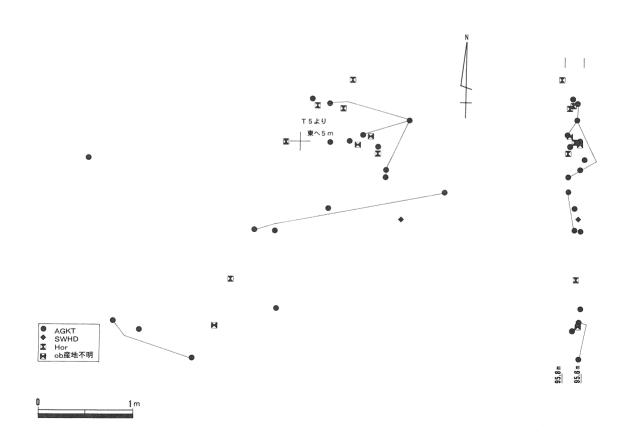




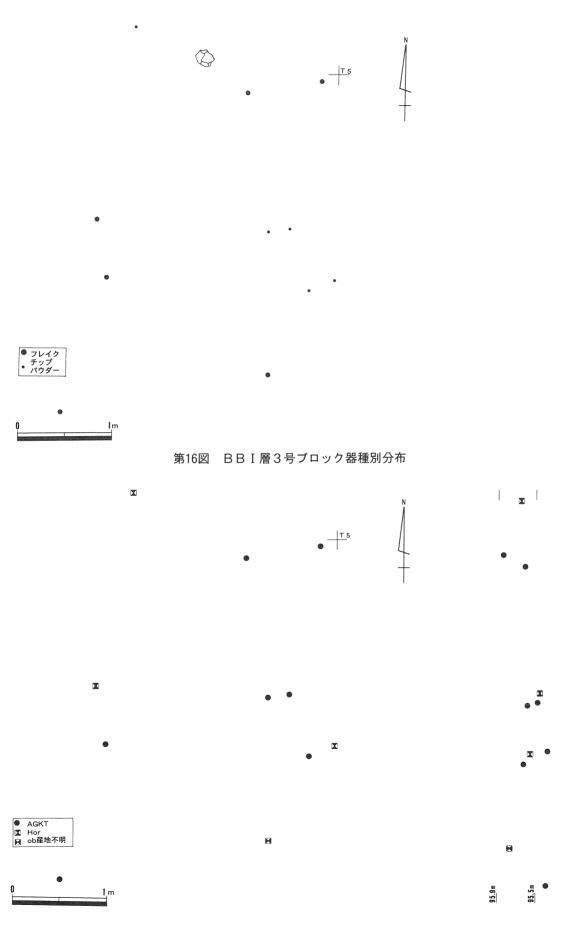
第13図 BBI層1号ブロック石材別分布



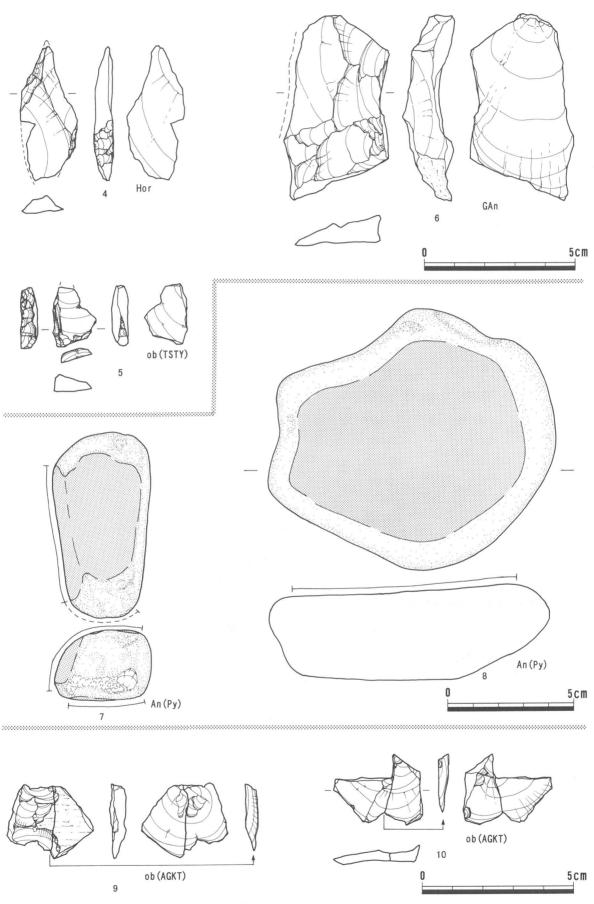
第14図 BBI層2号ブロック器種別分布



第15図 BBI層2号ブロック石材別分布



第17図 BBI層3号ブロック石材別分布



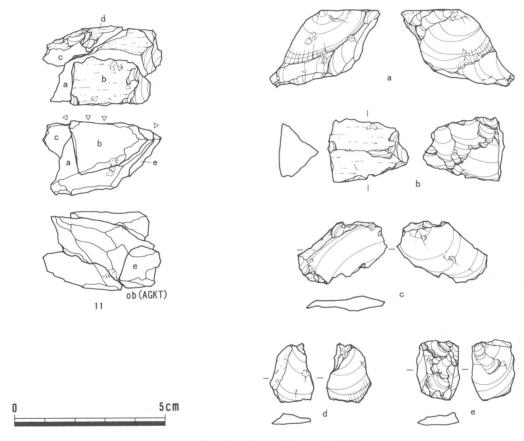
第18図 BBI層出土遺物(1)

撃による折れである。11は柏峠産の黒耀石の原礫面を打面として不定形な剥片を剥離しているもので、石材は不純物を多く含み粗悪である。

<3号石器ブロック>

11点の石器からなる。散漫な分布を示し、天城柏峠産の黒耀石の剥片・砕片とホルンフェルスの剥片が含まれる。

これら3基のブロック間では遺物の接合関係はなかったが、2号ブロックと3号ブロックはその組成内容と分布の状況、また地形的に西側に緩やかに傾斜していることから、一つの石器ブロックとして理解することができる。



第19図 BBI層出土遺物(2)

表5 BBI層石材別遺物一覧表

		黒耀石																				
	A G K T 1	A G K T 2	A G K T 3	A G K T 4	A G K T 5	A G K T	A G K T 7	A G K T 8	A G K T 9	A G K T 10	A G K T	S W H D	S W H D	S W H D	S W H D	S W H D	T S T Y	測定不可	ガラス質安山岩	ホルンフェルス	輝石安山岩	合計
ナイフ																	1			1		2
敲石・磨石																					2	2
Uフレイク																			1			1
フレイク	1	6	1	3	1	2	1	2		2		2	4	1	1	1		1	1	20		50
チップ		4				1	1		3	1	2	1						1		3		17
パウダー	120	1	1 2 1			1				1								1				4
合計	1	11	1	3	1	4	2	2	3	4	2	3	4	1	1	1	1	3	2	24	2	76

第4節 休場層下位(第Ⅳ文化層)の遺構と遺物

6基の礫群が検出された。礫の底部垂直分布はYLM~YLL層にかけてだが、石器はYLU層下部~BB0層上部にかけて出土している。遺物の出土状況は非常に散漫な分布を示し、調査区全体を見ると礫群とほぼ重なるが、遺物の集中地点(石器ブロック)を作らない傾向がある。また、出土した遺物はナイフ形石器が中心で、剥片や砕片を殆ど含まない。ナイフ形石器の石材は信州産の黒耀石で、個体別分類の結果、一個体一遺物という状況が判明した。よってここでは遺構として礫群を扱った後、各遺物について述べる。

1. 礫群

1号礫群は18点の赤化した礫からなる。散漫に分布しており、接合関係はない。分布範囲よりナイフ 形石器が1点出土している。

2号礫群は39点の赤化した礫からなる。やや集中して検出されており、垂直レベルもそろっている。 礫群内で接合関係があり、接合資料が3号礫群付近まで移動している。割れ面が赤化していることから、 繰り返し使用されたものと考えられる。3号礫群は8点の赤化した礫からなる。

4号礫群は31点の赤化した礫からなる。散漫に分布しているが、分布範囲内で接合関係があることから、集合していたものが拡散したと考えられる。これら2~3号礫群は集中して出土しており、垂直分布もまとまっていることから同時期のものと考えることができる。

- 5号礫群は19点の非赤化礫と27点の赤化礫からなる。細かな礫片が多いが、接合関係はない。
- 6号礫群は10点の赤化した礫からなる。接合関係はなく、散漫な分布を示す。

2. 出土遺物

出土遺物はナイフ形石器18点、削器2点、石刃・縦長剥片2点のほか剥片類が12点である。

サイフ形石器は12~29が該当する。12~15、17~20は二側加工のナイフ形石器である。星ヶ台産の黒耀石の石刃を素材として、素材の打点側を基部として用いたものである。先端部は欠損している。13は和田峠産の黒耀石を素材としており、打点側を基部として用いる。基部の加工はバルブを取り去るように行われているが、球顆の影響で不充分である。先端部欠損。14は和田峠産の黒耀石の石刃を素材としており、打点側を先端部に置き、側縁のブランティングでバルブを取り去る。基部裏面には平坦な剥離が加えられる。17は星ヶ台産の黒耀石の厚めの剥片を素材として、基部、側辺とともに裏面に平坦な剥離を加えるものである。ブランティング部分を打面として裏面を調整し、改めてブランティングの一部を調整している。18~20は小さめの縦長剥片を素材としており、素材の打点側を先端部に用いている18、20は、基部の裏面に平坦な加工を加える。

16、21、22は基部と先端部に加工のあるものである。16は縦長の剥片の打点側を基部として用いているもので、素材剥片の縦軸がナイフの軸と同一になる。21、22は素材剥片を逆位に用い、バルブを除去して先端部をつくりだしたものである。

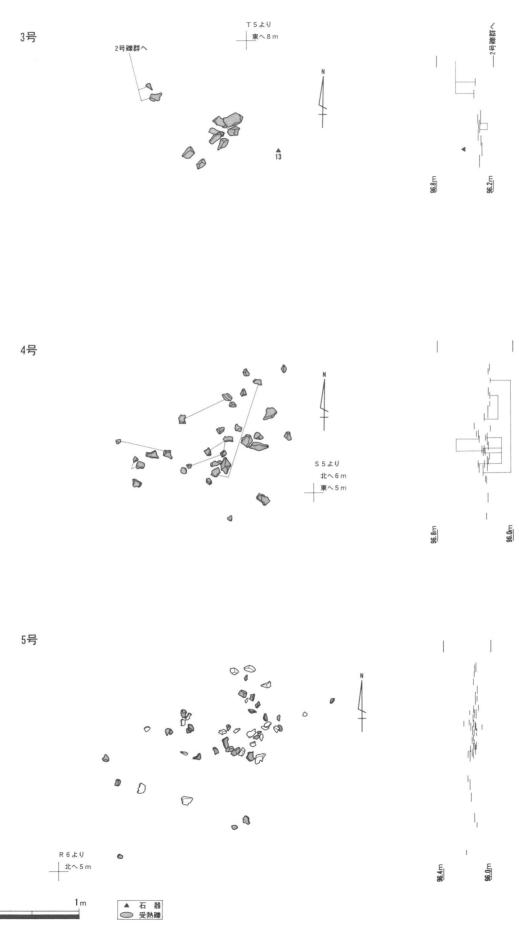
23は石刃を素材とし、先端部を加工、基部は折り取られている。背面に原礫面を残す。24~28は欠損品である。27は上部が欠損したあと、折損部分に調整が加えられている。

29は剥片の末端部と打点部を折り取って作った台形石器で、基部は発掘時の欠損で不明だが、平坦な 剥離が施されているようである。背面には節理面が大きく残り、刃部には使用によるものと考えられる 微細な剥離が観察される。





第21図 YL下位礫群平面・垂直分布(1)

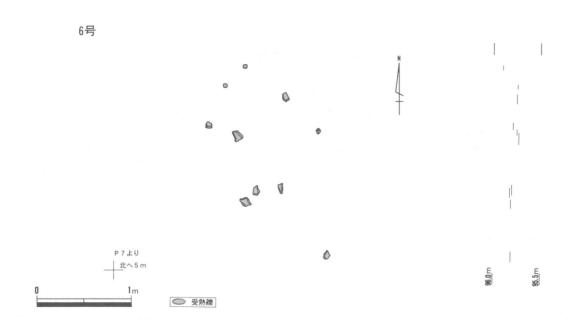


第22図 YL下位礫群平面・垂直分布(2)

30は剥片の縁辺部に抉入状の加工を施した削器である。31は分厚いチャートの剥片を用いてその鋭利な縁辺部に細かな剥離を連続して加えたものである。

32はホルンフェルス製の石刃である。33は縦長剥片状ではあるが、背面の剥離面の方向が全て同じ方向であることから図化した。この他に剥片類が12点出土した。

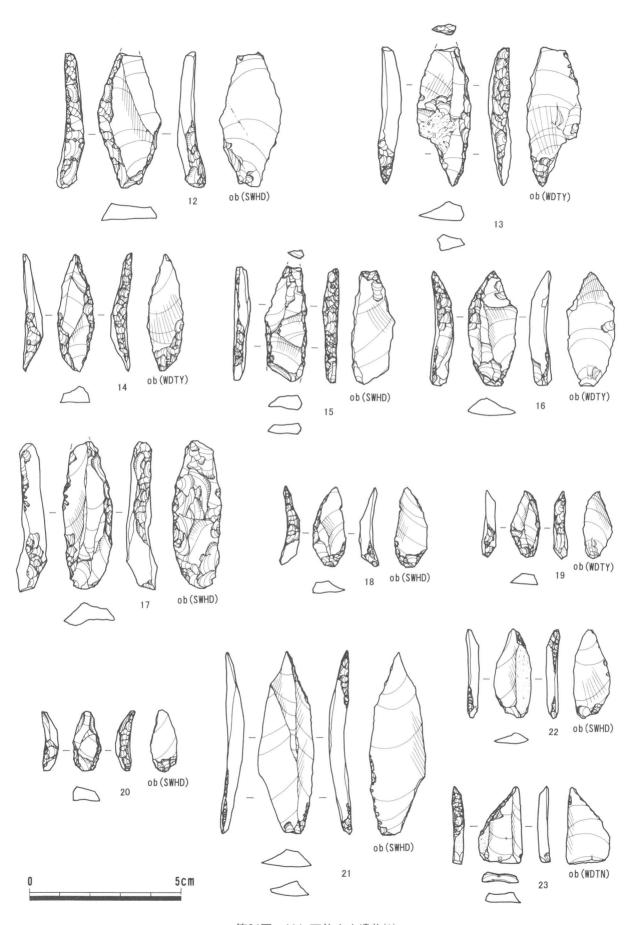
先にも述べたが、これらの遺物の出土状況は調査区内に散漫に分布している。ただし、S 5 グリッド 周辺では後述の第 V 文化層の遺物包含層と平面的に重なっているため、第 V 文化層の天城産黒耀石が一 部混入している可能性がある。



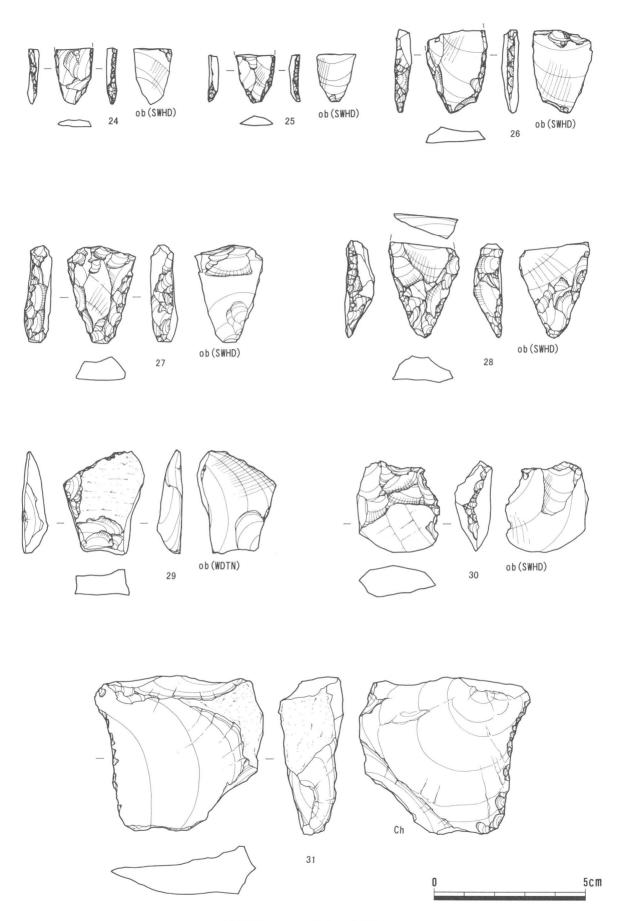
第23図 YL下位礫群平面·垂直分布(3)

表6 YL下位石材別遺物一覧表

												黒洲	翟石																
	A G K T 2	A G K T 5	A G K T	K Z O B 3	S W H D	S W H D 23	S W H D 25	S W H D	T S T Y 5	W D T N	W D T N 2	W D T Y	W D T Y	W D T Y	W D T Y	ガラス質安山岩	チャート	ホルンフェルス	硬質細粒凝灰岩	合計									
ナイフ					1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1					18
削器																	1									1			2
石刃																											2		2
フレイク	1																								1		3	1	6
チップ		1	1	1														1									1		5
パウダー				1		1																							1
合計	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1	34



第24図 YL下位出土遺物(1)



第25図 YL下位出土遺物(2)



第26図 YL下位出土遺物(3)

第5節 休場層上位(第V文化層)の遺構と遺物

4基の礫群と2基の石器ブロックが検出された。礫群の基底部レベルはYLUの中部から下部にある。これら礫群と第Ⅳ文化層の礫群とはレベル差にして約25~30cmあり、上下の礫の接合関係もなかった。石器ブロックは、畑宿産の黒耀石を中心としたものである。YLM上位~漸移層までレベル差を持って出土した。

1. 石器ブロック

石器はS5グリッドを中心に30m四方に集中して出土している。これらを東西に2分割し、2ヵ所の石器ブロックとして報告する。

<1号ブロック>

139点からなる。中心は箱根畑宿産の黒耀石である。特に個体別分類で HNHJ1 とした資料は、石核、チップやパウダーを含み、未製品 1 を含む尖頭器 4 点が出土している。尖頭器の製作跡と考えられ、原礫面を残す剥片や尖頭器製作時の貝殻状の剥片も出土している。このことから、剥片剥離作業から尖頭器の加工、残核の廃棄までの全工程がおこなわれたものと考えられる。しかし接合状況は良好でなく、残された剥片も小型のものが多いことから、多くの剥片は遺跡外に持ち出されたものと考えられる。この他のナイフや槍先形尖頭器は一母岩一個体のものが多く、チップなどを伴わないことから、搬入品であることがわかる。黒耀石の他にガラス質黒色安山岩やホルンフェルスの剥片も残されているが、これらの石材については剥片剥離作業をおこなった痕跡はない。

<2号ブロック>

34点からなる。分布は散漫で、HNHJ1以外の尖頭器は一母岩一個体である。尖頭器は12点が出土しており、3号礫群を中心として円形に分布している。全体の35%以上が尖頭器である。

上記2基の石器ブロックは、所有している石材は類似しているが、分布のあり方は1号ブロックに集中地点が明確に見えるのに対して、2号ブロックは石器の数も少なく分布も散漫である。このことからこの2基のブロックは独立するものではなく、1号から2号へ、何らかの理由で遺物が移動した結果と考えられる。

2. 礫群

前述したが、これらの礫群の基底部はYLUの中位から下位にあり、レベル差は少ない。平面分布、 垂直分布は石器ブロックと重なるため両者は有機的なつながりを持っていると考えられる。また1、2、 4号礫群は1号石器ブロックの東側縁辺部を取り巻くように分布している。

< 1号礫群>

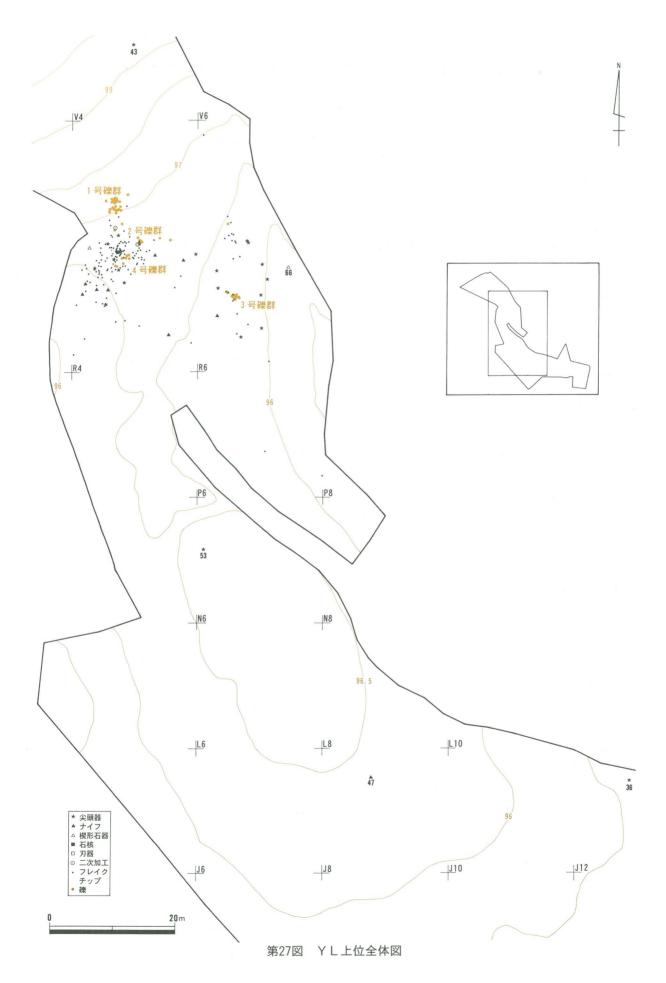
36点からなる。うち33点が赤化している。礫群内と単体で出土している礫との接合関係がある。平面 分布は南側にやや散らばる傾向があるが、接合状況を見ると北側の一群の一部と考えられる。

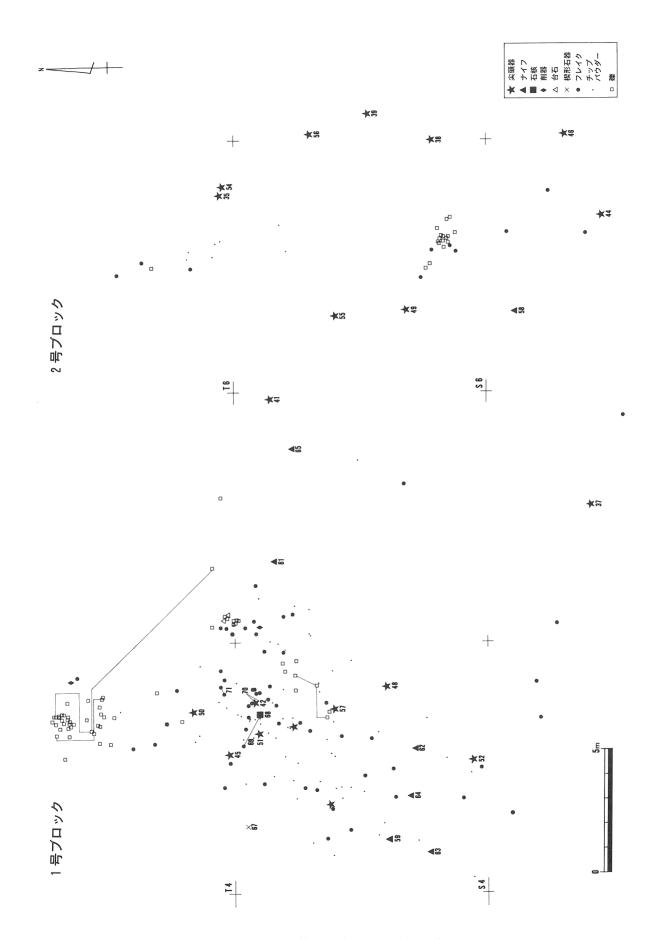
<2号礫群>

9点の赤化した礫と2点の台石状の大型礫からなる。周辺に黒耀石のチップが分布する。

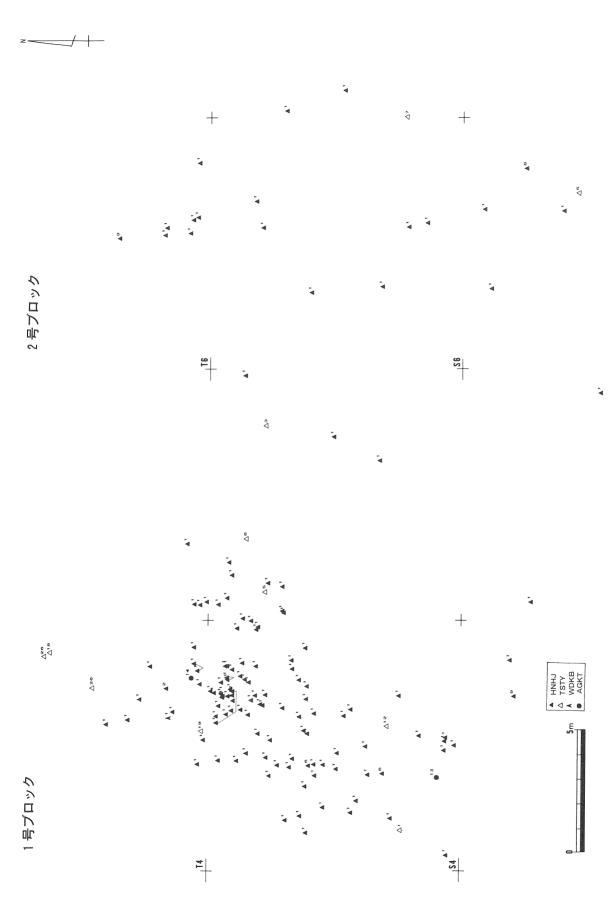
<3号礫群>

19点からなる。うち11点が赤化している。 $50\sim150\,\mathrm{g}$ の小型の礫が中心で接合関係はないが、礫の外面が非常に良く焼けている。2号石器ブロックの中心に位置し、この礫群の周りにナイフ形石器や尖頭器が点々と出土している。また西側に人頭大の配石がある。

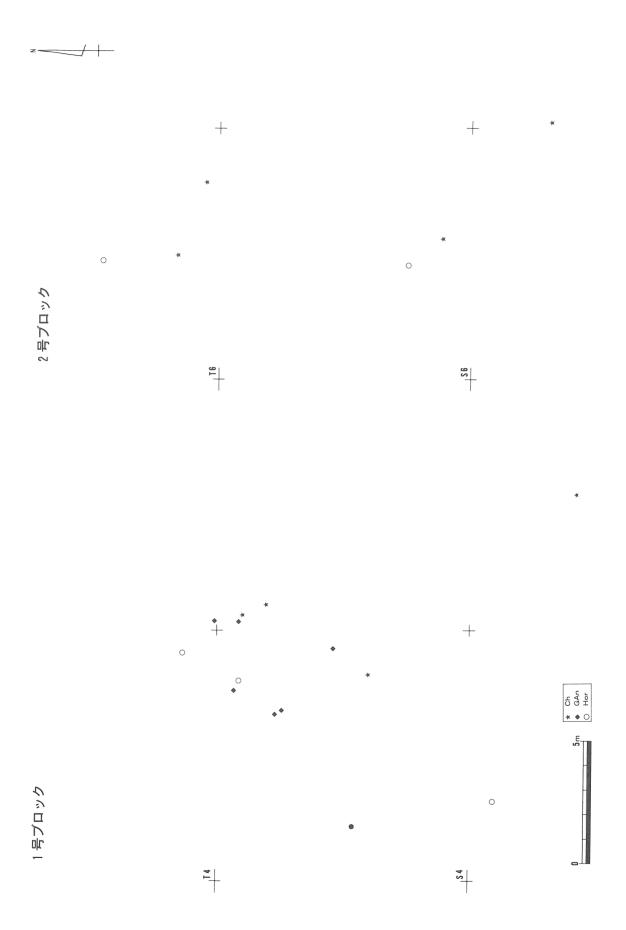




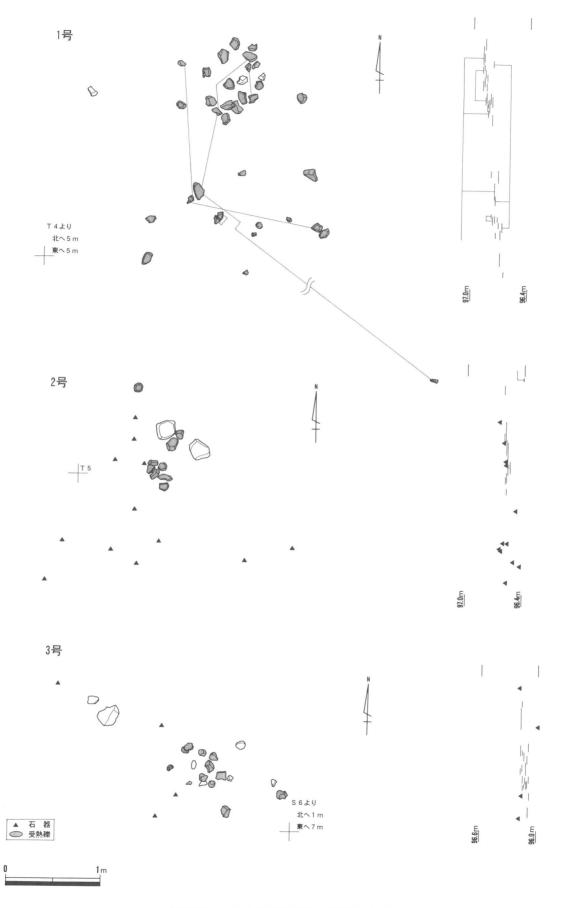
第28図 YL上位石器ブロック器種別分布



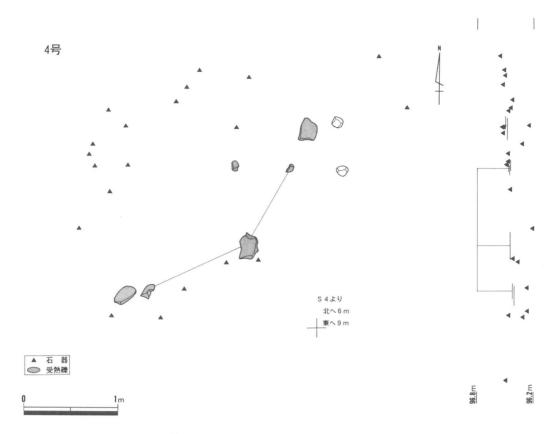
第29図 YL上位石器ブロック個体別分布



第30図 YL上位石器ブロック石材別分布



第31図 YL上位礫群平面・垂直分布(1)



第32図 Y L 上位礫群平面·垂直分布(2)

表7 YL上位石材別遺物一覧表

													,	黒絹	石																	
	A G K T 13	A G K T 14	A G K Y 16	A G K Y 17	H N H J	Н N Н Ј 2	Н N Н Ј З	H N H J 6	H N H J 7	H N H J 8	Н И Н Ј 9	H N K I	S W H D	S W H D 24	S W H D 26	T S T Y	T S T Y 2	T S T Y 3	T S T Y 5	T S T Y	W D K B	測定不可	ガラス質安山岩	チャート	ホルンフェルス	合計						
ナイフ					1		1	1								1	1					1		1		1						8
尖頭器					10	1					1	1	1	1	1				1	1			1						1	4		24
楔形石器				1					1																							2
石刃																													1			1
石核					1																											1
Rフレイク					1																											1
フレイク	1				50					3	1			-				1							1			1	3	3	4	68
チップ		1	1		62			1	1												1						1		1		1	70
パウダー					5																							1				6
合計	1	1	1	1	130	1	1	2	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	6	7	5	181

< 4号礫群>

人頭大の礫 3 点と小型の礫 5 点からなる。大型の礫を含めて 6 点が赤化している。受熱時の破砕と思われる接合資料がある。

3. 石器

181点が出土した。第4節でも述べたが、これらの石器の集中地点は第IV文化層の平面分布の一部と重なり、出土レベルだけでは上下の文化層を分離することが不可能な遺物もある。このため、現地におい

ての出土レベルによる文化層別の取り上げデータをもとに、黒耀石に付いては個体別分類作業をおこなった。この結果、特に軽いチップ類が上下に拡散している傾向があり、出土遺物数の多い HNHJ1 の個体については石核や槍先形尖頭器の出土状況から全点を当文化層に所属させる作業をおこなった。個体別分類の結果は、巻末の附表に掲載した。

(1) 槍先形尖頭器 (34~57)

34~42は全長が約4~5cmの中型尖頭器である。34、35は両面加工のもので、直接打撃によると考えられる加工によって面的調整が成されており、34の正面右縁辺部はステップフレイキングを起こしている。35の先端部は欠損後調整を加えた痕跡がある。36は黒耀石製の縦長剥片を素材としたもので、縁辺部を平坦な剥離で加工したものである。腹面先端部には縦方向の衝撃によるものと考えられる剥離(使用痕)が観察される。基部折損。37は縦長の剥片を素材として縁辺部に両面より剥離を加えたものである。39、40は基部が欠損しているが、両面加工の尖頭器である。先端部に細かな調整が加えられているが、パンチ痕は観察されない。41、42は尖頭器の未製品である。直接打撃による粗い加工が施される段階で、断面が半月形を呈し、素材剥片の形状を残す。42には剥片が1点接合(70)する。

43~57は全長が約2.5~3.5cmの小型の尖頭器である。素材剥片の縁辺部に加工を加えたものである。加工は全周に及ばないものもあり、ナイフ形石器と形態的に類似するものがあるが、加工がブランティング状か、平坦剥離かによって2器種を分類した。43~45は諏訪星ヶ台産の黒耀石を使用しており、剥片の縁辺部に加工を加えるもので、先端部は細く尖っている。それぞれ母岩は異なる。44、46は先端部に刺突によると考えられる剥離が観察される。49、51、52、54~57は同一母岩と考えられる資料である。いずれも剥片の縁辺部に平坦な剥離を加えたものであり、57は加工がやや急斜なのでナイフ形石器とも考えられる。また、この母岩(HNHJ1)には中型の尖頭器の39、41、42も含まれる。

(2) ナイフ形石器 (58~65)

58~61は縦長の剥片を素材とした二側縁加工のもので、58、60、61は剥片の打点側をナイフの基部としたものである。いずれも剥片とナイフの基軸がほぼ一致する。59は素材剥片の打点側を先端部としたものである。基部は折り取っている。61の基部にはバルブを取り去った平坦剥離が観察できる。63は貝殻状の剥片の末端部にブランティングを加えたものである。微細剥離が観察される。64は基部を破損する。また右縁辺部は先端部から続く加工が残るが、微細剥離が観察されるため刃部として考えた。

これらナイフ形石器は全て黒耀石製であり、58が HNHJ1 で同一個体が多い他は、全て一母岩一個体 となる。

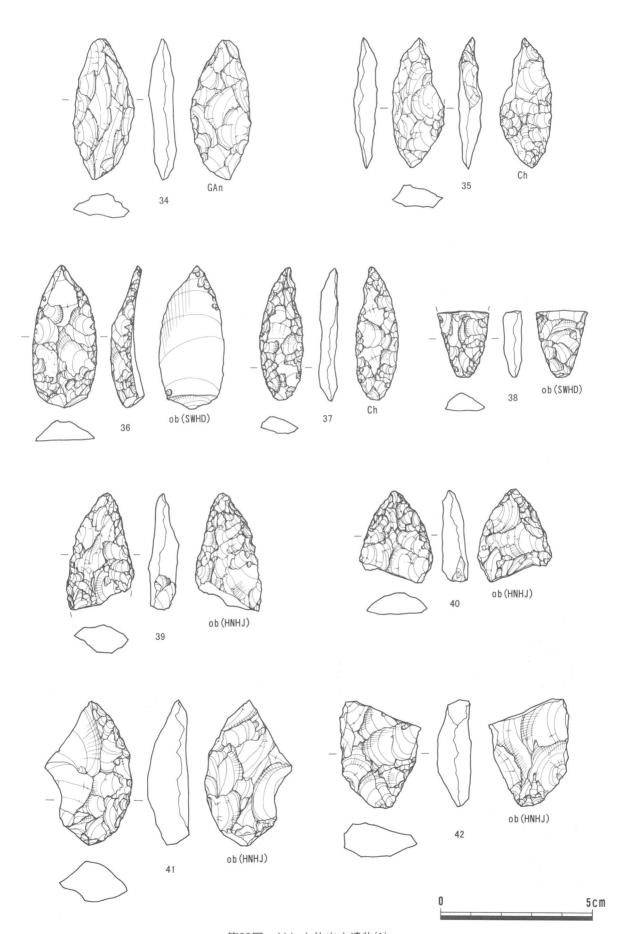
(3) その他の石器

楔形石器が2点出土している(66、67)。剥片の対極する縁辺部が衝撃によって剥離しているものである。67は石核からの転用で、上下の打面より縦長の剥片を剥離している。

68は畑宿産黒耀石の石核で、打面と作業面を入れ替えながら縁辺部より剥片を剥離するものである。 よってこの残核の作業面は亀甲形をなす。本文化層では唯一出土した石核であり、母岩は HNHJ1 に分類されている。

(4) 接合資料

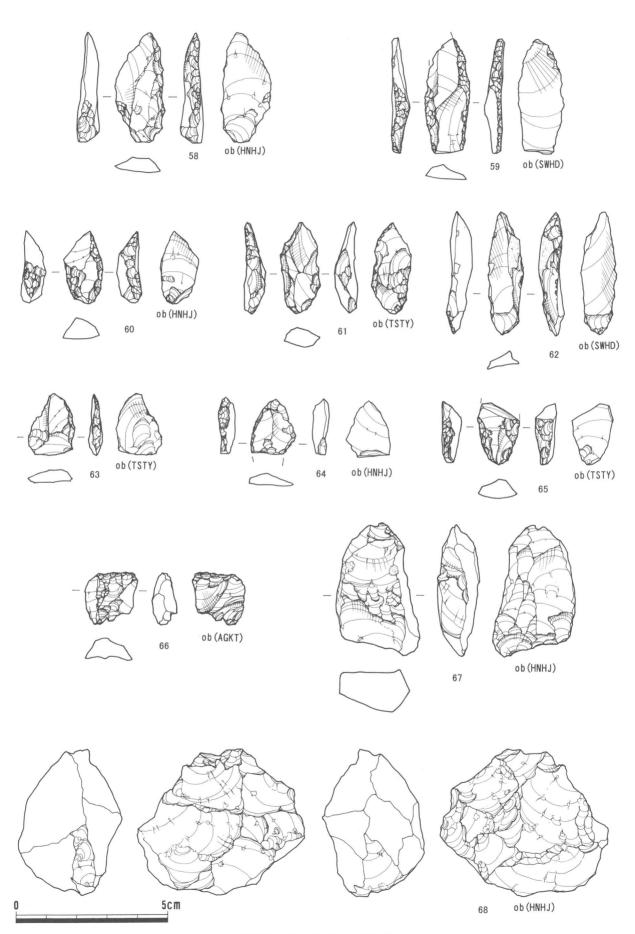
3組の接合資料があるが、全て HNHJ1 の個体である。69は68の石核と剥片の接合例である。前段階の作業面を打面へ転じて、石核の縁辺部から中心方向に剥片を剥離したものである。70は尖頭器の未製品と調整剥片の接合例である。縁辺からの直接打撃によって貝殻状の剥片を剥離したものである。この剥片が出土した周辺には同様の貝殻状の剥片が分布していたが、この1点が接合したのみであった。71は剥片の折れによる接合資料である。これは、剥片が剥離された際に、打撃の衝撃によって2分割されたものと考えられる。剥片の一部には原礫面が残る。



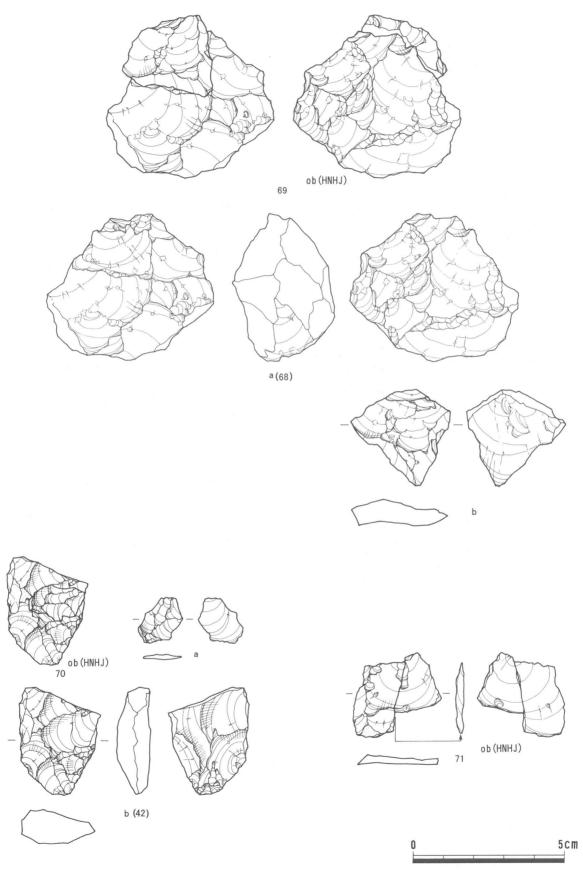
第33図 YL上位出土遺物(1)



-40 -



第35図 YL上位出土遺物(3)

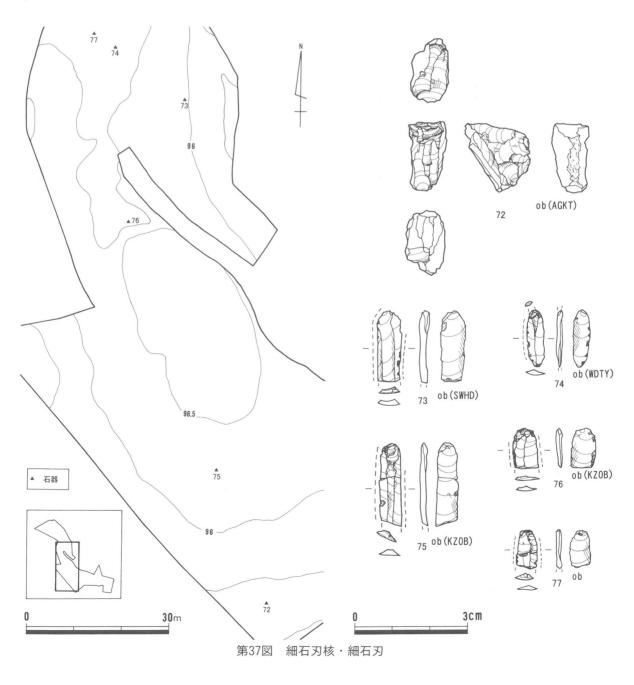


第36図 YL上位出土遺物(4)

第6節 富士黒土層 (第VI文化層) の遺物

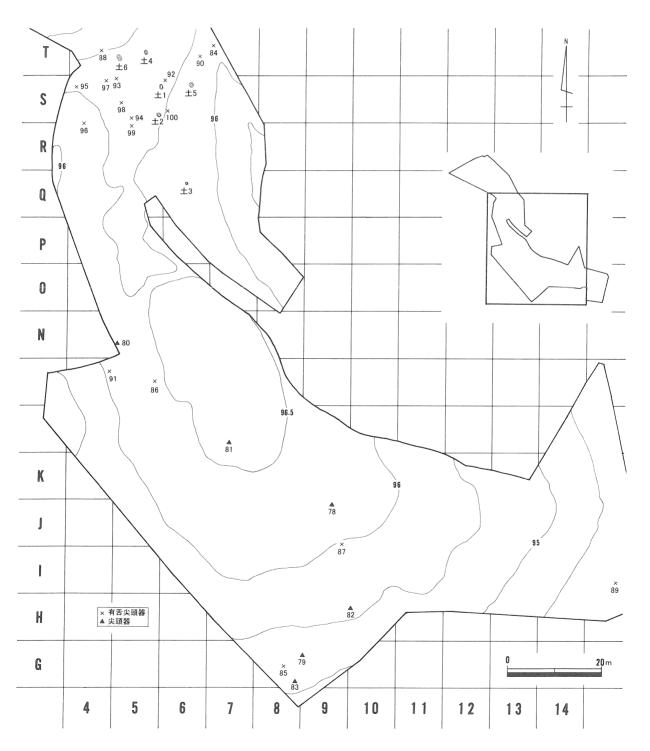
富士黒土層下部において細石刃 5 点、細石刃核 1 点が出土した。全て黒耀石製である。これらは集中地点を作ることなく、調査区内に点々と出土した。

72は天城柏峠産の黒耀石を素材とした、野岳・休場型の細石刃核である。打面を頻繁に転移させて細石刃を剥離している。最終形態が楔形になった残核だが、一部に原礫面を残すため、原石はさほど大きな物ではなかったと考えられる。73~77は細石刃で、原産地分析ができなかった(表面の風化による)77以外のものは、和田峠産1、星ヶ台産1、神津島産2で、個体別分類の結果では、全て母岩が異なる。これらは74が完形の他は全て末端部が折り取られ、上半部のみの出土となった。縁辺部には使用痕(微細剥離)が観察される。本調査では、チップや調整剥片等の細石刃製作に関する資料は検出されなかった。

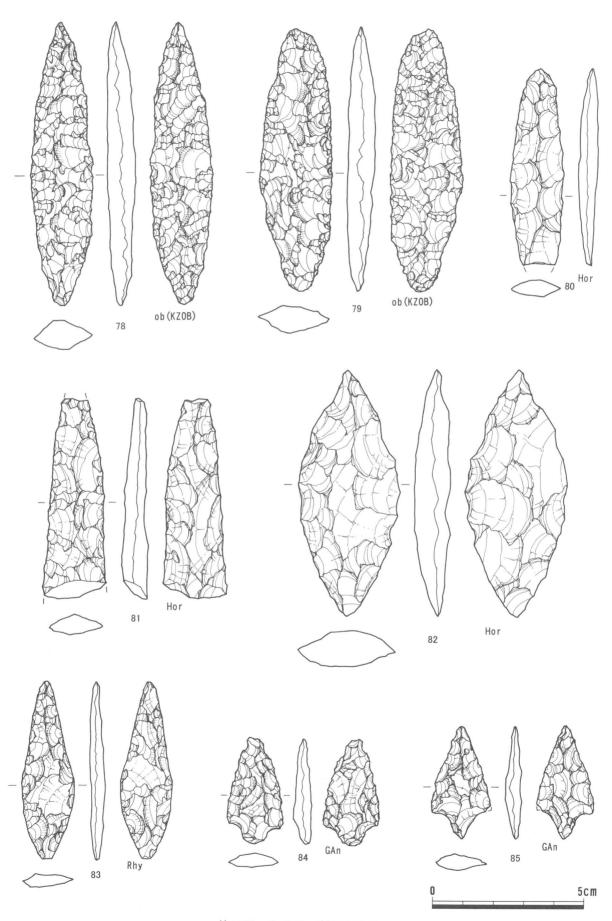


第IV章 縄文時代草創期の遺構と遺物

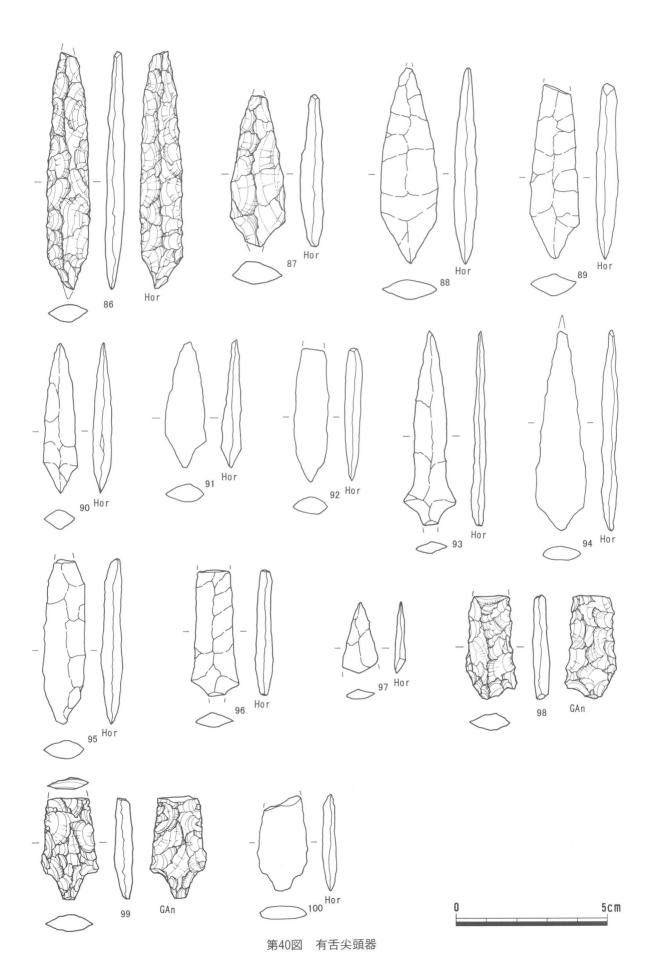
縄文時代草創期の遺物は富士黒土層下部~休場層上面にかけて出土している。また、土坑が6基検出されており、覆土の状態から旧石器時代末~草創期のものと考えられる。遺構の時期は厳密には不明であるが、当章で取り上げる。



第38図 縄文時代草創期全体図(1/800)



第39図 尖頭器・有舌尖頭器



-46 -

1. 遺構

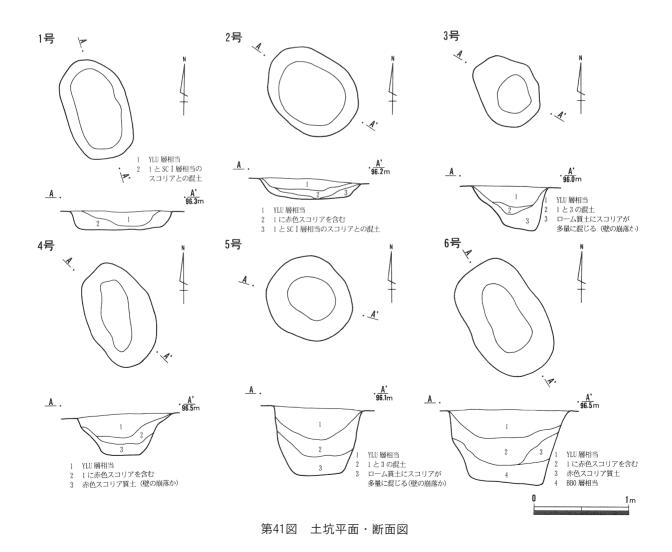
土坑が6基検出された。いずれもYLU層を主要な覆土として持ち、不定型な3号を除くと平面形が精円形を呈する。底部には逆茂木の痕跡はない。土坑は図上では深さが $0.2\sim1$ mであるが、1、2号は検出面がYLL層と低かったためで、実際にはいずれも1 m以上あったと考えられる。

2. 遺物

尖頭器が6点、有舌尖頭器が17点出土している。土器は出土しなかった。

78~83は尖頭器である。78、79は神津島産黒耀石を用いたもので、厚目の身の縁辺部に押圧剥離による細かな調整を加えたものである。このため縁辺部は鋸歯状となる。80、81はホルンフェルス製のもので、やや小型である。82はホルンフェルス製の木葉形の尖頭器で、周縁部を直接打撃による大まかな打撃によって加工している。細部の調整の有無については風化のため観察できなかった。83は流紋岩製で、最大幅を下方に持つ。縁辺部に細かな剥離を加えることで先端部と基部を整形する。

84~100は有舌尖頭器である。84と85は幅広・短身のもので、いずれもガラス質黒色安山岩製。86、87~92、94、95は返刺が未発達で、長身で胴部がやや外側に張るものである。最大幅は返刺部分に有る。96、98、99は欠損品であるが、本来は長身、幅狭で、返刺と舌部の区別が明瞭なものになると考えられる。96、100も形態的に類似するが、風化が激しく判然としない。これらの有舌尖頭器は形態による出土位置の偏りは見られない。



-47 -

表8 細石刃核・細石刃黒耀石原産地一覧表

		黒耀石												
	AGKT18	KZOB1	KZOB2	SWHD2	WDTY2	測定不可	合計							
細石刃石核	1	0	0	0	0	0	1							
細石刃	0	1	1	1	1	1	5							
合計	1	1	1	1	1	1	6							

表 9 土坑計測表

土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	1. 09	0.67	0.17	4号	1.12	0.70	0.44
2号	1. 04	0.80	0. 20	5号	0. 92	0.83	0.71
3号	0. 78	0.63	0.47	6号	1. 37	0.82	0.80

表10 草創期石器一覧表

図版番号	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)
78	5950	FB	黒耀石	尖頭器	9. 4	2. 05	1	15. 3
79	7979	ZN	黒耀石	尖頭器	9. 7	2. 5	0. 9	17
80	6998	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6. 45)	(1. 69)	(0.65)	(7.7)
81	5444	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6.61)	(2.04)	(0.85)	(11.5)
82	7127	FB	ホルンフェルス	尖頭器	8. 06	3. 36	1. 16	30. 3
83	7786	FB	流紋岩	尖頭器	5. 9	1. 75	0. 5	3. 9
84	3517	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	3. 51	1. 82	0.61	2. 9
85	7309	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	3. 75	2	0.6	2. 5
86	5184	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(7.84)	(1.4)	(0.62)	(8.1)
87	7794	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5)	(1.75)	(0.75)	(6.9)
88	4871	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6. 46)	(1.89)	(0.74)	(8. 6)
89	1174	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5. 74)	(1.65)	(0.71)	(7.5)
90	743	KU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	4. 94	1. 12	0. 62	3, 3
91	6442	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	4. 12	1. 35	0. 62	2. 9
92	4479	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(4. 38)	(1.11)	(0.54)	(3. 1)
93	4241	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6. 42)	(1.73)	(0.48)	(3. 3)
94	4460	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6. 53)	(1.68)	(0.48)	(5. 6)
95	3951	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5. 45)	(1.4)	(0.68)	(5.8)
96	8191	YLU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(4. 18)	(1.58)	(0.58)	(42)
97	2746	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(2. 35)	(1. 2)	(0.38)	(0.9)
98	4538	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	(3.4)	(1.8)	(0.6)	(3. 3)
99	4660	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	(3.4)	(2)	(0.65)	(3.8)
100	1151	KU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(3. 14)	(1.64)	(0.45)	(2. 9)

第V章 縄文時代の遺構と遺物

第1節 遺 構

縄文時代の遺構としては、早期末~前期初頭の住居跡を9基、中期後半の住居跡1基、集石11基など が検出された。

1. 住居跡

1号住居を除いて、他の住居跡は富士黒土層 (FB層) 中に構築面があると考えられるが、確認面は 漸移層~休場層の上層である。

(1) 1号住居

中期後半の柄鏡形の敷石住居である。表土を除去した際に敷石の一部と石囲炉の一部を検出した。耕作による撹乱が著しく(第43図参照)、敷石の一部が残るのみであった。また南向きの緩斜面上に位置していたため、柄鏡の「柄」部分の掘り込みは削平されていた。

<形状>柄鏡形、側壁溝を持つ。

<炉・埋甕>炉は一辺が約60cmの方形の石囲い炉。一部に焼土粒を含む覆土は確認できるが、燃焼面はなし。炉石も赤化していないことから、殆ど使用されていないと考えられる。埋甕は張り出し先端部より検出された。深さ約50cmのピットに曽利V式並行の深鉢を正位に埋納したもので、埋納後周辺に敷石を施している。

<床>敷石は埋甕と石囲い炉の周辺で認められるのみ。耕作による撹乱によって剥がされたものもあるが、住居の築造当初より床の一部分にのみ石が敷かれていたものと考えられる。石材は板状のものは玄武岩質の溶岩が中心で、円礫は砂岩や安山岩が中心である。円礫に関しては、住居の縁辺部に多く分布しており、打痕や磨痕を持つものもある。

<柱穴>主柱穴は3基確認したのみであったが、住居の掘り込みを囲う様に10基と、張り出し部の両脇に4基小柱穴が確認された。

<遺物>101は埋甕である。口縁部と胴部を低い隆帯で区切り、口縁部には2本単位の縦方向の沈線を施し、胴部は4区画した後、区画内をハの字状の連続刺突で満たす。102は住居の炉周辺で出土したもので、沈線による区画内にハの字の連続刺突を施す。103~106は住居の掘り込み外で出土したものであるが、柱穴の状況から考えると構造物の内部からの出土と考えられる。108は有茎の石鏃で、先端部と茎部が欠損する。この欠損は縦方向の圧力によって生じたもので、使用時の衝撃が原因と考えられる。109~115は敷石と考えていたものに含まれていた使用痕が観察されるものである。

(2) 2号住居

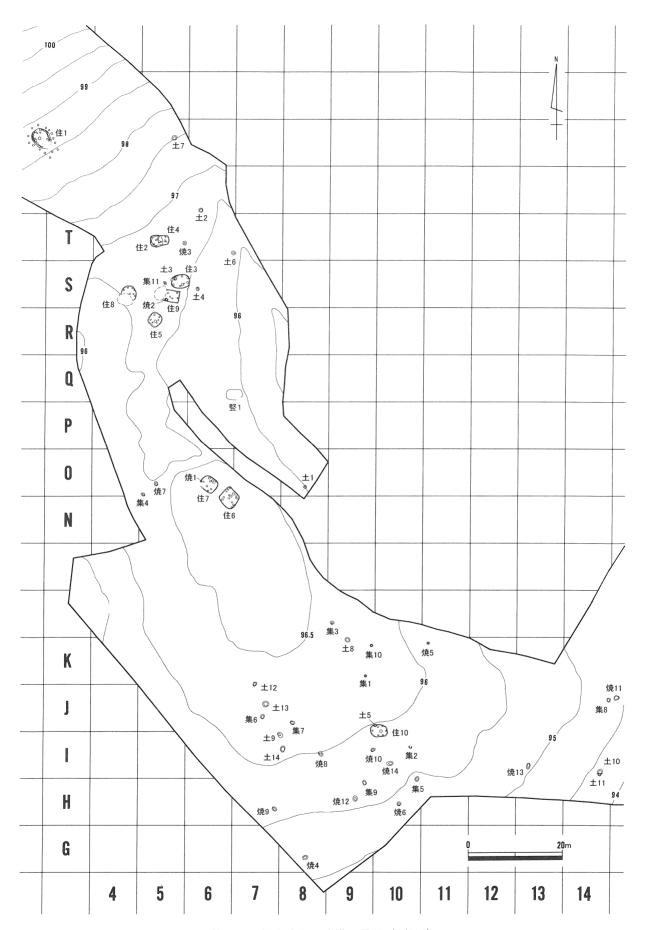
早期末~前期初頭と考えられる。 4号住居を切って作られている。漸移層上面において FB 層の落ち込みとして確認した。

<形状>隅丸方形 長軸2.55m、短軸2.49m

<炉>焼土範囲として確認した。皿状に焼土粒が散るが掘り込みはない。

< 定 > 硬化面等は確認されなかったが、検出面で炭化物粒、焼土範囲が確認できたことから生活面に近いと考えられる。

<柱穴>住居壁際に5基、中心に2基検出された。深さは15~20cmである。



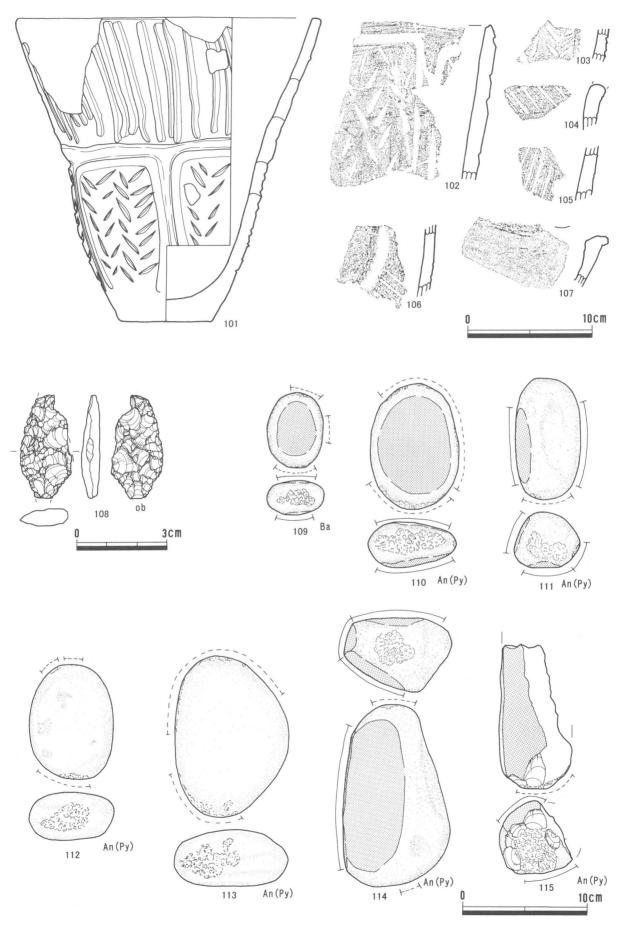
第42図 縄文時代の遺構配置図(1/800)



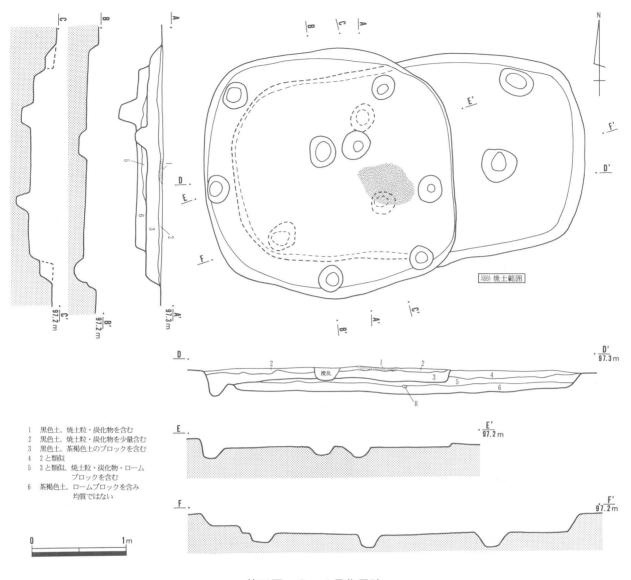
第43図 1号住居跡遺物出土状況



第44図 1号住居跡完掘状況



第45図 1号住居跡出土遺物



第46図 2・4号住居跡

<遺物>第48図に示した遺物は $2 \cdot 4$ 号住居から出土した遺物である。重なっている部分より出土したものは帰属が不明だが、その殆どが2 号住居より出土したものと考えられる。 $116 \sim 119$ はⅢ群の隆帯文系の土器である。 $120 \sim 122$ は木島式土器の無文の胴部破片である。

(3) 4号住居

早期末~前期初頭と考えられる。2号住居の検出作業中にFB層の落ち込みとして確認した。切り合い関係は比較的容易に判断できた。

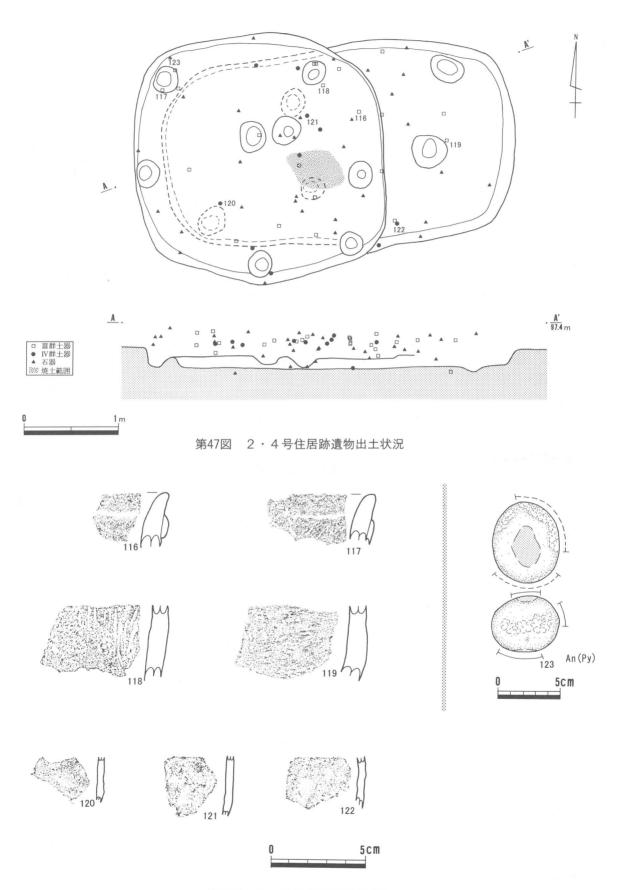
<形状>隅丸長方形 長軸3.64m、短軸2.11m

<炉・床>不明

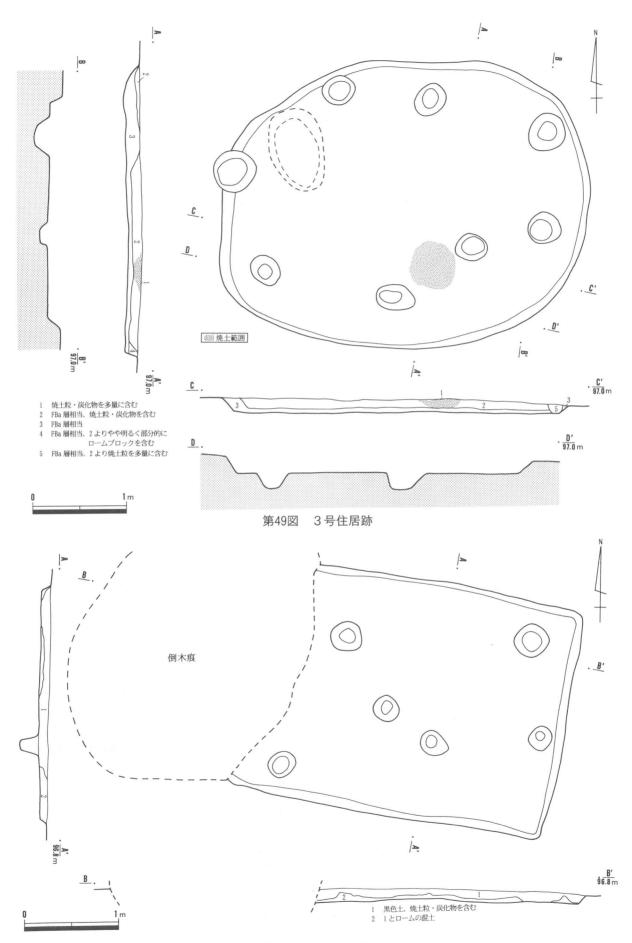
<柱穴>深さによって深いものを4号住居のものとした。5基確認された。

(4) 3号住居

早期末~前期初頭と考えられる。遺構の掘削が漸移層まで達していなかったために住居のプランの確認は困難であった。

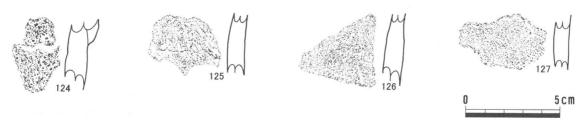


第48図 2・4号住居跡出土遺物

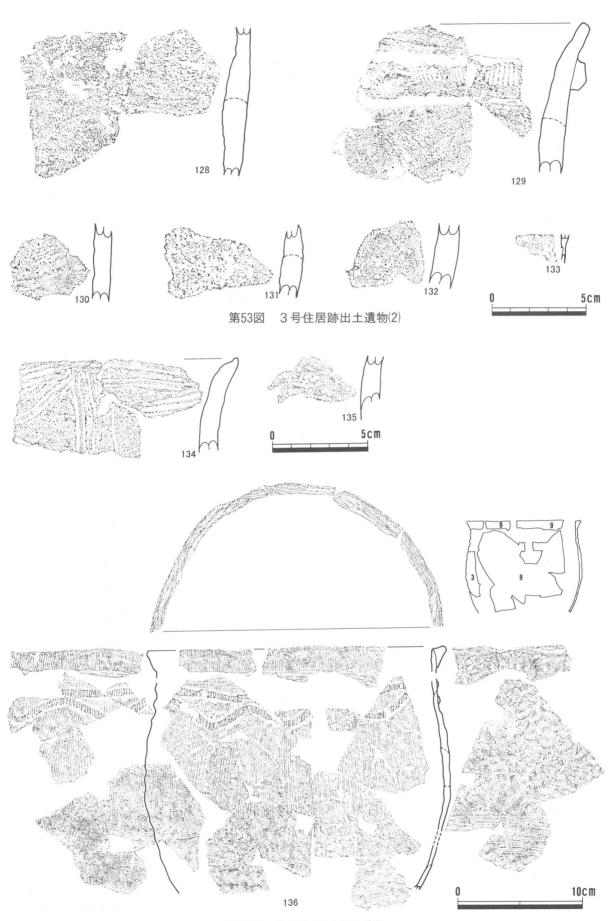


第50図 9号住居跡





第52図 3号住居跡出土遺物(1)



第54図 9号住居跡出土遺物

<形状>楕円形 長軸3.91m、短軸2.82m

<炉>焼土範囲として確認した。皿状に焼土粒が散るが掘り込みはない。

<床>生活面の把握はできなかった。

< 柱穴>壁に沿って8基を確認した。柱穴の並びから推測すると南壁は30cmほど内側に入る可能性がある。

(5) 9号住居

早期末~前期初頭と考えられる。倒木痕によって一部破壊されている。覆土には全体的に焼土粒と炭化物粒が混入し、検出は比較的容易であった。

<形状>長方形 長軸3.41m、短軸2.59m

く炉・床>不明

<柱穴>深さ15~20cmの柱穴が6基検出された。

<遺物>3号住居のものと接合関係がある木島式土器が出土している。出土状況からは従来の所属住居がどちらなのか(または双方とも廃棄)は判別できなかった。また134、135は下吉井式土器であるが、覆土中より出土しているものの、レベルが高いことから136との共伴関係はないものと考えられる。

(6) 5号住居

早期末~前期初頭と考えられる。

<形状>隅丸長方形 長軸2.88m、短軸2.72m

< 欠>焼土範囲として確認した。皿状に焼土粒が散る。一部住居の掘り方より深く焼土が広がる。

<床>面としては確認できなかったが、図中3と4の間に炭化物粒が集中していたため、生活面はここにあると考えられる。

<柱穴>深さ20~30cmで、6基が確認された。

<遺物>隆帯文系の土器片が出土している。胎土に繊維を含み、隆帯上には貝殻の押圧文様を施したものである。石器は折損した特殊磨石が出土した。

(7) 6号住居

早期末~前期初頭と考えられる。表土下でプランを確認した。

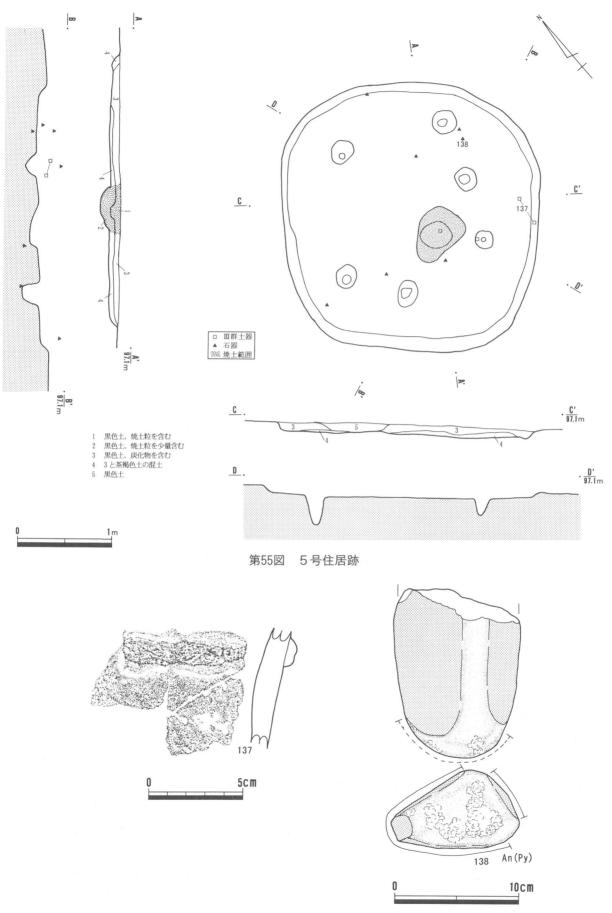
<形状>方形 長軸3.97m、短軸3.56m

<炉>焼土範囲として2ヵ所確認したが、ほとんど掘り込みは無く、北側のものは面的に焼土粒が少量散布しているのみで、層としては確認できなかった。

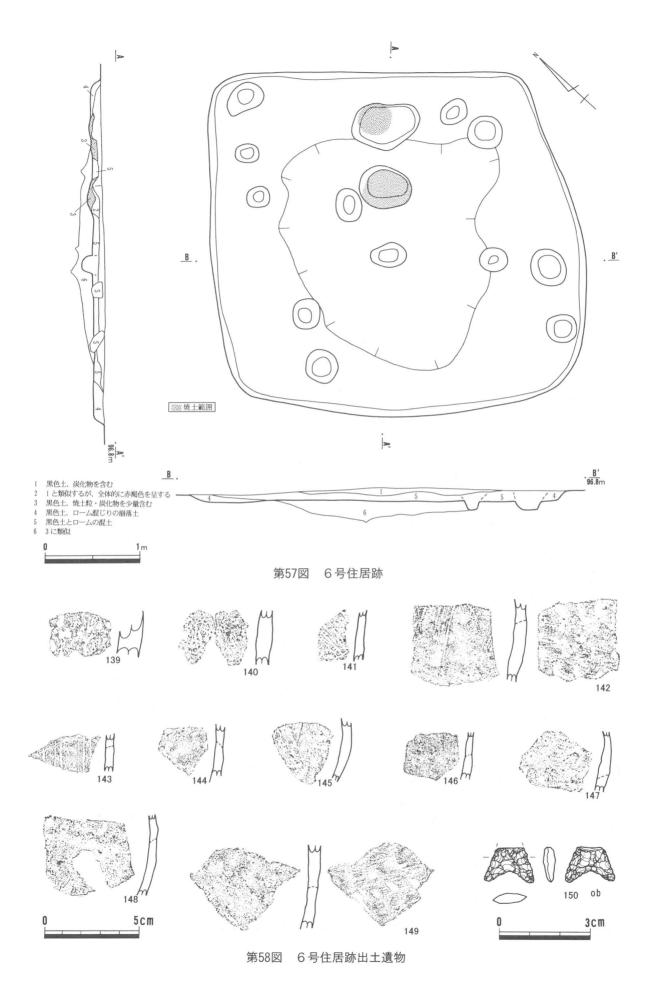
<床>面としては確認できなかったが、遺物の状況から図中5の上面と考えられる。なお、生活面の下面は、中央部がやや深く掘られており、住居構築時に埋め戻し、床を整地した状況が看取される。

<柱穴>11基を確認した。

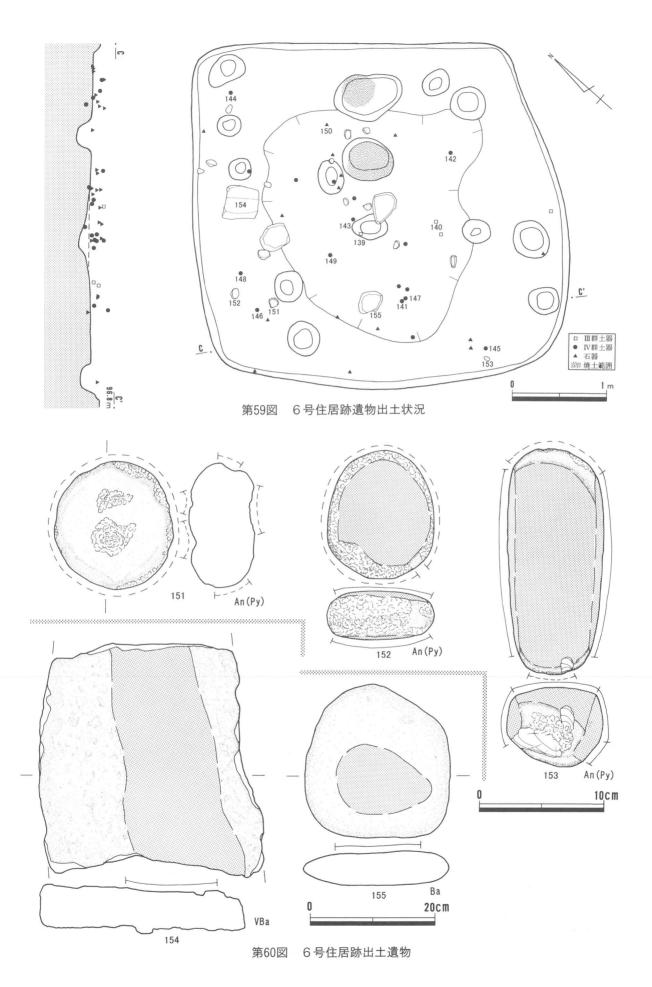
<遺物>生活面で石皿や磨石・敲石、台石が出土した。土器の垂直分布は若干の浮き沈みがあるが、隆帯文系土器の胴部破片(139、140)と木島式土器(141~149)が出土している。141~143は胴部破片で斜方向の細線文が施される。

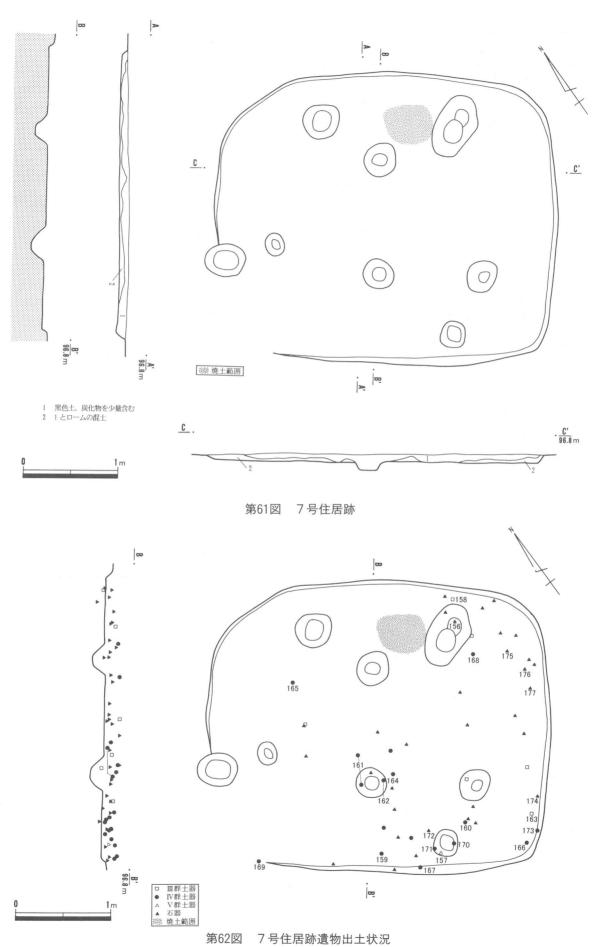


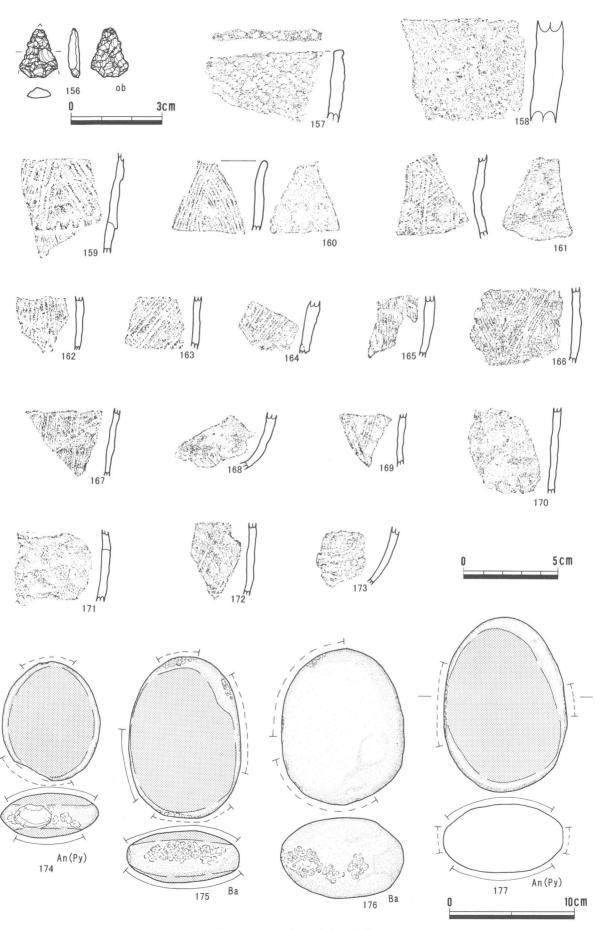
第56図 5号住居跡出土遺物



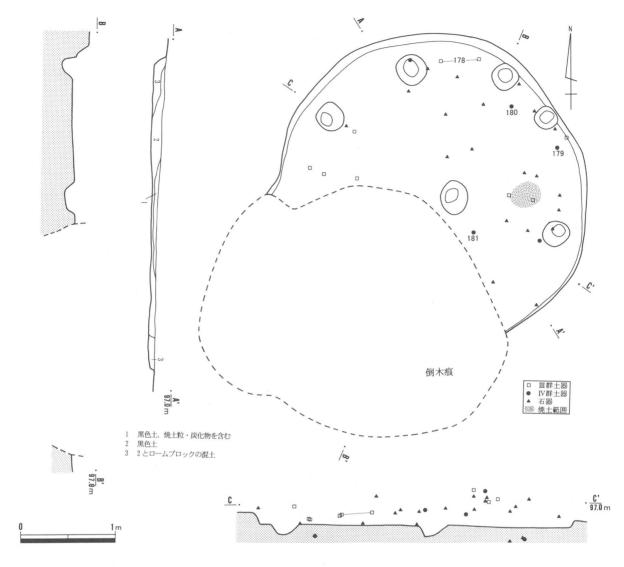
-61-







第63図 7号住居跡出土遺物



第64図 8号住居跡

(8) 7号住居

早期末~前期初頭と考えられる。表土下でプランを確認した。耕作によって大半が失われていた。 <形状>隅丸方形 長軸3.62m、短軸3.10m

< 定 > 焼土範囲として確認した。他の住居跡より比較的よく焼けていたが、掘り込み状の遺構は確認できなかった。

<床>不明

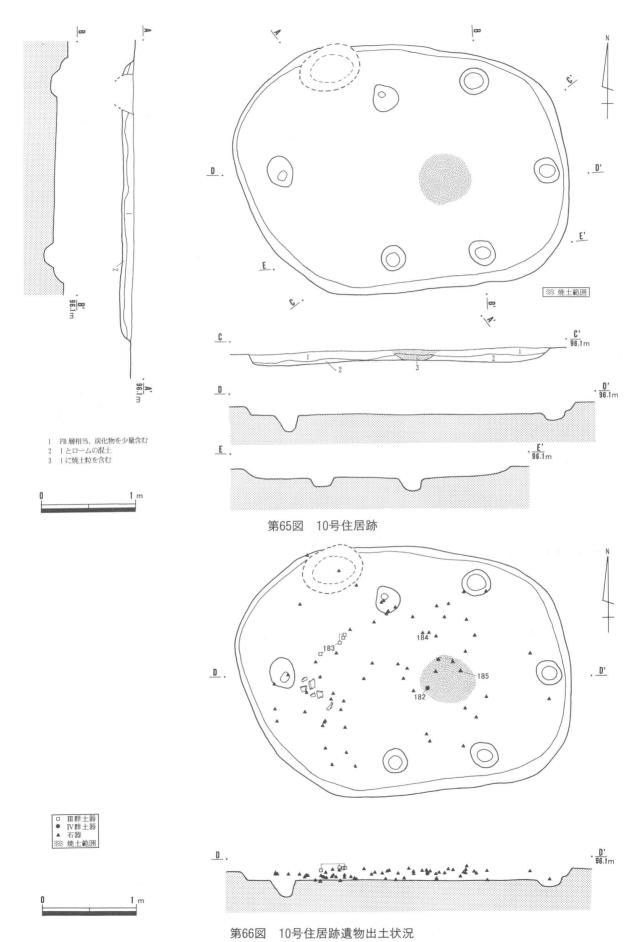
<柱穴>不明瞭なものを除いて7基を確認した。

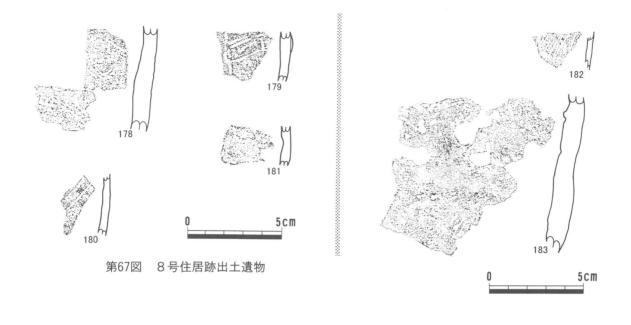
<遺物>遺構確認面で多数の土器片が出土した。157は前期初頭の羽縄文系土器片で、口唇部には刺突が観察される。158は胎土に繊維を含んだ厚手の土器である。出土層位が低いので巻き上げと考えたい。159~173は木島式土器の胴部破片である。清水ノ上I式段階のものである。

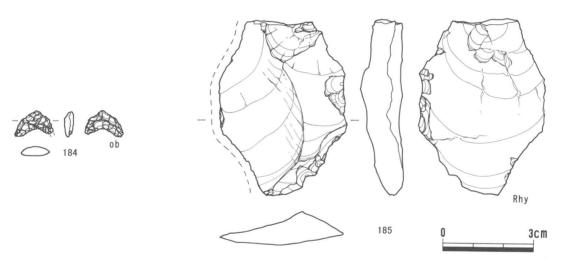
(9) 8号住居

約1/3が倒木痕によって破壊されている。遺物集中地点を精査中に焼土範囲を確認し、サブトレンチによって平面プランを確定した。

<形状>円形 長軸3.35m、短軸2.73m







第68図 10号住居跡出土遺物

<炉>焼土範囲として確認した。

<床>遺構確認面で、炭化物粒や焼土粒を多く検出していることから、ここが生活面であったことが予想できる。

<柱穴>住居の壁際に5基、中心に1基を確認した。

<遺物>出土遺物は大変少なく、土器も細かな破片が多い。図化したものは隆帯文系土器と思われる胴部破片(178)と木島式土器3点である。

(10) 10号住居

漸移層にFB層が落ち込むかたちで、比較的明瞭に確認できた。

<形状>楕円形 長軸3.49m、短軸2.66m

<炉>焼土範囲として確認した。焼土粒は少ない。

<床>不明

<柱穴>住居の壁際に6基を確認したが、深さは掘り方面から約10cmと大変浅い。

<遺物>黒耀石、ガラス質黒色安山岩のチップ類が多数出土した。また、石鏃(184)と加工痕のある剥片(185)が出土している。185は縁辺部に使用痕が確認され、被熱による赤化が観察される。182は木島式土器の胴部破片で斜方向の細線文が観察される。183は隆帯文系土器と思われる胴部破片である。

これらの住居跡は1号住居を除いて早期末~前期初頭に比定されるもので、尾根の頂部に位置する。 住居跡内や住居跡周辺から出土している土器より、土器編年上は2・3・4・5・8・9号住居が上ノ山 Z 期、6・7・10号住居が清水ノ上 I 式期となる。

2. 集石

11基が検出されている。南側に集中し、全ての集石に土坑が伴う。集石の性格上遺構内から遺物が出土する場合は少ないが、調査区全体の遺物出土状況から、早期前半の撚糸文期の遺構と考えられる。

規模や礫の状態については表11にまとめた。赤化については肉眼での観察のため図上で示していないものも受熱礫である可能性がある。規模は、1・2・10号のように直径50cm前後のものと5・6・8・9号のように1 mを超すものがある。「対象物」や「場面」の違いであろうか。なお、住居跡が集中するS5グリッドで検出された11号集石は、使用されている礫が比較的大型で、受熱の痕跡が確認されないことから調理施設以外の目的をもっていた可能性がある。

表11 集石計測表

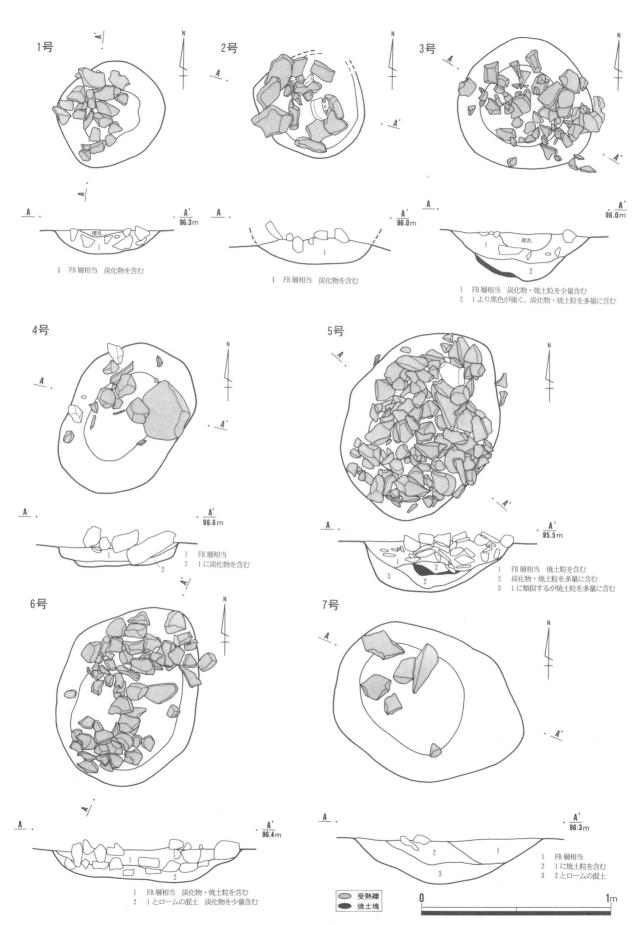
集石番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	礫数	赤化礫数	特記事項			
1号	0. 59	0. 57	0.12	19	19	TV NO. 3			
2号	0. 60	(0.54)	(0.15)	18	15				
3号	0. 73	0. 68	0. 25	61	44	燃焼面が土坑底部にある			
4号	0.83	0.60	0.10	20	20	30㎝程の大型礫を含む			
5号	1. 02	0.78	0. 25	206	205	燃焼面が土坑中位にある			
6号	0. 98	0. 75	0. 17	68	68	礫が持ち出され、中央部が凹状になっている			
7号	1. 04	0.79	0. 79	6	6				
8号	0.80	0. 75	0. 75	124	98				
9号	0. 91	0. 78	0. 78	60	56				
10号	0. 56	0.44	0.44	9	9	30cm程の大型礫を含む			
11号	0. 74	0. 45	0. 45	4	0				

3. 土坑

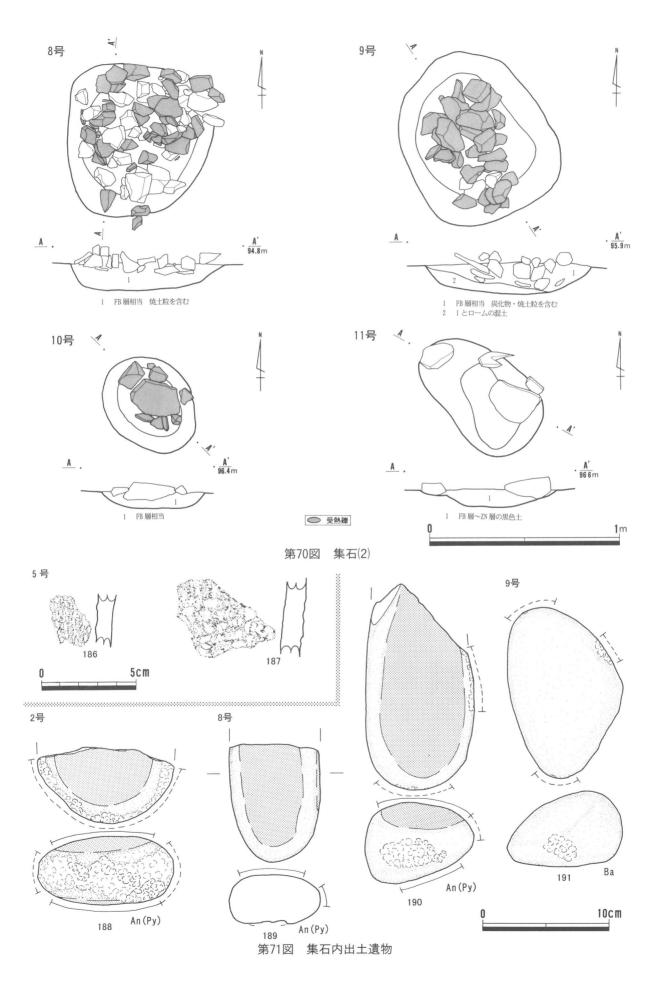
ピット状の小穴を含めて14基が検出された。1号土坑は内部より装飾品が出土している(後述)。8・12・14号のように陥し穴状のものとピット状の浅いものがある。

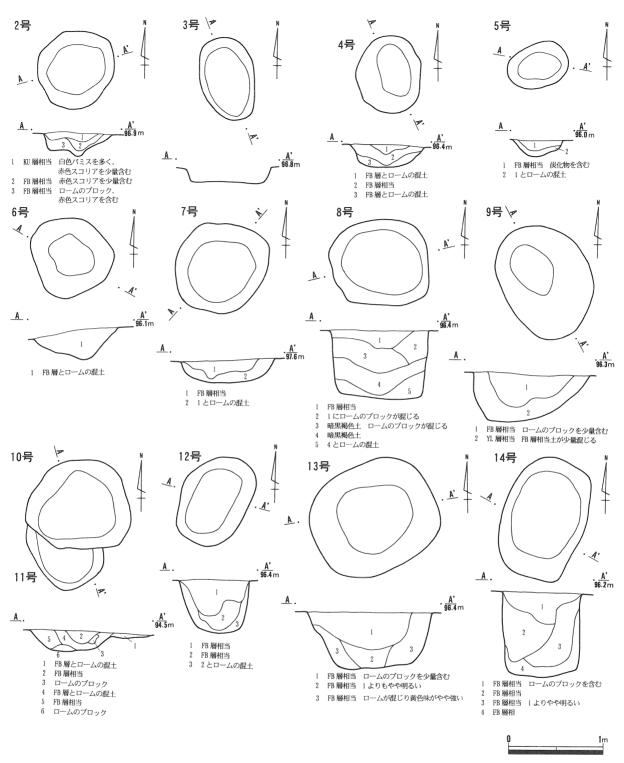
4. 焼土跡

覆土に焼土粒が散漫に分布し、一部に焼土塊を含むもの($1\sim10$)と、明確な焼成面を持つ炉跡状のもの($11\sim14$ 号)がある。いずれも調査区の南側に集中する。炉跡状のものは長径が $1\,\mathrm{m}$ 以上の楕円形を示し、前者より規模が大きくなる。 $7\,\mathrm{号焼土}$ からは胎土に繊維を含む縦密接の山形の押型文土器が、 $11\,\mathrm{号}$ からは撚糸文土器が出土している。



第69図 集石(1)

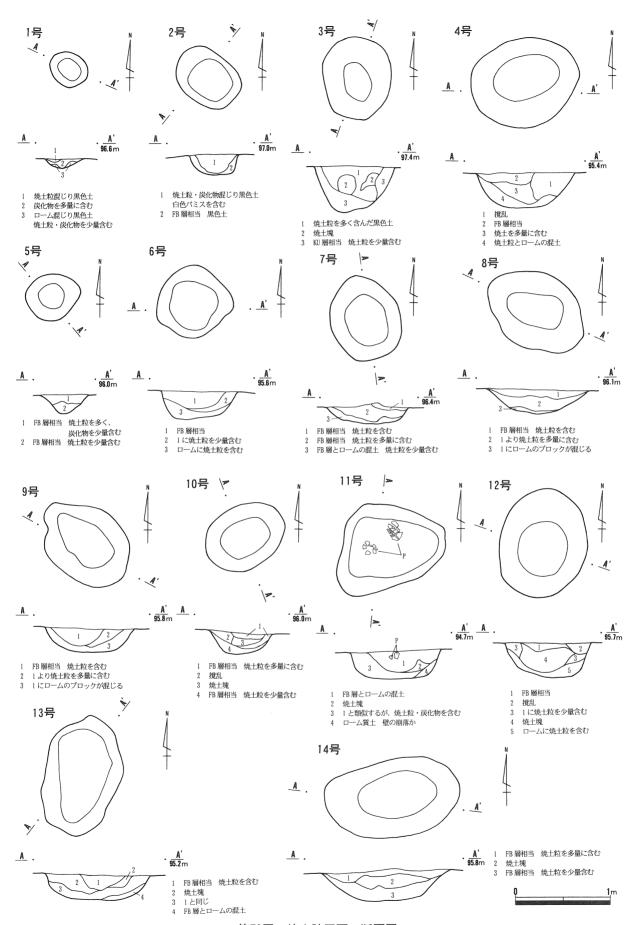




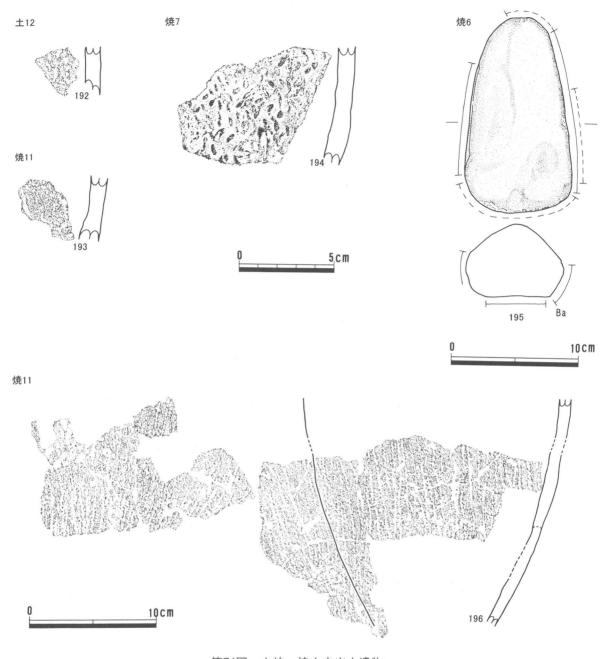
第72図 土坑平面・断面図

表12 土坑計測表

土坑番号	層位	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土坑番号	層位	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	KU	0. 78	0.63	0.07	8号	FB	1.03	0.92	0.73
2号	KU	0.88	0.77	0. 24	9号	FB	1.24	0. 94	0. 52
3号	FB	0.88	0.58	0.17	10号	FB	1.42	1.18	0. 22
4号	FB	0.81	0.70	0. 24	11号	FB	(0.70)	0.74	0.06
5号	FB	0.65	0.46	0. 17	12号	FB	1.00	0.72	0. 56
6号	FB	0.90	0.83	0.30	13号	FB	1.35	1.15	0.60
7号	FB	1.06	0.93	0. 23	14号	FB	1. 30	0.88	0.90



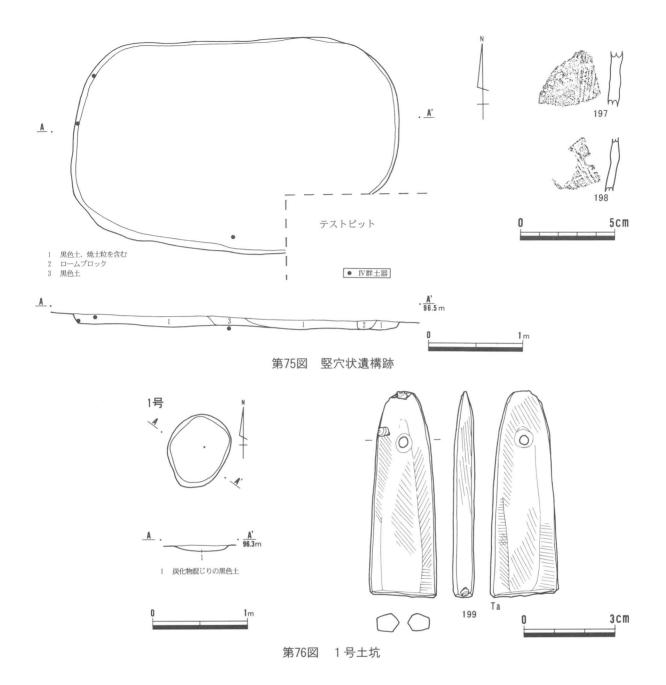
第73図 焼土跡平面・断面図



第74図 土坑・焼土内出土遺物

表13 焼土跡計測表

焼土番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	焼土番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	0.43	0.35	0.10	8号	1.13	0.79	0. 25
2号	0.72	0. 53	0. 22	9号	1.11	0.76	0. 25
3号	0.84	0.72	0. 50	10号	0.87	0.65	0.22
4号	1. 15	0.94	0.36	11号	1. 24	0.95	0.31
5号	0.54	0.49	0.21	12号	1. 16	0. 92	0.37
6号	0.81	0.76	0. 28	13号	1. 30	0.82	0. 25
7号	0.90	0.74	0.21	14号	1. 43	0.83	0.33

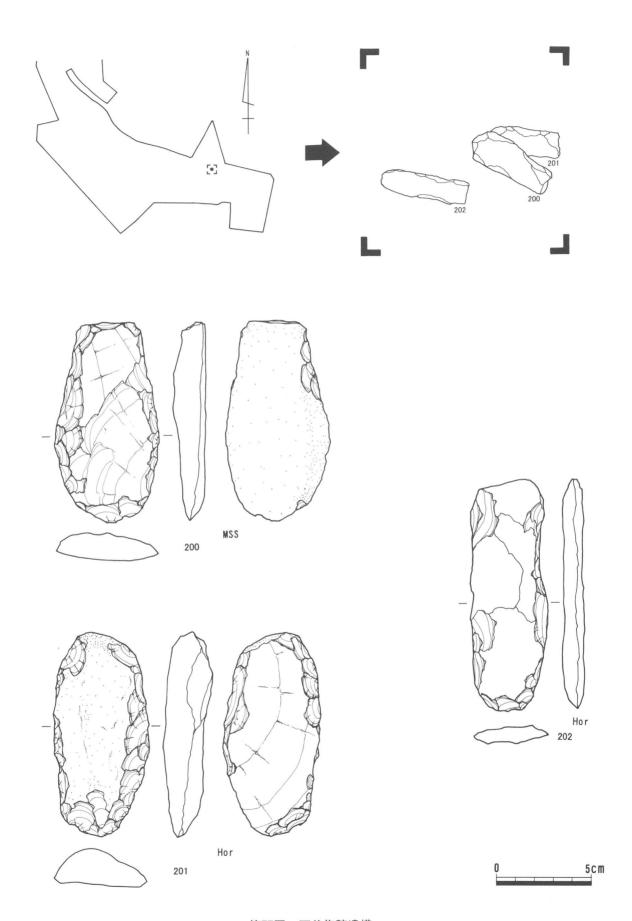


5. その他の遺構

竪穴状遺構が1基検出されている。隅丸の方形を呈し、長軸3.24m、短軸2.24mを測る。覆土に炭化物粒、焼土粒を含むが、柱穴や炉の痕跡が検出されなかったため竪穴状遺構として報告する。遺物は木島式土器の破片が出土している。

1号土坑からは撥形のペンダントが出土した。滑石製で下端には擦り切りによる切断痕が観察される。 孔は両側より穿孔しており、上部に紐状のものを通した際の擦れが観察される。土坑は0.78×0.63mで、 耕作によって削平されていたために深さは0.07mほどしか残存しておらず、底部よりこのペンダントが 出土した。遺構の残存状況が悪く覆土の観察は十分ではない。

この他に遺構は検出されなかったが、石斧が3点まとまって出土した。3点の基部が同方向を示し(柄がついたまま放置されたのか)、うち2点は上下に重なっていた。202については風化が激しく判然としないが、200と201は原礫面を残した剥片の縁辺部のみを調整することで石斧としたもので、200の先端部は使用によって剥離面が鈍くなっている。



第77図 石斧集積遺構

第2節 遺構外出土の遺物

1. 土器

遺構外出土の土器は、縄文時代早期~後期のものが約4,600点出土した。このうち遺存状態の良いものを中心に473点を図化し以下のように分類し報告する。これらは、富士黒土層を中心として漸移層から表土まで出土している。本来であれば各層位ごとに報告するべきであるが、各包含層の土層堆積が薄いこともあって遺物の浮き沈みが激しいことから、時期ごとに分類して報告する。

I群 早期前半の撚糸文と縄文十器

Ⅱ群 押型文土器

Ⅲ群 早期末~前期初頭の隆帯文系土器

IV群 木島式土器

V群 前期の土器

VI群 中期の土器

Ⅷ群 後期の土器

(1) I 群土器

撚糸文土器をa類、縄文土器をb類とした。富士黒土層下層~漸移層にかけて出土しており、平面的には調査区の南半分にかたよって分布する。

< Ⅰ群 a 類> (203~301)

203~214は外面に縦(斜め)方向、口縁部内面には横方向に撚糸文を施文したものである。203は胎土に繊維を多く含み、R撚りの太めの撚糸を用いているもので、内面の施文は口唇部と連続しておこなっている。口縁部が強く外反し、外面の口縁部下には、施文前の指ナデによって段を有する。204もまた口縁部が外湾するもので、外面口縁部の端部に無文部を残している。胎土は黄灰色を呈し砂粒、白色粒子を含む。205~209は口唇部を平坦になで、整えた後に横方向に施文するものである。210~213は口唇部に施文の無いものである。また214は外面が斜め方向に施文されている。215は外面胴部に縦方向の施文を施した後、口縁部に横方向に施文したものである。これらは全てRの撚糸を原体として用いる。

216~232は口唇部、内面に文様のないものである。口縁部はほぼ垂直に立ち上がり、口唇部も平坦に調整されているものは少ない。229は網目状の撚糸文土器で、異なる方向に斜めの撚糸を施すことで網目状の文様を作っている。

229は暗黄褐色を呈し、胎土に繊維を殆ど含まず、岩片や白色粒子を含む。胴部は原体を斜方向に回転させることで原体幅の格子目を描き、その後口縁部に横方向の施文(2 帯幅)を施したものである。230は縦方向の撚糸の地文に楕円形の浮文を口縁部に付したものである。赤褐色を呈し、胎土には繊維を含む。231は胎土に繊維を少量含み、ごく僅かに雲母と長石を含む。口縁部は格子目状に撚糸を配し(縄文の押圧の可能性有り)、横方向の撚糸(押圧?)で文様帯を区画し、口縁部は横方向に、胴部は縦方向に撚糸文を密接施文したものである。231と232は原体・特徴的な胎土が類似するため接合はしないが同ー個体であると考えられる。出土地点は100mほど離れている。

233~301は胴部破片を一括した。

< I 群 b 類> (302~369)

302~323は外面に縦密接施文をするものの口縁部の破片である。これらには、口縁部の内面に横方向の施文をするもの(302~308、315、316)としないもの(309~314、317~320)がある。これは撚糸文

土器と同様で、内面に施文があるものは口縁部が外湾する傾向がある。原体は単節 (302~312) と複節 (315~320) がある。なお胎土には繊維を含み、色調は暗黄褐色~赤褐色を呈するが、319と320はオリーブ灰色~赤灰色で、重量は軽く、繊維の含有量も少ない。321~353は前述土器の胴部破片で、321~341は単節、342~353は複節の原体を用いる。なお342と343の胎土はオリーブ灰色を呈する。

354は外面の胴部に縦方向の施文を施した後、口縁部に横方向に縄文を転がすものである。口唇部、内面にも横方向の施文が見られる。

355~357は外面に縄文を縦方向の帯状に施すもので、全ての土器の色調はオリーブ灰色~赤灰色を呈する。口縁部内面には横方向の施文が認められる。

358~369は縄文を横方向に施すもので、原体には単節(358~365)と複節(366~369)がある。

(2) Ⅱ群十器

押型文土器をⅡ群とした。ここでは原体によって山形文をa類、格子目文をb類、楕円文をc類として報告する。これらの分布は調査区の中央部と南側に集中し、南半部分は撚糸文系土器の分布範囲と重なる。

< II 群 a 類> (370~385)

370~385は縦位に密接して山形文を施すものである。これらの胎土には繊維が含まれる。370、372~375は同一個体と考えられ、楕円の彫り込みを山形に配したものを原体としている。376、377は同一個体で、胎土に多量の繊維と白色粒子を含む。山形の振り幅が大きく、部分的に回転のずれで菱形を形作る。378は小刻みな山形文と細い撚糸文を施したもので、縦方向の施文と考えられる。撚糸の撚りは不明。繊維を少量含む。380、381は同一個体で口唇部・口縁部の裏側に横方向に、表は縦方向に施文したもので、胎土には繊維をごく少量含む。380は内面の磨耗が著しく、図化していない。382、383はオリーブ灰色~赤灰色を呈するもので、胎土には直径3mm前後の岩片と約1mm程の白色粒子を多量に含む。383は残存状態が悪いが、縦方向の山形文を密接に施していると考えられる。384、385は山形文をずらして回転させることで作り出している菱形の変形文で、胎土に繊維を少量、白色岩片を含む。器厚はやや薄い。

< II 群 b 類> (386~425)

格子目文を施文するものである。386~401は胎土が緻密で、繊維を少量含む。いずれも縦方向の密接施文である。403~407は同一個体と考えられ、やや器厚が厚く胎土に多量の繊維と白色粒子を含む粗大な格子目文である。 a 類の376、377の胎土に類似する。412~421は胎土に直径 3 mm前後の白色粒子と繊維を含むもので、粗大な格子目文を縦方向に密接に施す。焼成が悪く、残存状況が良くない。422は非常に細かい格子目の押型を縦方向に施したものである。他のものが原体に対して斜方向に格子目を彫っているのに対して、これは 3 cm程の短い原体に並行に格子目を彫る。色調は暗赤褐色で、繊維を含む。423~425は灰色~黄灰色を呈し、胎土は砂粒、石英粒を含み、繊維をほとんど含まない。器厚はやや薄い。これら b 類土器には、口唇部や口縁部の裏側に施文してあるものはなく、よって口唇部も山形になる。

< Ⅱ群 c 類> (426~431)

426~428は同一個体と考えられ、繊維を少量含み楕円文を縦位に施す。429~431は胎土に砂粒を多量に含み、繊維を少量含むものである。残存状況が悪いため判然としないが、縦位の密接施文と考えられる。

(3) Ⅲ群土器

早期末~前期初頭の隆帯文系土器群を本群とする。胎土には繊維を含み、胴部下半には条痕による調整痕が観察される。隆帯のみのものを a 類、沈線と隆帯のものを b 類とした。これらは下吉井式が中心

と考えられる。層位的には富士黒土層を中心に出土し、平面的には調査区中央部に集中する。この分布はIV群 a 類の分布と重なる。

<Ⅲ群 a 類> (432~465)

隆帯文のみが施されるものである。432は口縁と並行に2条の隆帯を施し、2条目よりT字状に隆帯を6cm程垂下させるもので、隆帯上には棒状の工具を使った刺突が観察される。神ノ木台式並行か。433~450、464、465は幅約1cmの箱状で背の高い隆帯を1条、口縁部に施すものである。隆帯上には貝殻の背面を使った押圧文がある。434は波状口縁を呈すると考えられ、先細りする口唇部には貝殻の押圧文が観察される。464、465は同一個体と考えられ、箱状の隆帯の上にこれと並行の条痕文を施したものである。451~463は、低く潰れた隆帯を有するものである。比較的粘土が柔らかいうちに隆帯上に貝殻の背面

<Ⅲ群b類> (466~471)

口縁部に波状の沈線文があるもので、沈線の下には低い隆帯が施され、文様帯を区画する。

472~479は上記 a 類、 b 類の胴・底部破片である。底部はやや膨らみを持つ。

を押し当てているようで、隆帯が貝殻のカーブに沿って凹凸をなしている。

(4) IV群土器

木島式土器を本群とした。これらは、本遺跡の中で量的に中心をなすものである。口唇部を肥厚させ、そこに指頭圧痕や細線文をほどこすものを a 類、頚部に隆帯を巡らしその上に指頭圧痕を施すものを b 類、頚部~胴部の輪積み痕の上を、爪や竹管状の工具によって連続的に刺突をほどこしたものを c 類とし、 a ~ c 類の胴部破片を仮に d 類とした。これらは富士黒土層中から出土し、 a 類は調査区中央部、 c 類は調査区南半に集中し、分布は明確に分かれる。遺物集中地点では住居跡も検出されていることから、これらの遺構に関連する遺物であると考えられる。また a 類の平面分布はIII群 a 類のそれと重なる。 <IV群 a 類 > (480~500)

口唇部に隆帯を貼ることで肥厚させたもので、480、481、484、485は口唇部に指頭圧痕が観察される。 頚部には細い隆帯が巡らされ、その上から縦や斜め方向の細線が刻まれる。486~491の口唇部には細線 文が施される。482、483の口縁は波状となる。隆帯は剥落したものが多い。

489~500の口縁部は残存していないが、貼られた隆帯より a 類と考えられるものである。494は隆帯下に細沈線で山形の連続模様を描いている。

<IV群b類> (501~503)

501と502は口縁部下の輪積み部分の上に隆帯を巡らせ、その上を指先で連続刺突(突起状に摘み上げる)したものである。口縁は内面に向かってくの字に屈曲する。503も同様に隆帯を巡らせるが、施文部の屈曲が弱く刺突の凹凸も低い。隆帯上に刺突を施すという意味で同類に分類した。

<IV群 c 類> (504~540)

口縁部下の輪積みの接合部に刺突を加えたものである。504~506は爪による刺突と考えられる。504は口端部から刺突部まで細線が縦方向に施され、この細線と刺突が一直線上にあることから、これらの文様が爪によって連続して行われていたことが予想される。508~540は半裁竹管状の工具によって口縁下部の輪積み部分に刺突を加えたもので、その間を縦方向、斜方向、矢羽状の細沈線で充填する。

<IV群d類> (541~643)

a類~c類の胴部破片を一括した。前述のようにa類とc類は平面分布が異なるため、胴部破片を出土位置に習って分類すると、 $541\sim561$ のように主に縦方向の細沈線はa類、 $562\sim599$ のように斜位や矢羽状のものはc類に属すると考えられる。 $600\sim643$ は胴部下位の破片と考えられ、細線文がなくなり、整然と並ぶ指頭圧痕が観察される。文様施文(細線文)が土器を正位で置き、上から下へ行われたこと

がわかる。

(5) V群土器

前期の土器を当群とする。前期初頭の羽状縄文系土器を a 類、前期後半の土器を b 類として報告する。 < V 群 a 類 > (644~646)

a 類は調査区の南側に分布し、IV群 c 類の平面分布と重なる。644は波状口縁を持ち、R L と L R の横方向の縄文を下段から順に施し羽状とする。胎土には繊維を多量に含む。645はR L のループ文で、胎土には繊維を少量含み、長石、雲母を含む。646もR L のループ文で、砂質の胎土には長石、雲母を多量に含む。繊維痕も観察される。これらの土器は花積下層式段階に比定される。

< V群b類> (647∼662)

前期後半の諸磯b式~十三菩提式並行の土器群である。富士黒土層上半での出土が多く、平面的には 調査区北半の斜面地に分布する。ペンダント(779)が出土したのもこの周辺である。

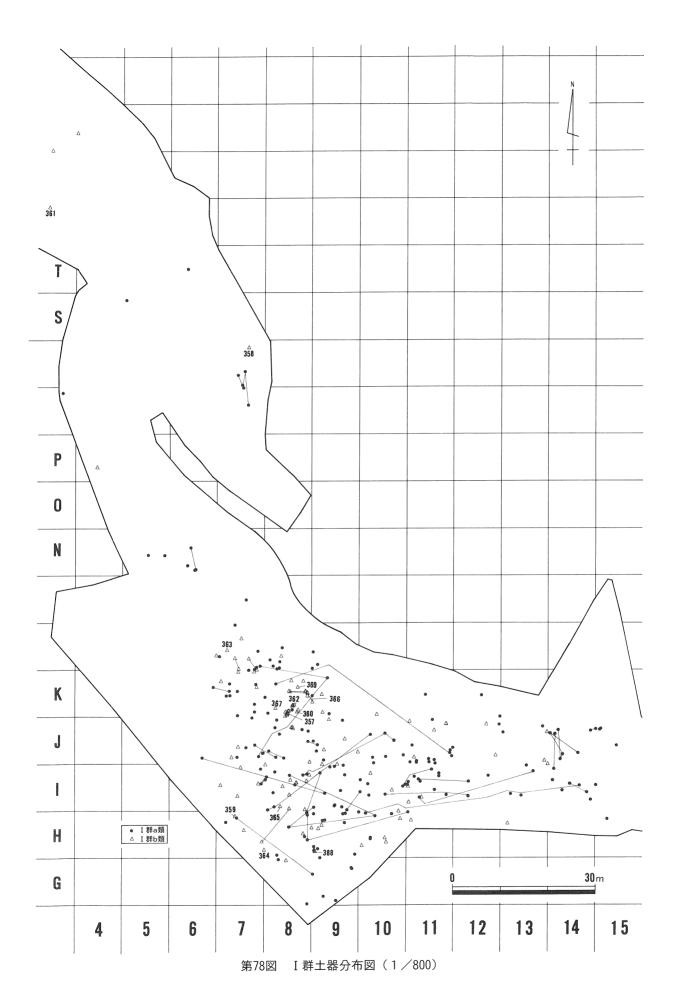
647は波状口縁を呈し、無文上に細い浮線文を施し、その上に竹管状の工具で刻みを入れたものである。 諸磯b式である。648~650は縄文の地文上に半裁竹管で沈線を施したものである。651はバケツ形の器形で、無文の胴部に楕円形の浮文を配したもので、口縁部には隆帯を貼る。外面は丁寧なナデ調整が施されているが、内面は輪積み痕が明瞭に残る。胎土は砂質で石英粒、岩片を多く含む。口縁部の形態より、当期に属すると考えられる。654~658は縄文の深鉢で、654~657はLRの縄文を横方向に施文したもの、658はRLの縄文を横方向に施文したものである。659~662は無文土器である。

(6) VI群士器

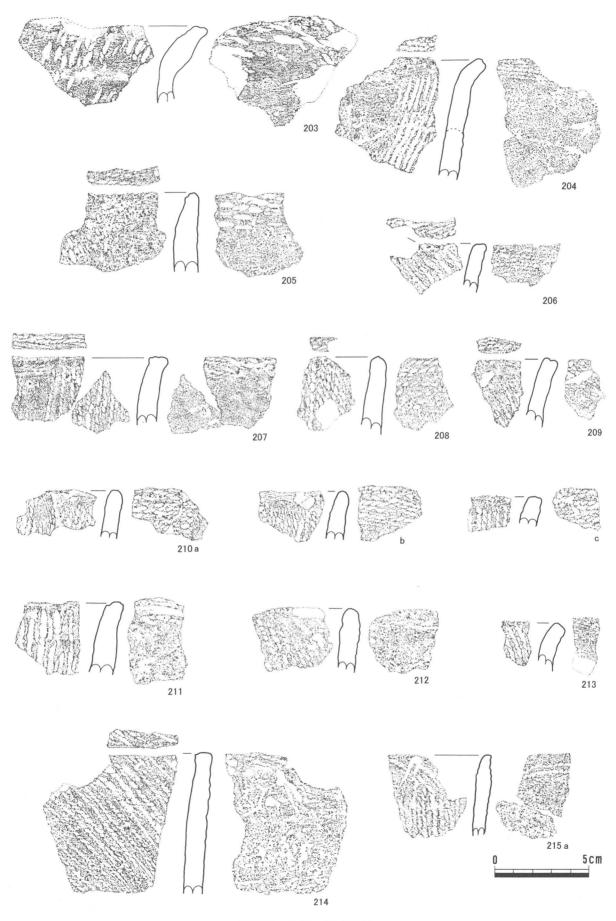
中期の土器は暗褐色土~富士黒土層上面にかけて出土した。663、664は土器円板で、藤内式土器の破片の周縁を削って作られたものである。665、666は横区画の隆起帯脇にキャタピラ文が施されるもので、底部と胴部破片である。667は縦方向にLの撚糸が施される深鉢で、口縁部が内湾する。668は井戸尻式の深鉢で、沈線で区画された中を並行沈線や三叉文で充填する。胎土は褐色で白色砂粒を多量に含む。669は条線を地文として2本1組の沈線で渦巻き文様を施すものである。曽利IV式土器。670~675は当期の底部と考えられるもの。

(7) WI群土器

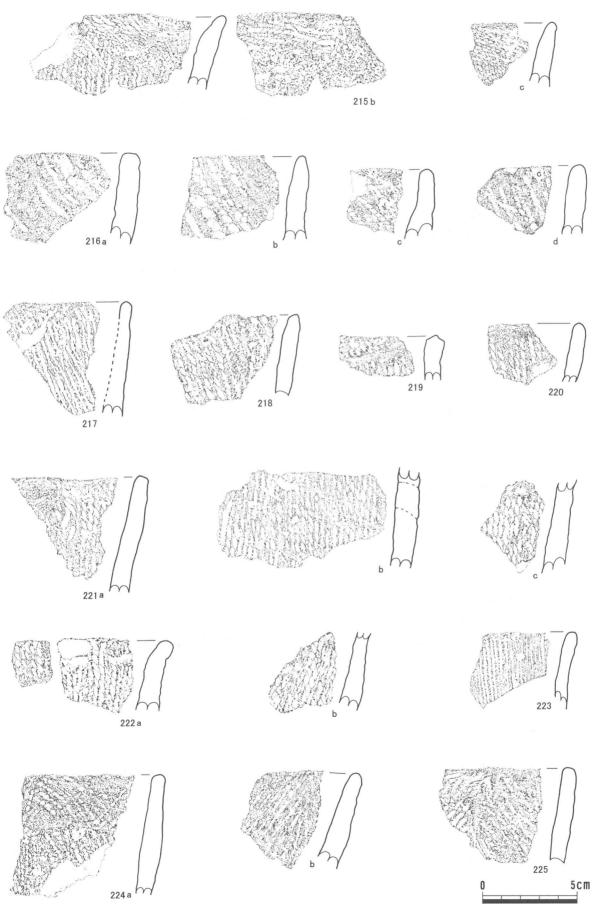
後期の掘ノ内式土器である。676は所謂朝顔形と称される深鉢で、胴上半部の横帯文様帯を2本単位の 沈線で三角形に区画して、中をLRの縄文で充填するものである。掘ノ内2式。677~679は付加条の縄 文を横方向に施文した土器で、676に並行すると考えられる。



— 80 —



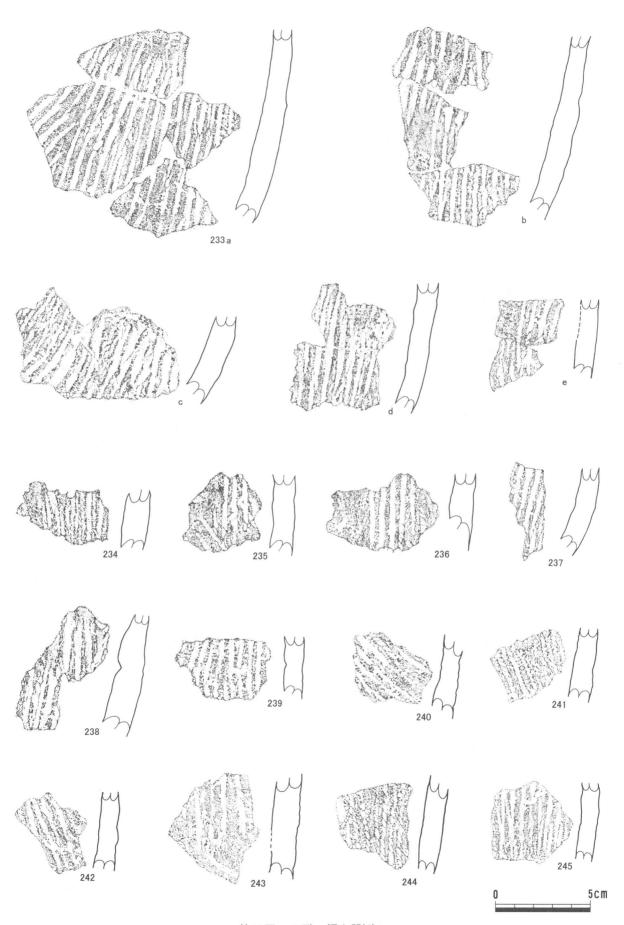
第79図 I群a類土器(1)



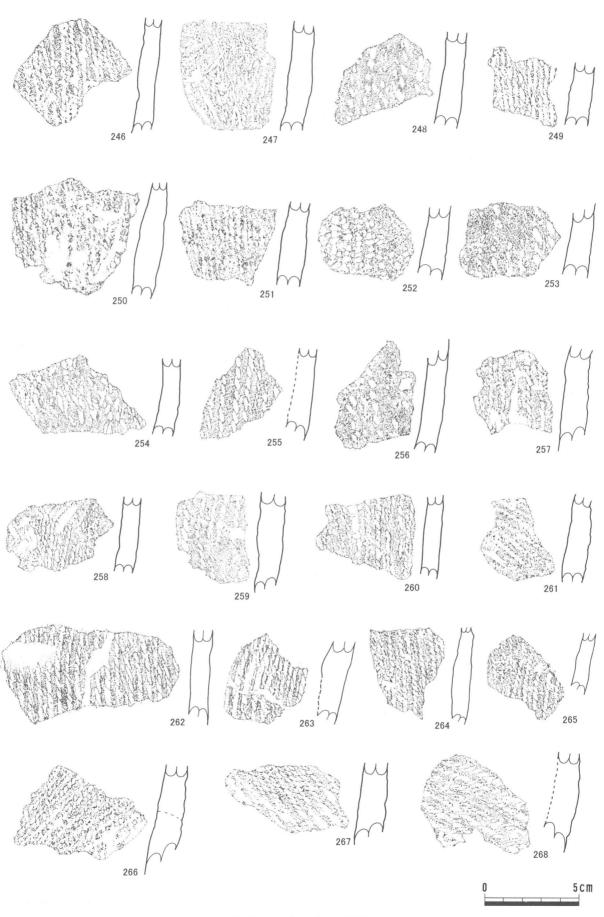
第80図 I群a類土器(2)



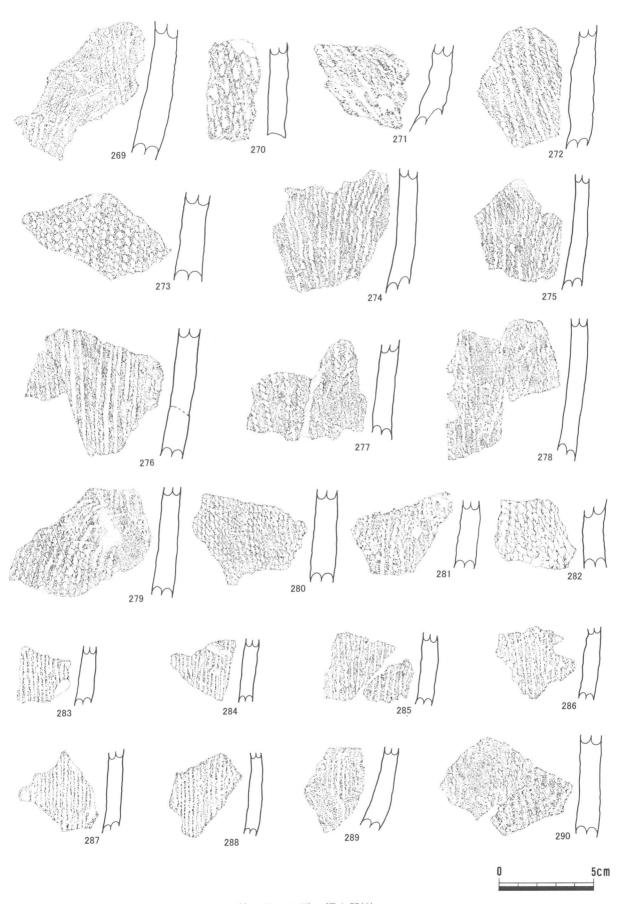
第81図 I 群 a 類土器(3)



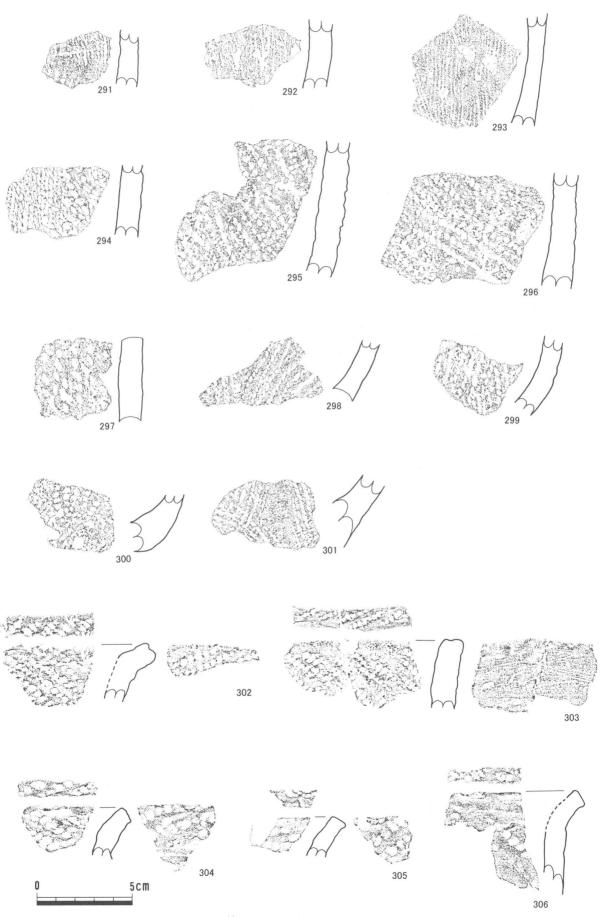
第82図 I群a類土器(4)



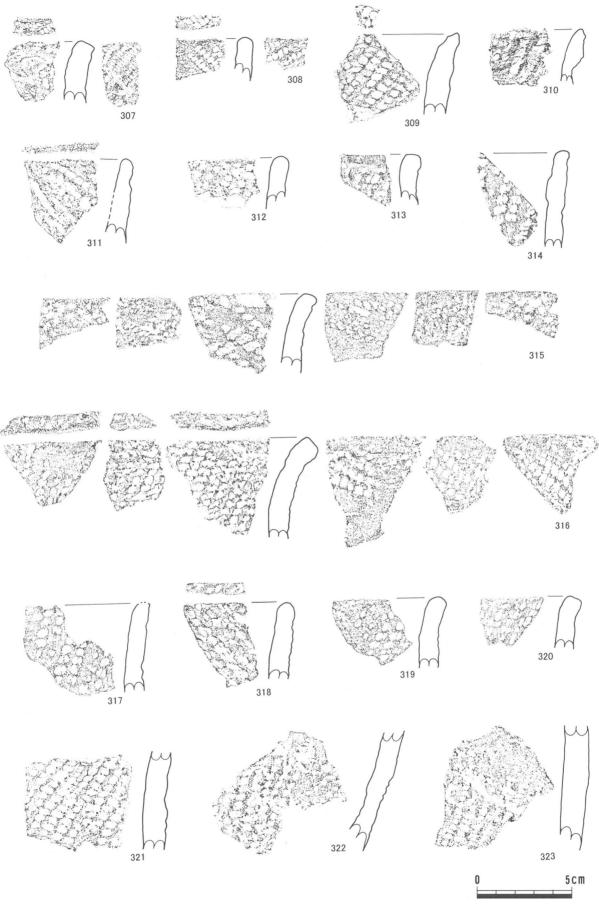
第83図 I群a類土器(5)



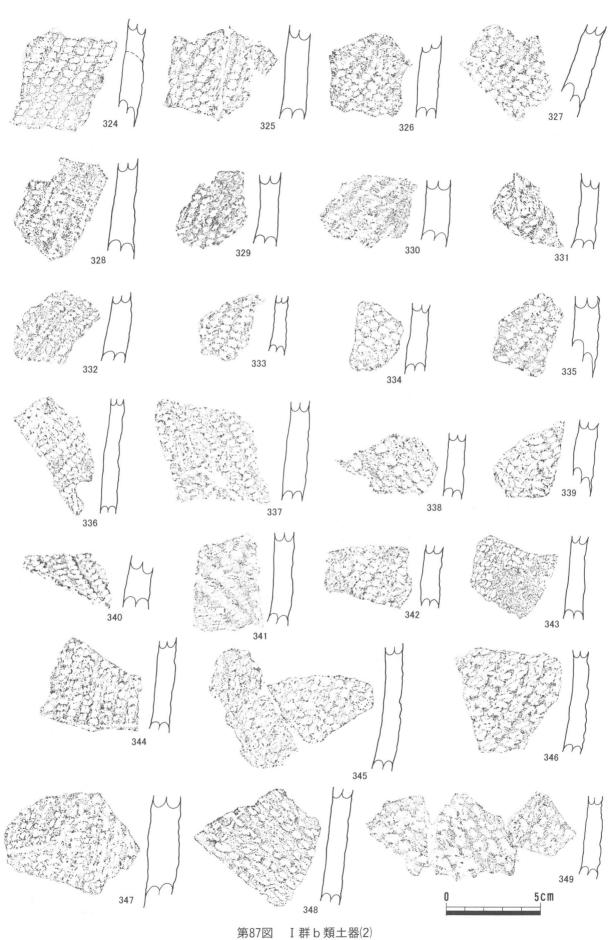
第84図 I 群 a 類土器(6)



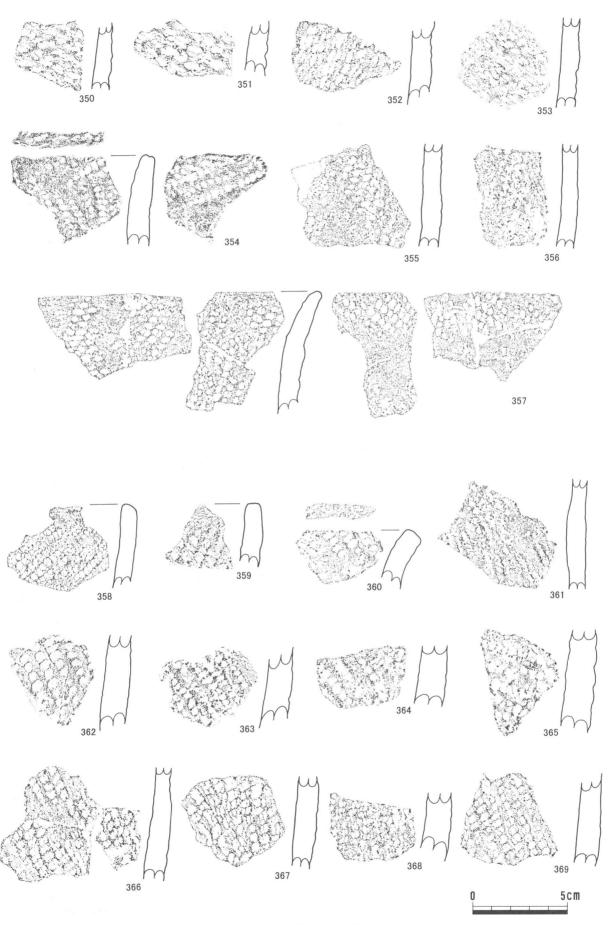
第85図 I群a·b類土器



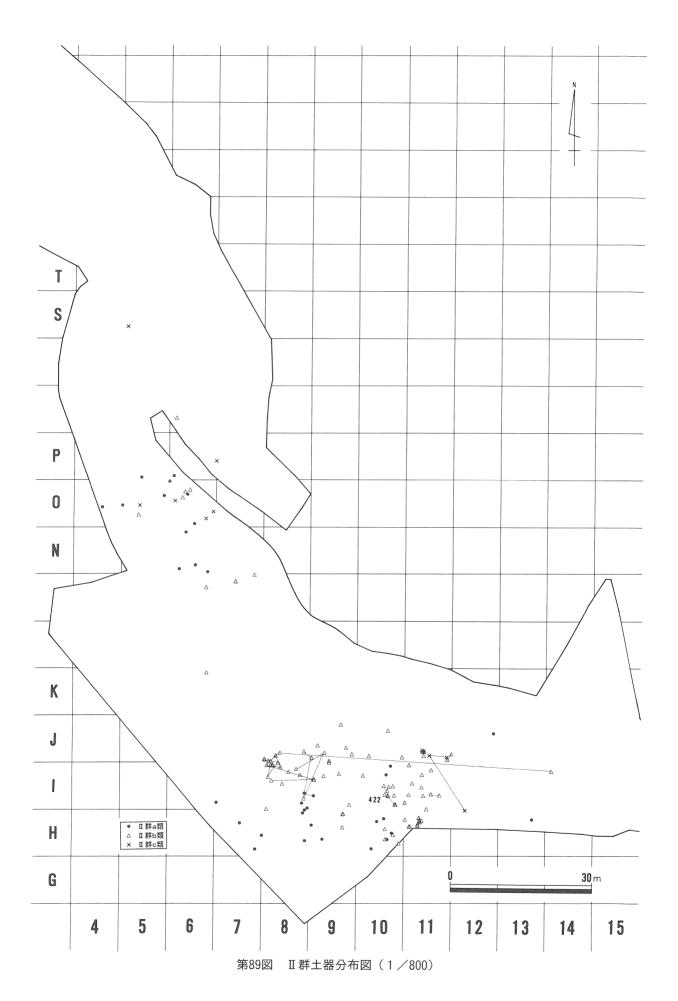
第86図 I群b類土器(1)



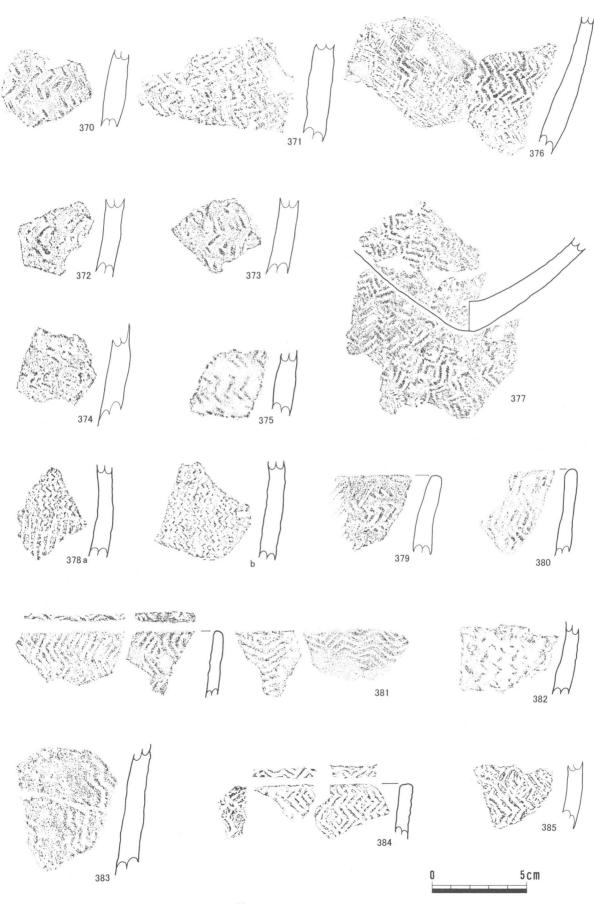
第07回 I 杆 D 换工部(2



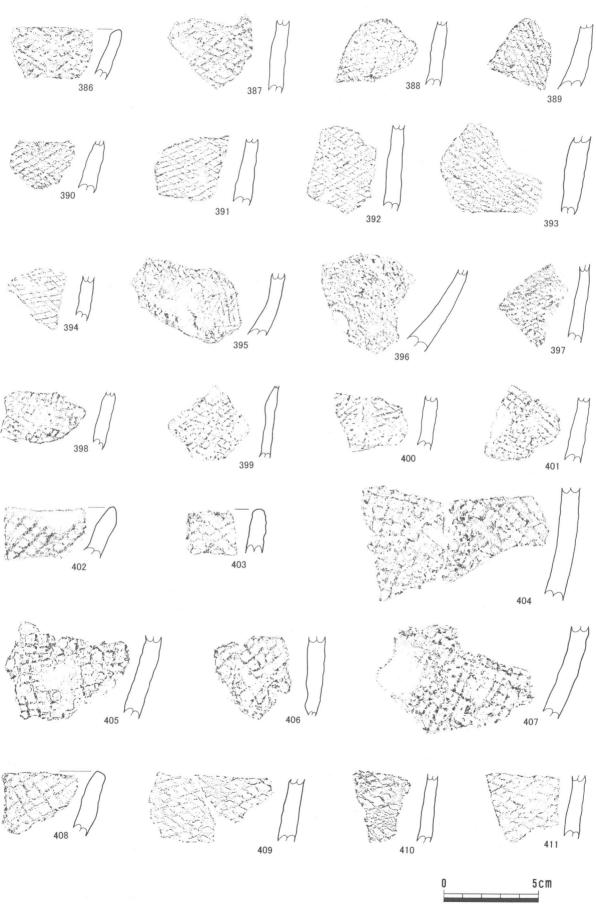
第88図 I群b類土器(3)



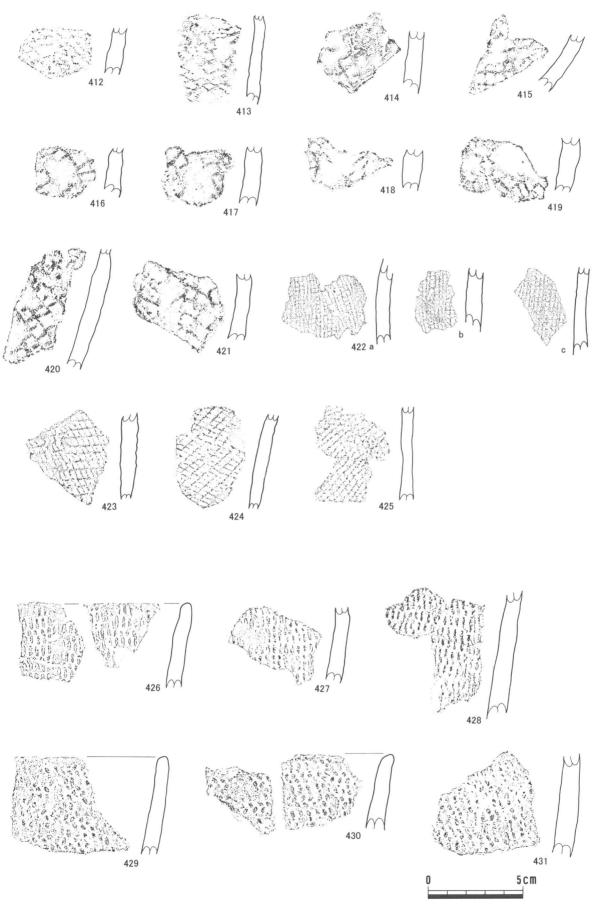
-91-



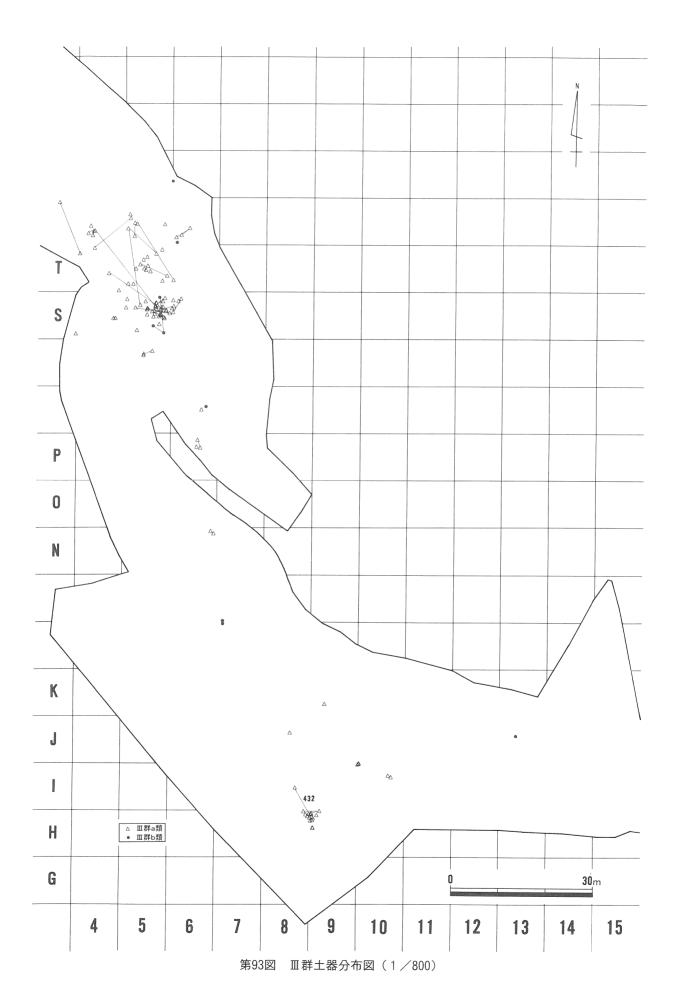
第90図 Ⅱ群a類土器



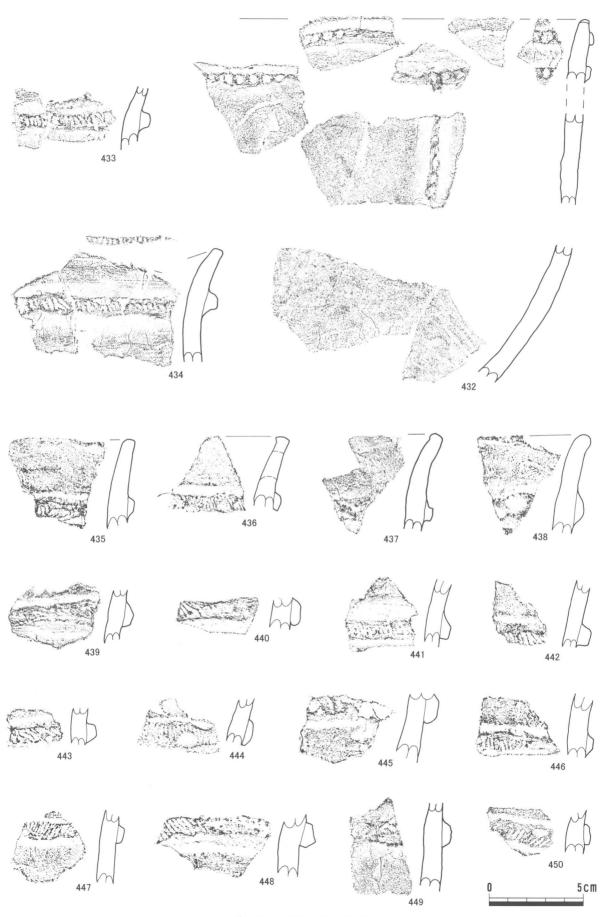
第91図 Ⅱ群b類土器



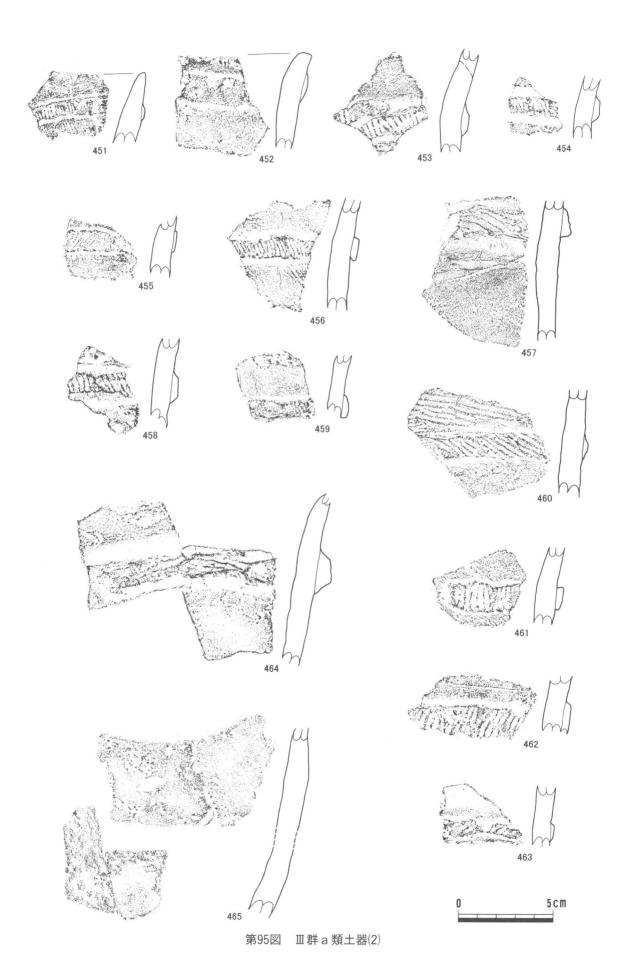
第92図 Ⅱ群b・c類土器



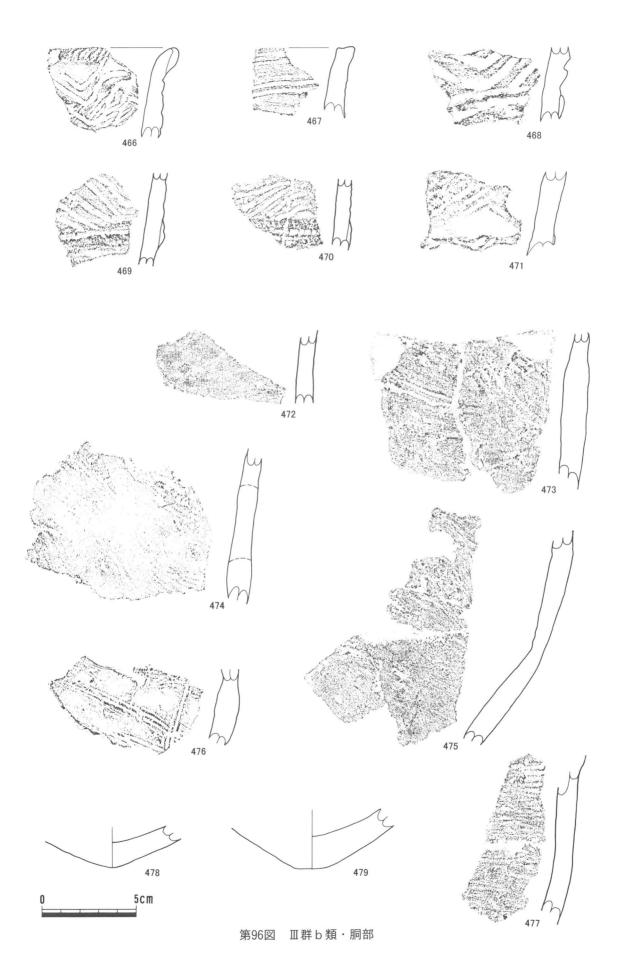
— 95 —



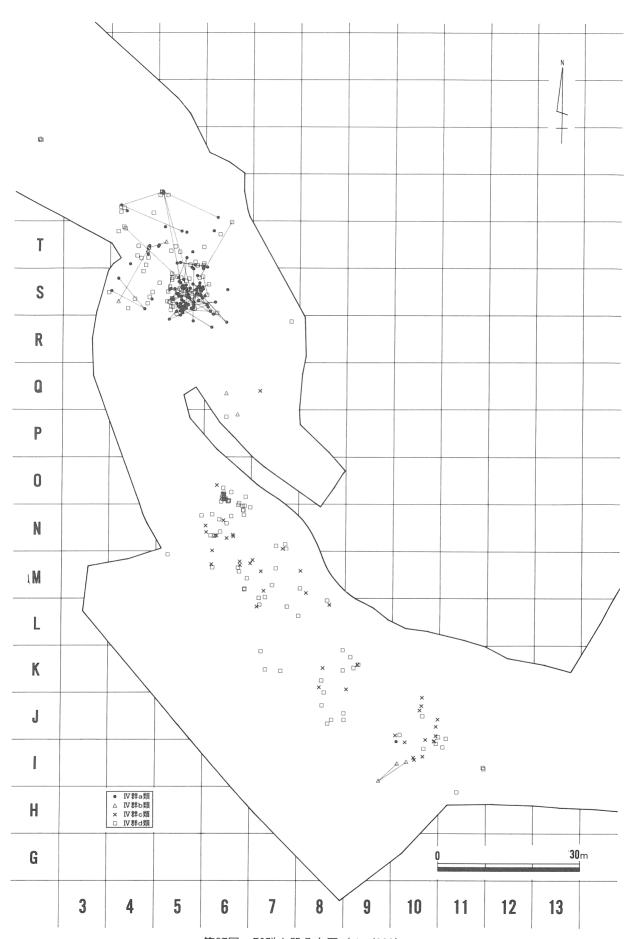
第94図 Ⅲ群a類土器(1)



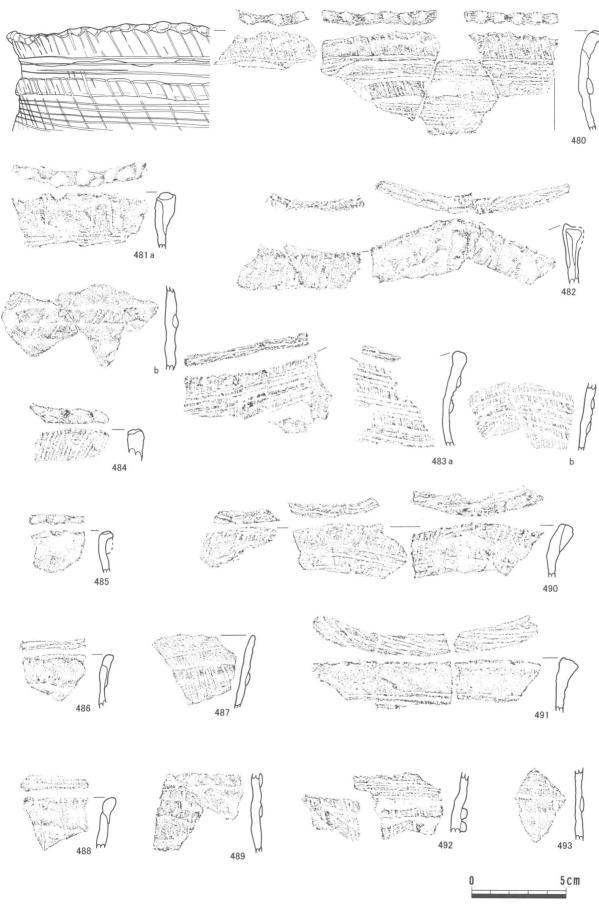
-97-



— 98 —



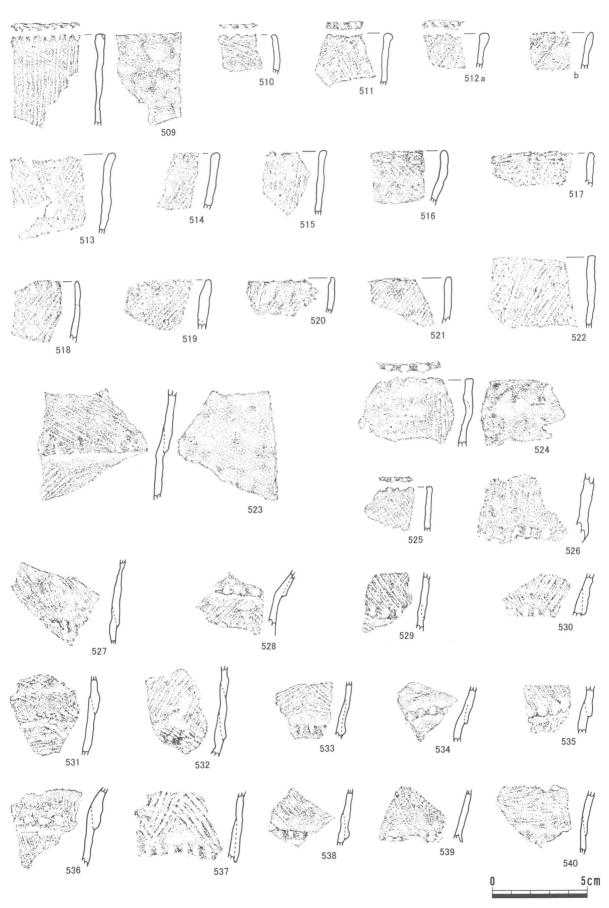
第97図 IV群土器分布図 (1/800)



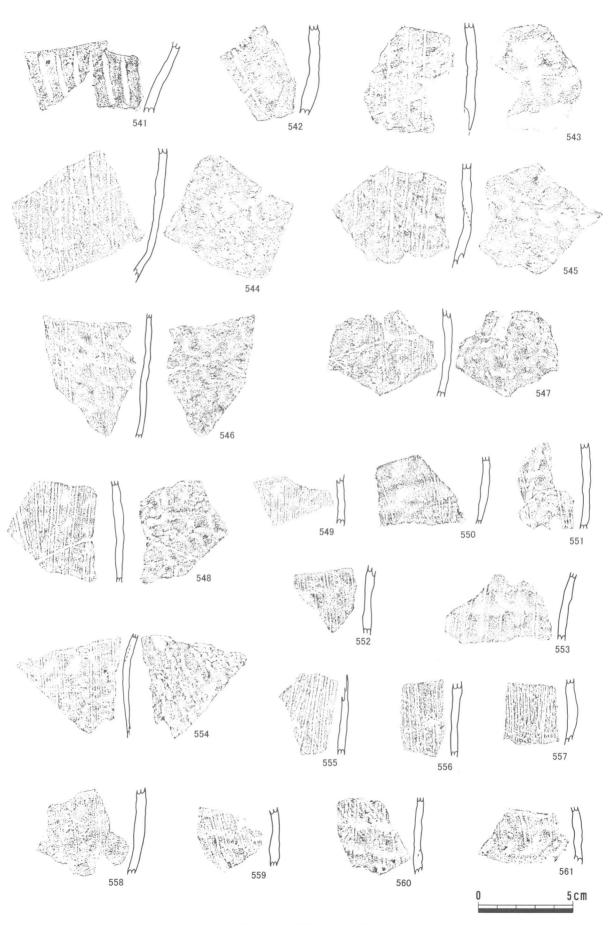
第98図 IV群 a 類土器



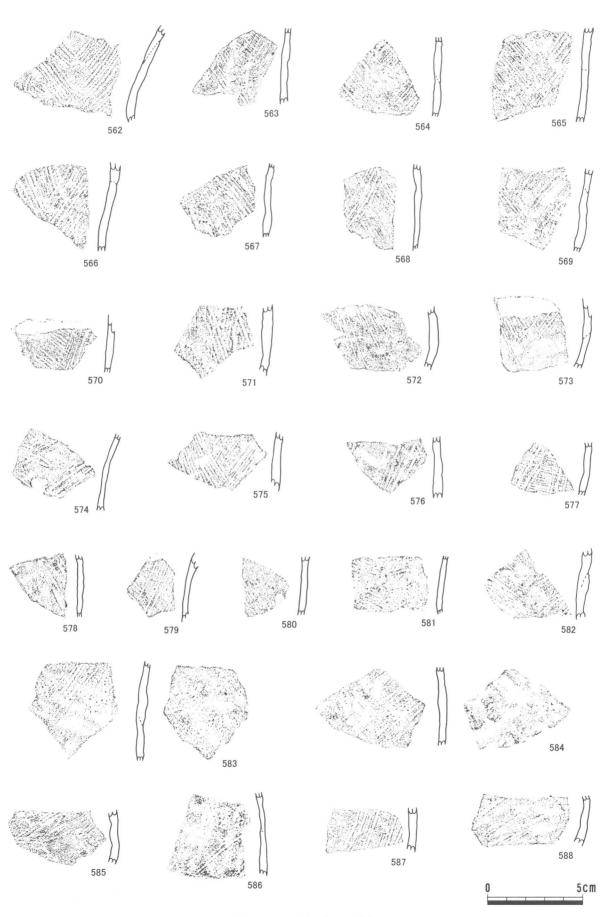
第99図 IV群a・b・c類土器



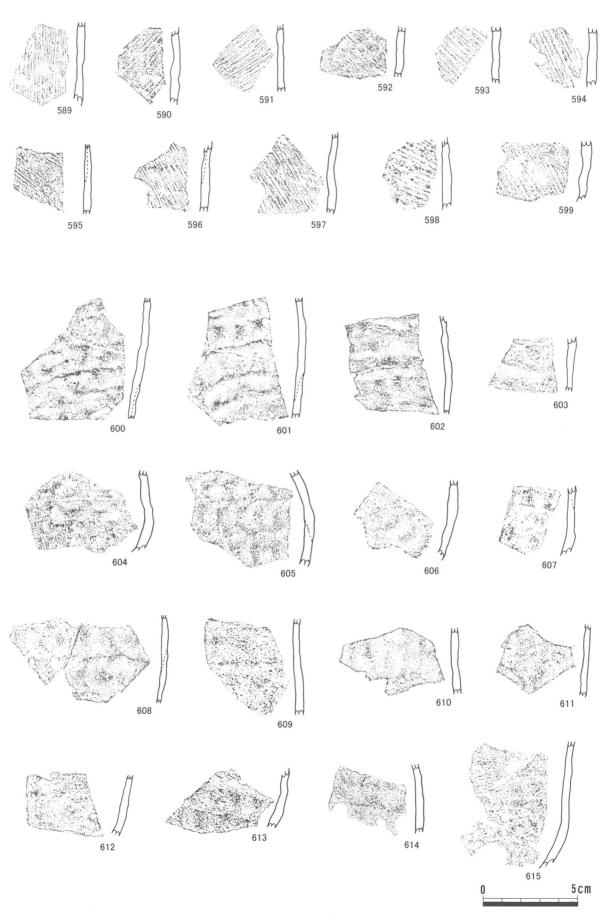
第100図 IV群c類土器



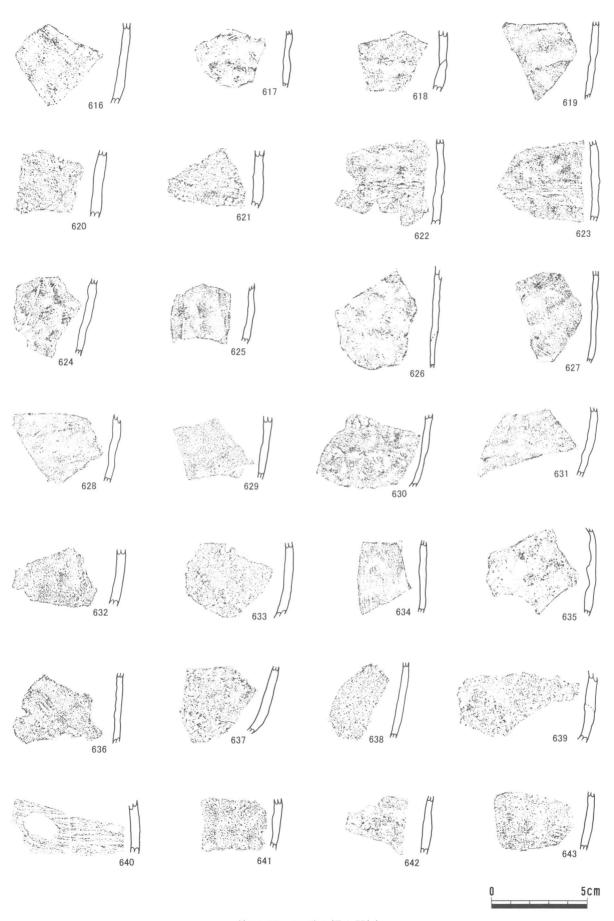
第101図 IV群d類土器(1)



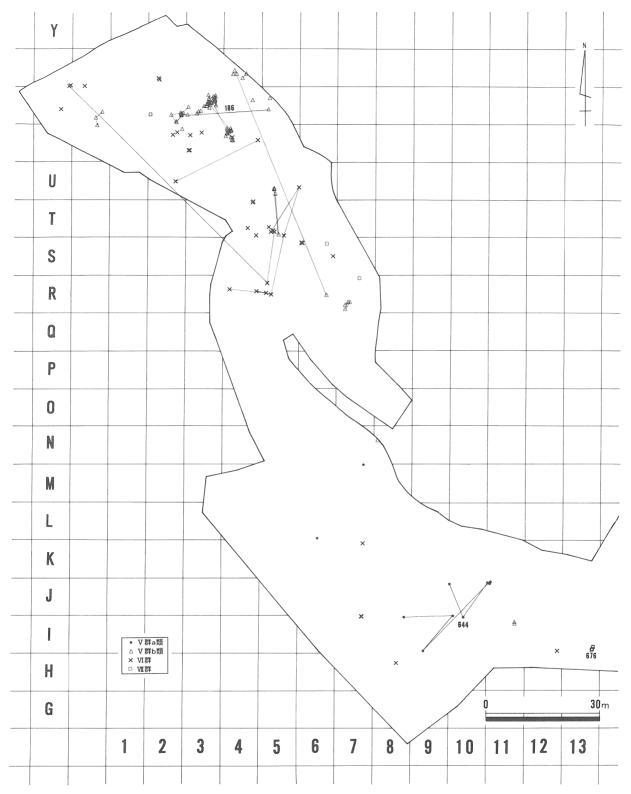
第102図 IV群d類土器(2)



第103図 IV群d類土器(3)

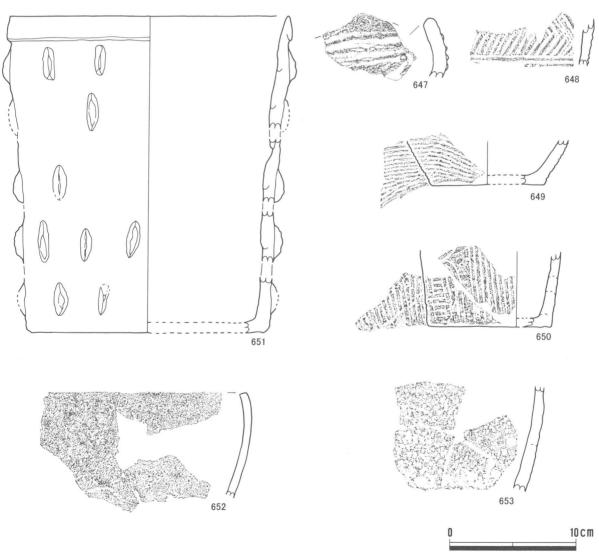


第104図 IV群d類土器(4)

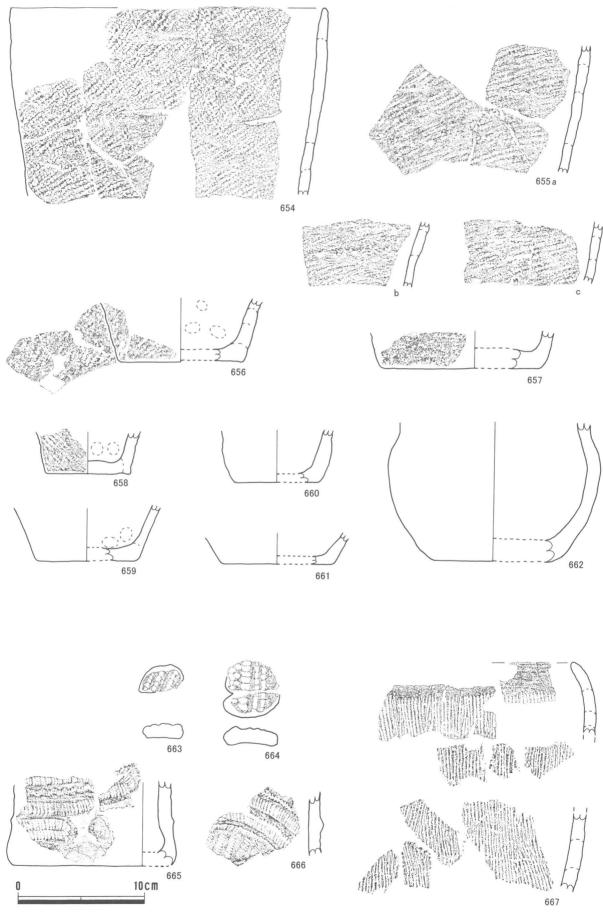


第105図 V・Ⅵ・Ⅶ群土器分布図(1/1000)

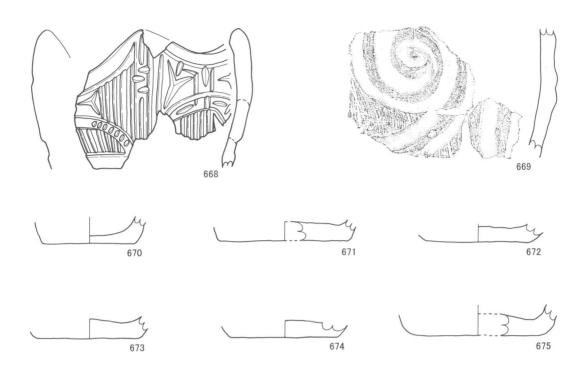


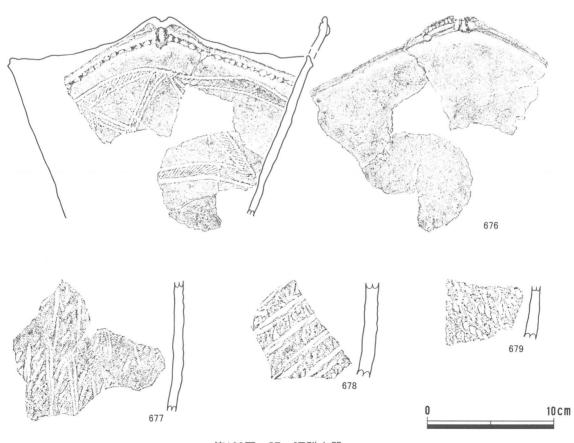


第106図 V群土器



第107図 V・VI群土器





第108図 VI·VII群土器

2. 石器

富士黒土層中から出土した石器である。縄文時代早期~中期の遺物と考えられるが、遺物個々の所属 時期は明確でない。よって以下に器種別分類し報告する。

(1) 石鏃

欠損品も含めて105点が出土した。このうち残存状況が良い78点を図化した。石材は70%が黒耀石である。基部の形状等より4群に分類して報告する。

I 群 基部が凹状のもの (680~731)

680~692は中でも基部の抉りが全長の1/3以上になるものである。680は風化が著しいが、本来脚部が長く、内側に湾曲していたと考えられる。681~683は全長より横幅が広いものである。684、687~690、692は脚部の末端が丸く、抉りが逆U字になる。693~731は比較的抉りが浅いものである。730は脚部外縁に左右対象な抉りが観察される。これは調整とは異なりエッジの潰れのように見られることから、着柄時の緊縛痕とも考えられる。

Ⅱ群 基部が平坦なもの (732~744)

二等辺三角形を呈する。素材剥片の剥離面を残すものがある。742~744は未製品である。

Ⅲ群 有茎のもの (745)

Ⅳ群 胴部中央に最大幅のあるもの (746~749)

粘板岩を素材として、縁辺部より浅い調整を加えることで石鏃としたものである。基部の形状は746と747は抉りがある。また、747と749は胴部平面に研磨痕が観察される。

(2) 石ヒ

未製品も含めて5点出土した。754、755は縦型で、754は原礫面を残した縦長の剥片の縁辺を加工したものである。先端部欠損。756~759は横型で、いずれも剥片の縁辺部に加工を加えたのみのものである。759は未製品と考えたが、素材剥片の最大厚が約2cmと厚いことから石斧の一部とも考えられる。石材は縦型に黒耀石が、横型にホルンフェルスが用いられている。

(3) 石錐

黒耀石製のものが 1 点出土している。ドリル部分の作り出しが粗く厚みがあるが、先端の断面は三角形を呈する (760)。

(4) 石斧

包含層からは18点出土した。残存状況が悪い2点を除き、16点を図化した。このうち、12点が打製石斧で、4点が磨製石斧である。

761~773は素材となる板状の剥片の縁辺部に加工を施した打製石斧である。加工は縁辺部のみで、胴部には原礫面や素材の剥離面を残すものが多い。特に砂岩製のものは、円礫を打ち割った剥片の左右縁辺に粗い調整を加えるだけのもので、原礫面を残す。768、770は側縁部に着柄痕がある。774は大型の打製石斧で、基部や打溜部分、側縁部に調整を施すが、表面には原礫面を大きく残す。出土位置はU2グリッド付近であり、所属時期は不明である。

775~778は磨製石斧である。775は緑色凝灰岩製で、両刃のものである。上部は折損後再度調整が加えられている。また刃部には製作時の打痕が観察される。776は裏面に若干稜が観察されるが片刃の磨製石斧と考えられる。砂岩製で、裏面基部には原礫面が観察される。磨痕が観察されるのは刃部とその縁辺

部で、基部は殆ど磨かれず打撃痕を残す。777は角閃石片岩製で先端部を欠損する。磨痕は剥離面より古く、欠損後再加工された痕跡はない。また基部の剥離は側縁の剥離面に切られており、基部が欠損でないことが判る。778は緑色凝灰岩製で、片刃である。縁辺部には剥離痕を残し基部は欠損。これらの磨製石斧は、刃部を中心に磨かれており、基部や縁辺部には剥離痕を残す。

(5) 装飾品

滑石製の装飾品と考えられるものが出土している。上部に緊縛痕が観察されることから、ペンダントと考えられる。この断面は半月形になっており、裏面に擦切り痕が観察されることから、縦に分割されたものと思われる。切断面は未処理で、裏面には緊縛痕が見られない。分割後にはペンダントとしては使用されなかったのであろう。出土層位は富士黒色土の上面、栗色土層との境部分で、前期後半の土器が集中して出土している。土坑等の施設は発見されなかった。

(6) 石錘

3点が出土した。いずれも偏平な円礫の対峙する2辺に片面より打撃を加えたものである。

(7) 敲石・磨石他

敲石・磨石427点、凹石21点、石皿13点が出土している。全てを図化し掲載することは不可能なので、 以下の基準で分類したのち、その一部を掲載した。

A類 敲石 柱状 (棒状) の石の上下端部に打痕があるもの。(A-1)

平面形が円形で縁辺部に及ぶもの(A-2)

B類 磨石 平面形が円形で偏平なもの (B-1)

C類 磨・敲石 平面形が円形で偏平なもの(C-1)

断面形が多角形のもの(C-2)

D類 凹石

E類 石皿

<A類>

敲きの単機能を持つものは148点出土した。このうち30点を図化した。A-1類は、棒状(柱状)の石の上下端部に打痕を持つものである。783~799が該当する。このうち783~788は棒状のもので、789~799はやや横幅が太くなる。これらには、石器製作時のハンマーが含まれる。A-2類は偏平な円礫の縁辺部に打痕があるものである。800~812が該当する。

<B類>

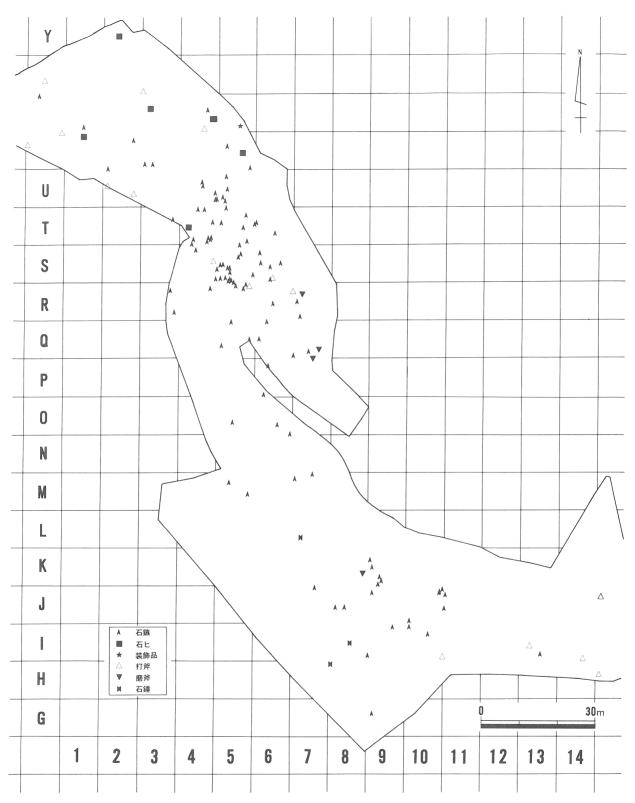
磨りの単機能を持つものは23点出土し、このうち9点を図化した(813~821)。これらは、円礫の平坦面に磨痕を持つもので、砥石あるいは石皿的に用いられたものと考えられる。

<C類>

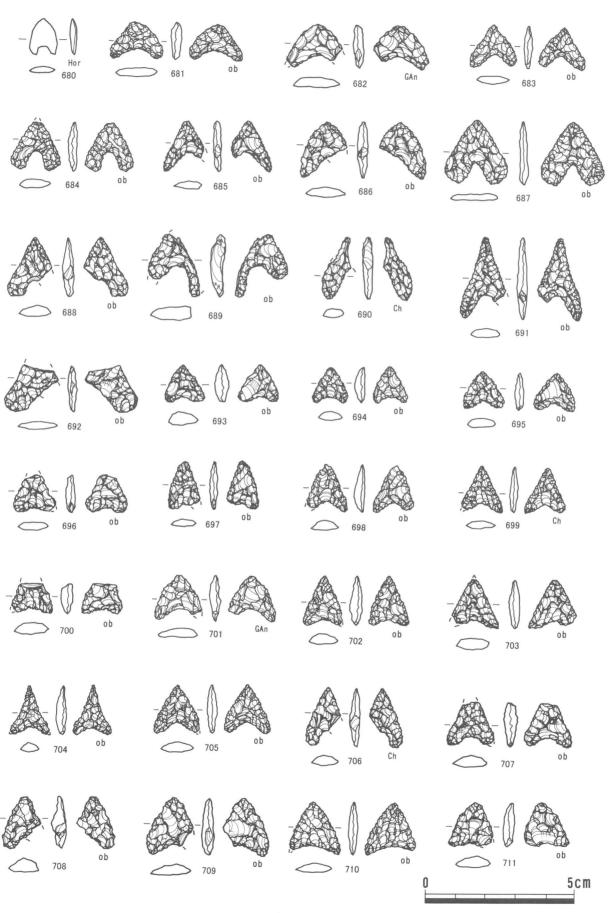
打痕と磨痕が同一石器内に観察されるものは256点出土し、このうち29点を図化した。C-1類は偏平な円礫の平坦面に磨痕が、縁辺部に打痕が観察されるものである。 $822\sim836$ が該当する。C-2類は柱状の円礫が研磨によって面取りされ、断面が三角形~四角形になるものである。 $837\sim850$ が該当する。これらは、特殊磨石とも呼ばれ、平坦面に磨痕、上下の端部に打痕が観察される。これらは手に持って用いられたものと考えられる。

<D類>

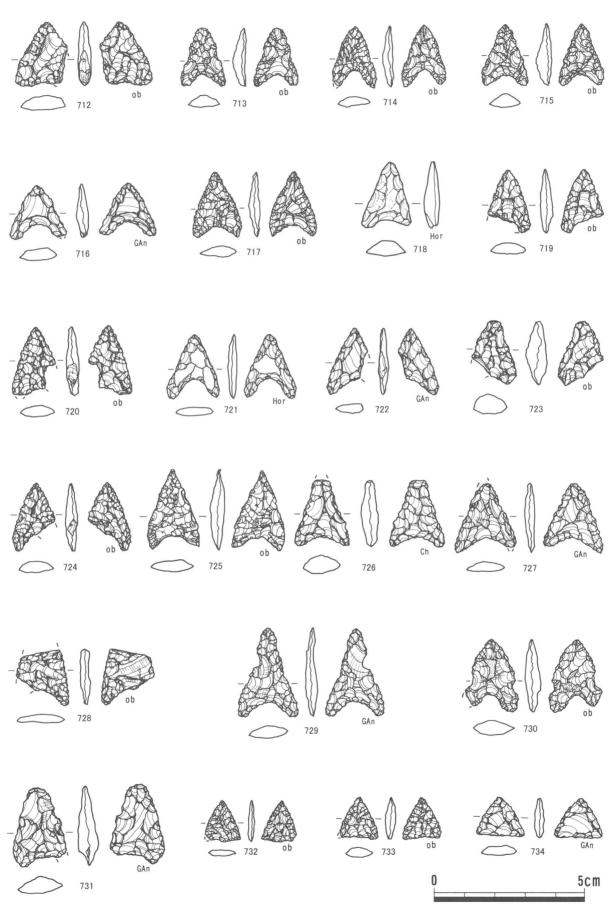
円礫の平坦面に打撃による窪みが観察されるものは21点出土し、このうち10点を図化した。851~860



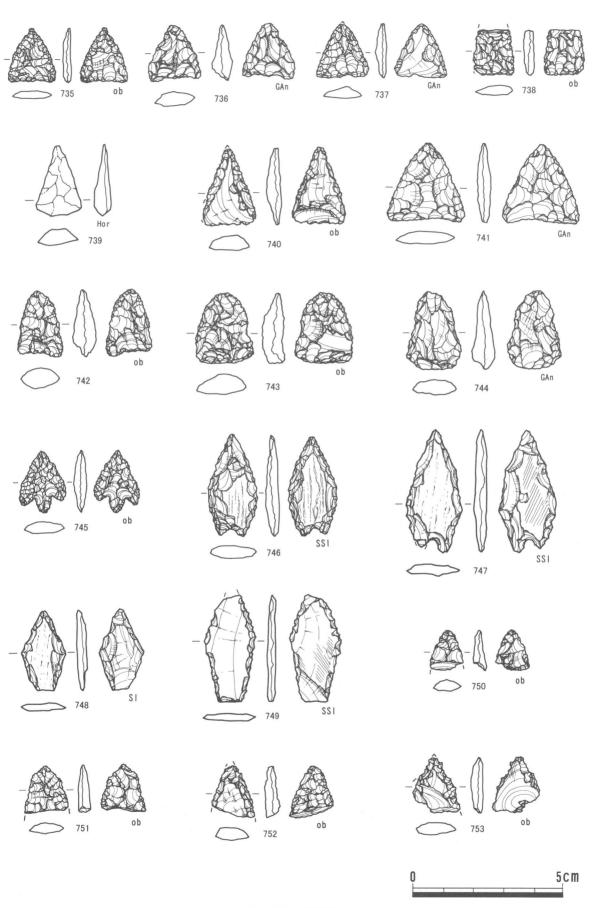
第109図 縄文時代石器分布図(1/1000)



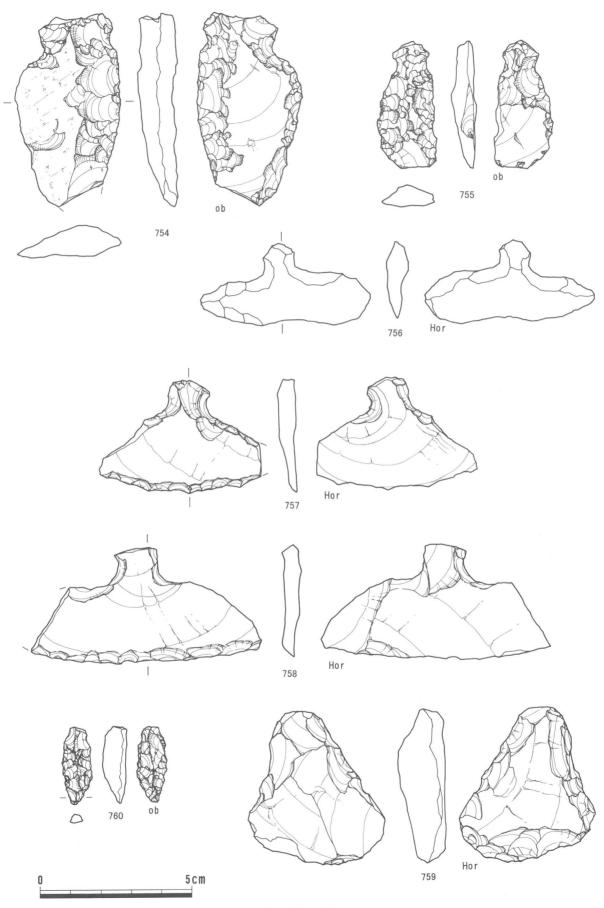
第110図 石鏃(1)



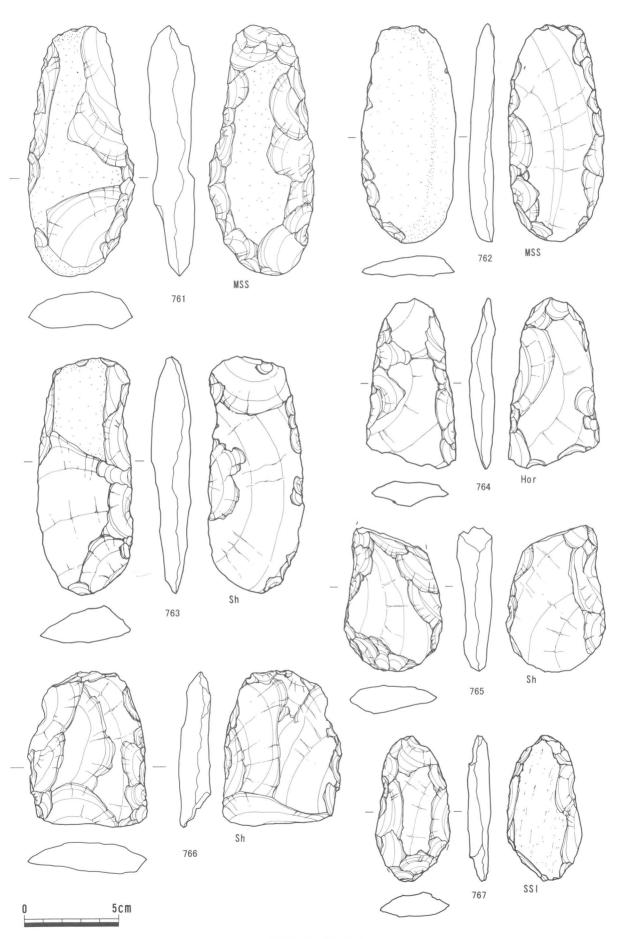
第111図 石鏃(2)



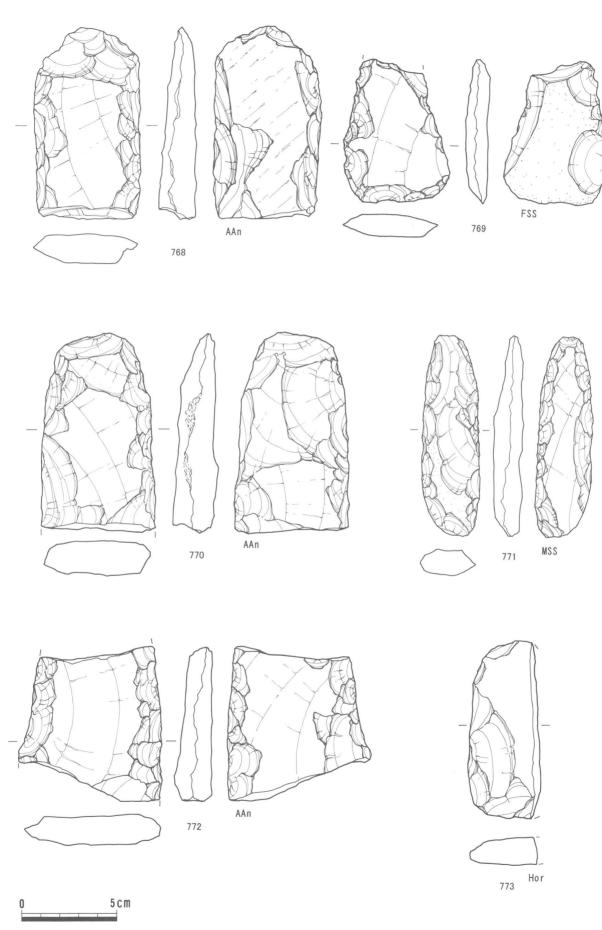
第112図 石鏃(3)



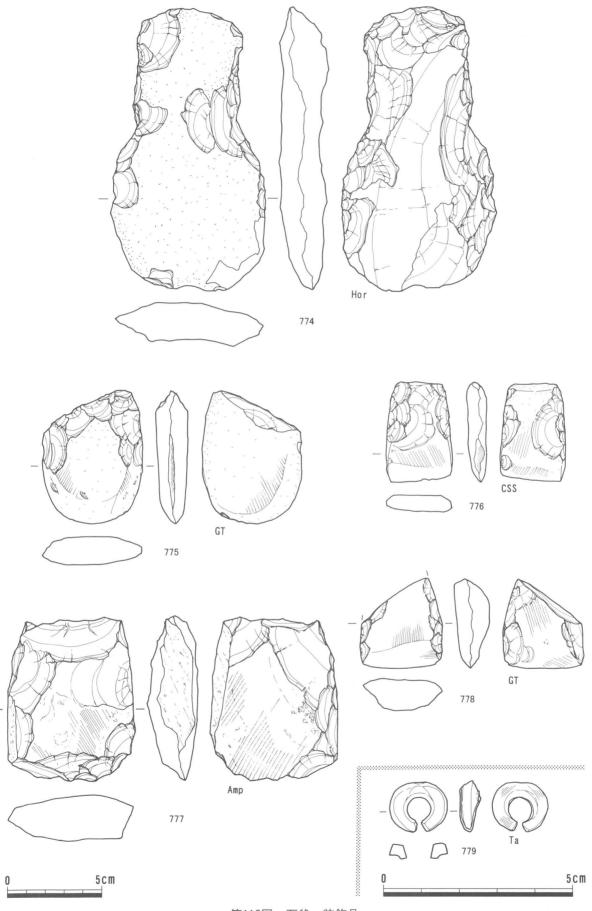
第113図 石七



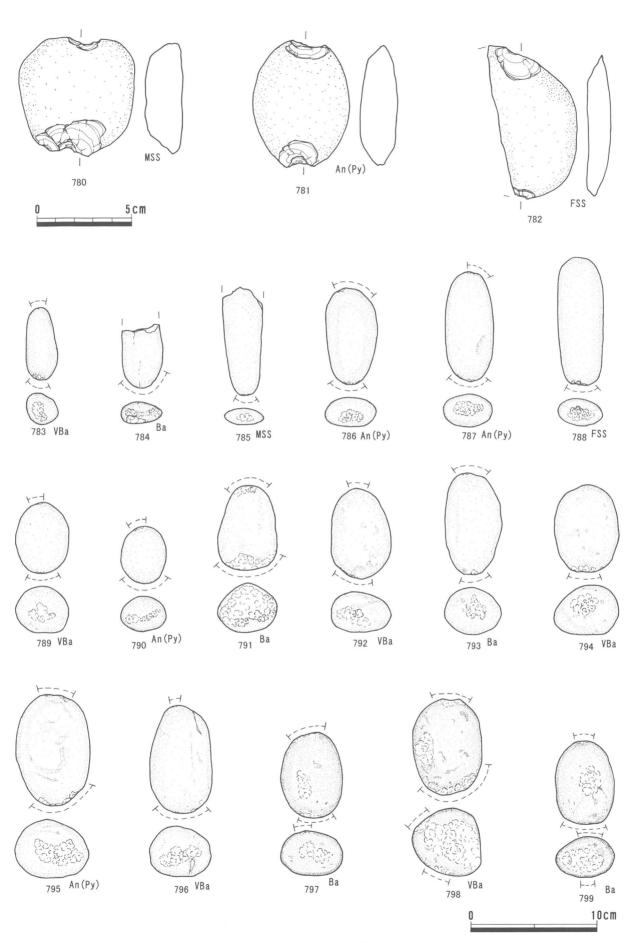
第114図 石斧(1)



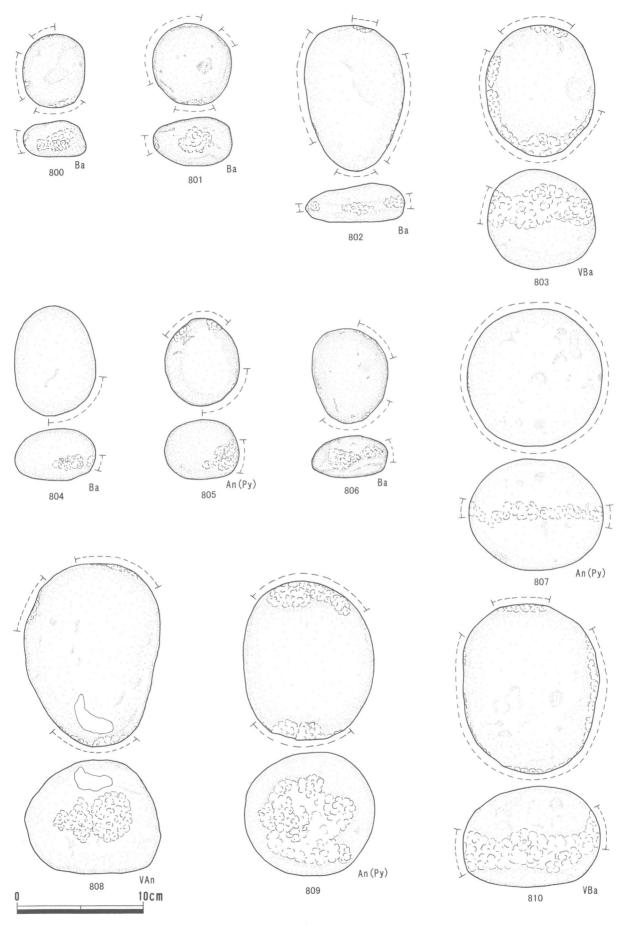
第115図 石斧(2)



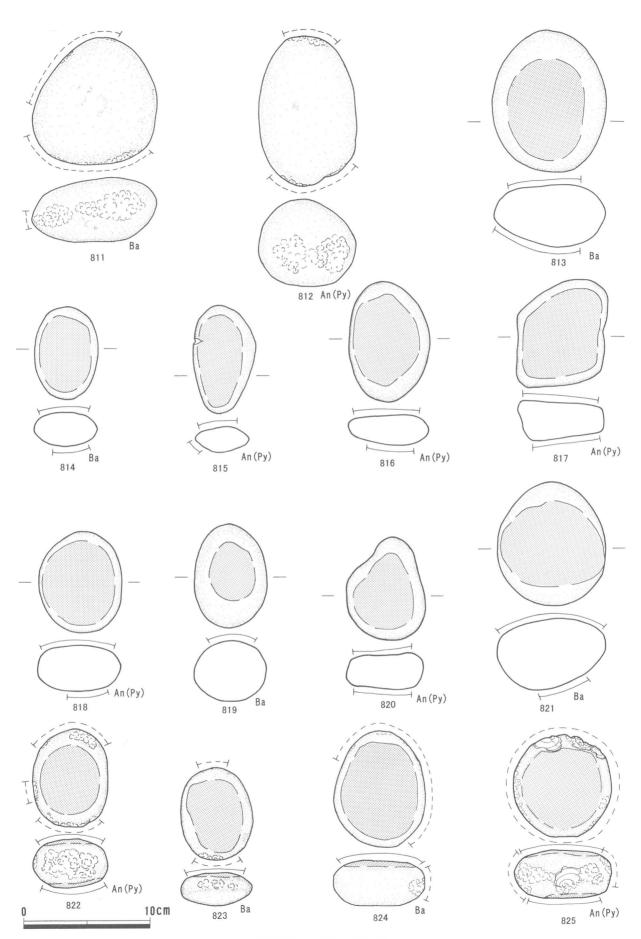
第116図 石斧・装飾品



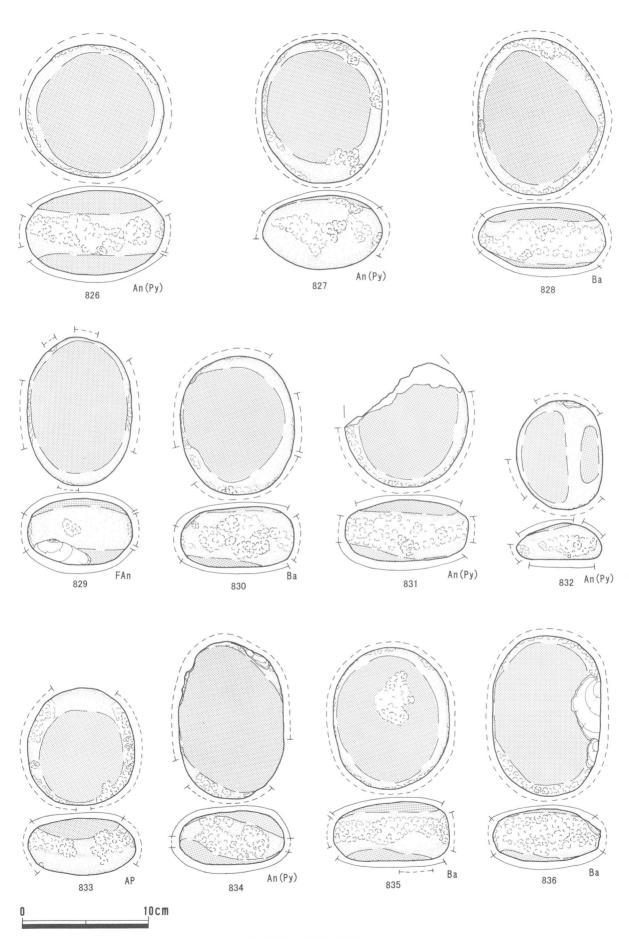
第117図 石錘・敲石



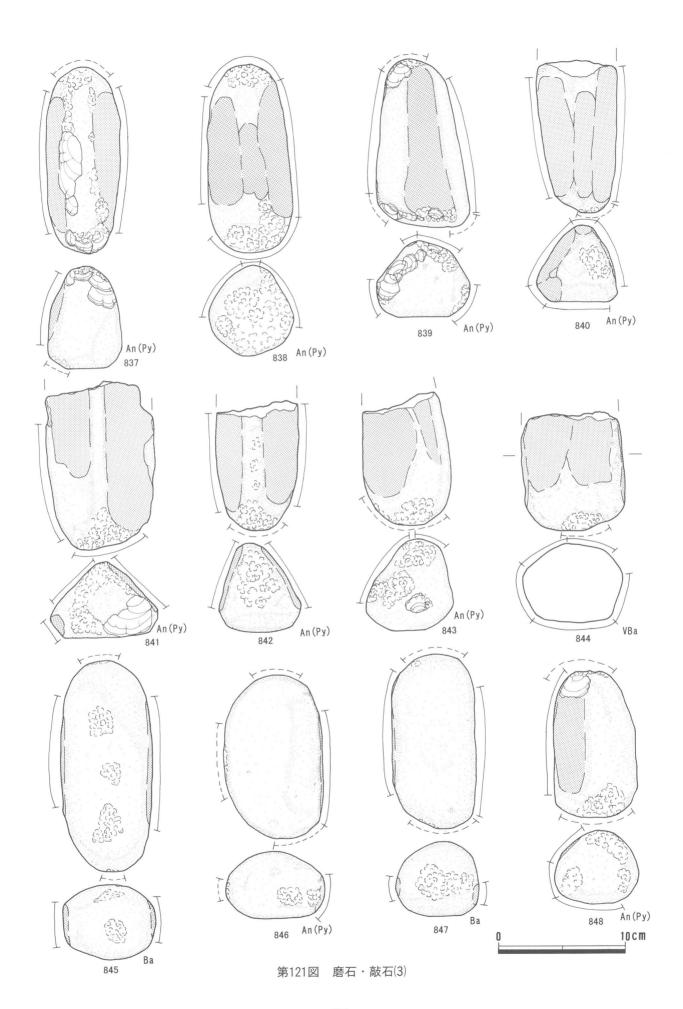
第118図 敲石

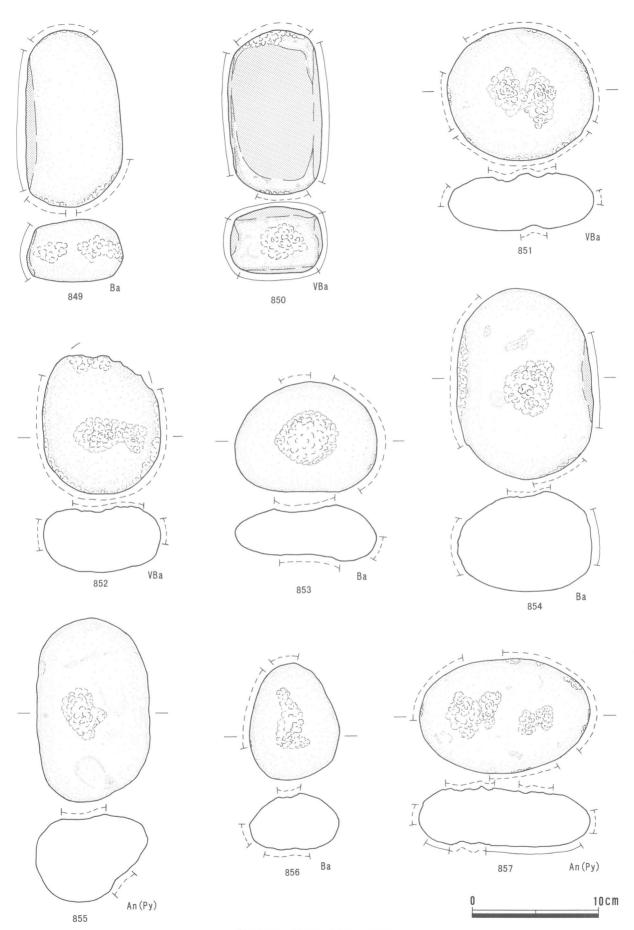


第119図 磨石・敲石(1)

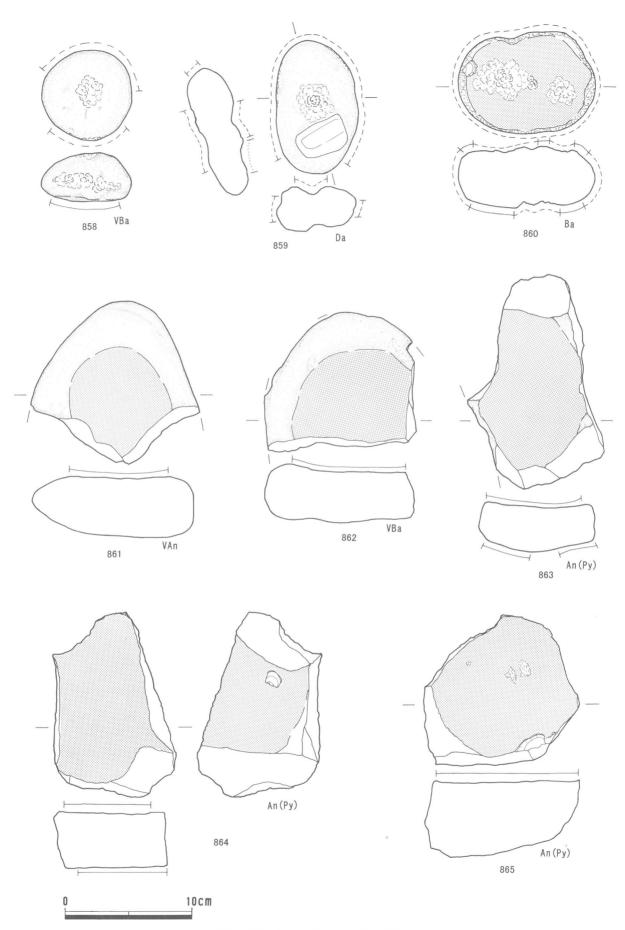


第120図 磨石・敲石(2)





第122図 磨石・敲石・凹石



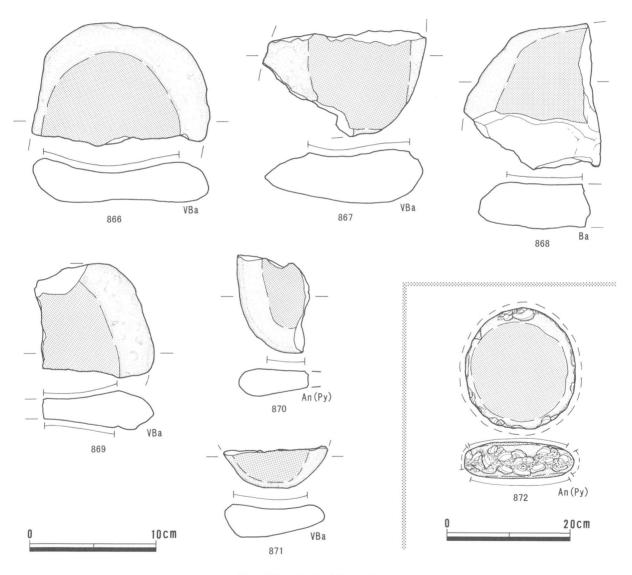
第123図 磨石・敲石・凹石・石皿

が該当する。これらは、縁辺部や平坦面に打痕や磨痕が観察されるものが多く、複合石器となっている。 特に859には、樋状の研ぎ痕が観察される。

<E類>

石皿である。861~871が該当する。大型の板状の礫を用いて平坦面に磨痕があるもので、全点が欠損 品である。866~871のように磨面が凹面となるものと864、865のように平坦なものがある。

以上A~E類に含まれないものとして872がある。磨石と敲石の複合石器であるが、C類に挙げたものより大型で、重さは3kg以上ある。周縁部に打痕はあるものの、持ち上げて使用するには重過ぎて、その使用方法が不明のものである。

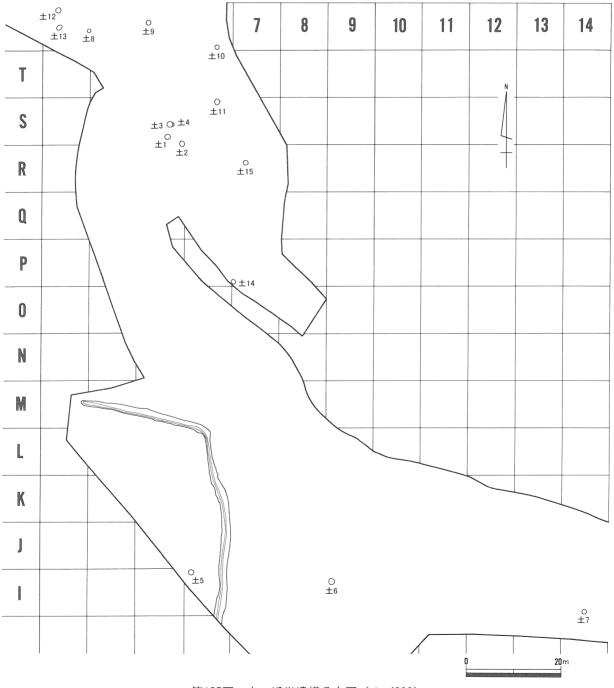


第124図 磨石・敲石・石皿

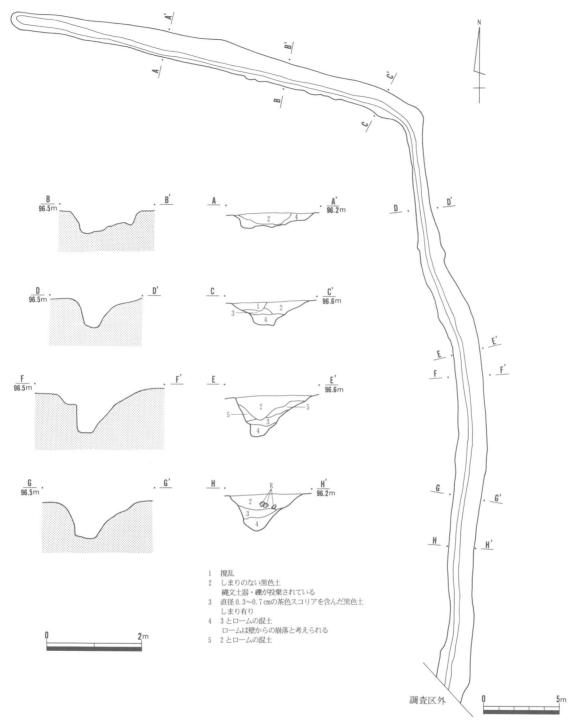
第VI章 その他の時代の遺構

正確な時期は不明であるが、溝状遺構と土坑が検出された。溝状遺構は、断面が台形で平面形がL字状のものである。遺物の出土が無いため時期の判断は不可能であるが、覆土上層の黒色土はしまりが少なく、円形土坑のものと類似する。覆土中に含まれる礫は縄文時代のものと考えられ、掘削土や壁からの流れ込みと考えられる。

円形土坑は15基が検出された。平面形は直径約 $1\sim1.2$ mの正円を呈し、深さは $0.05\sim0.46$ mである。これらは斜面地に立地し、群を成すことが多い。中世以降の墓壙とする意見が多いが、遺物等が検出されることが極めて少ないため、時期やその性格については不明の点が多い。



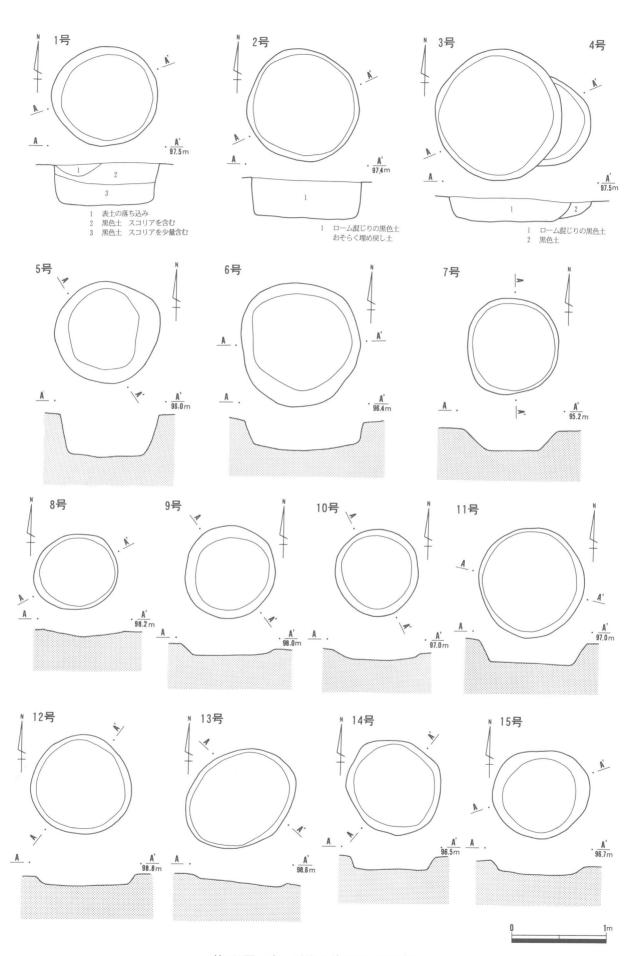
第125図 中・近世遺構分布図(1/800)



第126図 溝状遺構平面・断面図

表14 中・近世土坑計測表

土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	1.12	1.04	0.44	9号	0.98	0.94	0.11
2号	1.22	1.16	0.40	10号	0.92	0.88	0.08
3号	(0.96)	(0.30)	(0.14)	11号	1. 16	1.12	0. 23
4号	1.38	1.34	0.24	12号	1.06	1.04	0.10
5号	1.14	1.08	0.46	13号	1. 22	1.00	0.05
6号	1.30	1. 24	0.30	14号	1.08	0.88	0.13
7号	1.02	0.96	0.22	15号	1.04	0.94	0.12
8号	0.90	0.80	0.07				



第127図 中・近世土坑平面・断面図

第VI章 調査の成果

1 旧石器時代

第Ⅲ黒色帯において検出された土坑は、箱根西麓の初音ヶ原遺跡を始めとして、現在百基以上が確認されている。当初、箱根山麓にのみ広がる土坑群として認識されてきたが、平成10年に当遺跡、続いて長泉町細尾遺跡、向田A遺跡、富土石遺跡などで相次いで土坑が発見され、さらに平成13年には第二東名№27地点遺跡(沼津市西野)で10基が検出された。このことによって土坑群が箱根西麓から愛鷹山南麓にわたって広範囲に分布していることが明らかになった。これらは列状に並んで検出されている例が多く、推定復元深度は1.5mを超す。また覆土は自然埋没土と考えられており、第Ⅱスコリア層が埋没の最終段階に穴をパックしている。これらのことから機能的には陥穴説が有力である。また、各土坑間には切合い関係を持つものはなく、この前後する時期には同形態の遺構は確認されていない。短期間に、この愛鷹箱根山麓に展開した文化と考えることができよう。土坑が構築された第Ⅲ黒色帯の年代は、放射性炭素年代測定から約27,000年前と考えられており、後期旧石器時代の前半にあたる。この時期に構築された遺構群としては世界的にも類がなく、地域性としても大変注目されるものである。

休場層上位では、槍先形尖頭器の文化層が確認された。これは畑宿産黒耀石を使った尖頭器の製作跡で、同一の母岩より中型と小型の尖頭器を作り出している。遺物は2ブロックに分かれており、1号ブロックは石器製作跡としてとらえることができる。2号ブロックは礫群を中心に尖頭器が点々と分布しており、剥片、砕片等は殆ど含まれない。HNHJ1の個体で作成された尖頭器も含まれており、出土した尖頭器が全て欠損品であることから、保持している石器の補充あるいは入れ替えがおこなわれた場所と考えることもできる。両ブロックで出土している尖頭器は、HNHJ1の個体が10点、その他の個体が14点であるが、HNHJ1以外のものは、一母岩一個体で、明らかに搬入品としてとらえることができる。HNHJ1の個体は、出土した剥片に原礫面を残すものがあり、残核も検出された。剥片剥離の早い段階から、当遺跡に持ち込まれていると考えられるが、接合資料が少なく、大型の剥片は残されていない。一定以上の大きさの剥片が遺跡外に持ち出されたことを示す。

尖頭器は押圧剥離の痕跡はなく、直接打撃によるものと考えられる。この点で草創期のものとは大きく異なる。小型の尖頭器に関しては、素材剥片の剥離面を残して、縁辺部や基部・先端部に調整を施すものが多い。尖頭器とともに出土したナイフ形石器は、石刃を用いることなく不定形な剥片を素材として用いており、刃部が基部に対向する傾向がある。これらのことから、当文化層の編年的位置は、愛鷹・箱根編年第4期C段階と捉えることができる。沼津市清水柳北遺跡東尾根や長泉町八分平B遺跡と同時期のものと考えられる。

2 縄文時代

草創期の遺物として有舌尖頭器と尖頭器が出土した。有舌尖頭器はS5グリッドを中心に出土しており、残存状況が良好なもの(風化によって外形が変形しているものを除く)は全て明確な返刺を持つ。また、池田B遺跡も含めて、有舌尖頭器の中でも後半期のものに位置付けられる。尖頭器は神津島産の黒耀石を用いた、身の厚い大型のものが出土している。これは池田B遺跡で出土しているものと類似しており、草創期押圧縄文系の土器に共伴すると考えられているものである。本遺跡も池田B遺跡も草創期の土器は出土していない。

早期末~前期初頭の住居跡は、尾根の頂部で検出されている。これらは、土器分類 $\mathbb N$ 群 a 類と $\mathbb N$ 群 c 類に属するものとに分けることができる。北側に位置する $\mathbb N$ 群 a 類のグループ($\mathbb A$ グループ)は $\mathbb S$ 基の

住居からなる。切り合い関係や、遺物の廃棄のパターンが見られることから住居 $2 \sim 3$ 基のグループであったと考えられる。個々の住居の時間的前後関係は土器型式からは判断できない。遺構内からの遺物出土は少ないが遺構周辺の包含層からは、IV群 a 類の土器とともにⅢ群 a 類土器が出土している。これは沈線文を施さない段階の下吉井式土器である。一方南側の住居跡のグループ(B グループ)は、6、7号の2基の住居と約50m離れて10号住居が存在する。10号住居からの遺物出土はほとんどないが、6、7号住居からはIV群 c 類土器が出土した。包含層の資料は、10号住居の検出地も含めてIV群 c 類土器が分布する。条痕文系の土器はほとんど出土していない。

これらの遺物分布のあり方は、池谷氏の木島式土器の編年案(池谷1985)を用い、北側のAグループを第Ⅰ段階、南側のBグループを第Ⅲ段階として、時期差のある集落が2ヵ所で検出されたと考えると理解しやすい。同期の遺構は、当遺跡の北側、池田B遺跡において住居跡が10基検出されている。これらの住居跡からは木島式土器はほとんど検出されず、下吉井式土器が主体となった。これらは、隆帯とともに波状や渦巻状の沈線が施されるもので、Ⅲ群a類土器より新しいものと考えられる。土器型式をもとにこの尾根上の集落の移り変わりを考えると、鉄平Aグループ→池田B遺跡→鉄平Bグループという変遷が考えられる。これは、渋谷氏の編年観(渋谷1994)によるとほぼ連続したものとなる。しかし、それぞれが持つ土器は、木島+下吉井→下吉井→木島と、関東の隆帯文系の土器と東海系の土器が入れ替わるように現れる。箱根・愛鷹山麓においては、土器を製作した痕跡は未だ確認されておらず、粘土の特性から土器製作は行われていなかったとする意見もある(瀬川2000)。いずれにしても鉄平遺跡においては、狭い意味では木島式土器も下吉井式土器も搬入品である。限られた空間で、それも比較的短いと思われる時間軸の中で現れる土器消費地のこのような現象が、集団の移動の結果なのか、土器のみの移動の結果なのか、狩猟採集民の領域を考える上でも非常に興味深い。

<参考文献>

平川昭夫 1981「八分平B·富士石遺跡」長泉町教育委員会

池谷信之 1985「平沼吹上遺跡発掘調查報告書」沼津市教育委員会

渋谷昌彦 1994『土器型式より見た縄文早期と前期との境について

―関東・中部・東海地方からの検討―』「早期終末・前期初頭の諸様相」

縄文セミナーの会

鈴木敏中 1999「初音ヶ原遺跡」三島市教育委員会

瀬川裕市郎・増島 淳 2000『蛍光 X 線による縄文土器の胎土分析とその統計処理および解釈』 沼津市博物館紀要24

<謝辞>

本書をまとめるにあたり、以下の方々にご助言、ご教授を賜った。最後になったが心より感謝申し上 げる。(順不同、敬称略)

池谷 信之、渋谷 昌彦、廣瀬 高文、守屋 豊人



附表 1 旧石器時代の石器一覧表

文化層	図版 No.	遺物番号	出土層位		個体名称	原産地/ 個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	X座標	Y座標	H座標
П	1	6959	BB2	ガラス質黒色安山岩	フレイク		6. 44	3. 85	1. 42	29. 5	-94250. 360	35919. 189	94. 76
II	2	6958	BB2	ホルンフェルス	フレイク		3. 53	3, 53	0. 92	12	-94247. 292	35919. 472	94. 59
II	3	332	BB2	ガラス質黒色安山岩	石核		7. 80	11.0	7. 15	659. 7	-94193. 563	35864. 078	97.10
III	5	3996 2675	BB1 NLA	ホルンフェルス 黒耀石	ナイフ	TOTV 4	(4. 29)	(1.78)	(0.69)	(4. 2)	-94209. 428	35913. 719	94. 97
III	6	3986	BB1	ガラス質黒色安山岩	Uフレイク	TSTY4	(2. 04) 6. 14	(1. 48)	(0. 56)	(1. 2)	-94181.415 -94210.421	35849. 422	98. 47
Ш	7	4025	BB1	輝石安山岩	敲磨B2		14. 60	7. 70	5. 50	940	-94210. 421 -94211. 454	35911. 429 35914. 885	95. 12 94. 93
III	8	4270	BB1	輝石安山岩	台石		20, 70	22. 65	7. 60	5000	-94212. 471	35914. 685	94. 93
Ш	9	362	BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT10	2. 30	1.50	0. 52	1. 1	-94213. 681	35914. 315	94. 94
Ш	9	363	BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT10	2.10	1.50	0.53	1.2	-94212. 999	35914. 284	94. 99
Ш	10	8334	BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT8	1.80	1.80	0. 52	1	-94211.918	35893. 047	95. 62
III	10	8336	BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT8	2. 30	1. 30	0.65	1.3	-94212. 311	35893. 883	95. 62
Ш	lla	8395	BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT2	2. 25	4. 20	1. 65	10.5	-94210. 299	35895, 912	95, 62
Ш	11b	8385 8382	BB1 BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT2	1. 75	2.60	1. 73	6	-94210. 376	35895, 908	95. 75
Ш	11d	8384	BB1	黒耀石	フレイク(接合) フレイク(接合)	AGKT2	1. 80	2. 95	0. 67	2	-94209. 928 -94209. 771	35895, 663	95. 76
Ш	11e	8392	BB1	黒耀石	フレイク(接合)	AGKT2	1. 90	1.50	0. 48	1. 2	-94209. 771	35896, 153 35895, 309	95, 66 95, 65
īV	12	8153	ZN	黒耀石	ナイフ	SWHD8	(4. 95)	(2. 10)	(0.60)	(5)	-94307. 487	35942. 490	95, 92
IV	13	6952	ZN	黒耀石	ナイフ	WDTY4	(4.60)	(1.80)	(0.60)	(4.4)	-94211. 178	35898, 340	96. 50
IV	14	8354	YLL	黒耀石	ナイフ	WDTY5	3. 95	1. 20	0.50	2	-94214. 272	35885. 024	96. 22
IV	15	7108	YLU	黒耀石	ナイフ	SWHD10	3. 80	1.45	0.50	2. 6	-94258. 516	35894. 058	96. 23
IV	16	7024	YLL	黒耀石	ナイフ	WDTY3	3, 80	1.60	0.60	3. 1	-94219. 658	35894. 564	96. 23
IV	17	2457	YL	黒耀石	ナイフ	SWHD11	4. 90	1.65	0.80	6	-94171.059	35872. 586	99. 01
IV IV	18	2458 3106	YL	黒耀石	ナイフ	SWHD20	2. 62	1.05	0. 52	1	-94183. 621	35882, 867	97. 92
IV	20	1877	KU	黒耀石	ナイフ	WDTY1 SWHD21	2. 20	0. 95	0. 35	0.7	-94229. 409	35913. 191	96. 24
IV	21	293	ZN	黒耀石	ナイフ	SWHD21 SWHD25	6.00	1.85	0.49	0.8	-94197.115 -94192.823	35882. 457	97. 88
IV	22	1473	KU	黒耀石	ナイフ	SWHD23	2. 97	1. 85	0. 80	1.1	-94192. 823 -94191. 172	35864. 385 35863, 470	98. 52 98. 90
IV	23	3947	FB	黒耀石	ナイフ	WDTN1	2. 55	1. 50	0.35	1. 3	-94191.172	35888. 209	96, 64
IV	24	3484	FB	黒耀石	ナイフ	SWHD23	(1.88)	(1. 24)	(0. 26)	(0.7)	-94229. 048	35910. 158	96. 18
IV	25	1020	KU	黒耀石	ナイフ	SWHD9	(1.61)	(1. 29)	(0.35)	(0.5)	-94211.012	35897, 579	97. 20
IV	26	5129	FB	黒耀石	ナイフ	SWHD6	(2.73)	(1.96)	(0.55)	(2.6)	-94216. 842	35896, 286	96. 55
IV	27	1726	FB	黒耀石	ナイフ	SWHD4	(3. 22)	(2. 25)	(0.91)	(5.7)	-94187. 232	35893, 227	97. 99
IV	28	1745	KU	黒耀石	ナイフ	SWHD1	(3. 15)	(2.30)	(0.90)	(5. 2)	-94172. 901	35875. 995	99. 528
IV IV	29	2456	YL	黒耀石	ナイフ	WDTN2	3. 40	2. 65	0.80	6. 2	-94173. 624	35872. 358	98. 85
IV	30	8184 6888	YLU	黒耀石 チャート	削器	SWHD26	3. 05	2. 80	1.05	8. 9	-94203. 450	35888. 498	96. 880
IV	32	7145	YLM	ホルンフェルス	石刃		5. 20 11. 97	5. 55 3. 02	1. 65	57. 4 35. 1	-94210. 937 -94209. 233	35890. 625 35898. 202	96, 424
IV	33	8307	YLU	ホルンフェルス	石刃		10. 03	4. 00	1. 45	48. 4	-94220, 946	35898, 202 35883, 189	96. 359 96. 207
V	34	8207	YLU	ガラス質黒色安山岩	尖頭器		4.70	2. 00	0.80	7. 2	-94212. 272	35886, 658	96, 498
V	35	4571	FB	チャート	尖頭器		4. 30	1. 75	0. 75	5	-94209. 426	35907. 849	96. 242
V	36	848	ZN	黒耀石	尖頭器	SWHD24	4.70	2. 10	0.70	7. 2	-94295, 330	35969. 082	95. 461
V	37	8043	ZN	チャート	尖頭器		4. 35	1. 45	0. 55	3.8	-94224. 158	35895. 444	96, 466
V	38	3600	FB	黒耀石	尖頭器	SWHD7	(2.19)	(1. 63)	(0, 64)	(2)	-94217. 823	35910. 017	96. 065
V	39	3168	FB	黒耀石	尖頭器	HNHJ1	3, 80	2. 20	1.00	6.8	-94215. 299	35911. 064	96. 134
V	40	4950 4720	FB FB	黒耀石	尖頭器	HNHJ9	(3, 05)	(2, 38)	(0.79)	(4.6)	-94213. 723	35883, 580	96. 767
V	42	8273	YLU	黒耀石	尖頭器 尖頭器	HNHJ1 HNHJ1	(4.78)	(2. 91)	(1. 39)	(12. 9)	-94211. 379	35899. 721	96. 815
V	43	1860	KU	黒耀石	尖頭器	SWHD3	2. 70	1. 60	0.40	1.7	-94210. 741 -94178. 024	35887, 617 35889, 630	96, 419 98, 564
V	44	3624	FB	黒耀石	尖頭器	SWHD5	3. 18	1. 24	0. 44	1. 5	-94224. 606	35906. 974	96, 239
V	45	8314	YLU	黒耀石	尖頭器	SWHD19	3. 40	1. 30	0.70	2. 6	-94209. 739	35885. 542	96. 567
V	46	584	KU	チャート	尖頭器		3. 00	1. 30	0.40	1.7	-94223. 132	35910. 212	96. 649
V	47	5872	FB	黒耀石	尖頭器	TSTY2	(2. 24)	(1. 15)	(0.52)	(1.3)	-94294. 653	35927. 997	96. 481
V	48	8264	YLU	チャート	尖頭器		2. 97	1. 13	0.64	2. 1	-94215. 948	35888. 247	96. 387
V	49	3599	FB	黒耀石	尖頭器	HNHJ1	2. 62	1.51	0. 71	2. 4	-94216. 811	35903. 250	96, 683
V	50	4371	FB	黒耀石	尖頭器	HNHJ2	2. 55	1. 50	0.50	1. 9	-94208. 301	35887. 256	97. 029
V	51	4878	FB	黒耀石	尖頭器 小丽聖	HNHJ1	2. 88	1. 39	0.46	1. 9	-94210. 902	35886, 384	96, 811
V	52 53	3750 3789	FB FB	黒耀石	尖頭器 小頭架	HNHJ1	3. 10	1. 55	0.69	2.5	-94219. 406	35885, 316	96. 802
V	54	3592	FB	黒耀石	尖頭器 尖頭器	HNKI1 HNHJ1	(2. 91)	(1. 46)	(0. 70)	(3, 3)	-94258, 414	35901. 336	96. 640
V	55	8166		黒耀石	大明 都 尖頭器	HNHJ1	2. 41	1. 21	0. 51	1. 3	-94209, 537 -94213, 989	35908. 194 35903. 023	96. 264
v	56	3453	FB	黒耀石	尖頭器	HNHJ1	(1. 92)	(1. 62)	(0. 77)	(2, 2)	-94213. 989 -94212. 987	35903. 023 35910. 259	96, 247 96, 128
V	57	8294		黒耀石	尖頭器	HNHJ1	(1.59)	(1.63)	(0.46)	(1. 1)	-94213. 891	35887. 358	96, 128
V	58	4098	FB	黒耀石	ナイフ	HNHJ1	3. 63	1. 60	0.72	3. 5	-94221.147	35903. 162	96, 602
V	59	8323		黒耀石	ナイフ	SWHD10	3. 85	1. 55	0.5	2. 7	-94216.061	35882. 070	96. 218
V	60	818		黒耀石	ナイフ	HNHJ3	2. 41	1. 28	0.81	1.8	-94306. 662	35994. 370	94. 484
V	61	7010		黒耀石	ナイフ	TSTY6	3. 03	1. 21	0. 73	2. 1	-94211. 488	35893. 219	96. 490
V	62	8212		黒耀石	ナイフ	SWHD12	4. 10	1.65	0.60	2.6	-94217. 098	35885. 770	96. 359
V	63	4977		黒耀石	ナイフ	TSTY1	2. 05	1.55	0.40	1	-94217. 698	35881. 618	96. 429
V V	64	8326		黒耀石	ナイフ	HNHJ6	(1.85)	(1. 43)	(0.50)	(1. 2)	-94216. 916	35883. 876	96, 228
V	65	6957		黒耀石	ナイフ	TSTY3	(2.01)	(1. 38)	(0. 64)	(1.4)	-94212, 256	35897. 752	96. 470
V	66	342 8280		黒耀石	楔形石器 楔形石器	AGKT17	1. 70	1. 70	0.85	1.5	-94213. 419	35914. 361	95. 373
V	68	8196	-	黒耀石	楔形石器 石核	HNHJ7 HNHJ1	4. 45	2. 70 5. 58	1.40	15. 1	-94210. 444 -94210. 946	35882. 747	96, 478
V	69	8217		黒耀石	口怪 フレイク	HNHJ1 HNHJ1	3. 20	3, 25	3. 46 0. 88	6.5	-94210. 946 -94210. 301	35887. 149	96. 504
V	70	8198			チップ	HNHJ1	1. 65	1. 30	0. 88	0.3	-94210. 301 -94210. 717	35885, 893 35887, 695	96. 493 96. 556
V	71	8318		黒耀石	フレイク(接合)	HNHJ1	1. 90	1. 55	0. 52	1. 1	-94210.717	35887, 695	96, 556
V	71	8331		黒耀石	フレイク(接合)	HNHJ1	2. 65	1. 45	0.38	1. 5	-94209, 403	35887. 962	96, 586
VI	72	7565			細石刃石核	AGKT18	1.80	1. 75	1.00	2. 5	-94332. 110	35928, 020	95, 640
VI	73	3601		黒耀石	細石刃	SWHD2	1.89	0.69	0. 27	0. 1	-94225. 531	35909, 939	96. 095
VI	74	1330	ĶU	黒耀石	細石刃	WDTY2	1. 52	0. 52	0.18	-	-94214. 387	35895. 258	97. 090

文化層	図版 No.	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	原産地/ 個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	X座標	Y座標	H座標
VI	75	7313	FB	黒耀石	細石刃	KZ0B2	2. 23	0.62	0. 22	0. 2	-94303. 847	35917. 224	96. 246
VI	76	3644	KU	黒耀石	細石刃	KZOB1	1.06	0.72	0. 22	0.1	-94251. 280	35898. 279	96. 709
VI	77	4260	FB	黒耀石	細石刃	-	1.00	0. 56	0.18	0. 1	-94211. 574	35890. 707	96. 953
II		284	BB2	ガラス質黒色安山岩	フレイク		2. 89	1.55	0.63	1.4	-94252. 052	35920. 377	94. 848
II		285	BB2	ホルンフェルス	フレイク		4. 40	2. 93	1.13	6. 4	-94250. 987	35922. 374	94. 644
II		2627	BB2	ホルンフェルス	チップ				-	0. 7	-94191. 962	35892. 926	96. 208
II		6887	BB2	黒耀石	フレイク	AGKT	2. 30	2. 76	1.41	5. 2	-94201.716	35900. 906	95. 581
II		6893	BB2	黒耀石	チップ	AGKT	<u> </u>		-	0.5	-94250, 300	35923. 562	94. 690
П		6960	BB2	ホルンフェルス	チップ		-	-		0.9	-94250, 515	35920. 244	94. 696
П		6961	BB2	ホルンフェルス	フレイク	. ovem .	5. 24	3. 69	1. 56	28. 6	-94249. 989	35923, 628	94. 515
III		329	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT4	2.80	2.60	0.98	4. 9	-94167.071	35874. 608	98. 351
Ш		364	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD13	2. 00	2. 90	0, 58	2.5	-94212. 717 -94212. 969	35914. 281 35914. 762	95. 141
Ш		365 366	BB1 BB1	ホルンフェルス 黒耀石	チップ	AGKT2	3. 50	2. 20	1.12	6.6	-94212. 969 -94213. 351	35914. 762	94. 929 95. 118
Ш		367	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD14	2. 05	1. 30	0. 85	1	-94213. 209	35915, 107	94. 915
Ш		368	BB1	黒耀石	チップ	AGKT9	1. 35	0, 75	0.36	0, 36	-94212, 734	35915, 396	95. 126
Ш		369	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD16	2.00	1.65	0. 59	1	-94211. 603	35915. 203	95. 078
Ш		2674	BB1	ガラス質黒色安山岩	フレイク	0	3. 90	2. 85	0. 69	6	-94182. 699	35838, 347	99. 106
Ш		3987	BB1	ホルンフェルス	フレイク		3. 85	3. 60	1. 23	11.6	-94211, 034	35912. 363	95. 099
Ш		3988	BB1	ホルンフェルス	フレイク		1.00	2. 25	1.00	2.8	-94211. 259	35913, 378	95, 042
Ш		3989	BB1	ホルンフェルス	フレイク	-	5. 25	2. 40	1. 67	20. 2	-94211. 286	35913. 692	95. 059
Ш		3990	BB1	ホルンフェルス	フレイク	+	1.80	3. 90	0.89	5. 2	-94210. 698	35914. 077	95. 018
III		3991	BB1	ホルンフェルス	フレイク		4. 00	3. 70	1. 22	19. 1	-94210.537	35914, 062	94, 990
III		3992	BB1	ホルンフェルス	フレイク	1	6. 24	3. 88	3. 80	81.8	-94210.075	35913, 867	95. 059
Ш		3993	BB1	ホルンフェルス	チップ	+	1. 70	1. 55	0. 45	1. 3	-94210. 376	35914. 496	94. 962
m		3994	BB1	ホルンフェルス	フレイク	1	4. 50	4. 60	1. 15	23. 6	-94210. 822	35914. 462	94. 952
Ш		3995	BB1	ホルンフェルス	フレイク	+	2. 30	3. 40	0. 73	4. 4	-94211. 473	35914. 786	94. 990
Ш		3997	BB1	ホルンフェルス	フレイク		2. 50	1. 90	0.95	5	-94209. 896	35913. 653	94. 984
m		3998	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD14	1. 90	1.10	0.71	0.9	-94210. 371	35913. 328	94. 975
Ш		3999	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD14	2. 20	1. 25	0.51	0. 9	-94209. 328	35914. 144	94. 980
Ш		4022	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD13	1.70	1.80	0.65	1. 3	-94211.311	35913. 014	95. 116
Ш		4023	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD15	3. 10	1.70	0.72	3	-94211.009	35913. 374	95. 117
III		4024	BB1	黒耀石	チップ	SWHD13	1.40	0.80	0. 58	0.4	-94211. 699	35914. 312	95. 011
Ш		4026	BB1	ホルンフェルス	フレイク		5. 70	1.15	1.05	5. 6	-94210. 023	35913. 498	95, 052
ш		4267	BB1	黒耀石	チップ	AGKT11	-	_	-	0. 1	-94213. 200	35915. 547	94. 894
Ш		4269	BB1	黒耀石	フレイク	SWHD14	3. 05	1.71	0.79	3. 3	-94211. 400	35912. 982	95. 052
Ш		4431	BB1	ホルンフェルス	フレイク		1.90	3.50	0.85	3. 5	-94210. 564	35914. 058	94. 985
Ш		8335	BB1	黒耀石	チップ	AGKT10	1.50	1.50	0.40	0.4	-94212.011	35893, 321	95, 696
III		8337	BB1	黒耀石	パウダー	AGKT10	-	-	-	-	-94211, 965	35894. 116	95, 635
III		8338	BB1	ホルンフェルス	フレイク		5. 80	3.05	1. 70	18. 4	-94211. 468	35894. 280	95. 660
Ш		8339	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT1	3.00	2.70	1.40	8	-94211. 776	35894. 767	95. 610
Ш		8359	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT4	1.90	1.60	0. 92	1.6	-94213. 597	35887. 066	95. 376
Ш		8360	BB1	黒耀石	フレイク	-	2. 65	2. 15	1. 28	5. 2	-94213. 199	35889. 273	95. 762
Ш		8361	BB1	黒耀石	パウダー	AGKT6	-	-	_	-	-94212. 301	35889. 702	95. 621
Ш		8362	BB1	ホルンフェルス	チップ		1.50	0.90	0.70	0.7	-94212. 193	35889. 972	95. 551
Ш		8363	BB1	黒耀石	チップ	AGKT9	-	-	-	0.1	-94211. 644	35889, 494	95. 476
Ш		8364	BB1	黒耀石	チップ	AGKT9	1.40	0.70	0.35	0. 2	-94211. 675	35889, 269	95, 584
III		8365	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT3	3, 80	2. 90	0.86	7.5	-94212. 162	35887. 547	95. 368
III		8366	BB1	ホルンフェルス	フレイク		5. 40	2. 70	1. 78	22. 4	-94211. 543	35887. 441	95. 454
Ш		8367	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT4	2. 30	2.00	0. 44	1.5	-94210. 072	35889. 825	95. 851
Ш		8368	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT6	1.30	2.60	0. 53	1.8	-94210. 194	35889. 038	95. 618
Ш		8369		ホルンフェルス	チップ		1. 15	1.50	0. 83	1. 1	-94209. 492	35887. 839	95. 664
Ш		8370	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT2	1. 20	2. 10	0, 65	1. 1	-94210. 189	35892. 769	95. 581
III		8371	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT7	1. 40	3. 30	0.84	2. 2	-94210. 941	35894. 524	95. 680
III		8372	BB1	黒耀石	チップ	AGKT11	- 0.05	- 1.00	- 0.74	0.1	-94210, 952	35894. 742	95. 616
Ш		8373	BB1	黒耀石	フレイク	AGKT5	2. 35	1.90	0.74	2.7	-94210.710	35895, 305	95. 681
III		8374	BB1	黒耀石	チップ	AGKT2	= -	2 65	1 99	0.1	-94210.007	35895, 317	95, 655
Ш		8375	BB1	ホルンフェルス	フレイク		5. 00	3. 65	1. 23	17. 5	-94210.006	35894. 848	95. 686
Ш		8376	BB1	黒耀石	チップ パウダー	ACKT9	-	-	-	- 0 9	-94210. 033	35895, 609	95, 630
Ш		8377		黒耀石		AGKT2	_	-		0.8	-94209. 548	35895, 125	95. 709
Ш		8378		ホルンフェルスホルンフェルス	フレイク					21.3	-94209.619	35895, 179	95. 702
III		8379			フレイク	ACUTO	6. 50	2. 50	1. 25	0.1	-94209, 649	35895, 452	95. 741
Ш		8380		黒耀石	チップ	AGKT2	- 5.60	1 90	1 16	0. 1 8. 6	-94209, 993 -04209, 247	35895, 522	95. 630
Ш	+	8381		ホルンフェルス ホルンフェルス	フレイク		5. 60 6. 35	1.80	1. 16		-94209. 347	35895, 548	95. 827
Ш		8383			フレイク チップ	ACVT7	6, 35	4, 50	1. 76	50.5	-94210. 125 -04210. 522	35895, 823	95. 755
Ш		8386 8387		黒耀石	フレイク	AGKT7 SWHD17	2. 20	2. 90		0.1	-94210. 533 -94210. 823	35896, 534	95. 748
III		8388		黒耀石	チップ	AGKT6	1. 10	1.00	1. 00 0. 52	6 0. 3	-94210, 823 -94205, 972	35896, 076 35899, 631	95. 642
Ш	-	8389		黒耀石	フレイク	AGKT6	2. 30	1.50	0. 52	1.1	-94205. 972 -94204. 073	35899, 631	95, 868
Ш		8390		ホルンフェルス	フレイク	VOVIO	5. 20	2. 10	1. 66	14.8	-94204. 073 -94214. 454	35898, 833	95. 791 95. 590
Ш	-+	8390		黒耀石	パウダー	_	5. 20	2. 10	-	- 14. 8	-94214. 454 -94209. 943	35891. 168	
Ш		8393		黒耀石	チップ	AGKT2	1. 30	0.90	0. 34	0. 3	-94209. 943 -94210. 052	35895, 747	95, 739 95, 734
IV	-	341		ホルンフェルス	チップ	AUN12	- 1. 30	0.90	0. 34	1. 2	-94210. 052 -94213. 807	35895, 825	
IV		343			チップ	AGKT15	0. 95	0.80	0. 52	0.4	-94213. 807 -94213. 165	35913. 652	95, 399 95, 293
IV	-	344		黒耀石	フレイク	AGKT15 AGKT12	2. 80	3. 00	0. 52	3. 2	-94213. 165 -94191. 809	35914. 594	95, 293
IV	-	1429		ホルンフェルス	フレイク	nun114	2. 20	3. 40	0. 84	7.3	-94191. 809 -94303. 784	35901. 743	95. 975
IV	-	7005		ホルンフェルス	フレイク		5. 25	3. 40	1.53	18. 9	-94303. 784 -94211. 929	35979. 674	94, 734
		7005		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	フレイク		2. 70	2.60	1. 39	6.6	-94211. 929 -94215. 525	35899. 234 35897. 358	
		1001						2.60	- 1. 39				96, 392
IV		7008	VI M	里耀石	ナップ	KAUR3	- '				-Q4915 750 !	35808 970	06 40"
		7008 7011		黒耀石 ガラス質黒色安山岩	チップ フレイク	KZ0B3	1. 45	3.00	0. 79	0.1	-94215. 750 -94212. 139	35898. 278 35894. 506	96, 425 96, 339

文化層	図版 No.	遺物番号	出土層位		個体名称	原産地/ 個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	X座標	Y座標	H座標
IV		8284	YLL		フレイク		4. 60	3.00	1. 76	18. 8	-94217.071	35904. 743	95. 911
IV		8321	YLU		チップ	AGKT17		_	-	0.4	-94213. 502	35883, 926	96. 312
IV V		8333	YLL	黒耀石	チップ フレイク	TSTY5	-	-		0.7	-94211. 554	35893. 825	96. 209
V		331	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1 HNHJ8	1. 50	2. 10	0. 63	3. 3	-94225. 494 -94192. 390	35898, 992 35900, 805	96. 287 96. 945
V		4787	FB	黒耀石	フレイク	HNHJ9	2. 30	1. 30	0. 48	1	-94222. 111	35886, 979	96. 718
V		6841	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	4. 70	3. 70	1. 58	22. 3	-94211.873	35889, 609	96. 537
V		6842	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 25	0.80	0.48	0.3	-94211. 939	35889. 712	96. 554
V		6843	YLU	ガラス質黒色安山岩	フレイク		3. 00	2. 10	0. 61	2. 4	-94210. 798	35890. 355	96. 639
V		6844	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	0. 95	1. 75	0. 51	0.5	-94210.710	35890, 853	96. 612
V		6845 6846	YLU	チャート	フレイク	Inner	2. 90	1. 10	0. 34	0.8	-94211.876	35891.035	96. 636
V		6848	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1 HNHJ1	1.80	1. 60	0.38	0.7	-94210. 777 -94211. 116	35892, 264 35889, 657	96, 628 96, 575
V		6849	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	- 1.00	1.33	- 0.31	0. 0	-94211. 110	35890. 049	96. 575
V		6850	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	_	0. 1	-94212. 892	35891. 311	96. 484
V		6851	YLU	黒耀石	フレイク	TSTY5	0.85	1.70	0.89	0.6	-94212. 243	35891. 120	96. 448
V		6852	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	0.85	1. 20	0.35	0. 2	-94211.660	35889, 956	96. 458
V		6853	YLM	黒耀石	フレイク	HNHJ1	1.50	2.00	0.83	1.6	-94210. 368	35890, 595	96. 480
V		6854	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94210. 899	35891.757	96, 491
V		6889 6890	YLM YLM	黒耀石	チップ チップ	HNHJ1	1. 20	1.70	0.41	0.4	-94212. 322	35891.450	96. 321
V		6891	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1 HNHJ1	-	+	-	0.1	-94212. 896 -94212. 950	35890, 351 35890, 277	96. 375 96. 376
V		6892	YLM	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 60	2. 20	0. 64	2. 3	-94212. 950	35890, 277	96, 376
V		7006	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	1.40	1. 60	0. 49	0.6	-94214. 885	35890. 728	96. 321
V		7025	YLL	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 75	2. 50	1. 06	5. 4	-94216. 723	35896, 342	96. 262
V		7204	YLU	ガラス質黒色安山岩	刃器		9. 71	3. 34	1.87	36. 5	-94209. 842	35890. 388	96. 576
V		7205	YLU	黒耀石	パウダー	HNHJ1	-	_	-	_	-94209. 897	35890, 699	96, 587
V		7206	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	4. 45	2. 80	0.88	7.8	-94209. 632	35890. 577	96. 618
V		7207 7994	YLU YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	3. 55	5. 20	2.06	26. 1	-94209. 403	35890. 604	96. 633
V		7994	YLU	黒耀石	フレイクフレイク	HNH.J8	3. 25 4. 70	4.00	1. 53	18. 6	-94205. 352 -94206. 345	35904. 715 35905. 207	96. 406 96. 330
V		7997	YLU	チャート	フレイク	IIMIJO	1.00	2. 50	0. 42	0.8	-94208. 303	35905. 207	96. 330
v		7998	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 85	1. 10	0. 42	0.5	-94208, 154	35905. 326	96, 352
V		7999	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 15	1.40	0.74	1.2	-94208. 231	35905, 622	96, 351
V		8000	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 20	1.50	0.41	0.4	-94209. 177	35905. 400	96. 147
V		8001	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.3	-94209. 292	35905. 932	96. 276
V		8002	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	_	-	-	0.1	-94209. 483	35906, 036	96. 310
V		8003	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	- 0.00	-		0.3	-94211.804	35906. 669	96. 240
V		8007 8008	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1 HNHJ1	2. 30	1. 40	0. 79	1.7	-94220. 866 -94223. 999	35906, 331	96. 273
V		8009	YLU	ホルンフェルス	フレイク	TEMID I	2. 85	1.50	0. 64	1.9	-94228. 334	35906. 261 35911. 347	96. 264 95. 901
V		8015	YLL	黒耀石	フレイク	HNHJ1	1.80	2. 30	0.70	1.4	-94209. 106	35892. 994	96. 422
V		8163	YLU	チャート	フレイク		7. 40	4. 40	1.65	44. 4	-94218. 838	35905, 572	96. 181
V		8164	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	7. 00	4. 65	2. 29	49. 2	-94218. 603	35905, 792	96. 165
V		8165	YLU	ホルンフェルス	フレイク		5. 45	5. 00	1.69	42. 2	-94217. 430	35904. 532	96. 210
V		8167	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ8	2. 30	1. 95	0. 77	2. 9	-94222. 514	35907. 954	95. 974
V		8185 8186	YLU YLU	黒耀石	フレイク Rフレイク	SWHD18 HNHJ1	1. 20	1. 85	0. 77	1.3	-94203. 701 -94207. 241	35888. 651	96. 822
V		8187	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	1. 95	2. 10	1. 39	4.3	-94207. 241 -94206. 776	35886. 819 35885. 998	96. 689 96. 696
v		8188	YLU	黒耀石	チップ	WDKB1	-	-	-	0.3	-94208. 400	35886. 079	96. 612
V		8189	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.7	-94208. 563	35886, 322	96. 659
V		8190	YLU	ホルンフェルス	チップ		-	-	-	1.1	-94208. 585	35889. 081	96. 653
V		8192	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1.60	2. 20	0.58	1	-94210. 298	35886. 155	96. 507
V		8193	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.6	-94213. 599	35886. 143	96. 497
V		8194	YLU YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	_	-	-	0.8	-94210. 210	35887. 087	96, 526
V		8195 8199	YLU	黒耀石	チップ フレイク	HNHJ1 HNHJ1	1. 35	1. 70	1.03	0.5	-94210. 867 -94210. 657	35887. 236 35888. 150	96. 547 96. 561
v		8200	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	1. 80	2. 10	0.70	2	-94210. 657 -94210. 732	35888, 155	96. 531
V		8201	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	3. 50	3, 60	1. 13	13.8	-94211. 260	35887. 754	96. 537
V		8202	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94211. 435	35887. 622	96. 540
V		8203	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	1.60	1. 70	0.45	1.2	-94211. 331	35888. 275	96. 512
V		8204	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0. 5	-94211. 866	35888. 151	96. 542
V		8205	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 90	1. 10	0.43	0.8	-94211. 569	35886. 217	96, 506
V		8206 8208	YLU	黒耀石	チップ チップ	HNHJ1 HNHJ1	2. 00	1. 20	0.51	0.3	-94212, 144 -94212, 245	35886, 597	96. 496
V	-+	8209	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1.50	2. 10	0. 51	0. 7	-94212. 245 -94213. 864	35887. 013 35886. 847	96. 486 96. 463
V		8210	YLU	ガラス質黒色安山岩	チップ		-	-	0.47	0. 3	-94213. 864	35889, 285	96, 463
V		8213	YLU	黒耀石	パウダー	HNHJ1	-	-	-	-	-94217. 240	35882. 084	96. 289
V		8214	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 95	1. 40	0. 73	2. 5	-94213. 207	35884. 121	96. 494
V		8215	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 50	3. 50	1.09	9. 7	-94215. 111	35884. 690	96. 434
V		8216	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1.80	2. 20	0. 79	2. 4	-94213. 924	35885. 464	96. 446
V		8218	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	- 0.70	-	- 0.61	0.1	-94210. 392	35886, 568	96, 520
V		8220 8251	YLU	黒耀石	フレイク チップ	HNHJ1 HNHJ1	2, 70	2. 30	0.61	2. 4	-94242. 685	35910. 836	95. 765
V		8255	YLU	ホルンフェルス	フレイク	1 ЦПУш	4. 00	6. 05	0.98	0. 3	-94212. 070 -94210. 798	35905, 619 35887, 989	95, 832
V		8256	YLU	ガラス質黒色安山岩	フレイク		4. 40	3, 30	0. 98	13. 1	-94210. 798 -94210. 626	35887. 989 35887. 606	96. 453 96. 509
V		8257	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	-	-	-	0. 3	-94210. 626	35887. 045	96, 509
V		8258	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-		-	0. 1	-94210. 538	35886, 907	96, 453
V		8259	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0. 5	-94210. 941	35886. 994	96. 502
V		8260	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94211. 685	35886. 797	96. 483
V	1	8261	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	-	_	-	0.4	-94211. 590	35887, 512	96. 442

文化層	図版 No.	遺物番号	出土 層位	石材	個体名称	原産地/ 個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	X座標	Y座標	H座標
V		8262	YLU	ガラス質黒色安山岩	フレイク		9. 10	5. 20	1. 36	33. 9	-94212. 538	35886. 815	96. 469
V		8263	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94215, 373	35886, 181	96. 398
V		8270	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 30	1.10	0.42	0.5	-94215. 643	35886. 440	96. 381
V		8271	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.4	-94213. 277	35888. 390	96. 438
V		8272	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94213. 307	35888. 047	96, 388
V		8274 8275	YLU	黒耀石	Pフレイク チップ	HNHJ1 HNHJ1	_		-	0.6	-94210. 495 -94210. 559	35887. 502 35886. 964	96. 407 96. 421
V		8276	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	_	_	_	0. 1	-94214. 552	35882, 515	96, 372
V		8277	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	-	-	-	0.4	-94212. 743	35884. 204	96. 493
V		8278	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	-	-	-	0.4	-94211.123	35884, 373	96, 535
V		8279	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	1. 60	1.85	0. 90	2. 2	-94210.392	35884. 386	96. 538
V		8281	YLU	黒耀石	Pフレイク	HNHJ1	3. 00	1. 90	0.70	2. 3	-94221. 941	35888. 410	96. 326
V		8282	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ7	-	-	-	0.8	-94219.370	35885, 175	96. 313
V		8283	YLM	黒耀石	フレイク	HNHJ1	3. 75	3, 85	1.03	11. 2	-94217. 863	35905, 631	95, 993
V		8286 8287	YLU	黒耀石	チップ チップ	SWHD26 HNHJ1	-	_	_	0. 3	-94205. 413 -94212. 277	35887, 297 35884, 509	96, 660 96, 467
V		8288	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	2. 50	1.60	0. 70	2	-94212. 217	35886, 635	96, 330
V		8289	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	2. 30	1. 30	0.48	0.8	-94210. 754	35886, 958	96. 340
v		8290	YLM	黒耀石	フレイク	HNHJ1	4. 20	3. 35	2. 08	15. 3	-94210, 931	35888. 016	96. 334
V		8291	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94210. 694	35886. 233	96. 285
V		8292	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1		-	-	0.4	-94211.957	35885, 461	96, 358
V		8293	YLM	黒耀石	フレイク	HNHJ1	3, 40	2.60	1.04	8. 2	-94213. 579	35887. 607	96. 288
V		8295	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	1.50	1.95	0.48	1	-94213. 783	35885, 582	96. 343
V		8296	YLM	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.1	-94217. 559	35886. 988	96. 257
V		8297	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	_	-	-	0.1	-94211. 506 -94213. 331	35884. 675 35884. 463	96. 434
V		8298 8299	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1 HNHJ1	1. 35	1.70	0.39	0. 3	-94213. 331 -94214. 186	35884. 463	96. 400 96. 394
V		8300	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	- 1. 33	- 1.70	- 0.33	0. 3	-94214. 224	35883, 791	96, 366
V		8301	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 50	1.60	0. 67	1. 5	-94213, 835	35883, 358	96, 382
V		8302	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 70	2. 25	1.16	6	-94213. 637	35882. 172	96. 351
V		8303	YLU	黒耀石	パウダー	HNHJ1	-	-			-94215. 665	35882. 307	96. 283
V		8304	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	_	-	0.3	-94215. 076	35884, 056	96. 348
V		8305	YLU	黒耀石	チップ	HNH J 1	1.60	1.40	0.62	1	-94218. 369	35885, 390	96, 256
V		8306	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 20	1.40	0. 62	1. 1	-94219. 748	35885. 008	96, 249
V		8308 8309	YLU	黒耀石	チップ チップ	HNHJ1 HNHJ1	1. 70	1.70	0.40	0.5	-94219. 454 -94210. 962	35880, 616 35886, 780	96. 077 96. 239
V		8315	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 40	3. 30	1. 02	7. 5	-94210, 962 -94209, 789	35885, 200	96, 239
V		8316	YLU	黒耀石	パウダー	HNHJ1	-	-	-	-	-94209, 637	35887, 430	96, 593
V		8317	YLU	黒耀石	パウダー	-	- m	-	-	-	-94210.019	35888. 405	96, 568
V		8319	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	1. 75	2.80	1. 03	3.8	-94209. 402	35888, 896	96. 560
V		8320	YLU	黒耀石	フレイク	-	3. 00	1.80	1. 13	5. 4	-94209. 552	35888, 532	96, 662
V		8322	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0.3	-94213. 060	35882. 001	96. 288
V		8324	YLU	黒耀石	パウダー	HNHJ1		-		-	-94215. 886	35882. 787	96. 266
V		8325 8327	YLU	黒耀石 黒耀石	フレイク	HNHJ1 HNHJ1	2. 20	1. 30	0. 50 0. 87	0.9	-94216, 333 -94216, 239	35883. 829 35884. 959	96, 246
V		8327	YLU	黒耀石	フレイクフレイク	AGKT13	1. 90	2.00	1. 07	2. 7	-94216, 239 -94219, 037	35884, 959	96. 243 96. 176
V		8329	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	2, 00	2. 70	1. 10	4. 7	-94219, 037	35885, 819	96, 626
V		8330	YLU	黒耀石	フレイク	HNHJ1	4. 15	1.50	2. 12	6. 7	-94207. 654	35888. 132	96. 564
V		8332	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-		0. 1	-94219. 346	35884. 805	96, 175
V		8344		黒耀石	チップ	AGKT14	_		-	0.1	-94209. 324	35887, 658	96. 546
V		8345		黒耀石	チップ	HNH J 1	-	-		0.6	-94210.072	35887. 156	96. 501
V		8346		黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0. 3	-94211. 275	35886. 419	96. 323
V		8347		黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-		0. 2	-94211.844	35886, 987	96. 262
V		8348		黒耀石	フレイク フレイク	HNHJ1	2. 40	1.80	0. 56	1.4	-94212. 931	35886, 491	96. 230
V		8349 8350		黒耀石	フレイク チップ	HNHJ1 HNHJ1	2. 20	1. 60	0.61	1. 6	-94214. 189 -94213. 821	35886. 274 35888. 877	96. 177 96. 277
V		8351		黒耀石	フレイク	HNHJ1	2. 75	2. 10	1. 04	3. 7	-94213. 821 -94209. 563	35884, 232	96. 277
V		8352		黒耀石	チップ	HNHJ1			- 1.04	0. 3	-94209. 363 -94212. 415	35883, 779	96. 291
V		8353		黒耀石	チップ	HNHJ1	1.40	1.50	0. 33	0.5	-94212. 455	35885, 203	96. 403
V		8355		黒耀石	チップ	HNHJ1	1.80	1. 70	0.40	1. 1	-94214. 556	35884. 223	96. 209
V		8356		黒耀石	チップ	HNHJ1	_	-	-	0. 9	-94224. 819	35881. 924	96. 072
V		8357	YLL	黒耀石	チップ	HNHJ1	-	-	-	0. 3	-94213. 879	35881, 500	96. 122
V		8391		黒耀石	チップ	AGKT16	-	-	-	0.1	-94227. 367	35880. 224	95. 894
V		8396	YLU	黒耀石	チップ	HNHJ6	-	-	-	1	-94213. 965	35884. 187	96. 143

附表 2 旧石器時代の礫一覧表

			9494 .	-	4 - 15/4	762	-
文化層	遺物番号	出土層位	赤化	重(g)	X座標	Y座標	H座標
IV	36	YL	0	10	-94301. 490	35900. 713	95. 919
IV	37	YL	0	80	-94301.459	35900. 882	95. 914
			+	+			
IV	38	YL	0	90	-94301.677	35901.510	95. 972
IV	60	YL	0	200	-94301.026	35898, 981	95. 621
IV	61	YL	0	620	-94302. 772	35898. 808	95. 640
IV	69	YL	×	270			+
				+	-94221.606	35879. 177	95. 907
IV	70	YL	×	310	-94220. 776	35879. 882	95, 950
IV	319	YL	0	20	-94242. 840	35911. 376	95. 903
IV	320	YL	0	60	-94243. 046	35911. 169	95. 746
	1		0	+	T		1
IV	2879	YL		230	-94173. 127	35871. 306	98. 943
IV	2880	YL	0	190	-94173.035	35871. 386	98. 960
IV	2881	YL	0	670	-94172. 946	35871. 288	98. 954
IV	2882	YL	0	500	-94172. 882	35871, 388	98. 931
IV	2883	YL	0	830	-94172. 785		+
				†		35871. 386	98, 969
IV	2884	YL	0	170	-94172. 732	35871. 472	98. 979
IV	2885	YL	0	170	-94172. 912	35871.672	98, 956
IV	2886	YL	0	440	-94173, 111	35871. 798	98, 925
-	 						
IV	2887	YL	0	110	-94172. 409	35870. 786	98. 995
IV	2888	YL	0	250	-94171. 828	35871. 161	99. 024
IV	2889	YL	0	450	-94170. 965	35871.681	99. 076
IV	2890	YL	0	360	-94170.072	35871. 756	99. 135
IV	2891	YL	0	560	-94169. 957	35871. 278	99. 175
IV	2892	YL	0	330	-94169. 493	35871. 236	99. 186
IV	2893	YL	0	390	-94169. 465	35871.066	99. 198
IV	2894	YL	0	280	-94169. 922	35871. 014	99. 224
							
IV	2895	YL	0	350	-94171. 163	35869. 360	99. 155
IV	2896	YL	0	440	-94171. 541	35869, 306	99. 106
IV	2899	YL	0	130	-94183. 077	35882, 256	98. 011
IV	2900	YL	0	30	-94183. 815	35881. 342	98. 082
IV	7785	YLM	0	180	-94213. 381	35894, 707	96. 370
IV	7786	YLM	0	210	-94213. 374	35894. 394	96. 387
IV	7787	YLM	0	50	-94213. 299	35894. 186	96. 415
IV							
	7788	YLM	0	40	-94213. 717	35893, 639	96. 378
IV	7789	YLM	0	100	-94213. 750	35893, 614	96. 365
IV	7790	YLM	0	20	-94213. 439	35892. 901	96, 367
IV	7803	YLM	0	1460	-94210. 826	35897. 876	96. 341
IV	7804	YLM	0	410	-94210. 861	35897. 699	96. 368
IV	7805	YLM	0	90	-94210. 883	35897. 769	96. 356
IV	7806	YLM	0	390	-94210. 951	35897. 839	96. 348
IV	7807	YLM	0	450	-94211.035	35897. 655	96. 353
IV	7808	YLM	0	350	-94210, 975	35897. 664	96. 352
IV	7809	YLM	0	820	-94211.070	35897. 748	96. 338
IV	7810	YLM	0	1230	-94211. 304	35897. 490	96, 343
IV	7811	YLM	0	880	-94211. 204	35897. 369	96. 323
IV	7812	YLM	0	170	-94210.623	35896, 993	96. 403
IV	7813	YLM	0	50	-94210. 494	35896. 982	96. 395
IV	7815	YLM	0	4100	-94221.775	35890. 611	96, 365
IV							
	7816	YLM	0	1960	-94221. 914	35890, 721	96. 411
IV	7817	YLM	0	1010	-94215. 265	35899. 872	96. 313
IV	7818	YLM	0	5000	-94218.612	35900. 629	96. 309
IV	7819	YLL	0	50	-94212. 692	35894, 666	96. 256
		-					
IV	7820	YLL	0	110	-94212. 845	35894. 418	96. 243
IV	7821	YLL	0	110	-94212. 736	35894. 318	96. 263
IV	7822	YLL	0	150	-94212. 944	35894. 241	96. 261
IV	7823	YLL	0	90	-94213. 070	35894. 124	96. 259
IV	7824	YLL	0		-94212. 983	35894. 044	96. 247
IV	7825	YLL	0	470	-94213. 135	35894. 506	96. 268
IV	7826	YLL	0	2280	-94213. 478	35894, 397	96. 265
IV	7827	YLL	0		-94213. 470	35894. 233	96. 269
IV	7828	YLL	0		-94213. 437	35894. 065	96. 290
IV	7829	YLL	0	290	-94213. 316	35893. 976	96. 241
IV	7830	YLL	0	110	-94213. 588	35894.010	96. 311
				-			
IV	7831	YLL	0		-94213. 569	35893, 853	96, 335
IV	7832	YLL	0	270	-94213. 704	35893. 895	96. 268
IV	7833	YLL	0	100	-94213. 778	35893. 931	96. 320
IV	7834	YLL	0		-94213. 883	35893. 855	96. 294
		_					
IV	7835	YLL			-94213. 743	35894. 034	96. 270
IV	7836	YLL	0	550	-94214. 088	35894. 416	96. 271
IV	7837	YLL	0	20	-94214. 285	35894. 137	96. 287
IV	7838	YLL	0		-94213, 233	35893. 592	96. 306
IV	7839	YLL	0	180	-94213. 617	35893. 431	96. 312

文化層	遺物番号	出土層位	赤化	重(g	X座標	Y座標	H座標
IV	7840	YLL	0	250	-94213. 619	35893, 288	
IV	7841	YLL	0	100	-94213. 725	35893. 151	96. 318
IV	7842	YLL	0	200	-94213. 912	35893. 101	96. 290
IV	7846	YLL	0	40	-94213. 649	35893. 090	96. 261
IV	7847	YLL	0	180	-94215. 262	35896. 132	96. 274
IV	7848	YLL	0	490	-94215. 310	35896. 289	96. 230
IV	7849	YLL	0	90	-94215. 372	35896. 329	96. 234
IV nv	7850	YLL	×	50	-94218. 169	35893. 687	96. 209
IV	7851 7852	YLL	×	60	-94218, 259	35893. 695	96. 233
IV	7853	YLL	-	200	-94216. 790 -94210. 730	35889. 646 35901. 714	96. 217
IV	7854	YLL		60	-94222. 891	35902. 081	96. 071
IV	7855	YLL	0	100	-94222. 878	35901, 966	96. 079
IV	7856	YLM	- <u>-</u>	220	-94210. 715	35901. 854	96. 190
IV	8034	YLM	0	20	-94212. 674	35897, 188	96. 316
IV	8035	YLM	0	50	-94209. 411	35895, 996	96. 471
IV	8036	YLM	0	90	-94209. 121	35898. 188	96. 324
IV	8041	YLM	0	600	-94208. 585	35897. 435	96. 426
IV	8108	YLM	0	50	-94208. 975	35894. 153	96. 406
IV	8109	YLM	0	180	-94210. 037	35895, 024	96. 408
IV	8110	YLM	0	970	-94209. 822	35895. 097	96, 395
IV	8111	YLM	0	180	-94209, 763	35895, 938	96. 382
IV	8112	YLM	0	320	-94209. 404	35895, 073	96. 414
IV	8113 8114	YLM YLM	<u> </u>	800 190	-94207. 397 -94207. 844	35895, 581 35895, 576	96. 448
IV	8115	YLM	0	200	-94207. 844		96. 420
IV	8116	YLM	0	320	-94208. 478 -94208. 518	35895, 474 35895, 642	96. 427 96. 429
IV	8117	YLM	Ō	1050	-94208. 806	35895, 646	96. 425
IV	8118	YLM	0	200	-94208. 416	35895, 766	96. 437
IV	8119	YLM	0	800	-94208. 674	35895. 826	96, 433
IV	8120	YLM	0	400	-94208. 551	35895. 862	96. 438
IV	8121	YLM	0	450	-94209. 191	35896. 189	96. 409
IV	8122	YLM	0	300	-94209. 070	35896. 180	96. 421
IV	8123	YLM	0	160	-94208. 943	35896. 244	96. 438
IV	8124	YLM	0	940	-94208. 918	35896. 155	96. 417
IV	8125	YLM	0	910	-94208. 891	35896. 087	96. 428
IV IV	8126	YLM	0	280	-94208. 827	35896. 182	96. 426
IV IV	8127	YLM	0	120	-94208, 878	35896. 349	96. 426
IV	8128 8129	YLM YLM	0	110 50	-94208. 805	35896, 322	96, 438
IV	8130	YLM	0	30	-94208. 687 -94208. 602	35896, 312 35896, 331	96. 439 96. 404
IV	8131	YLM	0	60	-94208. 520	35896. 267	96. 436
IV	8132	YLM	0	330	-94208, 574	35896. 234	96, 428
IV	8133	YLM	0	290	-94208. 856	35896. 001	96. 441
IV	8134	YLM	0	380	-94208. 741	35896. 022	96. 437
ΙV	8135	YLM	0	450	-94208. 796	35895, 926	96. 428
IV	8136	YLM	0	240	-94208. 651	35896, 033	96. 427
IV	8137	YLM	0	60	-94208. 715	35896. 119	96. 415
IV	8138	YLM	0	240	-94208. 601	35896, 130	96. 427
IV	8139	YLM	0		-94208. 588	35895. 972	96. 440
IV	8140	YLM	0		-94208, 497	35895, 968	96. 438
IV IV	8141 8142	YLM	0		-94208, 458	35896, 039	96. 426
IV	8142	YLM YLM	0	-	-94208. 488 -94208. 369	35896, 155	96. 415
IV	8144	YLM	0		-94208. 369 -94208. 350	35896. 056 35895. 976	96. 420 96. 434
IV	8145	YLM	0		-94208, 350 -94208, 810	35895. 976	96. 434
IV	8461	YLL	0		-94288. 222	35942. 915	95. 446
IV	8462	YLL	0		-94288. 497	35942. 859	95. 478
IV	9259	YLM	0	-	-94210. 202	35892, 557	96. 302
IV	9260	YLM	0		-94210. 914	35892, 310	96. 285
IV	9261	YLM	0	30	-94210. 817	35891. 814	96. 311
IV	9262	YLM	0	20	-94211. 441	35891. 269	96, 254
IV	9263	YLM	0	160	-94211. 639	35892. 346	96. 270
IV	9264	YLM	0	40	-94224. 575	35900. 957	96. 256
IV	9265	YLM			-94225. 566	35902. 628	96. 247
IV	9350		0		-94224. 860	35900. 650	96. 179
IV	9351		0		94224. 537	35901. 858	96.062
IV	9352		0	-	94224. 470	35901. 976	96. 083
IV IV	9353	YLL	×		94224. 252	35901. 343	96. 122
IV nv	9354	YLL	×		94224. 128	35900. 866	96. 129
IV	9355	YLL	0	100 -	94224. 084	35900. 636	96. 153

文化層	遺物番号	出土層位	赤化	重(g)	X座標	Y座標	H座標
IV	9356	YLL	0	50	-94223. 815	35900. 478	96. 148
IV	9357	YLL	×	40	-94223. 491	35900. 927	96, 191
IV	9358	YLL	×	30	-94223. 755	35901. 320	96. 126
IV	9359	YLL	0	90	-94223. 799	35901. 458	96. 102
IV	9360	YLL	0	80	-94223. 738	35901.656	96. 082
IV	9361	YLL	0	90	-94223. 622	35901. 773	96. 091
IV	9362	YLL	0	100	-94223. 661	35901.774	96. 082
IV	9363 9364	YLL	0	100	-94223. 708	35901. 810 35901. 880	96.069
IV	9365	YLL	×	150	-94223. 741 -94223. 758	35901. 880	96. 085 96. 074
IV	9366	YLL	Ô	90	-94223. 795	35902, 041	96. 090
IV	9367	YLL	×	640	-94223. 815	35902. 108	96. 035
IV	9368	YLL	×	50	-94223. 665	35902. 058	96. 103
IV	9369	YLL	×	20	-94223. 606	35902. 171	96. 088
IV	9370	YLL	0	10	-94223. 551	35902. 138	96. 059
IV	9371	YLL	0	50	-94223, 578	35902. 113	96. 060
IV	9372	YLL	×	120	-94223. 549	35902. 044	96. 079
IV	9373	YLL	×	80	-94223. 527	35901. 882	96. 067
IV	9374	YLL	×	20	-94223. 474 -94223. 516	35901. 797 35901. 737	96. 083 96. 064
IV	9375 9376	YLL	Ô	110 270	-94223, 493	35901. 737	96. 070
IV	9377	YLL	×	60	-94223, 363	35901. 363	96. 084
IV	9378	YLL	0	140	-94223. 333	35901. 326	96. 094
IV	9379	YLL	×	100	-94223. 430	35901. 326	96. 097
IV	9380	YLL	0	40	-94223, 513	35901. 152	96. 082
IV	9381	YLL	0	20	-94223. 510	35901. 199	96. 091
IV	9382	YLL	0	40	-94222. 955	35901. 995	96, 080
IV	9383	YLL	0	430	-94223. 124	35901. 971	96. 052
IV	9384	YLL	×	20	-94223. 213	35902.013	96. 054
IV	9385	YLL	×	60 180	-94223. 176 -94223. 037	35902. 074 35902. 208	96, 073 96, 085
IV	9387	YLL	ô	70	-94223. 248	35902. 208	96. 070
IV	9388	YLL	0	160	-94223. 311	35902. 053	96. 040
IV	9389	YLL	0	110	-94223. 384	35902. 191	96. 077
IV	9390	YLL	0	50	-94223. 453	35902, 210	96. 104
IV	9391	YLL	×	20	-94223. 491	35902. 209	96. 094
IV	9392	YLL	×	30	-94223. 507	35902, 323	96. 102
IV	9393	YLL	0	100	-94223. 515	35902. 333	96. 072
IV	9394	YLL	0	30	-94223, 406	35902, 340	96. 068
IV IV	9395 9396	YLL	× 0	10	-94223. 359	35902, 608 35902, 876	96. 135
IV	9416	YLL YLU	0	40 690	-94223. 207 -94219. 512	35902. 870	96. 076 95. 928
IV	9424	YLL	0	910	-94243. 550	35911. 332	95. 728
IV	9425	YLL	0	100	-94244. 289	35911. 423	95. 809
IV	9426	YLL	0	60	-94244. 186	35911. 511	95. 821
IV	9427	YLL	0	100	-94244. 125	35911.716	95. 801
IV	9428	YLL	0	160	-94243. 175	35911. 828	95. 747
IV	9429	YLL	0	20	-94243. 507	35912. 166	95. 752
IV	9430	YLL	0	290	-94244. 825	35912. 208	95, 808
IV IV	9431	YLL	0	230	-94243. 468 -94225. 385	35911.028	95. 794
IV IV	9604 9605	YLL YLL	0	50 100	-94225, 385 -94223, 479	35892. 674 35901. 379	96. 225 96. 008
IV	9606	YLL	0	50	-94237. 698	35909, 934	95, 737
v	8097	YLU	×	3550	-94209. 760	35891. 279	96. 573
V	8098	YLU	0	220	-94209. 919	35890. 874	96, 599
V	8099	YLU	0	360	-94210.033	35890. 898	96. 588
V	8100	YLU	0	610	-94210. 097	35890, 886	96. 580
V	8101	YLU	0	400	-94210.003	35890. 785	96. 580
V	8102	YLU	0	160	-94209. 938	35890. 735	96. 579
V	8103	YLU	0	300	-94209. 861	35890. 794	96, 568
V	8104	YLU YLU	0	1400 410	-94209, 666 -94209, 560	35890, 968 35891, 046	96, 576 96, 607
V	8105 8106	YLU	×	4500	-94209. 560 -94209. 513	35891. 046	96. 585
V	8107	YLU	ô		-94209. 513 -94209. 072	35890. 907	96. 609
V	9155	YLU	0		-94206. 771	35904. 985	96. 252
V	9258	YLU	0		-94209. 457	35895, 812	96. 400
V	9397	YLU	×		-94217. 622	35904.907	96. 161
V	9398	YLU			-94217. 776	35905. 081	96. 170
V	9399	YLU	0	300	-94218. 105	35905. 934	96. 170
V	9400	YLU	0	170	-94218. 133	35905. 890	96. 151
V	9401	YLU	0	150	-94218. 316	35905, 723	96. 177

V			赤化	重(g)	X座標		H座標
	9402	YLU	×	100	-94218. 294	35905. 970	96. 158
V	9403	YLU	0	240	-94218. 163	35906.061	96. 138
V	9404	YLU	0	360	-94218. 209	35906, 194	96. 101
V	9405	YLU	0	1000	-94218. 293	35906. 141	96. 117
V	9406	YLU	0	290	-94218. 403	35906. 076	96. 139
V	9407	YLU	×	130	-94218. 479	35906. 089	96. 141
V	9408	YLU	×	130	-94218, 487	35905. 923	96. 125
V	9409	YLU	0	340	-94218. 490	35906. 164	96. 114
V	9410	YLU	0	550	-94218. 397	35906. 285	96, 087
V	9411	YLU	×	70	-94218. 420	35906. 369	96. 130
V	9412	YLU	×	760	-94218.067	35906, 477	96, 096
V	9413	YLU	×	120	-94218. 452	35906. 830	96. 112
V	9414	YLU	0	650	-94218. 580	35906. 909	96. 082
V	9415	YLU	0	1180	-94218. 797	35906. 316	96. 098
V	9464	YLU	0	520	-94203. 319	35887, 683	96. 848
V	9465	YLU	0	200	-94203. 324	35887. 154	96. 875
V	9466	YLU	0	320	-94203, 176	35887. 227	96. 867
V	9467	YLU	×	350	-94203. 096	35887. 237	96.878
V	9468	YLU	0	200	-94202, 989	35887. 186	96. 901
V	9469	YLU	0	130	-94202. 988	35887. 117	96. 916
V	9470	YLU	0	520	-94202. 864	35887. 144	96. 901
V	9471	YLU	0	380	-94202. 806	35887. 155	96. 905
V	9472	YLU	0	1040	-94202. 736	35886. 959	96. 896
V	9473	YLU	0	1300	-94202. 871	35886. 852	96. 912
V	9474	YLU	0	730	-94203. 177	35886, 882	96. 903
V	9475	YLU	×	400	-94203. 098	35887. 021	96. 896
V	9476	YLU	0	690	-94203. 305	35887. 052	96. 866
V	9477	YLU	0	720	-94203. 553	35886. 867	96. 806
V	9478	YLU	0	180	-94203. 446	35886, 760	96. 853
V	9479	YLU	0	490	-94203. 389	35886, 873	96. 853
V	9480	YLU	0	1300	-94203. 413	35886. 964	96. 844
V	9481	YLU	0	800	-94203. 349	35886. 696	96. 819
V	9482	YLU	0	260	-94203. 394	35886. 381	96, 862
V	9483	YLU	0	250	-94203. 047	35886. 665	96. 890
V	9484	YLU	0	1020	-94204. 122	35887. 805	96. 734
V	9485	YLU	0	1220	-94202. 209	35888, 991	96. 912
V	9486	YLU	0	60	-94204. 075	35887. 042	96. 807
V	9487	YLU	0	30	-94204. 743	35887. 159	96. 759
V	9488	YLU	0	60	-94204. 565	35887. 530	96. 740
V	9489	YLU	0	320	-94204. 704	35887. 907	96. 703
V	9490	YLU	0	90	-94204. 520	35886, 812	96. 795
V	9491	YLU	0	80	-94204. 592	35886, 777	96. 784
V	9492	YLU	0	1430	-94204. 262	35886, 584	96. 771
V	9493	YLU	0	100	-94204. 358	35886, 501	96. 770
V	9494	YLU	0	190	-94204. 577	35886, 094	96. 762
V	9495	YLU	0	880	-94205. 016	35886. 039	96. 712
V	9496	YLU	×	320	-94203. 231	35885. 468	96. 865
V	9577	YLU	×	1320	-94211. 808	35889. 183	96. 504
V	9578	YLU	×	870	-94212. 360	35889. 261	96. 468
V	9579	YLU	0	5190	-94211. 916	35888, 866	96. 489
V	9580	YLU	0	210	-94212. 321	35888. 698	96. 475
V	9581	YLU	0	1150	-94212. 346	35888. 112	96. 459
V	9582	YLU	0	5300	-94213. 166	35888. 298	96. 460
V	9583	YLU	0	710	-94213. 661	35887. 274	96. 406
V	9584	YLU	0	3110	-94213. 572	35887. 039	96. 406
V	9598	YLU	0	120	-94202. 911	35886. 402	96. 800
V	9599	YLU	0	50	-94204. 632	35887. 255	96. 728
V	9600	YLU	0	250	-94204. 676	35887. 837	96. 681
V	9601	YLU	0	10	-94205. 151	35887. 105	96. 669
V	9602	YLU	0	200	-94206. 861	35888. 070	96. 563
V	9603	YLU	0	10	-94207. 853	35886. 908	96. 509

附表3 縄文時代の石器計測表

COLUC AL FI	WELFA ST. D	山上屋丛	T++	MI H- A SL	WE ()	LH E /)	F ()	T. 1.
図版番号	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	縦長 (mm)	横長(㎜)	厚 (mm)	重 (g)
78	5950	FB	黒耀石	尖頭器	9. 40	2. 05	1. 00	15. 3
79	7979	ZN	黒耀石	尖頭器	9. 70	2. 50	0. 90	17
80	6998	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6. 45)	(1.69)	(0. 65)	(7.7)
81	5444	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6. 61)	(2.04)	(0.85)	(11.5)
82	7127	FB	ホルンフェルス	尖頭器	8. 06	3. 36	1. 16	30. 3
83	7786	FB	流紋岩	尖頭器	5. 90	1. 75	0. 50	3. 9
84	3517	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	3. 51	1. 82	0.61	2. 9
85	7309	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	3, 75	2. 00	0.60	2. 5
86	5184	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(7. 84)	(1.40)	(0, 62)	(8.1)
87	7794	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5. 00)	(1.75)	(0.75)	(6.9)
88	4871	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6. 46)	(1.89)	(0.74)	(8. 6)
89	1174	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5, 74)	(1.65)	(0.71)	(7.5)
90	743	KU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	4. 94	1. 12	0. 62	3, 3
91	6442	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	4. 12	1. 35	0.62	2. 9
92	4479	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(4. 38)	(1.11)	(0.54)	(3.1)
93	4241	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6, 42)	(1, 73)	(0.48)	(3.3)
94	4460	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6. 53)	(1. 68)	(0.48)	(5. 6)
95	3951	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5. 45)	(1. 40)	(0. 68)	(5. 8)
96	8191	YLU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(4. 18)	(1.58)	(0.58)	(42)
97	2746	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(2. 35)	(1. 20)	(0.38)	(0.9)
98	4538	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	(3. 40)	(1.80)	(0. 60)	(3, 3)
99	4660	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	(3. 40)	(2.00)	(0.65)	(3.8)
100	1151	KU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(3. 14)	(1.64)	(0.45)	(2.9)
108	978	KU	黒耀石	石鏃	(3.41)	(1.72)	(0.61)	(2.9)
109	2380	KU	玄武岩	敲磨	6. 05	4. 50	2. 70	100
110	2386	KU	輝石安山岩	敲磨	9. 90	6. 90	3. 60	380
111	2411	KU	輝石安山岩	敲磨	9. 60			t
						5. 30	4. 40	335
112	2392	KU	輝石安山岩	敲石	9. 10	6. 65	3. 80	330
113	2389	KU	輝石安山岩	敲石	12. 80	8. 95	4. 50	785
114	2385	KU	輝石安山岩	敲磨	14. 30	8. 55	5. 80	975
115	2381	KU	輝石安山岩	敲磨	(11.00)	(5. 70)	(5. 70)	(435)
123	1541	KU	輝石安山岩	敲磨	6. 40	5. 35	4. 40	200
138	4938	FB	輝石安山岩	敲磨	(13. 40)	(10.05)	(6, 20)	(1175)
150	4273	FB	黒耀石	石鏃	(1. 18)	(1. 62)	(0. 41)	(0, 5)
151	3886	FB	輝石安山岩	凹石				
					9, 35	10. 15	5. 60	740
152	4298	FB	輝石安山岩	敲磨	10. 15	8. 40	3. 80	485
153	3902	FB	輝石安山岩	敲磨	17. 80	7. 65	6. 30	1190
154	3889	FB	多孔質玄武岩	石皿	(37. 70)	(36. 20)	(8. 30)	(12500)
155	4661	FB	玄武岩	石皿	24. 75	23. 20	6. 10	5000
156	3904	FB	黒耀石	石鏃	(1.64)	(1.22)	(0.41)	(0, 5)
174	4028	FB	輝石安山岩	敲磨	(9. 40)	(7.70)	(3.50)	(350)
175	4031	FB	玄武岩	敲磨	13. 75	8. 75	4. 10	640
176	4029	FB	玄武岩	敲磨	12. 40	9. 70	6. 40	1035
177	3828	FB	輝石安山岩	敲磨	18. 55	9. 70	5. 40	1050
184	7806	FB	黒耀石	石鏃	0. 86	1. 25	0.31	0.2
185	8404	FB	流紋岩	RF/UF	5. 79	4. 20	1. 40	26. 6
188	7764	FB	輝石安山岩	敲磨	(6, 05)	(6. 70)	(5. 40)	(395)
189	842	FB	輝石安山岩	磨石	(6. 30)	(7. 20)	(4. 10)	(435)
190	892	FB	輝石安山岩	敲磨	(16. 20)	(8. 60)	(6. 40)	(1110)
191	8405	FB	玄武岩	敲石	13. 50	9. 10	6. 00	930
195	7984	ZN	玄武岩	敲磨	15. 35	8. 50		
199							5. 70	940
	458	FB	滑石	装飾品	6. 86	2. 29	7. 9	13. 8
200	271	FB	砂岩	打斧	10.60	5. 50	1. 70	125
201	272	FB	ホルンフェルス	打斧	10. 90	5. 10	2. 70	159. 4
202	270	FB	ホルンフェルス	打斧	12. 28	4. 10	1. 15	69. 7
680	2442	ZN	ホルンフェルス	石鏃	1. 20	0.87	0. 22	0. 2
681	5935	FB	黒耀石	石鏃	1. 20	1. 70	0. 30	0.5
682	2262	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(1. 46)	(1.82)	(0. 36)	(0.6)
683	1352		黒耀石	石鏃	1. 40	1.55	0. 30	0. 3
684								
	735		黒耀石	石鏃	(1. 60)	(1.60)	(0. 30)	(0, 4)
685	3686		黒耀石	石鏃	(1.68)	(1. 34)	(0. 27)	(0.3)
686	2179	FB	黒耀石	石鏃	(1.86)	(1.53)	(0.34)	(0.5)
687	3376	FB	黒耀石	石鏃	2. 14	2. 08	0. 32	0.8
688	5881	FB	黒耀石	石鏃	(1. 97)	(1.42)	(0. 40)	(0.6)
689	3667		黒耀石	石鏃	(2. 02)	(1. 68)	(0. 49)	(0.7)
690	4756		チャート	石鏃	(2.01)	(0. 92)		
691							(0. 33)	(0.4)
641	5071	FB	黒耀石	石鏃	(2.67)	(1.47)	(0.38)	(0.7)

図版番号	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)
692	1815	KU	黒耀石	石鏃	(1.53)	(1.73)	(0, 31)	(0.4)
693	3581	FB	黒耀石	石鏃	1. 24	1. 33	0.49	0. 5
694	6085	FB	黒耀石	石鏃	1. 20	1. 15	0.30	0.1
695	2853	FB	黒耀石	石鏃	1. 27	1. 32	0.35	0.3
696	6558	FB	黒耀石	石鏃	(1. 22)	(1.37)	(0.31)	(0.4)
697	3639	KU	黒耀石	石鏃	(1. 55)	(1.05)	(0.31)	(0.3)
698	3741	KU	黒耀石	石鏃	(1. 55)	(1.30)	(0. 35)	(0.4)
699	8313	ZN	チャート	石鏃	(1.50)	(1. 35)	(0. 25)	(0. 1)
700	6612	FB	黒耀石	石鏃	(0.99)	(1. 33)	(0.40)	(0.5)
701	6430	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(1.50)	(1.60)	(0. 35)	(0.5)
701								
	6495	FB	黒耀石	石鏃	1.60	1. 30	0.40	0.5
703	55	ZN	黒耀石	石鏃	(1. 64)	(1. 53)	(0.41)	(0.5)
704	6811	FB	黒耀石	石鏃	1.60	1. 30	0. 30	0. 3
705	4048	FB	黒耀石	石鏃	1.60	1.50	0. 35	0.4
706	3459	FB	チャート	石鏃	(1. 96)	(1.10)	(0. 33)	(0, 4)
707	1184	KU	黒耀石	石鏃	(1. 49)	(1.53)	(0.52)	(0.6)
708	4300	FB	黒耀石	石鏃	(1.71)	(1. 22)	(0.50)	(0.5)
709	1158	KU	黒耀石	石鏃	(1.93)	(1.52)	(0.40)	(0.8)
710	7071	FB	黒耀石	石鏃	(1.75)	(1.60)	(0, 30)	(0.6)
711	6982	FB	黒耀石	石鏃	(1.41)	(1.41)	(0.42)	(0.6)
712	3732	FB	黒耀石	石鏃	(2. 12)	(1.78)	(0.45)	(1.3)
713	1372	KU	黒耀石	石鏃	1. 95	1. 40	0. 40	0.6
714	4968	FB	黒耀石	石鏃	(2, 00)	(1.40)	(0.35)	(0.6)
715	6314	FB	黒耀石	石鏃	2.00	1.50	0. 45	0.8
716	3066	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(1.74)	(1.86)	(0.42)	(0.7)
717	1906	FB	黒耀石	石鏃	2. 20	1.60	0. 40	0.7
718	3604	FB	ホルンフェルス	石鏃	(2. 15)	(1.62)	(0.51)	(1.3)
719	927	FB	黒耀石	石鏃	(2. 08)	(1.40)	(0. 42)	(0, 7)
720	3073	FB	黒耀石	石鏃	(2. 28)	(1. 43)	(0. 37)	(0, 9)
721	3289	FB	ホルンフェルス	石鏃	2. 10	1.70	0.30	0.7
722	7996	YLU	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(2. 17)			
						(1. 33)	(0. 33)	(0.6)
723	6637	FB	黒耀石	石鏃	(2. 12)	(1.45)	(0.72)	(1.4)
724	2328	FB	黒耀石	石鏃	(2. 28)	(1. 37)	(0.41)	(0.6)
725	1998	FB	黒耀石	石鏃	2. 65	1.80	0. 40	1.6
726	3631	FB	チャート	石鏃	(2. 18)	(1.80)	(0. 62)	(1.4)
727	5201	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(2. 30)	(2.00)	(0. 40)	(1.1)
728	8221	ZN	黒耀石	石鏃	(1.85)	(1.73)	(0. 35)	(0.4)
729	5673	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	3. 00	1. 95	0. 40	1.3
730	710	KU	黒耀石	石鏃	(2. 40)	(1.70)	(0.55)	(1.3)
731	2288	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(2. 62)	(1.75)	(0.68)	(2. 2)
732	3369	FB	黒耀石	石鏃	(1.35)	(1.10)	(0.20)	(0.1)
733	8222	ZN	黒耀石	石鏃	(1.40)	(1. 25)	(0.30)	(0.4)
734	8143	ZN	ガラス質黒色安山岩	石鏃	1. 33	1. 57	0. 35	0.5
735	2136	FB	黒耀石	石鏃	1.80	1.60	0. 30	0. 6
736	2749	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(1.91)	(1. 73)	(0.70)	(1.4)
737	8155	ZN	ガラス質黒色安山岩	石鏃	(1.80)	(1. 70)	(0. 4)	(0. 8)
738	4405	FB	黒耀石	石鏃	(1.51)	(1. 36)	(0. 37)	(0.8)
739	5677	FB	ホルンフェルス	石鏃	2, 33	1. 45	0. 59	1.4
740	2291	FB	黒耀石	石鏃	(2, 53)	(1.71)		
741	3099	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	2. 61		(0. 51)	(1.4)
742						2. 56	0.44	2. 2
	484	FB	黒耀石	石鏃	2. 23	1. 50	0. 80	1. 7
743	492	FB	黒耀石	石鏃	2. 35	1. 92	0. 75	2. 7
744	2139	FB	ガラス質黒色安山岩	石鏃	2. 57	1. 74	0. 75	2. 5
745	2094	FB	黒耀石	石鏃	2. 05	1. 55	0. 40	0.8
746	2450	FB	珪質粘板岩	石鏃	3. 35	1.65	0.40	2. 2
747	3671	KU	珪質粘板岩	石鏃	3. 92	1. 75	0. 40	2. 6
748	5183	FB	粘板岩	石鏃	2. 61	1. 45	0.30	0.9
749	2310	FB	珪質粘板岩	石鏃	(3. 51)	(1.60)	(0. 25)	(1.5)
750	2246	FB	黒耀石	石鏃	(1. 32)	(1.08)	(0.45)	(0.3)
751	714	KU	黒耀石	石鏃	(1.59)	(1. 47)	(0.41)	(0.7)
752	726	KU	黒耀石	石鏃	(1.72)	(1.34)	(0. 52)	(0.8)
753	226	FB	黒耀石	石鏃	(1.85)	(1.53)	(0. 42)	(0.8)
754	1736	FB	黒耀石	石匕	(6. 41)	(3. 48)	(1.49)	(24. 7)
755	1512	KU	黒耀石	石匕	4. 20	1. 95	0.70	5. 8
	1907	FB	ホルンフェルス	石匕	(2. 85)	(5. 71)	(0. 86)	(7. 7)
756		1.0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	144 L	(4.00)	(0, (1)	(0.00)	(1.1)
756 757	1916	FB	ホルンフェルス	石匕	(3. 67)	(5. 40)	(0. 67)	(9.7)

図版番号	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	縦長 (mm)	横長 (㎜)	厚 (mm)	重 (g
759	1882	KU	ホルンフェルス	石匕	8. 20	7. 22	2. 51	128. 1
760	7556	FB	黒耀石	石錐	2. 52	0. 97	0. 83	1.7
761	表採		砂岩	打斧	12. 22	5. 64	2. 51	216
762	858	FB	砂岩	打斧	11.49	5. 05	1.38	103. 4
763	2077	FB	頁岩	打斧	(12.55)	(5. 08)	(2. 15)	(142. 6
764	6544	FB	ホルンフェルス	打斧	9. 05	4. 73	1. 39	62. 6
765	表採		頁岩	打斧	(7. 93)	(5, 19)	(1.81)	(84. 7)
766	952	FB	頁岩	打斧	(5. 27)	(7. 25)	(1.64)	(113. 6
767	1487	KU	珪質粘板岩	打斧	(7. 69)	(3, 93)	(1. 18)	(47)
768	3035	FB	無斑晶質安山岩	打斧	(10. 25)	(5. 68)	(2. 10)	(171, 3
769	993	KU	砂岩(細粒)	打斧	(7. 59)	(5, 63)	(1. 16)	(64. 1)
770	1737	FB	無斑晶質安山岩	打斧				
			砂岩		(10. 53)	(6. 00)	(1. 42)	(215. 3
771	949	FB		打斧	11. 02	2. 93	1. 53	66. 7
772	2725	FB	無斑晶質安山岩	打斧	(8. 25)	(7. 42)	(1. 95)	(154. 8
773	2866	FB	ホルンフェルス	打斧	(9. 45)	(3, 96)	(1. 88)	(100.9
774	1011	FB	ホルンフェルス	打斧	14. 85	8. 20	2. 51	329. 3
775	5895	FB	緑色凝灰岩	磨斧	(7. 04)	(5. 27)	(1.68)	(96. 1)
776	3108	KU	砂岩(粗粒)	磨斧	5. 38	3. 44	1. 12	33. 9
777	3506	FB	角閃石片岩	磨斧	(8. 79)	(6. 80)	(2.72)	(244. 2
778	3408	FB	緑色凝灰岩	磨斧	(4. 20)	(4. 41)	(1.89)	(44)
779	327	FB	滑石	装飾品	1.72	1. 95	0. 73	2. 1
780	5820	FB	砂岩	石錘	6. 13	6. 24	2. 18	123. 5
781	7753	FB	輝石安山岩	石錘	5. 07	6. 80	2. 10	85. 7
782	6654	FB	砂岩(細粒)	石錘	(4.77)	(8. 17)	(1.34)	(63. 8)
783	1097	KU	多孔質玄武岩	敲石	5. 70	2. 55	2. 50	40
784	220	FB	玄武岩	敲石	(5. 10)	(3. 30)	(1.70)	(40)
785	6419	FB	砂岩	敲石	(8, 50)	(2. 20)	(1.30)	(50)
786	2303	FB	輝石安山岩	敲石	7. 60	4. 10	2. 30	100
787	424	FB	輝石安山岩	敲石	8. 60	3. 85	2, 60	120
788	7104	ZN	砂岩(細粒)	敲石	10. 10	3. 60	2. 20	130
789	3696	FB	多孔質玄武岩	敲石	5. 60	4. 20	3. 70	110
790	1927	FB	輝石安山岩	敲石	4. 50	3. 65	2. 80	55
791	6552	FB	玄武岩	敲石	6. 75	4. 70	3. 90	155
792	3509	FB	多孔質玄武岩	敲石	7. 15	4. 70		
			玄武岩		1		3. 20	110
793	6866	FB		敲石	8. 00	4. 50	3. 70	170
794	1988	FB	多孔質玄武岩	敲石	6. 90	5. 15	3. 90	180
795	2276	FB	輝石安山岩	敲石	8. 80	5. 90	4. 60	315
796	6550	FB	多孔質玄武岩	敲石	8. 50	4. 90	4. 00	240
797	4684	FB	玄武岩	敲石	6. 80	4. 90	3. 60	120
798	3823	FB	多孔質玄武岩	敲石	7. 60	5. 50	5. 40	240
799	5098	FB	玄武岩	敲石	6. 60	4. 70	3. 20	140
800	864	FB	玄武岩	敲石	5. 80	5. 00	2. 90	110
801	3527	FB	玄武岩	敲石	6. 40	6. 20	3, 80	195
802	2778	FB	玄武岩	敲石	11.50	7. 70	3. 00	350
803	1554	KU	多孔質玄武岩	敲石	10. 40	8. 50	7. 90	740
804	5251	FB	玄武岩	敲石	8. 70	6. 40	4. 10	345
805	1727	FB	輝石安山岩	敲石	7. 00	6.00	4.70	255
806	3466	FB	玄武岩	敲石	7. 40	6. 00	3, 30	180
807	459	FB	輝石安山岩	敲石	10. 80	10. 60	8. 80	1400
808	3689	KU	多孔質安山岩	敲石	14. 40	10. 80	9, 00	1690
809	7086	FB	輝石安山岩	敲石	12. 50	10. 30	10. 80	1790
810	8403	FB	多孔質玄武岩	敲石	13. 40	10. 80	7. 90	1390
811	5088	FB	玄武岩	敲石	10. 00	9. 90		
812	661	FB					5. 10	670
			輝石安山岩 去計場	敲石	11.80	7. 70	6. 90	890
813	5714	FB	玄武岩	磨石	11. 25	9. 05	5. 10	805
814	6680	FB	玄武岩	磨石	7. 30	5, 00	2. 70	150
815	787	FB	輝石安山岩	磨石	8. 50	5. 00	2. 25	130
816	5626		輝石安山岩	磨石	9. 50	6. 45	2. 40	220
817	437	KU	輝石安山岩	磨石	8. 50	7. 25	3. 20	315
818	6002		輝石安山岩	磨石	8. 00	6. 60	3. 60	290
819	5819	FB	玄武岩	磨石	8. 20	5. 75	4. 80	290
820	5974	FB	輝石安山岩	磨石	8, 15	6. 30	3. 10	230
821	5603	FB	玄武岩	磨石	9. 70	8. 60	5. 80	640
822	1553	KU	輝石安山岩	敲磨	7. 85	5. 95	3. 80	280
823	2753	FB	玄武岩	敲磨	7. 35	5. 60	2. 60	130
824	6371	FB	玄武岩	敲磨	9. 20	7. 20	3. 60	375
825	253		輝石安山岩	敲磨	8. 10	7. 80	3. 80	360

図版番号	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)
826	1446	KU	輝石安山岩	敲磨	10. 50	11.00	6. 60	1110
827	7097	FB	輝石安山岩	敲磨	11. 30	9.55	5. 80	910
828	5602	FB	玄武岩	敲磨	12. 40	10.10	4. 80	870
829	1539	KU	細粒安山岩	敲磨	11. 70	8, 30	5. 20	735
830	633	FB	玄武岩	敲磨	10. 95	9.00	4. 70	715
831	3497	FB	輝石安山岩	敲磨	(9. 70)	(9.70)	(4. 80)	(575)
832	421	FB	輝石安山岩	敲磨	8. 65	6.85	2. 90	250
833	4771	FB	アプライト	敲磨	9. 30	8. 50	4. 50	510
834	6169	FB	輝石安山岩	敲磨	12. 40	8. 30	4. 20	650
835	2184	FB	玄武岩	敲磨	11. 20	9. 10	4. 60	770
836	3419	FB	玄武岩	敲磨	13. 65	8.50	4. 10	680
837	7381	FB	輝石安山岩	敲磨	14. 80	5. 85	8. 05	965
838	7932	FB	輝石安山岩	敲磨	14. 90	6, 70	7. 10	995
839	7878	ZN	輝石安山岩	敲磨	13. 40	7. 40	6. 00	800
840	6076	FB	輝石安山岩	敲磨	(12.05)	(6. 40)	(6.00)	(645)
841	859	FB	輝石安山岩	敲磨	(13. 25)	(8, 50)	(5. 90)	(940)
842	6198	FB	輝石安山岩	敲磨	(10. 30)	(6.50)	(7. 00)	(610)
843	6522	FB	輝石安山岩	敲磨	(10.45)	(6, 95)	(7. 20)	(680)
844	4165	FB	多孔質玄武岩	敲磨	(9. 40)	(8. 10)	(6. 80)	(725)
845	6213	FB	玄武岩	敲磨	16. 65	7. 30	5. 90	1135
846	1436	ZN	輝石安山岩	敲磨	12. 90	7. 80	5. 30	810
847	7404	FB	玄武岩	敲磨	13. 80	6. 60	5. 90	840
848	6470	FB	輝石安山岩	敲磨	11. 65	6, 70	5. 80	610
849	6354	FB	玄武岩	敲磨	14. 00	7. 65	4. 90	760
850	820	FB	多孔質玄武岩	敲磨	12. 95	7. 30	5. 20	760
851	4943	FB	多孔質玄武岩	凹石	11.50	10.40	5, 50	790
852	1728	FB	多孔質玄武岩	凹石	(11.00)	(9.30)	(5. 20)	(690)
853	6434	FB	玄武岩	凹石	11. 30	8. 70	4. 45	525
854	264	FB	玄武岩	凹石	15. 00	10.75	7. 80	1615
855	436	FB	輝石安山岩	凹石	14. 60	8. 95	7. 10	1200
856	5347	FB	玄武岩	凹石	9. 30	7. 10	4. 50	390
857	5290	FB	輝石安山岩	凹石	13. 50	9. 00	5. 00	850
858	772	FB	多孔質玄武岩	凹石	7. 10	7. 20	3, 80	260
859	24	FB	デイサイト	凹石	10.60	6. 30	3. 50	225
860	456	FB	玄武岩	凹石	10. 80	8. 05	4. 85	620
861	8159	FB	多孔質安山岩	石皿	(26. 10)	(27. 10)	(9. 90)	(8000)
862	5268	FB	多孔質玄武岩	石皿	(22. 40)	(24. 40)	(10.90)	(6500)
863	1945	FB	輝石安山岩	石皿	(34. 40)	(21.90)	(8. 30)	(7000)
864	1961	FB	輝石安山岩	石皿	29. 90	19. 70	9. 20	8000
865	1960	FB	輝石安山岩	石皿	(24. 30)	(24. 60)	(13. 00)	(1050)
866	359	FB	多孔質玄武岩	石皿	(19. 80)	(28. 60)	(7. 20)	(5500)
867	1055	KU	多孔質玄武岩	石皿	(17. 0)	(26. 20)	(9. 20)	(3500)
868	6863	FB	玄武岩	石皿	(23. 30)	(22.00)	(8. 20)	(5000)
869	6215	FB	多孔質玄武岩	石皿	(20. 50)	(19. 20)	(6. 30)	(3000)
870	5849	FB	輝石安山岩	石皿	(15. 75)	(11.55)	(5. 10)	(1110)
871	1560	KU	輝石安山岩	石皿	(6. 75)	(16. 20)	(5. 30)	(590)
872	6650	FB	輝石安山岩	敲磨	19. 40	17. 70	5. 70	3230

附表 4 個体別分類一覧表

8 8	1 1 A	113 11 74 174	AR SEEL					
	個体別者 号	色調	含有物・その他	光沢	自然面	剥片面	石器数	遺物出土層位
1	HNHJ1	黒色不透明~不透明	暗灰色の縞や帯状の縞(2mm~5mm程度の さ) が全体に見られる、0.5mm~2mm程度 の球類・石英を全体に少量含む		不明	微細な割れが見られ る	131	FB YLU YLM YLL
2	НNНЈ2	黑色不透明~亚透明	0.5程度の石英を全体に少量含む	やや鋭い	不明	微細な割れが目立 つ、なめらか	1	FB
3	HNHJ3	黒色不透明	0.5mm程度の石英を全体に極少量含む	やや鋭い	不明	なめらか	1	FB
4	HNHJ6	黒色不透明	0.5mm程度の石英を全体に少量含む	鋭い	不明	微細な割れが目立つ	2	YLU
5	нинј7	黒色不透明~亜透明	0.5㎜程度の球顆を全体に少量含む	やや鋭い	不明	微細な割れが少し見 られる	1	YLU
6	нинј8	黒色不透明~亜透明	暗灰色の帯状の縞が全体に見られる、0.mm~1mm程度の球顆・石英を全体に極少量含む		不明	微細な割れが少し見 られる、なめらか	3	YLU
7	НИНЈ9	黒色不透明	暗灰色の帯状の縞が一部に見られる、0.mm程度の球顆を全体に極少量含む	5 鋭い	不明	微細な割れが少し見 られる	1	FB
8	HNHJ11	暗灰色不透明	なし	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
9	HNKI1	黒色不透明	0.5mm程度の球顆・石英を全体に少量含	が鋭い	不明	微細な割れが目立つ	1	FB
10	AGKT1	黒色不透明	3mm~5mm程度の球顆を多量に含む	鋭い	なめらか、一部スリ ガラス状	なめらか	1	BB I
11	AGKT2	不透明~亜透明	灰色の帯状の縞が全体に目立つ、2mm~3mm程度の球顆を多量に含む	鋭い	スリガラス状	なめらか	12	BB I
12	AGKT3	暗灰色不透明	0.5mm程度の石英を極少量含む	鋭い	溶岩状	なめらか	1	BB I
13	AGKT4	黒色不透明~亜透明	灰色の帯状の縞が一部に見られる、0.5m 程度の球顆・石英を少量含む	^m 鋭い	不明	なめらか	3	BB I
14	AGKT5	暗灰色不透明	0.5mm程度の球顆・石英を少量含む	風化の為光流なし	アバタ状	スリガラス状	1	BB I
15	AGKT6	暗灰色不透明	灰色の縞が全体に見られる、0.5mm程度の 石英を少量含む	鋭い	不明	なめらか	4	BB I
16	AGKT7	灰色不透明	0.5㎜程度の石英を少量含む	鋭い	溶岩状	なめらか	2	BB I
17	AGKT8	黒色不透明	灰色の縞が全体に見られる、0.5mm程度の 球顆・石英を少量含む	やや鋭い	不明	なめらか	2	BB I
18	AGKT9	暗灰色亜透明~透明	暗灰色の微細なスジ状 (0.5mm以下の直線) の縞が全体に見られる	鋭い	不明	なめらか	3	BB I
19	AGKT10	黒色不透明~亜透明	暗灰色の微細な縞 (0.5mm以下) が全体に 見られる	やや鋭い	アバタ状	なめらか	2	BB I
20	AGKT11	暗灰色不透明~亜透明	なし	鋭い	不明	なめらか	2	BB I
21	AGKT12	暗灰色亜透明~透明	暗灰色の微細なスジ状の縞が全体に見られる、5mm程度の石英を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YL
22	AGKT13	黒色不透明	0.5mm~5mm程度の球顆が全体に少量見られる	やや鋭い	スリガラス状	なめらか	1	YLU
23	AGKT14	透明(黒色が強い)	暗灰色の帯状の縞が一部に見られる、0.5 mm程度の石英を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
24	AGKT15	暗灰色不透明	灰色の縞が全体に見られる、0.5mm程度の 石英を少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YLL
25	AGKT16	灰色不透明	0.5mm程度の球顆を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
26	AGKT17	暗灰色不透明	0.5mm程度の石英を極少量含む	風化の為光沢なし	不明	なめらか	2	YLU
27	AGKT18	暗灰色不透明	0.5mm~1mm程度の球顆を全体に多量含む	鋭い	アバタ状	なめらか	1	FB
28	KZOB1	暗灰色亜透明	なし	やや鋭い	不明	なめらか	1	KU
29	KZOB2	暗灰色半透明	なし	やや鋭い	不明	なめらか	1	FB
30	KZOB3	暗灰色半透明~透明	なし	やや鋭い	不明	なめらか	2	YLM
31	WDTY1	透明(薄黒色がかる)	うろこ雲状の黒色微粒子が全体に目立つ	鋭い	不明	なめらか	1	KU
32	WDTY2	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	KU
33	WDTY3	透明(薄黒色がかる)	暗灰色〜灰色のぼやけた縞が全体に見られる、0.5mm〜1mm程度の球顆を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YLL
34 V		透明(薄黒色がかる) 〜黒色 不透明	うろこ雲状の黒色微粒子が全体に見られる、0.5mm程度の球類の密集部が一部に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	ZN
5 V	WDTY5	透明(薄黒色がかる)	うろこ雲状の黒色微粒子が全体に目立つ	鋭い	不明	なめらか	1	KU
36 V	VDTN1	透明(薄黒色がかる)	黒色の縞が一部に見られる	鋭い	不明 ;	なめらか	1	FB

	個体別番 号	色調	含有物・その他	光沢	自然面	剥片面	石器数	遺物出土層位
37	WDTN2	透明(薄灰色の濁り有り)	なし	鋭い	スリガラス状	なめらか	1	YL
38	WDKB1	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
39	TSTYI	透明(薄黒色がかる)	微細な気泡が縞状に全体に見られる、0.5 mm程度の球顆を全体に多量に含む	鋭い	不明	なめらか	1	FB
40	TSTY2	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の球顆が少量含まれる、黒色微粒子が全体に散在する	鋭い	不明	なめらか	1	FB
41	TSTY3	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の球顆を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	FB
42	TSTY4	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の球顆が極少量含まれる、黒色 微粒子が若干見られる	鋭い	不明	なめらか	1	NLa
43	TSTY5	透明(薄黒色がかる)	微細な気泡が縞状に全体に見られる、0.5 mm程度の球顆を全体に多量に含む	鋭い	不明	なめらか	2	YLU YLL
44	TSTY6	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の球顆を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YLM
45	SWHD1	透明(薄灰色の濁りをもつ)	灰色の縞が全体に見られる、0.5mm程度の 球顆を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	KU
46	SWHD2	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	FB
47	SWHD3	透明(薄黒色がかる)	黒色〜黒褐色の微細な縞が全体に見られ る	鋭い	不明	なめらか	1	KU
48	SWHD4	透明(薄黒褐色がかる)	灰色微粒子がうろこ雲状に全体に散在する	鋭い	不明	なめらか	1	FB
49	SWHD5	透明(薄黒色がかる)	黒色〜黒褐色の微細なスジ状の縞が全体 に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	FB
50	SWHD6	黒色亜透明	なし	鋭い	不明	なめらか	1	FB
51	SWHD7	透明(薄黒色がかる)	灰色の微細なスジ状の縞が全体に見られる、0.5mm程度の球顆の密集部が一部に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	FB
52	SWHD8	黒色亜透明	黒色の微細な縞が全体に見られる、一部 に黒褐色や灰色の縞が見られる	鋭い	不明	なめらか	1	ZN
53	SWHD9	透明(薄黒色がかる)	黒色の縞が一部に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	KU
54	SWHD10	透明(薄黒色がかる)	灰白色の微細な縞が全体に見られる	鋭い	不明	なめらか	2	YLU
55	SWHD11	透明(薄黒色がかった濁り有 り)	灰白色の縞が全体に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	YL
56	SWHD12	透明(薄黒色がかる) 一部黒 色	うろこ雲状の黒色微粒子が全体に見られ る	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
57	SWHD13		灰色の微細な縞が全体に見られる,一部に 5mm程度の球顆を含む	鋭い	スリガラス状	なめらか	3	BB I
58	SWHD14		暗灰色の微細なスジ状の縞が全体に見ら れる	鋭い	不明	なめらか	4	BB I
59	SWHD15	黒色不透明~透明	うろこ雲状の黒色微粒子が全体に見られ る	鋭い	不明	なめらか	1	BB I
60	SWHD16	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	вв І
61	SWHD17	透明(黒色がかる)	0.5mm程度の球顆が一部に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	BB I
62	SWHD18	透明(薄黒色がかる)	黒色〜黒褐色の微細なスジ状の縞が全体 に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
63	SWHD19	透明(薄黒色がかる)	黒色の微細な縞が全体に見られる、0.5mm ~1mm程度の球顆を極少量含む	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
64	SWHD20	透明(薄黒色がかる)	灰白色の微細な縞が全体に見られる	鋭い	不明	なめらか	1	YLU
65	SWHD21	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	KU
66	SWHD22	透明(薄黒色がかる)	なし	やや鋭い	不明	なめらか	1	KU
67	SWHD23	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	FB
68	SWHD24	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1	ZN
69	SWHD25		暗褐色の微細なスジ状の縞が一部に見ら れる	鋭い	不明	なめらか	1	ZN
70	SWHD26	透明(薄黒色がかる)	暗褐色の縞が一部に見られる	鋭い	不明	なめらか	2	YLU

附編

•

附編 1 黒曜石原産地分析 国立沼津工業専門学校教授 望月 昭彦

1. 産地原石判別群(SEIKO SEA-2110L 蛍光X線分析装置による)

都道府県	地図No.	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地(分析数)				
	,	白滝	八号沢群		STHG		赤石山山頂(19)、八号沢露頭(31)、八号沢(79)、 黒曜の沢(6)、				
	1	日運	黒曜の沢群		STKY		- 幌加林道(4)				
ĺ	2	上士幌	三股群		KSMM		十三/沢(16)				
北海道	3	置戸	安住群		ODAZ		安住(25)、清水ノ沢(9)				
	4	40 111	高砂台群		AKTS						
北神頂	4	旭川	春光台群		AKSK		高砂台(6)、雨紛台(5)、春光台(5)				
	5	名寄	布川群		NYHK		布川(10)				
	6	新十津川	須田群		STSD		須田(6)				
	7	赤井川	曲川群		AIMK		曲川(25)、土木川(15)				
	8	豊浦	豊泉群		TUTI		豊泉(16)				
青森	9	木造	出来島群		KDDK		出来島海岸(34)				
有採	10	深浦	八森山群		HUHM		八森山公園(8)、六角沢(8)、岡崎浜(40)				
£Lm	1.1	男鹿	金ヶ崎群		OGKS		金ヶ崎温泉(37)、脇本海岸(98)				
秋田	11	为庇	脇本群		OGWM		脇本海岸(16)				
山形	12	羽黒	月山群		HGGS		月山荘前(30),朝日町田代沢(18),櫛引町中沢(18)				
шль	12	初無	今野川群		HGIN		今野川(9)、大網川(5)				
新潟	13	新津	金津群		NTKT		金津(29)				
利倫	14	新発田	板山群		SBIY		板山牧場(40)				
栃木	15	高原山	甘湯沢群	高原山1群	THAY	TKH1	甘湯沢(50)、桜沢(20)				
13/3 /	13	阿州山	七尋沢群	高原山2群	THNH	TKH2	七尋沢(9)、自然の家(9)				
			鷹山群	和田峠1群	WDTY	WDT1					
		和田	小深沢群	和田峠2群	WDKB	WDT2					
			土屋橋北群	和田峠3群	WDTK	WDT3					
	16	(WD)	土屋橋西群	和田峠4群	WDTN	WDT4	→鷹山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、 古峠(50)、土屋橋 → 北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、 丁字御領(18)				
		(WD)	土屋橋南群	和田峠5群	WDTM	WDT5	- 11(03)、工产倫西(23)、工产條用(00)、 丁子(4)(18)				
		和田 (WO)	芙蓉ライト群		WDHY						
L			古峠群		WDHT						
			ブドウ沢群	男女倉1群	WOBD	OMG1	ブドゥ海(2C) ブドゥ海ナ豊(10) 株、海上(00) 株、海工(00) ☆				
長野			牧ヶ沢群	男女倉2群	WOMS	OMG2	─ブドウ沢(36)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、 牧ヶ沢下(36)、高 松沢(40)				
			高松沢群	男女倉3群	WOTM	OMG3	μων(10)				
	17	諏訪	星ヶ台群	霧ヶ峰系	SWHD	KRM	星ヶ塔第1鉱区(36)、星ヶ塔第2鉱区(36)、星ヶ台A(36)、星ヶ台B(11)、木 月霊園(36)、木月公園(13)、星ヶ塔のりこし(36)				
	18	18 蓼科	冷山群	蓼科系	TSTY	TTS	冷山(33)、麦草峠(36)、麦草峠東(33)、渋ノ湯(29)、 美し森(4)、八ヶ 岳7(17)、八ヶ岳9(18)、双子池(34)				
			双子山群		TSHG		双子池(26)				
			擂鉢山群		TSSB		擂鉢山(31)、亀甲池(8)				
	19		芦ノ湯群	芦ノ湯	HNAY	ASY	芦ノ湯(34)				
神奈川	20		畑宿群	畑宿	HNHJ	HTJ	畑宿(71)				
1.26/11	20	箱根	黒岩橋群	箱根系A群	HNKI	HKNA	黒岩橋(9)				
	21		鍛冶屋群	鍛冶屋	HNKJ	KJY	鍛冶屋(30)				
静岡 -	21		上多賀群	上多賀	HNKT	KMT	上多賀(18)				
th bed	22	天城	柏峠群	柏峠	AGKT	KSW	柏峠(80)				
東京	23	神津島	恩馳島群	神津島1群	KZOB	KOZ1	恩馳島(100)、長浜(43)、沢尻湾(8)				
N/I	2.0	111145-000	砂糠崎群	神津島2群	KZSN	KOZ2	砂糠崎(40)、長浜(5)				
			久見群		OKHM		久見パーライト中(30)、久見採掘現場(18)				
島根	24	隠岐	箕浦群		OKMU		箕浦海岸(30)、加茂(19)、岸浜(35)				
			岬群		OKMT		岬地区(16)				
その他			NK群		NK		中ッ原1G、5G(遺跡試料),原石産地は未発見				



2. 出土黒曜石製石器産地推定結果

判別図法・判別分析からの最終推定結果判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

2002年 通し番号	分析番号	遺物番号	推定産地
MK02-255	THK-1	293	諏訪星ヶ台群
MK02-256	THK-2	329	天城柏峠群
MK02-257	THK-3	330	箱根畑宿群
MK02-258 MK02-259	THK-4 THK-5	331 342	箱根畑宿群 天城柏峠群
MK02-260	THK-6	343	天城柏峠群
MK02-261	THK-7	344	天城柏峠群
MK02-262	THK-8	362	天城柏峠群
MK02-263	THK-9	363	天城柏峠群
MK02-264	THK-10	364	諏訪星ヶ台群
MK02-265 MK02-266	THK-11 THK-12	366 367	天城柏峠群 諏訪星ヶ台群
MK02-267	THK-13	368	天城柏峠群
MK02-268	THK-14	369	諏訪星ヶ台群
MK02-269	THK-15	818	箱根畑宿群
MK02-270	THK-16	848	諏訪星ヶ台群 諏訪星ヶ台群
MK02-271 MK02-272	THK-17 THK-18	1020 1330	和田鷹山群
MK02-273	THK-19	1473	諏訪星ヶ台群
MK02-274	THK-20	1726	諏訪星ヶ台群
MK02-275	THK-21	1745	諏訪星ヶ台群
MK02-276	THK-22	1860	諏訪星ヶ台群
MK02-277 MK02-278	THK-23 THK-24	1877 2456	諏訪星ヶ台群 和田土屋橋西群
MK02-279	THK-24	2457	諏訪星ヶ台群
MK02-280	THK-26	2458	諏訪星ヶ台群
MK02-281	THK-27	2675	蓼科冷山群
MK02-282	THK-28	3106	和田鷹山群
MK02-283 MK02-284	THK-29 THK-30	3168 3453	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-285	THK-31	3484	諏訪星ヶ台群
MK02-286	THK-32	0.101	箱根畑宿群
MK02-287	THK-33		諏訪星ヶ台群
MK02-288	THK-34	3601	諏訪星ヶ台群 諏訪星ヶ台群
MK02-289 MK02-290	THK-35 THK-36	3624 3644	神津島恩馳島群
MK02-291	THK-37	0011	箱根畑宿群
MK02-292	THK-38		箱根黒岩橋群
MK02-293	THK-39	3947	和田土屋橋西群
MK02-294 MK02-295	THK-40 THK-41	3998 3999	諏訪星ヶ台群
MK02-296	THK-42	4022	諏訪星ヶ台群
MK02-297	THK-43	4023	諏訪星ヶ台群
MK02-298	THK-44	4024	諏訪星ヶ台群
MK02-299	THK-45	4098	箱根畑宿群
MK02-300 MK02-301	THK-46 THK-47	4260 4267	風化 天城柏峠群
MK02-301	THK-48	4269	諏訪星ヶ台群
MK02-303	THK-49	4371	箱根畑宿群
MK02-304	THK-50		欠番
MK02-305	THK-51	4720	箱根畑宿群
MK02-306 MK02-307	THK-52 THK-53	4787	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-308	THK-54	4977	蓼科冷山群
MK02-309	THK-55	5872	蓼科冷山群
MK02-310	THK-56		神津島恩馳島群
MK02-311	THK-57	6841	箱根畑宿群
MK02-312 MK02-313	THK-58 THK-59	6842 6844	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-313 MK02-314	THK-60	1100	欠番
MK02-315	THK-61	6846	箱根畑宿群
MK02-316	THK-62	6848	箱根畑宿群
MK02-317	THK-63	6849	箱根畑宿群
MK02-318 MK02-319	THK-64 THK-65	6850 6851	箱根畑宿群 蓼科冷山群
MK02-320	THK-66	6852	箱根畑宿群
MK02-321	THK-67	6853	箱根畑宿群
MK02-322	THK-68	6854	箱根畑宿群
MK02-323	THK-69	6887	天城柏峠群
MK02-324 MK02-325	THK-70 THK-71	6889 6890	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-326	THK-72	6891	箱根畑宿群
MK02-327	THK-73	6892	箱根畑宿群
MK02-328	THK-74	6893	天城柏峠群
MK02-329	THK-75	6952	和田鷹山群
MK02-330 MK02-331	THK-76 THK-77	6957 7006	蓼科冷山群 箱根畑宿群
MK02-332	THK-78	7008	神津島恩馳島群
MK02-333	THK-79	7010	蓼科冷山群
MK02-334	THK-80	7024	和田鷹山群
MK02-335 MK02-336	THK-81 THK-82	7025 7108	箱根畑宿群 諏訪星ヶ台群
MK02-336 MK02-337	THK-83	7108	神津島恩馳島群
MK02-338	THK-84	7205	箱根畑宿群

*	判別図 判別分析						
	別群		第1候補産地			第2候補産地	
L		判別群	距離	確率	判別群	距離	確率
	SWHD	SWHD	5. 83	1	SBIY	77. 14	0
1	AGKT	AGKT	8. 97	1	HNKT	115. 13	0
1	HNHJ	HNHJ	1. 32	1	HNK I	90.65	0
	HNHJ	HNHJ	7. 93	1	HNKI	141.98	0
1	AGKT	AGKT	4. 52	1	HNKT	111. 37	0
1	AGKT	AGKT	8. 02	1	HNKT	127. 01	0
1	AGKT	AGKT	1. 73	1	HNKT	117. 65	0
	AGKT	AGKT	21. 99	1	HNKT	148. 47	0
1	AGKT	AGKT	7. 59	1	HNKT	130. 65	0
	SWHD	SWHD	1. 26	1	SBIY	88. 27	0
	AGKT	AGKT	27. 22	1	HNKT	56. 71	0
	SWHD	SWHD	3. 95	1	SBIY	89.68	0
	AGKT	AGKT	2.3	1	HNKT	118. 93	0
	SWHD	SWHD	0.88	1	SBIY	82. 36	0
	HNHJ	HNHJ	1. 19	1	HNKI	89. 31	0
	SWHD	SWHD	8, 02	1	SBIY	113. 04	0
	SWHD	SWHD	2. 45	1	SBIY	77. 43	0
	THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PARTY OF THE		6, 77	0.8981	WDHY	8.69	0. 1019
	WDTY	WDTY					
	SWHD	SWHD	5. 02	1	SBIY	61. 79	0
-	SWHD	SWHD	2. 05	1	SBIY	108. 15	0
	SWHD	SWHD	5. 08	1	WDTN	117. 76	0
	SWHD	SWHD	2. 73	1	SBIY	74. 18	0
	SWHD	SWHD	7. 52	1	WDTN	104. 65	0
-	WDTN	WDTN	6. 84	1	WDTM	27. 82	0
	SWHD	SWHD	12. 9	1	SBIY	121. 82	0
	SWHD	SWHD	4. 9	1	SBIY	119.14	0
7	TSTY	TSTY	4.05	1	TSHG	26. 42	0
P	WDTY	WDTY	4. 65	1	WDHY	27. 5	0
	HNHJ	HNHJ	3. 51	1	HNK I	85. 88	0
	HNHJ	HNHJ	7. 44	1	HNKI	105. 16	0
-	SWHD	SWHD	1. 78	1	SBIY	96. 65	0
and the second of the second of the second	HNHJ	HNHJ	1. 52	1	HNKI	131. 41	0
	SWHD	SWHD	6. 25	1	SBIY	126. 63	0
	SWHD	SWHD	1. 92	1	SBIY	66, 61	0
	SWHD	SWHD	1. 99	1	SBIY	65. 01	0
	KZOB	KZOB	5. 88	1	KZSN	33. 56	0
	HNHJ	HNHJ	1. 95	1	HNKI	114. 39	0
	HNK I	HNKI	6, 48	0. 9999	HNKJ	27. 06	0.0001
			6. 94	0. 3333	WDTK	31. 38	0.0001
	WDTN	WDTN					0
	SWHD	SWHD	1. 75	1	WDTN	101. 82	0
	SWHD	SWHD	9. 7	1	SBIY	61.1	0
	SWHD	SWHD	5. 58	1	SBIY	65. 17	
	SWHD	SWHD	11. 91	1	WDTN	151. 97	0
1	SWHD	SWHD	5. 43	1	SBIY	62. 36	0
	HNHJ	HNHJ	2. 7	1	HNKI	128. 79	0
-	風化	風化			風化		
A	AGKT	AGKT	4. 68	1	HNKT	119. 53	0
S	SWHD	SWHD	5. 67	1	SBIY	76. 79	0
H	HNHJ	HNHJ	6. 13	1	HNKI	85. 24	0
3	欠番	欠番			欠番		
H	HNHJ	HNHJ	4	1	HNKI	90. 31	0
Н	INHJ	HNHJ	11.81	1	HNKI	164.05	0
P	INHJ	HNHJ	4. 16	1	HNKI	118.98	0
	ISTY	TSTY	2. 21	1	TSHG	24. 52	0
	rsty	TSTY	15. 96	1	TUTI	38. 11	0
	KZOB	KZOB	7. 57	1	KZSN	39. 54	0
man become contract of	-NHJ	HNHJ	1. 59	1	HNKI	120. 45	0
	NHJ	HNHJ	8. 88	1	HNKI	60. 55	0
	innj INHJ	HNHJ	2. 59	1	HNKI	83. 82	0
		欠番	2. 39		欠番	00.02	
	大番		5, 22		HNKI	97. 03	0
	NHJ	HNHJ		1			
	NHJ	HNHJ	7, 79	1	HNKI	100. 5	0
	NHJ	HNHJ	14. 09	1	HNKI	191. 93	0
	NH J	HNHJ	6. 48	1	HNKI	138.08	0
_	rsty	TSTY	6. 84	0, 9999	TUTI	23. 24	0
-	INHJ	HNHJ	4. 56	1	HNKI	150. 25	0
L	INHJ	HNHJ	15. 57	1	HNKI	186. 69	0
	HNHJ	HNHJ	4. 66	1	HNKI	144. 23	0
A	\GKT	AGKT	8. 07	1	HNKT	136. 47	0
Н	INHJ	HNHJ	8. 61	1	HNKI	67. 73	0
H.	INHJ	HNHJ	4. 9	1	HNKI	120.6	0
k	INHJ	HNHJ	5. 33	1	HNKI	73, 39	0
-	INHJ	HNHJ	10. 88	1	HNKI	180. 43	0
	AGKT	AGKT	5. 79	1	HNKT	107. 4	0
	VDTY	WDTY	2. 49	0. 9986	WDHY	13. 21	0.0014
	TSTY	TSTY	4. 61	1	TSHG	36. 89	0
	INHJ	HNHJ	15. 23	1	HNKI	59. 94	0
	ZOB	KZOB	4. 09	1	KZSN	51. 43	0
		TSTY	4. 37	0. 9999	TSHG	19. 84	0. 0001
K		1011	4.01				0.0001
K	TSTY VDTV	Whtv	1 9	V 00051	MURA		
K T	VDTY	WDTY	1.8	0. 9993	WDHY HNK I	13. 84	
K T W	IDTY INHJ	HNHJ	5. 97	1	HNKI	147. 43	0
K T W H	VDTY						

2002年 通し番号	分析番号	遺物番号	推定産地
K02-339	THK-85	7206	箱根畑宿群
MK02-340	THK-86	7207	箱根畑宿群
K02-341	THK-87	7313	神津島恩馳島群
K02-342	THK-88	7314	神津島恩馳島群
K02-343	THK-89	7565	天城柏峠群
K02-343		7303	
	THK-90		神津島恩馳島群
€K02-345	THK-91	7995	箱根烟宿群
(K02-346	THK-92	7997	非黒曜石
(K02-347	THK-93	7998	箱根畑宿群
K02-348	THK-94	7999	箱根畑宿群
K02-349	THK-95	8000	箱根畑宿群
K02-350	THK-96	8001	箱根畑宿群
K02-351	THK-97	8002	箱根畑宿群
K02-352	THK-98	8003	箱根畑宿群
K02-353	THK-99	8007	箱根畑宿群
K02-354	THK-100	8008	箱根畑宿群
K02-355	THK-101	8015	箱根畑宿群
		0010	
K02-356	THK-102		欠番
K02-357	THK-103	8153	諏訪星ヶ台群
K02-358	THK-104	8164	箱根畑宿群
K02-359	THK-105	8166	箱根畑宿群
K02-360	THK-106		箱根畑宿群
K02-361	THK-107	8184	諏訪星ヶ台群
K02-362	THK-108	8185	諏訪星ヶ台群
K02-363	THK-109	8186	箱根畑宿群
			~~~
K02-364	THK-110	8187	箱根畑宿群
K02-365	THK-111	8188	和田小猱沢群
K02-366	THK-112	8189	箱根畑宿群
K02-367	THK-113	8192	箱根畑宿群
K02-368	THK-114	8193	箱根畑宿群
K02-369	THK-115	8194	箱根畑宿群
K02-370	THK-116	8195	箱根畑宿群
X02-371	THK-117	8196	箱根畑宿群
K02-371	THK-117	8198	箱根畑宿群
K02-372			
	THK-119	8199	箱根畑宿群
(02-374	THK-120	8200	箱根畑宿群
(02-375	THK-121	8201	箱根畑宿群
(02-376	THK-122	8202	箱根畑宿群
(02-377	THK-123	8203	箱根畑宿群
(02-378	THK-124	8204	箱根畑宿群
(02-379	THK-125	8205	箱根畑宿群
(02-380	THK-126	8206	箱根畑宿群
02-381	THK-127	8208	箱根畑宿群
02-382	THK-128	8209	箱根畑宿群
02-383	THK-129	8210	非黒曜石
02-384	THK-130		欠番
02-385	THK-131	8212	諏訪星ヶ台群
02-386	THK-132	8213	箱根畑宿群
02-387	THK-133	8214	箱根畑宿群
02-388	THK-134		
02-389		8215	箱根畑宿群
	THK-135	8216	箱根畑宿群
02-390	THK-136	8217	箱根畑宿群
02-391	THK-137	8218	箱根畑宿群
02-392	THK-138	8220	箱根畑宿群
02-393	THK-139	8237	箱根畑宿群
02-394	THK-140	8251	箱根畑宿群
02-395	THK-141	8257	箱根畑宿群
02-396	THK-142	8258	箱根畑宿群
02-397	THK-143	8259	箱根畑宿群
02-398	THK-144	8260	箱根畑宿群
02-399	THK-145	8261	箱根畑宿群
02-400	THK-146	8263	箱根畑宿群
02-401	THK-147		欠番
02-402	THK-148	8270	箱根畑宿群
02-403	THK-149	8271	箱根畑宿群
02-404	THK-150	8272	箱根畑宿群
02-405	THK-151	8273	箱根畑宿群
02-406	THK-152	8274	箱根畑宿群
02-407	THK-153	8275	箱根畑宿群
02-408	THK-154	8276	箱根畑宿群
02-409	THK-155	8277	箱根烟宿群
2-410	THK-156	8278	箱根畑宿群
2-411	THK-157	8279	箱根畑宿群
2-412	THK-158	8280	箱根畑宿群
2-413			
	THK-159	8281	箱根畑宿群
2-414	THK-160	8282	箱根畑宿群
2-415	THK-161	8283	箱根畑宿群
2-416	THK-162	8286	諏訪星ヶ台群
2-417	THK-163	8287	箱根畑宿群
2-418	THK-164	8288	箱根畑宿群
2-419			
	THK-165	8289	箱根畑宿群
2-420	THK-166	8290	箱根畑宿群
2-421	THK-167	8291	箱根畑宿群
2-422	THK-168	8292	箱根畑宿群
	THK-169	8293	箱根畑宿群
2-423		0200	
	THK-170	0.004	
2-424	THK-170	8294	箱根畑宿群
2-423 2-424 2-425 2-426	THK-170 THK-171 THK-172	8294 8295 8296	箱根畑宿群 箱根畑宿群

判別図		Att. (2.15.)	刊別	l分析	Attacked Co.		
判別群		第1候補産地			第2候補産地		
	判別群	距離	確率	判別群	距離	確率	
HNHJ	HNHJ	10. 02	1	HNKI	137. 55		
HNHJ	HNHJ	16. 14	1	HNK I	68. 53		
KZOB	KZOB	7. 05	1	KZSN	27. 34		
KZOB	KZOB	9.08	1	KZSN	74. 11		
AGKT	AGKT	17. 2	1	HNKT	167. 16		
KZOB	KZOB	3. 37	1	KZSN	41.79		
HNHJ	HNHJ	2. 38	1	HNKI	86. 59		
非黒曜石	非黒曜石			非黒曜石	00.00		
HNHJ	HNHJ	6. 86	,		C4 05		
			1	HNKI	64. 35		
HNHJ	HNHJ	2. 19	1	HNKI	130. 61		
HNHJ	HNHJ	10. 22	1	HNKI	138. 2		
HNHJ	HNHJ	15. 99	1	HNKI	193. 5		
HNHJ	HNHJ	19. 14	1	HNKI	213. 76		
HNHJ	HNHJ	20. 9	1	HNK I	152		
HNHJ	HNHJ	1. 37	1	HNKI	96. 85		
HNHJ	HNHJ	1.59	1	HNKI	122. 68		
HNHJ	HNHJ	4.76	1	HNKI	113. 97	-	
欠番	欠番			欠番	110.51		
SWHD	SWHD	13. 31	- 1		50.67		
			1	SBIY	58. 67		
HNHJ	HNHJ	7. 75	1	HNKI	79. 03		
HNHJ	HNHJ	11. 33	1	HNKI	155. 83		
HNHJ	HNHJ	11. 43	1	HNKI	167, 72		
SWHD	SWHD	9. 67	1	SBIY	125. 23		
SWHD	SWHD	9. 18	1	WDTN	106. 39		
HNHJ	HNHJ	16. 62	1	HNKI	204. 02		
HNHJ	HNHJ	1. 45	1	HNKI	89. 51		
WDKB	WDKB	7. 15	1	WDTK			
HNH I					25. 57		
	HNHJ	2.8	1	HNKI	83. 84		
HNHJ	HNHJ	7. 09	1	HNKI	166, 17		
HNHJ	HNHJ	12. 38	1	HNK I	180. 13		
HNHJ	HNHJ	1. 4	1	HNKI	119. 17		
HNHJ	HNHJ	8.04	1	HNKI	129. 69		
HNHJ	HNHJ	3.04	1	HNKI	127. 62		
HNHJ	HNHJ	14.06	1	HNK I	188. 27		
HNHJ	HNHJ	13. 67	1				
	<del></del>			HNKI	60. 2		
HNHJ	HNHJ	3. 28	1	HNK1	90. 36		
HNHJ	HNHJ	5. 07	1	HNKI	155. 95		
HNHJ	HNHJ	7. 19	1	HNK I	156. 21		
HNHJ	HNHJ	10.14	1	HNKI	76. 49		
HNHJ	HNHJ	4.84	1	HNKI	135. 03		
HNHJ	HNHJ	4. 18	1	HNKI	126. 16		
HNHJ	HNHJ	6. 16	1	HNKI	146. 97		
HNHJ	HNHJ	8	1				
				HNKI	82. 83		
HNHJ	HNHJ	1. 43	1	HNKI	131. 48		
非黒曜石	非黒曜石			非黒曜石			
欠番	欠番			欠番			
SWHD	SWHD	1.3	1	SBIY	72. 39		
HNHJ	HNHJ	7. 24	1	HNKI	113. 68		
HNHJ	HNHJ	3. 56	1	HNKI	122. 99		
HNHJ	HNHJ	1.34	1	HNKI	104. 22	~~~	
HNHJ	HNHJ	3, 05	1	HNKI			
HNHJ		-			102. 13		
	HNHJ	6. 15	1	HNKI	117		
HNHJ	HNHJ	2. 82	1	HNKI	123. 97		
HNHJ	HNHJ	7. 79	1	HNKI	94. 45		
HNHJ	HNHJ	4. 29	1	HNKI	113. 76		
HNHJ	HNHJ	6. 12	1	HNKI	115. 12		
HNHJ	HNHJ	11.54	1	HNKI	86. 91		
HNHJ	HNHJ	2. 71	1	HNKI	98. 18		
HNHJ	HNHJ	17. 36	1	HNKI			
					120. 52		
HNHJ	HNHJ	8. 5	1	HNKI	103. 4		
HNHJ	HNHJ	4. 15	1	HNKI	125. 77		
HNHJ	HNHJ	1.61	1	HNKI	115. 97		
欠番	欠番			欠番			
HNHJ	HNHJ	10.66	1	HNKI	146. 09		
HNHJ	HNHJ	11. 19	1	HNK I	183. 58		
HNHJ	HNHJ	5. 61	1	HNKI	159. 93		
HNHJ	HNHJ	14. 81	1	HNKI	97. 59		
HNHJ	HNHJ	13. 49					
HNHJ			1	HNKI	113. 28		
	HNHJ	20. 77	1	HNKI	216. 93		
HNHJ	HNHJ	10. 8	1	HNKI	163. 1		
HNHJ	HNHJ	9. 99	1	HNKI	163. 12		
HNHJ	HNHJ	3. 14	1	HNKI	116. 28		
HNHJ	HNHJ	7. 51	1	HNKI	70. 27		
HNHJ	HNHJ	5. 08	1	HNKI	140. 37		
	HNHJ	1. 44	1	HNKI	105. 48		
HNHJ	HNHJ	5. 99	1	HNKI	103. 26		
HNHJ HNHJ		4. 41	1	HNKI			
HNHJ	HNH T	4. 41			100. 81		
HNHJ HNHJ	HNHJ	4 10	1	SBIY	86. 64		
HNHJ HNHJ SWHD	SWHD	4. 18		HNK I	132. 78		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ	SWHD HNHJ	3. 54	1		67. 93		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ	SWHD HNHJ HNHJ	3. 54 9	1	HNKI	01. 55		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ	SWHD HNHJ	3. 54		HNKI HNKI			
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ	SWHD HNHJ HNHJ	3. 54 9	1 1	HNKI	86. 1		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ	3. 54 9 6. 02 3. 92	1 1 1	HNK I	86. 1 78. 1		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ	3. 54 9 6. 02 3. 92 7. 41	1 1 1	HNKI HNKI HNKI	86. 1 78. 1 107. 48		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ	3. 54 9 6. 02 3. 92 7. 41 12. 74	1 1 1 1	HNKI HNKI HNKI	86. 1 78. 1 107. 48 81. 09		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ	3. 54 9 6. 02 3. 92 7. 41 12. 74 11. 19	1 1 1 1 1 1 1 1 1	HNKI HNKI HNKI HNKI	86. 1 78. 1 107. 48 81. 09 99. 76		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	3. 54 9 6. 02 3. 92 7. 41 12. 74 11. 19 15. 43	1 1 1 1 1 1 1	HNKI HNKI HNKI HNKI HNKI	86. 1 78. 1 107. 48 81. 09		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	3. 54 9 6. 02 3. 92 7. 41 12. 74 11. 19	1 1 1 1 1 1 1 1 1	HNKI HNKI HNKI HNKI	86. 1 78. 1 107. 48 81. 09 99. 76		
HNHJ HNHJ SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	SWHD HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HNHJ HN	3. 54 9 6. 02 3. 92 7. 41 12. 74 11. 19 15. 43	1 1 1 1 1 1 1	HNKI HNKI HNKI HNKI HNKI	86. 1 78. 1 107. 48 81. 09 99. 76 177. 67		

2002年 通し番号	分析番号	遺物番号	推定産地
MK02-428	THK-174	8298	箱根畑宿群
MK02-429	THK-175	8299	箱根畑宿群
MK02-430	THK-176	8300	箱根畑宿群
MK02-431	THK-177	8301	箱根畑宿群
MK02-432	THK-178	8302 8303	箱根畑宿群
MK02-433 MK02-434	THK-179 THK-180	8303 8304	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-434 MK02-435	THK-181	8305	箱根畑宿群
MK02-436	THK-182	8306	箱根畑宿群
MK02-437	THK-183	8308	箱根畑宿群
MK02-438	THK-184	8309	箱根畑宿群
MK02-439	THK-185	8314	諏訪星ヶ台群
MK02-440	THK-186	8315	箱根畑宿群
MK02-441	THK-187	8316	箱根畑宿群
MK02-442	THK-188	8317	推定不可
MK02-443	THK-189	8318 8319	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-444 MK02-445	THK-190 THK-191	8320	推定不可
MK02-446	THK-192	8321	天城柏峠群
MK02-447	THK-193	8322	箱根畑宿群
MK02-448	THK-194	8323	諏訪星ヶ台群
MK02-449	THK-195	8324	箱根畑宿群
MK02-450	THK-196	8325	箱根畑宿群
MK02-451	THK-197	8326	箱根畑宿群
MK02-452	THK-198	8327	箱根畑宿群
MK02-453	THK-199	8328	天城柏條群
MK02-454	THK-200	8329	箱根畑宿群
MK02-455	THK-201 THK-202	8330 8331	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-456 MK02-457	THK-202	8331	箱根畑宿群
MK02-458	THK-204	8333	蓼科冷山群
MK02-459	THK-205	8334	天城柏峠群
MK02-460	THK-206	8335	天城柏峠群
MK02-461	THK-207	8336	天城柏峠群
MK02-462	THK-208	8337	測定不可
MK02-463	THK-209	8339	天城柏峠群
MK02-464	THK-210	8340	天城柏峠群
MK02-465	THK-211	8344	天城柏峠群
MK02-466	THK-212	8345	箱根畑宿群
MK02-467	THK-213	8346	箱根畑宿群 箱根畑宿群
MK02-468 MK02-469	THK-214 THK-215	8347	箱根畑宿群
MK02-409	THK-216	8349	箱根烟宿群
MK02-471	THK-217	8350	箱根畑宿群
MK02-472	THK-218	8351	箱根畑宿群
MK02-473	THK-219	8352	箱根畑宿群
MK02-474	THK-220	8353	箱根畑宿群
MK02-475	THK-221	8354	和田鷹山群
MK02-476	THK-222	8355	箱根畑宿群
MK02-477 MK02-478	THK-223	8356 8357	箱根烟宿群
MITOE TIO	THK-224	0001	箱根畑宿群 天城柏峠群
MK02-479 MK02-480	THK-225 THK-226	8359 8360	大阪相原群 風化
MK02-480 MK02-481	THK-227	8361	天城柏峠群
MK02-481 MK02-482	THK-228	8363	天城柏峠群
MK02-483	THK-229	8364	天城柏峠群
MK02-484	THK-230	8365	天城柏峠群
MK02-485	THK-231	8367	天城柏峠群
MK02-486	THK-232	8368	天城柏峠群
MK02-487	THK-233	8370	天城柏峠群
MK02-488	THK-234	8371	天城柏峠群
MK02-489	THK-235	8372	天城柏峠群
MK02-490	THK-236	8373	天城柏峠群
MK02-491	THK-237	8374	天城柏峠群
MK02-492 MK02-493	THK-238	8376	風化 天城柏峠群
MK02-493 MK02-494	THK-239 THK-240	8377 8380	天城柏峠群
MK02-494 MK02-495	THK-240	8382	天城柏峠群
MK02-496	THK-242	8384	天城柏峠群
MK02-497	THK-243	8385	天城柏峠群
MK02-498	THK-244	8386	天城柏峠群
MK02-499	THK-245	8387	諏訪星ヶ台群
MK02-500	THK-246	8388	天城柏峠群
MK02-501	THK-247	8389	天城柏峠群
MK02-502	THK-248	8391	天城柏峠群
MK02-503	THK-249	8392	天城柏峠群
MK02-504	THK-250	8393	風化
MK02-505	THK-251	8394	天城柏峠群
MK02-506 MK02-507	THK-252 THK-253	8395 8396	天城柏峠群 箱根畑宿群
MK02-508	THK-254	5129	諏訪星ヶ台群
MING JVO	11th 204	0129	呼の生プロ研

判別図	判別分析									
判別群	判別群	第1候補産地 距離	確率	判別群	第2候補産地 距離	確率				
HNHJ	HNHJ	2. 89	1	HNK I	125. 88	-				
HNHJ	HNHJ	6. 87	1	HNK I	126. 91	4				
HNHJ	HNHJ	17. 15	1	HNK I	201. 02					
HNHJ	HNHJ	3.72	1	HNKI	121. 43	(				
HNHJ	HNHJ	18. 25	1	HNKI	69. 87	(				
HNHJ	HNHJ	7. 95	1	HNK I	146. 73	(				
HNHJ	HNHJ	3. 08	1	HNKI	122. 67	(				
HNHJ	HNHJ	8. 02	1	HNK I	77. 46	(				
HNHJ	HNHJ	4. 29	1	HNKI	105	(				
HNHJ	HNHJ	9. 99	1	HNK I	61.99	(				
HNHJ	HNHJ	2. 16	1	HNK I	102. 2	(				
SWHD	SWHD	8. 38	1	WDTN	88. 54	(				
HNHJ	HNHJ	10. 65	1	HNKI	71. 36	(				
HNHJ	HNHJ	10. 62	1	HNK I	125. 58	(				
推定不可	推定不可			推定不可						
HNHJ	HNHJ	3. 85	1	HNK I	129. 24	(				
HNHJ	HNHJ	3. 7	1	HNKI	128, 21	(				
推定不可	推定不可			推定不可						
AGKT	AGKT	12.11	1	HNKT	98. 43	(				
HNHJ	HNHJ	3.56	1	HNKI	137. 76	(				
SWHD	SWHD	3.64	1	SBIY	68.06	(				
HNHJ	HNHJ	15. 13	1	HNKI	195. 94	(				
HNHJ	HNHJ	2. 15	1	HNKI	93. 27	(				
HNHJ	HNHJ	3. 7	1	HNKI	80. 78	(				
HNHJ	HNHJ	3, 63	1	HNKI	106. 23	(				
AGKT	AGKT	7. 92	1	HNKT	154. 92	(				
HNHJ	HNH I	1. 35	1	HNKI	106. 66	(				
HNHJ	HNHJ	17, 57	1	HNK I	75. 05	(				
HNHJ	HNH.J	6. 24	1	HNK I	122. 55	(				
HNHJ	HNHJ	11. 28	1	HNK I	97, 56					
TSTY	TSTY	1. 89	1	TSHG	21. 49					
AGKT	AGKT	5. 21	1	HNKT	138. 76	(				
AGKT	AGKT	2. 64	1	HNKT	111.7	(				
AGKT 測定不可	AGKT	4. 17	1	HNKT	133. 38					
	測定不可	0.00		測定不可	110.07					
AGKT	AGKT	3. 33	1	HNKT	110. 37	C				
AGKT	AGKT	0.79	1	HNKT	110. 7	C				
AGKT	AGKT	16. 46	1	HNKT	126. 59	0				
HNHJ	HNHJ	6. 65	1	HNKI	161. 77	C				
HNHJ	HNHJ	9. 09	1	HNKI	165. 81	0				
HNHJ	HNHJ	6. 41	1	HNK I	156. 69	C				
HNHJ	HNHJ	4. 92	1	HNK I	121. 2	C				
HNHJ	HNHJ	8.89	1	HNK I	73. 66	0				
HNHJ	HNHJ	10. 25	1	HNKI	77. 13	0				
HNHJ	HNHJ	14. 52	1	HNKI	166. 91	0				
HNHJ	HNHJ	25. 26	1	HNKI	220. 95	0				
HNHJ	HNHJ	6. 24	1 00000	HNKI	109. 11	0.0004				
WDTY	WDTY	7. 99	0. 9999	WDHY	24. 95	0. 0001				
HNHJ	HNHJ	14. 51	1	HNKI	185. 26	0				
HNHJ	HNH J HNH J	7. 24	1	HNKI	166. 88	0				
HNHJ		5. 15	1	HNKI	148. 56	0				
AGKT	AGKT	2. 23	1	HNKT	103. 98	0				
風化	風化	10.70		風化	00.5					
AGKT	AGKT	12. 73	1	HNKT	90. 74	0				
AGKT	AGKT	4. 58	1	HNKT	92. 78	0				
AGKT	AGKT	11. 48	1	HNKT	162. 55	0				
AGKT	AGKT	6. 88	1	HNKT	121. 22	0				
AGKT	AGKT	7. 52	1	HNKT	137. 72	0				
AGKT	AGKT	11. 48	1	HNKT	150. 32	0				
AGKT	AGKT	5. 24	1	HNKT	156. 2	0				
AGKT	AGKT	4. 62	1	HNKT	139. 23	0				
AGKT	AGKT	3	1	HNKT	99. 59	0				
AGKT	AGKT	3. 45	1	HNKT	118. 21	0				
AGKT	AGKT	3. 85	1	HNKT	124. 82	0				
風化	風化			風化						
AGKT	AGKT	2. 87	1	HNKT	101. 68	0				
AGKT	AGKT	7. 28	1	HNKT	118. 23	0				
AGKT	AGKT	18. 98	1	HNKT	151. 52	0				
AGKT	AGKT	5. 56	1	HNKT	130. 11	0				
AGKT	AGKT	7.04	1	HNKT	149. 54	0				
AGKT	AGKT	2. 45	1	HNKT	110. 34	0				
SWHD	SWHD	7.06	1	SBIY	53. 86	0				
AGKT	AGKT	13. 18	1	HNKT	87. 34	0				
AGKT	AGKT	5. 14	1	HNKT	87. 9	0				
AGKT	AGKT	8. 07	1	HNKT	85. 29	0				
AGKT	AGKT	9. 21	1	HNKT	135. 43	0				
風化	風化		T	風化						
AGKT	AGKT	3. 79	1	HNKT	130. 54	0				
AGKT	AGKT	0.44	1	HNKT	118. 71	0				
HNHJ	HNHJ	12. 26	1	HNKI	171. 08	0				
SWHD	SWHD	5. 26	1	SBIY	80. 49	0				

#### 附編2 鉄平遺跡の陥穴に関する自然科学調査

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

鉄平遺跡は、愛鷹山南麓の尾根上に立地する。今回の発掘調査によって、箱根西麓と同じ形態の岩宿 (旧石器)時代の陥穴が愛鷹山麓で初めて検出され、注目されている。

当社では、箱根西麓の下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡で、当時の陥穴に関する分析調査を実施し、旧地表面であるBBⅢ層の植生景観の推定や、構築から埋積に至る過程に関する情報提供などをおこなった(辻本・植木 1996、植木ほか 1996)。

今回も同様に、植物珪酸体分析を実施し、本遺跡で当該期の陥穴が構築された当時の景観を検討する。 また、箱根西麓の下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡の調査成果との比較検討を行う。

#### 1. 試料

調査対象は、調査区北壁と3号土坑断ち割り断面にあらわれた、基本土層である。前者ではNL層から $SC \coprod s 1$ 層最上部までが、後者では $SC \coprod s 1$ 層からペアスコリア層までが確認された。

試料として、NL層からペアスコリア層まで、5 cm厚で連続的に採取した。これらの試料から、SC III s 4層~BB II 層を中心に、9点を分析試料として選択した(図1)。

なお、3 号土坑は、B B  $\blacksquare$  層から掘りこまれたと考えられ、底部及び底部直上の壁面にペアスコリア 層が認められた。内部は、壁面から崩落したと見られるS C  $\blacksquare$  s 4 層や、S C  $\blacksquare$  s 1 層、B B  $\blacksquare$  層に由来する土壌で埋積されていた。

#### 2. 分析方法

湿重5g前後の試料について、過酸化水素水・塩酸処理、超音波処理(70w、250KHz、1分間)、沈定法、重液分離法(ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5)の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これを検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥する。乾燥後、プリュウラックスで封入しプレパラートを作成する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部(葉身と葉鞘)の葉部短細胞に由来した植物珪酸体(以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ)を、近藤・佐瀬(1986)の分類に基づいて同定・計数する。

結果は、検出された種類とその個数の一覧表で示す。また、検出された植物珪酸体の出現傾向から古植生について検討するために、植物珪酸体の層位的分布図を作成した。各種類の出現率は、短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の各珪酸体毎に、それぞれの総数を基数とする百分率で求めた。

各試料からは、保存状態が悪いものの、植物珪酸体が検出される。SCⅢs4層~BBⅡ層では、特にタケ亜科の産出が目立ち、その中にはネザサ節も含まれる。この他、ウシクサ属(ススキ属を含む)やイチゴツナギ亜科などが、わずかに認められる。なお、樹木に由来する植物珪酸体は、いずれの層位からも全く認められない。

しかし、下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡と異なり、BBIII層やBBII層でウシクサ属(ススキ属を含む)の出現率が低い。

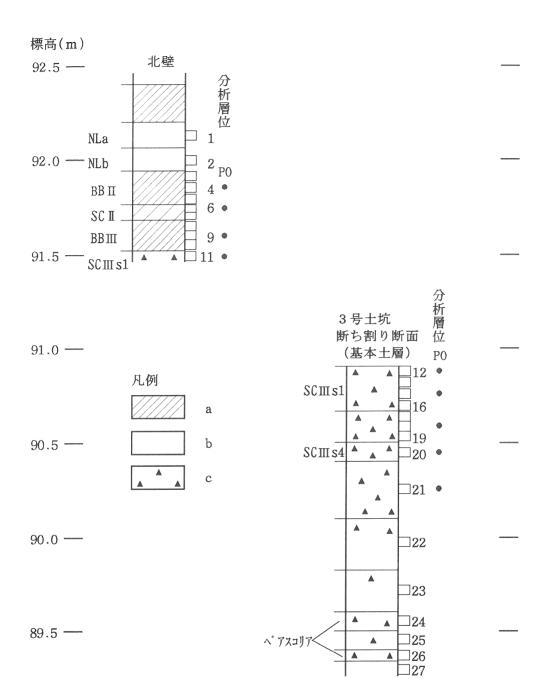


図1 調査区北壁の分析層位 層区分は、現地所見に基づく。

a:暗色帯, b:ローム, c:スコリア
●:分析試料, PO:植物珪酸体分析

#### 3. 植物珪酸体の産状

結果を表1、図2に示す。

表 1 調査区北壁の植物珪酸体分析結果

双 1 阿且巴北至 27恒初年	奴件力	リルロント								
種類					3 号土坑断ち割り壁					
	北壁				(基本土層)					
試料番号	4	6	9	11	12	15	18	20	21	
イネ科葉部短細胞珪酸体										
タケ亜科ネザサ節	11	12	8	14	7	17	21	21	6	
タケ亜科	201	203	209	187	210	217	221	215	234	
ウシクサ族ススキ属	2	2	-	8	-		6	2	2	
イチゴツナギ亜科	_	-	_	2	-	-	-		-	
不明キビ型	6	1	1	9	1	2	4	5	7	
不明ヒゲシバ型	2	4	1	3	1	1	2	5	4	
不明ダンチク型	3	1	1	9	1	1	3	3	3	
イネ科葉身機動細胞珪酸体										
タケ亜科ネザサ節	28	15	11	15	15	6	21	18	12	
タケ亜科	87	90	91	81	95	114	104	109	105	
ウシクサ族	4	5	7	6	5	1	7	12	3	
不明	8	3	3	4	4	2	4	2	7	
合 計		***************************************								
イネ科葉部短細胞珪酸体	225	223	220	232	220	238	257	251	256	
イネ科葉身機動細胞珪酸	127	113	112	106	119	123	136	141	127	
総計	352	336	332	338	339	361	393	392	383	

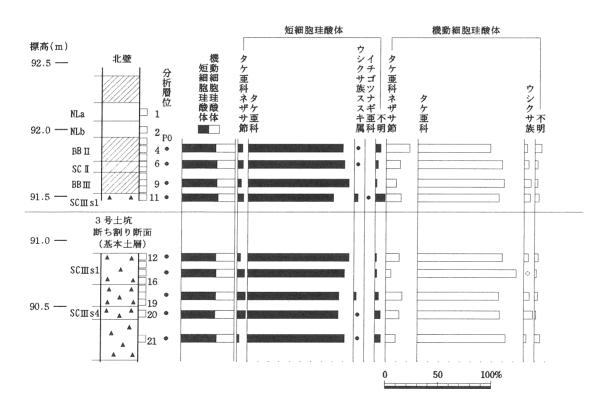


図2 調査区北壁での植物珪酸体の層位的分布 出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の 総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1%未満を示す。

#### 4. 考察

調査区北壁に見られたSCⅢs4層~BBⅡ層では、植物珪酸体の保存状況が悪いものの、ネザサ節を含むタケ亜科の産出が目立った。タケ亜科の植物珪酸体が、他の種類より土壌中に残留しやすい(近藤1982:杉山・藤原1986)ことを考慮すれば、これらの層では他の種類よりもタケ亜科の植物珪酸体の比率が強調されていると考えられる。

また、検出されたタケ亜科やウシクサ族は、丘陵上など高燥な場所に生育可能な種類である。また、ネザサ節は開けた場所に生育する種類である。本遺跡の立地を考慮すると、今回の産状から、ネザサ節を含むタケ亜科が繁茂し、ウシクサ族などが生育していたことが伺える。なお、樹木に由来する植物珪酸体は、いずれの層位からも全く認められなかった。概して植物珪酸体の保存状態が悪いことから、今回分析対象とした土層は植物珪酸体の残留土壌であると考えられるので、樹木が全く生育していなかったとは言いきれないが、生育していたとしても森林のように密集してはいなかった可能性がある。これらの点から、陥穴はネザサ節などの草木類が繁茂する中で構築されたことが示唆される。

ところで、下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡の陥穴が構築されたBBⅢ層形成当初は、それ以前に比較して、ウシクサ族ススキ属の出現率が増加したことが指摘され、ススキ属が生育するような開けた場所で土壌腐食の集積が促進されたと考えられている(植木ほか 1996)。今回の産状は下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡とは異なり、BBⅢ層やBBⅡ層の形成時期にウシクサ族(ススキ属を含む)は目立たない。そのため、本遺跡で構築された陥穴は、下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡とは草木類の種類が異なっていた可能性がある。

しかし、ススキ属やネザサなどのササ類は、ともに地表面を覆うように生育することから、遺構の開口部を覆い隠すのは容易と思われる。そのため、本遺跡の陥穴も、ネザサ節が生育するような、土坑の存在をわかりにくくするような場所を選んで構築された可能性がある。

なお、箱根西麓と生育する草木の種類の違いが生じた要因として、土壌の母材や物理・化学性の違い、 立地、標高などが考えられる。この点については、周辺の尾根上や谷斜面の堆積物を対象として、土壌 理化学分析や植物珪酸体分析などの自然科学調査を進め、土壌学的性質や包含される微化石の種類を明 らかにし、これまでの調査例と比較・検討することで明らかにしたい。

#### 引用文献

近藤錬三(1982)Plant opal 分析による黒色腐植層の成因究明に関する研究. 昭和56年度科学研究費 (一般研究 C) 研究成果報告書, 32P.

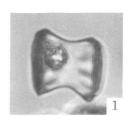
近藤錬三・佐瀬 隆(1986) 植物珪酸体分析, その特性と応用. 第四紀研究, 25,p.31-64,

杉山真二・藤原宏志 (1986) 機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定一古環境推定の基礎資料 として一. 考古学と自然科学, 19,p.69-84.

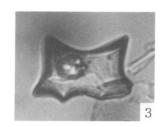
辻本崇夫・植木真吾(1996) 陥穴状土坑の埋積過程と埋積時期.静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第72集「下原遺跡Ⅱ」, p.51-59, 静岡県埋蔵文化財調査研究所.

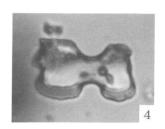
植木真吾・馬場健司・中根秀二(1996) 陥穴状土坑をとりまいた古環境. 静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第72集「下原遺跡 II」, p.62-86, 静岡県埋蔵文化財調査研究所.

図版1 植物珪酸体

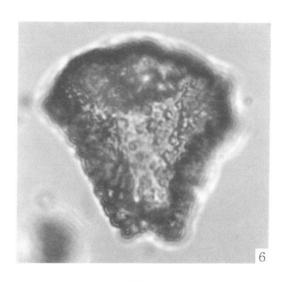












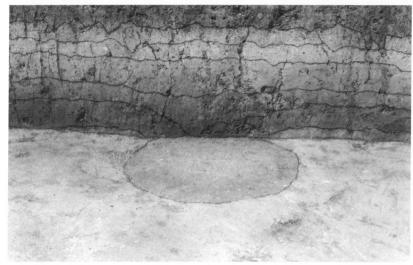
50*μm* 

- 1. ネザサ節短細胞珪酸体(北壁;11)
- 2. タケ亜科短細胞珪酸体 (3号土坑断ち割り断面;15)
- 3. タケ亜科短細胞珪酸体(3号土坑断ち割り断面;21)
- 4. ススキ属短細胞珪酸体(北壁;11)
- 5. タケ亜科機動細胞珪酸体 (3号土坑断ち割り断面;15)
- 6. タケ亜科機動細胞珪酸体(3号土坑断ち割り断面;21)

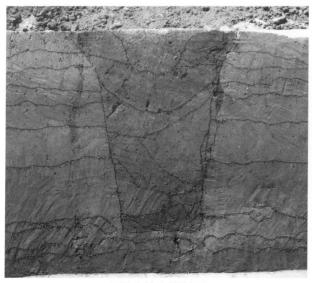
# 写 真 図 版



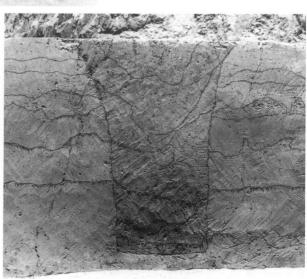
BBⅢ層土坑検出状況



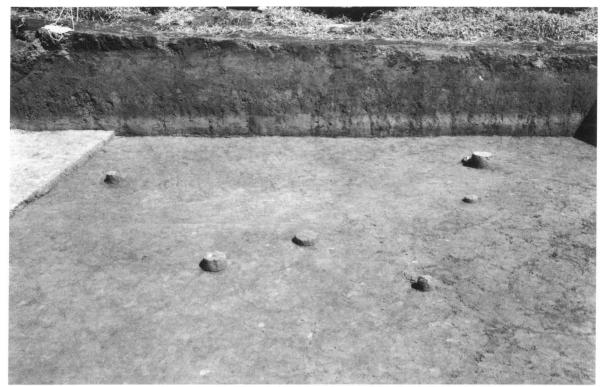
7号土坑検出状況



7号土坑土層断面



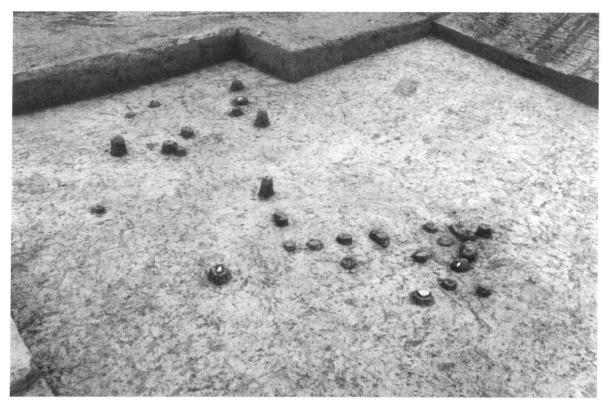
6号土坑土層断面



第Ⅱ文化層遺物出土状況1



第Ⅱ文化層遺物出土状況2



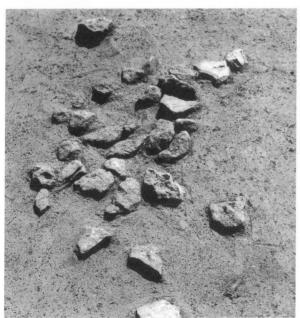
第Ⅲ文化層2・3号石器ブロック



第Ⅲ文化層1号石器ブロック



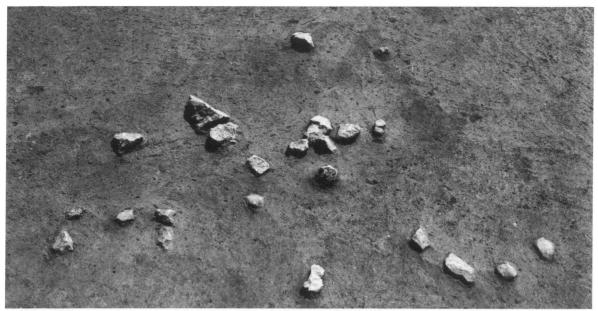
第Ⅳ文化層1号礫群



第Ⅳ文化層2号礫群



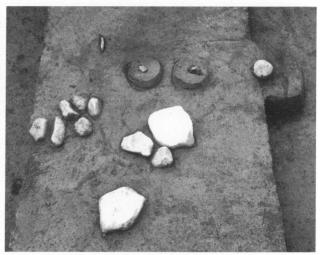
第Ⅳ文化層3号礫群



第Ⅳ文化層4号礫群



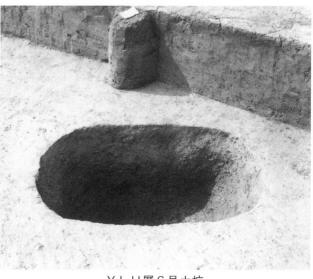
第 V 文化層 1 号礫群



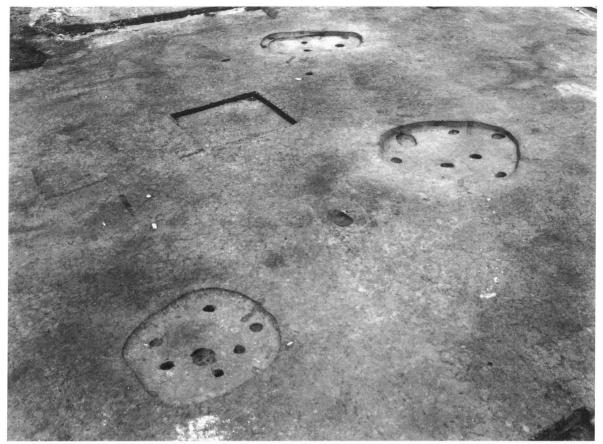
第V文化層2号礫群



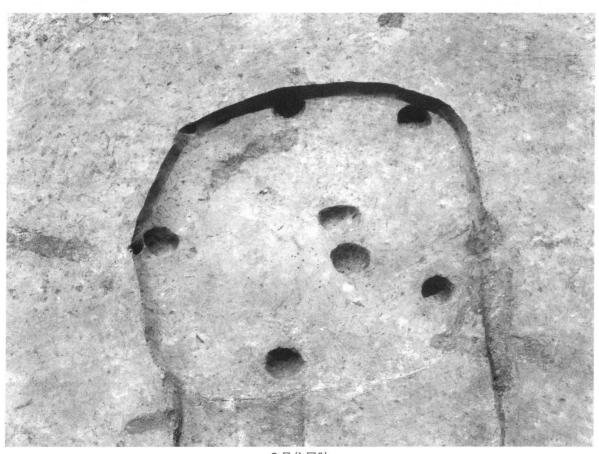
第V文化層3号礫群



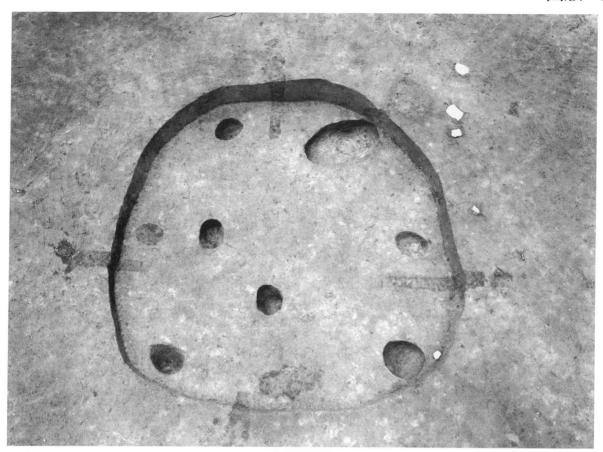
YLU層6号土坑



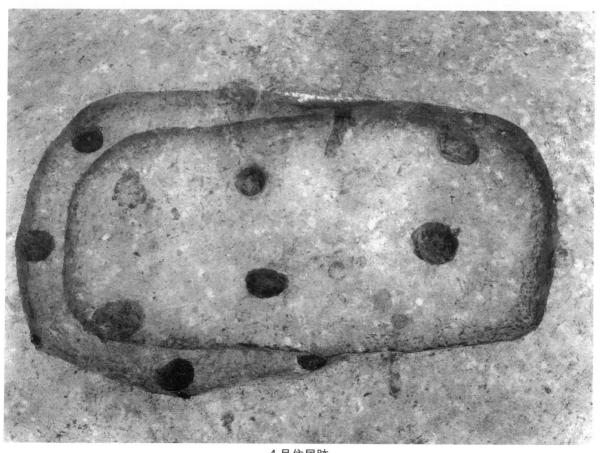
2~5号住居検出状況



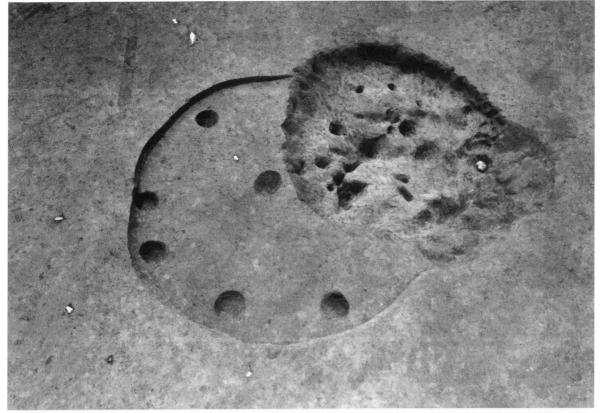
2号住居跡



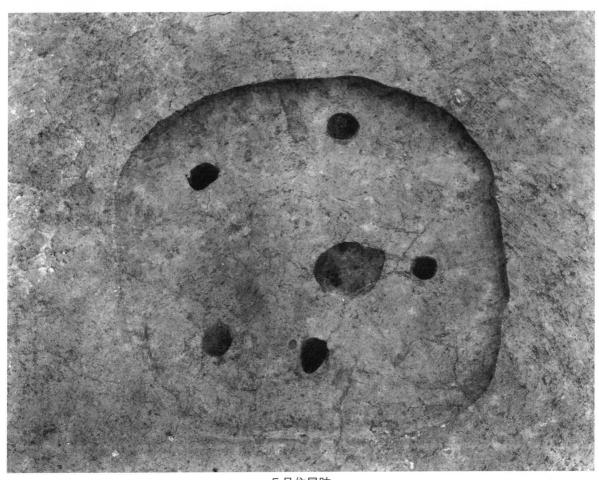
3号住居跡



4号住居跡



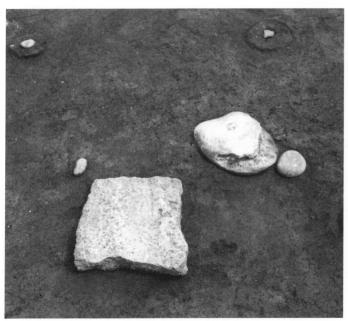
8号住居跡



5号住居跡



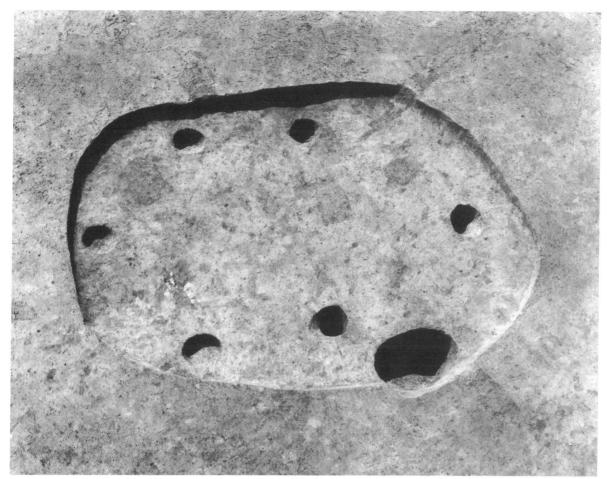
6・7号住居跡



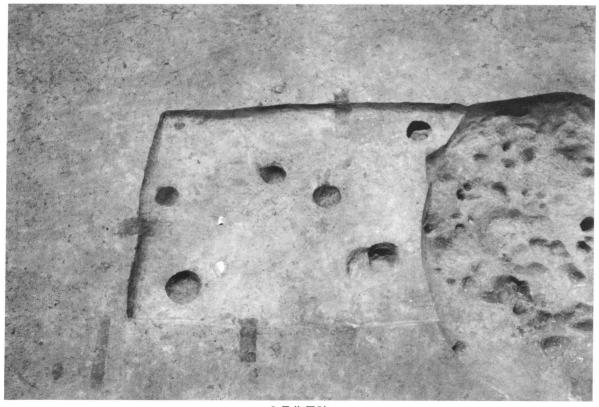
6号住居跡石皿出土状況



9号住居跡土器出土状況



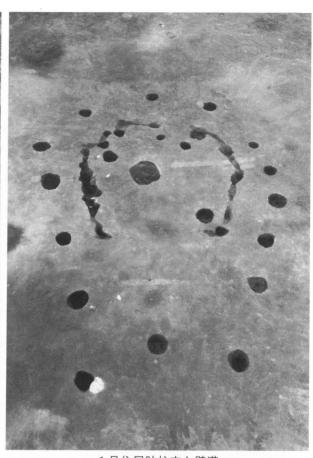
10号住居跡



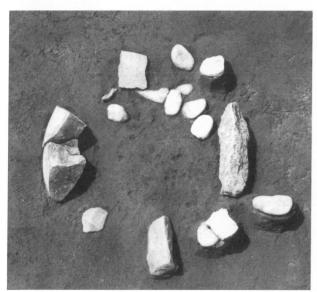
9号住居跡



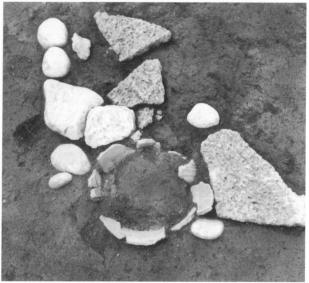
1号住居跡遺物出土状況



1号住居跡柱穴と壁溝

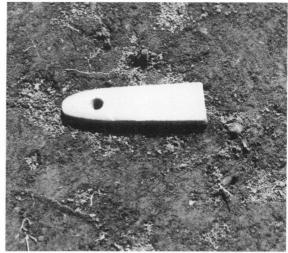


1号住居跡石囲い炉

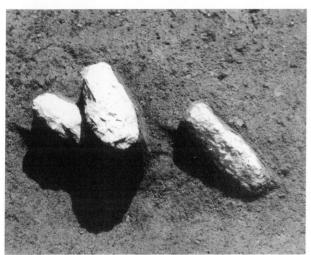


1号住居跡敷石と埋甕

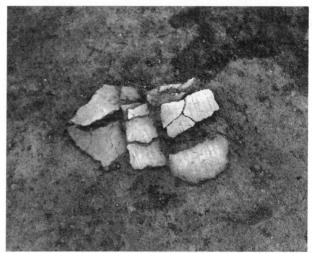




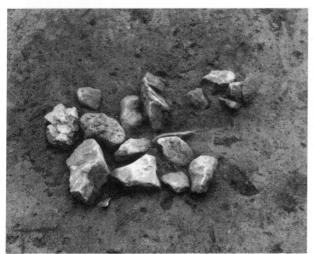
ペンダント出土状況



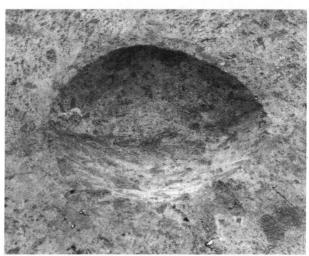




11号燒土跡出土土器

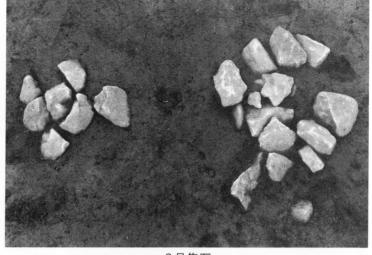


1号集石



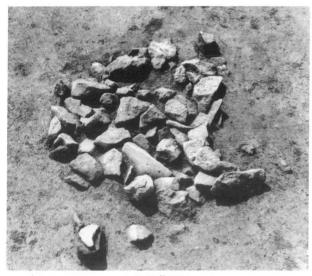
1号集石完掘



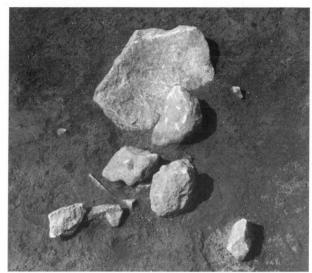


2号集石

6号集石



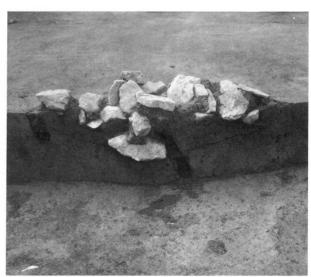




4号集石



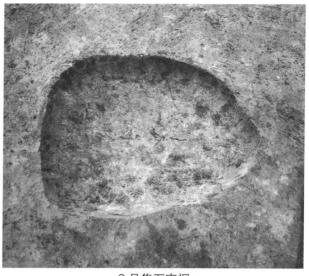
8号集石



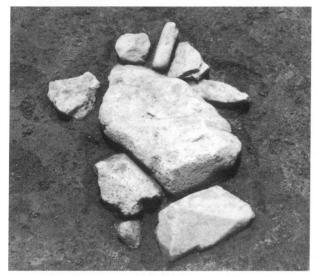
8号集石(断面)



9号集石



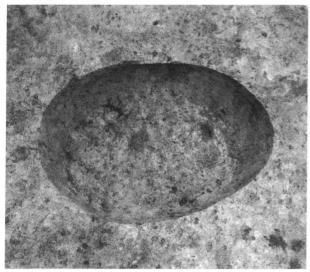
9号集石完掘



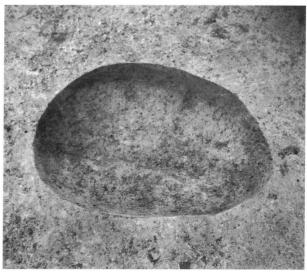
10号集石



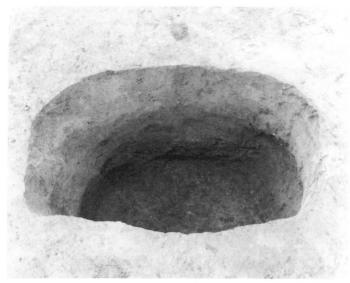
10号集石完掘



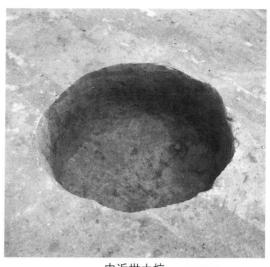
10号燒土跡完掘



29号土坑完掘



14号土坑完掘



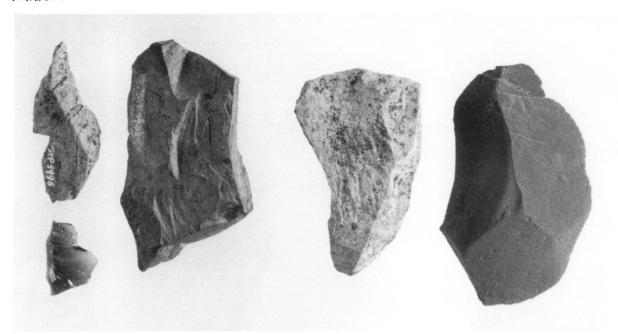
中近世土坑



近世溝



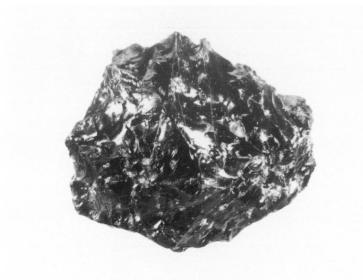
近世溝土層断面



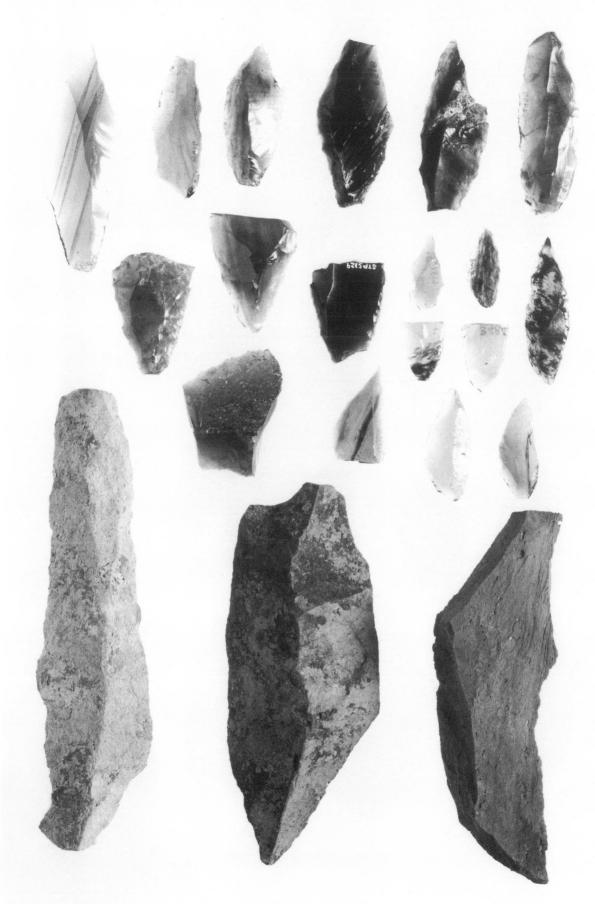
第Ⅱ・第Ⅲ文化層出土石器



第Ⅱ文化層石核



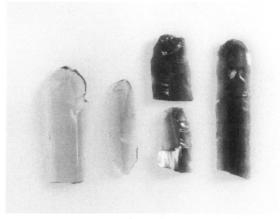
第Ⅴ文化層石核



第Ⅳ文化層の石器(YLM~YLL層)



第Ⅴ文化層の石器(YLU層)



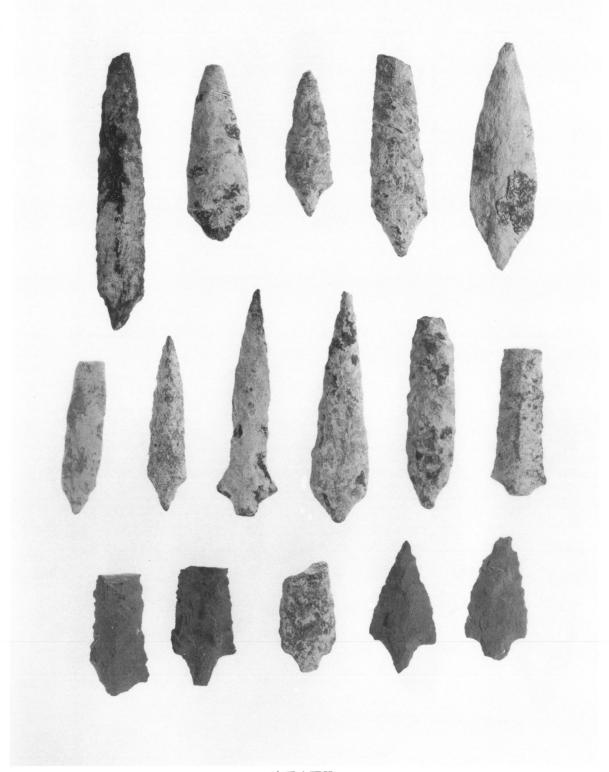




細石刃石核



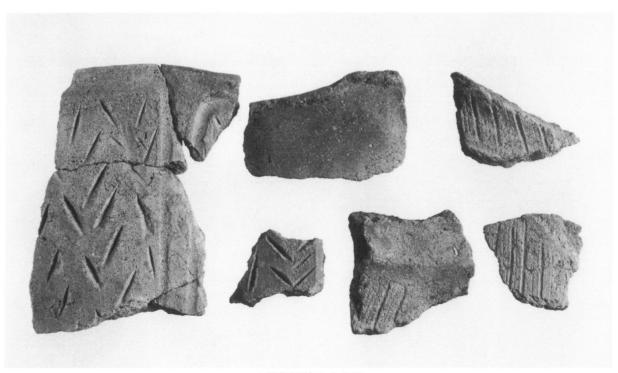
縄文時代草創期槍先形尖頭器



有舌尖頭器



1号住居跡埋甕



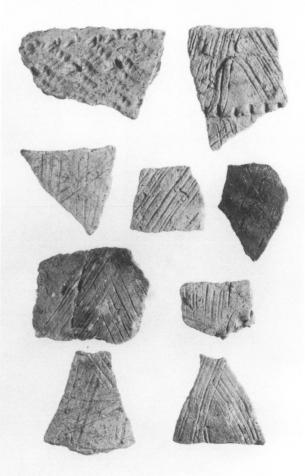
1号住居跡出土土器



3・9号住居跡出土土器



3号住居跡出土土器



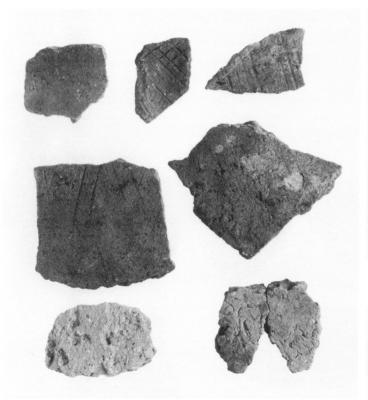
7号住居跡出土土器



2 · 4号住居跡出土土器



5号住居跡出土土器



6号住居跡出土土器



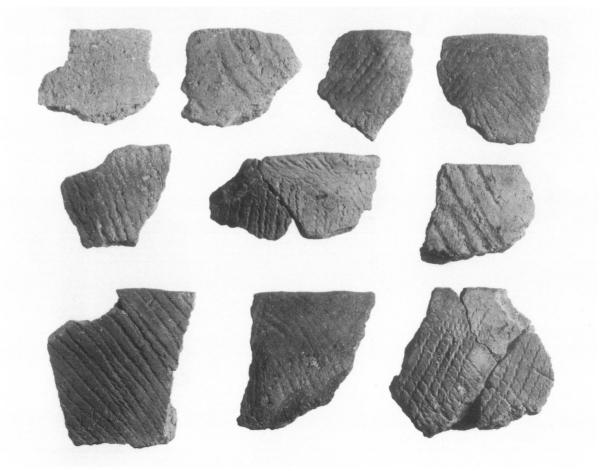
10号住居跡出土土器



7号焼土跡出土土器



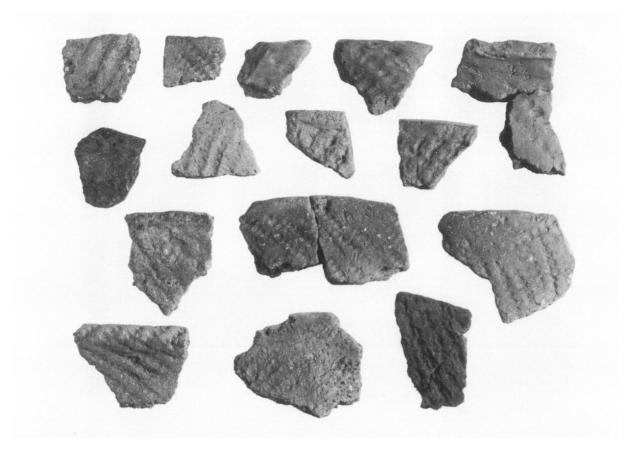
11号焼土跡出土土器

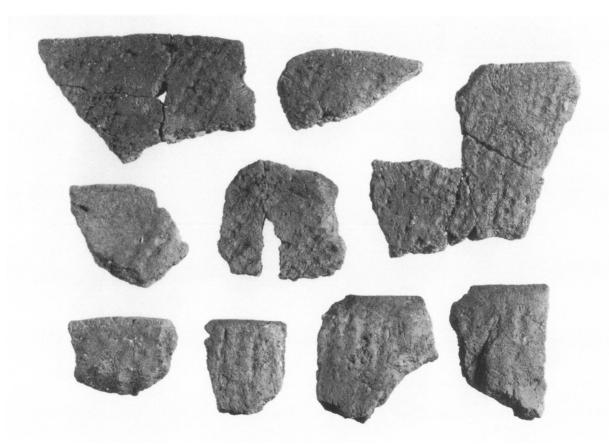


I 群 a 類土器 1

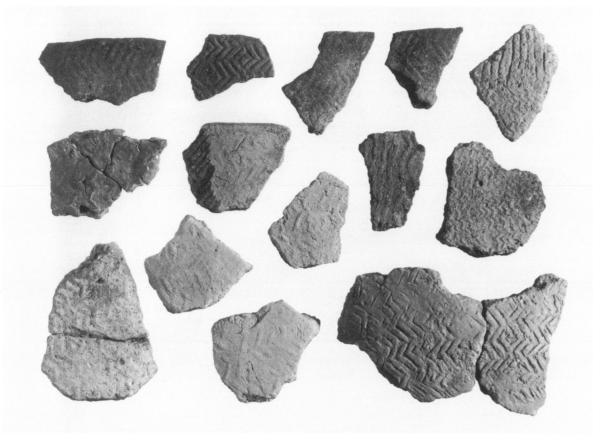


I群a類土器2

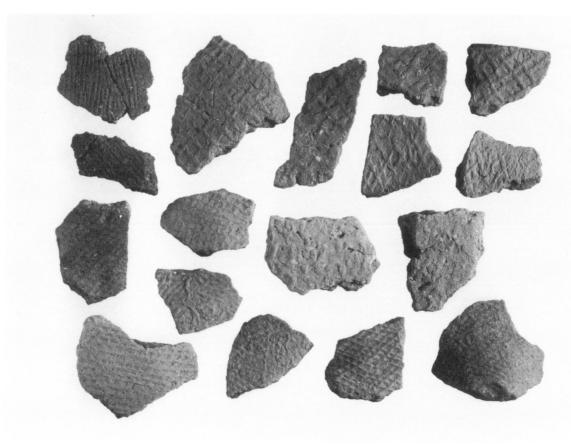




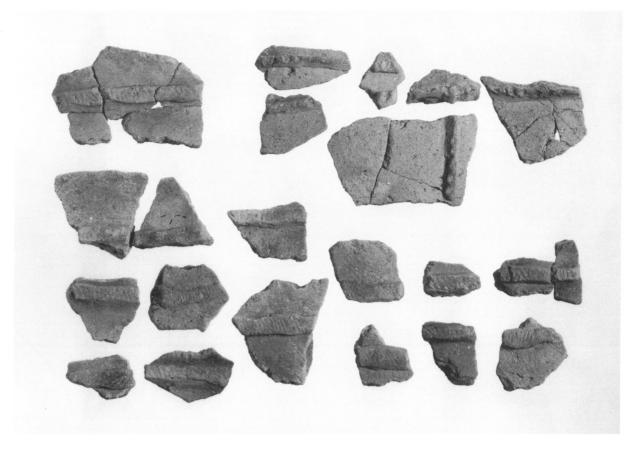
I群b類土器

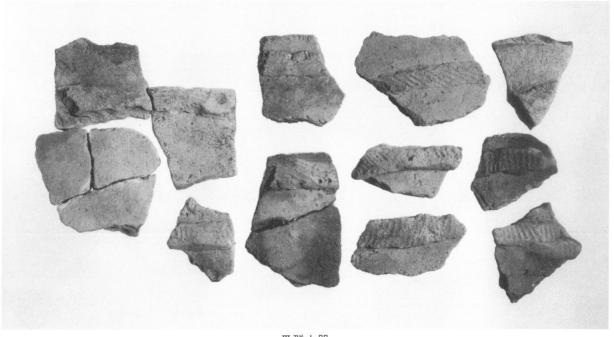


Ⅱ群a類土器

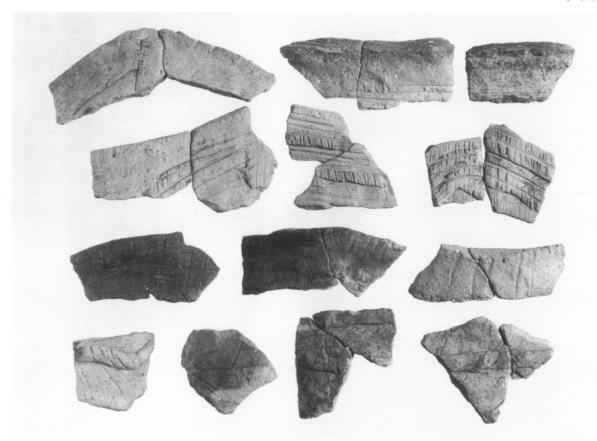


Ⅱ群b類土器

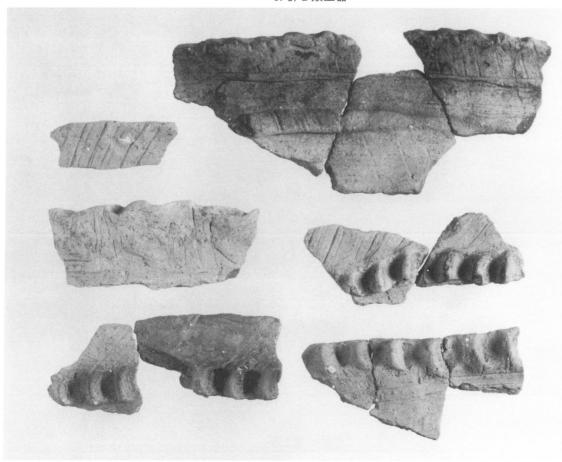




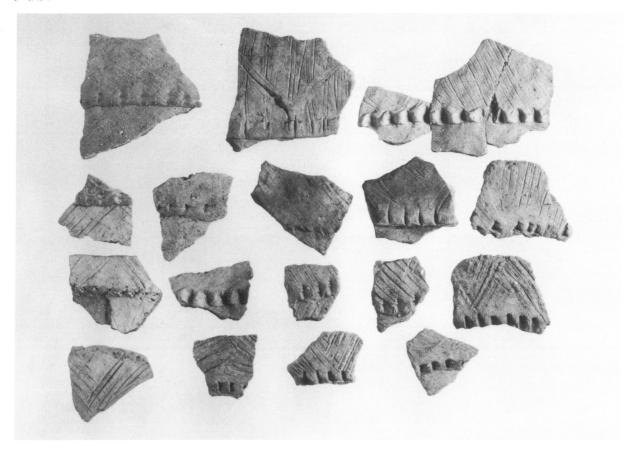
Ⅲ群土器

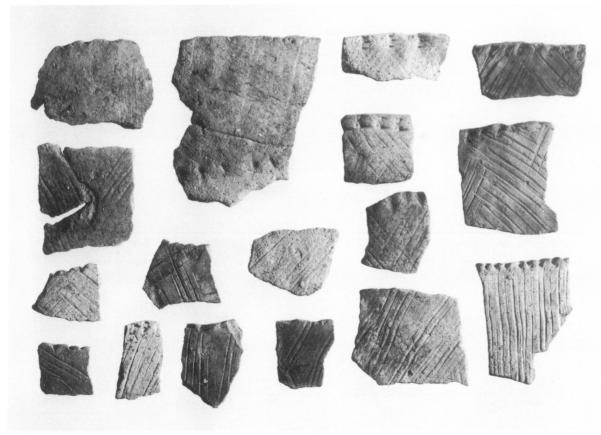


Ⅳ群a類土器

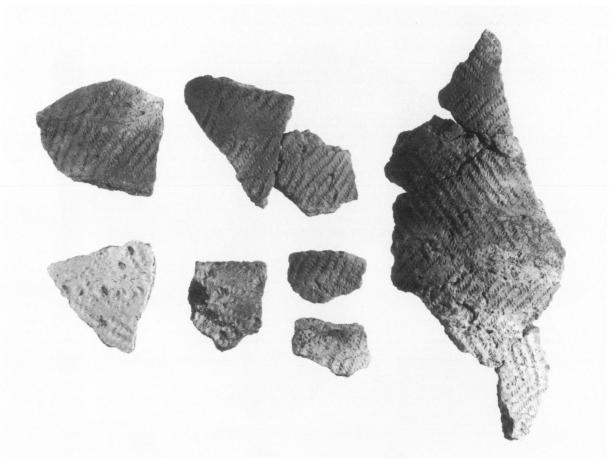


Ⅳ群a.b類土器





Ⅳ群c類土器



V群a類土器



V群b類土器



Ⅷ群土器





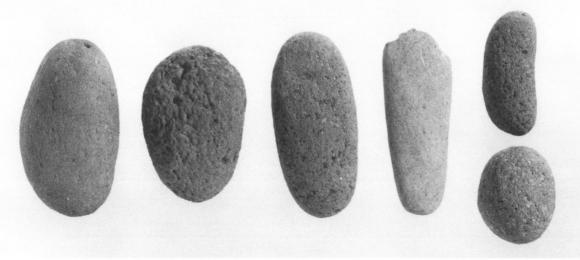


VI群土器

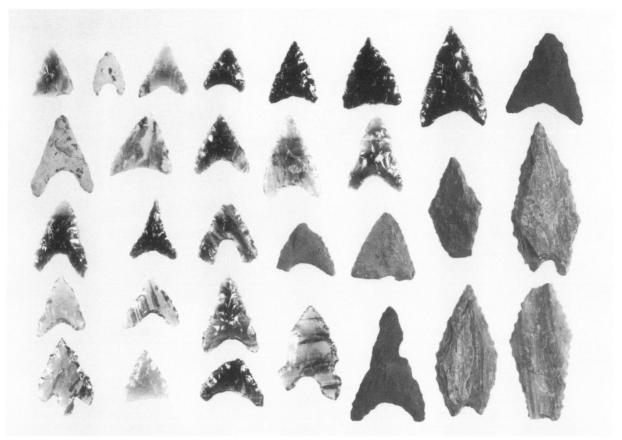
石製装飾品



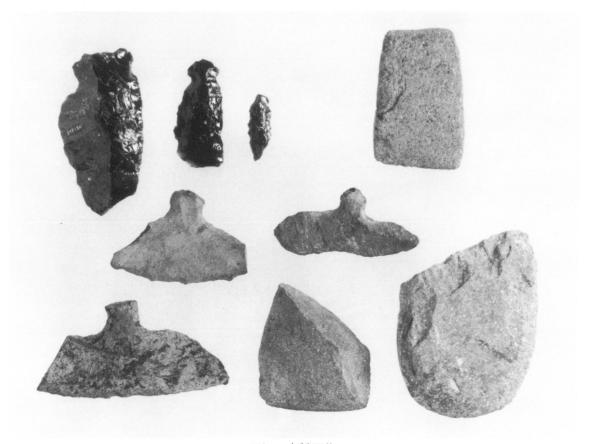
石錘



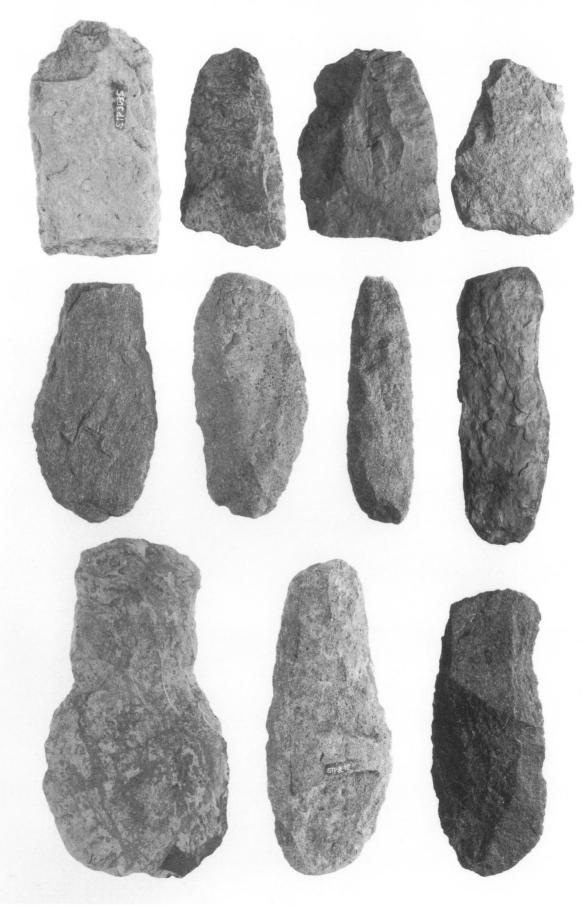
敲石



石鏃



石匕・磨製石斧



打製石斧

# 報告書抄録

ふりがな	てっぴらい	てっぴらいせき							
書名	<b>,</b>								
副書名	平成14年度 東駿河湾環状道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書								
巻  次	次								
シリーズ名	名 静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告書								
シリーズ番号 第137集									
編著者名	名 笹原千賀子 吉村たまみ								
編集機関									
所 在 地									
発行年月日 西暦2003年3月31日									
ふりがな	ふりがな	Marine Willester Willester Willester Willester Willester Willester Willester William W		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	i ° ′ ″	0 / //	M-1-ET/VIII-I	m²	H-1 ET //1 (下)	
	すんとうぐん								
<b>鉄</b> 平	ながいずみちょう	22342		35°		1998年8月~ 12月 2000年2月~ 10月	600m²	<b>幸服於為於中央人</b> 以	
	ながいずみちょう 長泉町				138°			東駿河湾環状    道路建設に伴	
	下長窪			9′	53′		10, 190m [*]	う緊急調査	
	字鉄平			00"	40″				
	1138-1他								
所収遺跡名	種別	主な年代		主な遺構		主な遺物		特記事項	
t-o356 http: <b>鉄平遺跡</b>	集落	旧石器時代	BBⅢ層	土坑	7基			土壌の植物珪酸 体分析(附編)	
			砂川期	礫群 4基		ナイフ形石器 18			
				<ul><li>石器ブロック 2基</li><li>礫群 6基</li></ul>		尖頭器 24		[1676/1775]	
			尖頭器 文化期			  ナイフ形石器 8 		作跡 黒耀石原産地分 析(附編)	
		縄文時代	草創期			有舌尖頭器 17			
						尖頭器 6			
				住居跡(木島式) 9基 撚糸文系土器、押型文土器					
			早期			下吉井式土器、木	、島式土器		
				集石	11基	- 石鏃	105		
						打製石斧	21		
						磨製石斧	4		
						石匕	6		
			前期	包含層					
			中期		_	井戸尻式土器			
				敷石住居跡	1基	曽利V式土器			
		ŀ	時期不明		1基	ペンダント	2		

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第137集

#### 鉄 平 遺 跡

平成14年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書

平成15年3月31日

発 行 所 財団法人

静岡県埋蔵文化財調査研究所 TEL(054)262-4261代

印刷所 みどり美術印刷株式会社

沼津市沼北町2丁目16番19号 TEL(055)921-1839代